

令和 8 年度

全学教育ガイド

全学共通科目（教養・外国語・保健体育・キャリア教育・教職科目）

履 修 案 内

奈 良 女 子 大 学

I 奈良女子大学の教育課程 ----- 1

1 卒業までの教育課程 (カリキュラム) -----	2
(1) 教育課程の編成 -----	2
(2) 学則と学部規程 -----	2
(3) 「ディプロマ・ポリシー」と 「カリキュラムマップ」 -----	2
(4) 卒業と単位 -----	3
(5) 卒業要件科目の履修計画 -----	3
(6) 大学教育の学習成果 -----	3
(7) シラバスの「学習到達目標」 -----	4
(8) 履修モデルの活用 -----	4
2 教育プログラムと キャリア教育科目について -----	4
(1) 様々な教育プログラム -----	4
(2) キャリア開発のための履修計画 -----	4
(3) 資格取得のための履修計画 -----	5

II 履修概要 ----- 6

1 履修にあたって -----	7
(1) 学期 -----	7
(2) 学年暦 -----	7
(3) 授業時間・教室 -----	7
(4) 授業時間割 -----	8
(5) シラバス -----	8
(6) 授業の実施方法 (開講形態) -----	8
(7) 休講と補講 -----	9
(8) 交通機関の運休に伴う授業の 取扱について -----	9
(9) 授業の公欠・忌引 -----	10
(10) 欠席届 -----	10
(11) 奈良女 ID・メールアドレスについて -----	11
(12) 学習管理システム (LMS) -----	11
(13) 学習支援活動 -----	12
2 単位制 -----	16
(1) 単位とは -----	16
(2) 単位の基準 -----	16

(3) 入学前の既修得単位、 学外での学修の単位認定 -----	16
(4) 外国語科目における単位認定制度 -----	18
(5) 卒業要件 -----	22
(6) 早期卒業 -----	22
(7) 卒業要件単位に算入できる メディア授業科目の単位数 -----	22
3 履修登録 -----	23
(1) 履修とは -----	23
(2) 履修登録期間 -----	23
(3) 履修登録方法 -----	23
(4) 履修登録時の留意事項 -----	24
(5) 履修登録単位の上限 -----	24
(6) 成績優秀者表彰 -----	25
4 試験・成績及び学修成果 -----	26
(1) 試験 -----	26
(2) レポート -----	26
(3) 成績評価 -----	26
(4) GPA (Grade Point Average) 制度 -----	27
(5) 成績照会 -----	27
(6) 成績評価の確認 (異議申し立て) -----	27
(7) ディプロマ・ポリシー達成状況評価 -----	27
5 学籍・修業年限 -----	29
(1) 修学年限と在学年限 -----	29
(2) 在学中の留学 -----	29
(3) 学籍異動 -----	29

III 教養教育科目の履修 ----- 32

1 本学の教養教育の理念 -----	33
2 教養教育科目の仕組み・履修単位数 -----	34
3 基礎科目群 -----	40
(1) 外国語科目 -----	40
外国語の履修 -----	40
外国語の単位 -----	40
英語 -----	43
ドイツ語 -----	45
フランス語 -----	48

中国語	-----50
その他の外国語	-----52
外国語科目クラス分け・教科書一覧	-53
(2) 日本語科目	-----58
(3) 保健体育科目	-----59
(4) 情報処理科目	-----62
4 教養科目群	-----63
5 積極開放科目	-----64

IV キャリア教育科目の履修 ----- 65

1 キャリアプラン科目群	-----66
2 教職科目群・資格関連科目群について	-67

V 他大学科目の履修 ----- 68

1 連携開設科目	-----69
2 単位互換制度	-----72
(1) 放送大学教育協力型単位互換科目	---72
(2) 奈良教育大学との単位互換制度	----76
(3) お茶の水女子大学との単位互換制度	-77
(4) 奈良県大学連合における単位互換制度	79

VI 副専攻プログラム ----- 81

プログラムの登録	-----82
プログラムの修了認定	-----82
テーマ別一覧	-----83

VII 諸資格の取得 ----- 89

1 教育職員免許状（教職科目群の履修）	-90
(1) 教員免許状取得のための教育課程	---90
(2) 教職課程の履修の流れ	-----92
(3) 教員免許状取得のために必要な 教養教育科目	-----97
(4) 教育実習について （幼・小・中・高教員免許）	-----98
(5) 奈良教育大学との教職科目の 単位互換について	-----100

(6) 介護等体験について （小・中教員免許）	-----101
〈令和 5 年度以降入学者用〉	-----102
(7-1) 教職課程の概要 （令和 5 年度以降入学者）	-----103
(7-2) 「教育の基礎的理解に関する科目等」・ 「各教科（保育内容）の指導法」	---105
(7-3) 「教科（領域）に関する専門的事項」・ 「大学が独自に設定する科目」	---113
(7-4) 二種免許状について	-----152
2 資格関連科目群の履修	-----153
(1) 学芸員の資格取得について	-----153
(2) 学校図書館司書教諭の 資格取得について	-----158
3 その他の資格について	-----160

VIII 科目一覧・科目改正一覧 ----- 161

1 科目番号制（ナンバリング）について	-162
2 教養教育科目一覧	-----164
3 キャリア教育科目一覧	-----167
4 科目改正一覧	-----170

IX 時間割表 ----- 173

前期	-----174
後期	-----178

〈平成 31～令和 4 年度入学者用〉

※別冊（PDF 版のみ）

(8-1) 教職課程の概要	 B-3
(8-2) 「教育の基礎的理解に関する科目等」・ 「各教科（保育内容）の指導法」	 B-5
(8-3) 「教科（領域）に関する専門的事項」・ 「大学が独自に設定する科目」	 B-13
(8-4) 二種免許状について	 B-48

奈良女子大学の基本理念

- 理念 1 男女共同参画社会をリードする人材の育成
ー女性の能力発現をはかり情報発信する大学へー
- 理念 2 教養教育、基礎教育の充実と専門教育の高度化
- 理念 3 高度な基礎研究と学際研究の追究
- 理念 4 開かれた大学
ー国際交流の推進と地域・社会への貢献ー

奈良女子大学の教育目標

本学は、学生個々の適性・能力を最大限に引き出し、深い学識を備え、情緒豊かで品位ある人材を育成する。また、さまざまな事象を総合的に理解・判断した上で、目的意識を持って主体的に行動し、社会をリードする人材を育成する。

- 1. 人間性を涵養する教育：
質の高い教養教育を行うことにより、幅広い教養と豊かな人間性を備えた人材を育成する。
- 2. 創造性を生み出す教育：
各専門分野間で連携のとれた教育を行うことにより、深い専門性を身につけた創造性豊かな人材を育成する。
- 3. 専門性を深める大学院教育：
女性が能力を発現しやすい環境の下で高度な専門教育を行い、創造的能力を備えた高度専門職業人および研究者を育成する。
- 4. 社会で貢献できる人材を育成する教育：
 - 1) 男女共同参画社会の実現に貢献できる人材を育成する。
 - 2) アジア諸国をはじめとする国際社会及び地域社会に貢献できる人材を育成する。

I 奈良女子大学の教育課程

1	卒業までの教育課程（カリキュラム）	2
2	教育プログラムとキャリア教育科目について	4

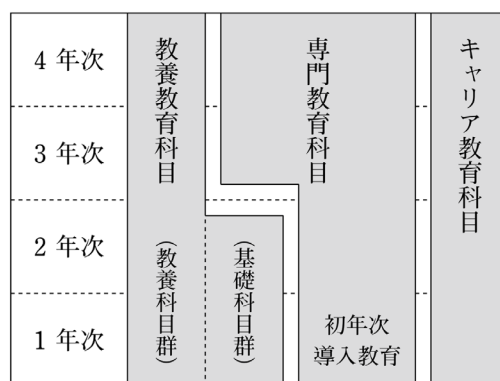
I 奈良女子大学の教育課程

1 卒業までの教育課程（カリキュラム）

(1) 教育課程の編成

この冊子の冒頭に、「奈良女子大学の教育目標」が掲げられています。この目標を実現するため、本学では学部教育の体系を整理して次のような3本柱を立て、それぞれの中に「科目群」を設けました。

学部教育	科目群
教養教育科目	基礎科目群 教養科目群
専門教育科目	(各学部専門科目)
キャリア教育科目	キャリアプラン科目群 教職科目群 資格関連科目群



本学の教育課程の履修モデル

本学の授業科目は、上記のカテゴリーにしたがって系統的に整理された教育課程（カリキュラム）の中に位置づけられます。このうち、教養教育科目については「Ⅲ 教養教育科目の履修」を、キャリア教育科目については「Ⅳ キャリア教育科目の履修」を参照してください。また、各教育科目の中でテーマ性をもった学部横断的な科目の履修を行う「副専攻プログラム」も用意しています。プログラムの概要は、「Ⅵ 副専攻プログラム」に掲載しています。

(2) 学則と学部規程

本学のカリキュラムは、学校教育法に基づいて制定された「奈良女子大学学則」にしたがって、各学部の規程に詳細に定められています。これらの規程は修学上の最も基本的なルールであり、各自の入学した年度の学則と学部規程が卒業まで適用されます。それぞれが本学ホームページに掲載されていますから、必要に応じて参照してください。

なお第3年次編入学生には、入学年度の2年前の学則と学部規程（例えば令和8年度編入学生は、令和6年度の学則・学部規程）が適用されますので、間違いのないように気を付けてください。

(3) 「ディプロマ・ポリシー」と「カリキュラムマップ」

本学では、教育プログラム（学部・学科等）ごとに、卒業までに学生が身につけるべき資質・能力を示した「ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）」を定めています。また、卒業までに身につけるべき力と、各授業科目との関連を示したものを「カリキュラムマップ」と呼びます。

ディプロマ・ポリシーは本学ホームページの「大学案内」から、カリキュラムマップは「修学案内」から閲覧することができます。

皆さんが、卒業までに身につけることが期待される力がどのようなものであるか、また、「なぜこの科目を学ぶのか」ということを意識し、4年間でどのように過ごせばよいのかなど、自身の学びのデザインに活用してください。

(4) 卒業と学位

所定の期間在学し、所定の単位を履修して卒業要件を満たした場合、卒業が認められ、「学士」の学位が授与されます。学位には専攻分野の名称が付記されます。

学 部	学位の名称
文 学 部	学 士（文学）
理 学 部	学 士（理学）
生 活 環 境 学 部 心 身 健 康 学 科	学 士（生活健康科学）
生 活 環 境 学 部 心身健康学科以外の学科	学 士（生活環境学）
工 学 部	学 士（工学）

(5) 卒業要件科目の履修計画

卒業要件科目には、科目の位置づけに応じて、必修、選択必修、選択という区別があります。必修科目は必ず履修しなければならない科目、選択必修科目はある科目グループの中から選択して、一定以上の単位を履修しなければならない科目、また選択科目は自由に選択して履修できる科目です。さらに科目によって、履修すべき年次が定められているものもあります。これらの要素から、各学年でどうしても履修しなければならない科目が決まってきます。まずここから、履修計画の見通しを立てましょう。

全学共通科目では、各学部が必修としている外国語科目と保健体育科目について、1 年次・2 年次に履修する科目とクラスが指定されます。履修案内と掲示に注意して、誤りなく履修登録してください。また、科目によって学部別にクラス分けがなされる場合があります。

専門教育科目では、所属する学科・コースの中で、各自が進む専門分野を選ぶことで、履修すべき科目の選択肢が次第に限定されていくことがあります。またカリキュラムの設計から、他の科目を履修済みでないと履修できない科目もあります。

履修計画は、入学時に決まってしまうわけではありません。各学期の履修ガイダンスをよく聞き、必ず担任の教員や所属学科・コースの教務担当教員と相談しながら、各自の希望に応じて、学期ごとに柔軟に見直してください。

(6) 大学教育の学習成果

大学での学習は、単位を取得して卒業要件を満たし、形式的に学歴を得ることで終わるわけではありません。重要なのは、その過程で獲得してきた知識や能力などの学習成果です。近年、この学習成果の観点から大学教育のあり方が問われ、大学卒業者の備えるべき能力が、「学士力」として提唱されています。

「学士力」の領域と細目例

能力の領域	細 目 例
1 . 知識・理解	(1) 多文化・異文化に関する知識の理解 (2) 人間の文化、社会と自然に関する知識の理解
2 . 汎用的技能	(3) コミュニケーション・スキル (4) 数量的スキル (5) 情報リテラシー (6) 論理的思考力 (7) 問題解決力

3. 態度・志向性	(8) 自己管理力 (9) チームワーク、リーダーシップ (10) 倫理観 (11) 市民としての社会的責任 (12) 生涯学習力
4. 総合的な学習経験と創造的思考力	

(7) シラバスの「学習到達目標」

このような授業方法による違いを踏まえて、各授業科目のシラバスには「学習到達目標」の欄が設けられ、目指す学習成果が具体的に記されています。それぞれの授業内容に即しながら、科目の履修を通じて重点的に養成される能力を、全学的なガイドラインに沿って数項目ずつ掲げたものです。

履修科目の選択にあたって、授業のテーマや内容、カリキュラム上の位置づけに加えて、自分がどんな能力を養っていききたいかという点も、重要な要素として考慮しなければなりません。

さまざまな能力をできるだけバランスよく獲得することを目標に、苦手な点の克服、得意な点を伸ばす、あるいは欲張ってその両方に挑戦するなど、自分の目標を立てて意欲的に学習に取り組んでください。

(8) 履修モデルの活用

膨大な授業情報の中から、必要な科目や関心のある授業を選び出すのはたいへんです。そのヒントとして活用したいのが、「履修モデル」です。

履修モデルは学科別に作成され、『専門教育ガイド』のそれぞれのページに掲載されています。初歩的な概論科目などから、卒業研究・卒業論文に至るまでの履修の道筋が示されるだけでなく、学科ごとの専門科目の卒業要件とも密接に関係しています。入学時や学期ごとのガイダンスの際に詳細な説明がありますから、よく注意してください。

2 教育プログラムとキャリア教育科目について

(1) 様々な教育プログラム

各学部等で定められた学士の学位を取得する「学位プログラム」とは別に、テーマ性をもった学部横断的な科目の履修を行う「副専攻プログラム」や、本学大学院に進学する学生が大学院科目の先行履修や長期にわたる留学・インターンシップ等を組み入れた自由度の高い学修計画を立てることができる「6年一貫教育プログラム」も用意しています。また、教養教育科目の基礎科目群に該当する情報処理科目を修得し、テストに合格した際に修了証が発行される「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」を実施しています。これらのプログラムの概要については、「副専攻プログラム」はこの冊子の「Ⅵ 副専攻プログラム」を、「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」は「Ⅲ 教養教育科目の履修>3 基礎科目群>(4) 情報処理科目」を参照してください。なお、「6年一貫教育プログラム」については、『専門教育ガイド』などの各学部の案内をご覧ください。

(2) キャリア開発のための履修計画

本学の教育の柱の一つに、キャリア教育があります。入学から卒業までの学生生活の中で、自分の進路や将来設計をじっくり考えていくためのカリキュラムです。科目の一部は卒業要件単位に算入されます。詳細は「Ⅳ キャリア教育科目の履修」を参照してください。

大学をただ卒業するだけでなく、社会に出ていきいきと活躍できるように、ぜひこれらの科目も履修しましょう。

(3) 資格取得のための履修計画

本学では、キャリア教育の一環として、各種資格取得のためのカリキュラムを設けています。このうち、全学共通で開講される資格取得カリキュラムは、教員免許状取得、学芸員資格、学校図書館司書教諭資格に関するものです。

なお、教員免許状と学芸員資格の両方を取得するのは難しいため、綿密に履修計画を立てて実行してください。

■教員免許状取得のためのカリキュラム

「キャリア教育科目」の「教職科目群」としてまとめられています（卒業要件外）。教職関係の科目は、取得すべき科目と単位数が多く、免許の種類によって複雑に分かれています。教職に関心のある人は、この冊子に掲載された履修案内をよく読んで、第1年次から計画的に履修しましょう。

■学芸員、学校図書館司書教諭の資格カリキュラム

「キャリア教育科目」の「資格関連科目群」がこれに相当します（卒業要件外）。

これらの資格取得には、教育実習や博物館実習など、学外で行われる実習科目を履修しなければなりません。実習科目は他の基礎的な科目を履修済みであることを条件として履修できる科目です。また実習については、それぞれ別途ガイダンスが行われます。掲示に注意して忘れずに出席してください。実習にあたっては、学外の方のお世話になることをわきまえて、各自が責任ある行動をとるよう心がけましょう。

教員免許状、学芸員、学校図書館司書教諭資格以外にも、各学部の専門科目の履修によって取得できる資格があります。この冊子の「Ⅶ 諸資格の取得『3 その他の資格について』」を参照してください。

なお、本学に入学する前に、他の大学や短期大学で資格関係の単位を履修している場合、本学で改めて履修する必要がないこともあります。該当する人は、履修成績の証明や資格カリキュラムのわかる資料を持って学務課に相談に来てください。

Ⅱ 履修概要

1	履修にあたって	7
2	単位制	16
3	履修登録	23
4	試験・成績及び学修成果	26
5	学籍・修業年限	29

Ⅱ 履修概要

1 履修にあたって

(1) 学期

本学の学年暦は、前期・後期の2学期に分けられます。前期は4月1日、後期は10月1日に始まります。開講される科目の授業は、原則として学期ごとに完結し、成績評価が行われます。

(2) 学年暦

学年暦は、『全学教育ガイド』『専門教育ガイド』の冒頭ページのほか、本学ホームページに掲載されています。各学期の中に、通常の授業期間と試験期間、補講期間が設けられています。授業回数を確保するため、臨時に曜日の振り替えが行われ、ある曜日に他の曜日の授業が行われることもあります。

▼奈良女子大学ホームページ

HOME>修学案内>学年暦

<https://www.nara-wu.ac.jp/nwu/education/affairs/calendar/>

(3) 授業時間・教室

毎日の時間割は、次のようになっています。授業の開始や終了の放送はありません。各自で時間を守ってください。教室は、下記のような略号と番号で表示されます。建物の配置と教室の位置については、「教室配置図」で確かめてください。なお、各科目のシラバスと時間割表に記された授業時間と教室は、受講者数などの都合から変更されることがあります。掲示によって通知されますから、注意してください。また、補講が行われる場合にも、掲示で通知されます。

時限	授業時間
1・2限	9:00～10:30
3・4限	10:40～12:10
5・6限	13:00～14:30
7・8限	14:40～16:10
9・10限	16:20～17:50

略号	建物名	略号	建物名
N	総合研究棟（文学系N棟）	D	総合研究棟（生環系D棟）
S	総合研究棟（文学系S棟）	E	総合研究棟（生環系E棟）
A	総合研究棟（理学系A棟）		大学院E棟
	総合研究棟（生環系A棟）	F	大学院F棟
B	総合研究棟（理学系B棟）	G	理学部G棟
新B	理学部新B棟	H	DMG MORI 棟（工学系H棟）
C	総合研究棟（理学系C棟）	Z	コラボレーションセンター

(4) 授業時間割

本学の授業科目は、年度ごとの開講計画にしたがって開講されます。学部規程に掲載されるすべての科目が毎年開講されるとは限りません。ある年度に開講できない科目や、1 年おきに開講される科目（隔年開講）もあります。開講計画は、全学共通科目については『全学教育ガイド』に「Ⅷ 科目一覧・科目改正一覧」として、専門教育科目については『専門教育ガイド』に学部・学科別の一覧表として示されています。履修計画の参考にしてください。

また、一定の期間に集中して行われる「集中講義」については、シラバスや時間割表に日程や教室が示されていない科目もあります。決定次第、掲示によって通知されますから、必ず確認してください。

(5) シラバス

各年度に開講されるすべての授業科目について、担当教員によって『シラバス』が作成されています。シラバスには、授業の概要と授業計画、学習目標、成績評価基準など、科目に関するすべての情報が記されており、Web 上で公開されています。

▼奈良女子大学シラバス検索ページ

<https://camxs.nara-wu.ac.jp/campusweb/slbssrch.do>

(6) 授業の実施方法（開講形態）

授業の実施方法（開講形態）は、教室（対面）で受講する「対面授業」と、学内の教室以外の場所や自宅など、インターネットが利用可能な環境において受講する「オンライン授業」や、「オンデマンド授業」があります。

- ・オンライン授業：Zoom のビデオ会議機能などを利用して、リアルタイムで実施する授業
- ・オンデマンド授業：授業教材（動画コンテンツなど）を配信することにより実施する授業で、自分の好きなタイミングで受講することが可能

オンライン、オンデマンド授業の受講に必要な情報（ビデオ会議への接続 URL 等）は、シラバスやLMSを通じて通知されますので、よく確認するようにしてください。

授業によっては、全 15 回のうち対面とオンラインを組み合わせるもの（ハイブリッド、ハイフレックス）もあります。本学では、さまざまな授業の開講形態を次の表のとおり仕分け、「対面授業」と「メディア授業」に区別し、各科目のシラバスにおいて、「開講形態」と「授業区分（対面授業とメディア授業の区別）」を明記しています。

区分	開講形態	授業方法
対面授業	対面	すべて対面で行う授業
	対面中心	対面授業とオンライン・オンデマンド授業を併用して実施するもので、対面の割合が授業時間の半数以上のもの（15 回の場合 8 回以上）
対面授業	ハイブリッド	すべての学生に授業時間の半数以上の対面での出席を求める場合（原則対面）
メディア授業	オンライン（オンデマンド）中心	対面授業とオンライン・オンデマンド授業を併用して実施するもので、対面の割合が授業時間の半数未満のもの（15 回の場合 8 回未満）
	オンライン（オンデマンド）	すべてオンライン（オンデマンド）により実施する授業
	ハイフレックス	すべての学生に授業時間の半数以上の対面での出席を求めない場合（自由選択）

(7) 休講と補講

授業担当者が、公務や急病などによって授業が行えなくなる場合、休講となります。休講の予定は、原則として 1 週間前から掲示しますが、当日連絡での掲示となることもあります。掲示がないのに授業担当者が来ない場合は、学務課まで問い合わせてください。

休講はキャンパスクロスでも確認することができます。電話での問い合わせはできません。なお、休講などで授業時間が不足する場合に、学期末の補講期間を使って補講が行われることがあります。掲示などの連絡に注意してください。

また、気象条件の悪化によって、全学で授業が休止されることがあります。奈良県北部（北西部、北 東部、五條・北部吉野地域の市町村）に特別警報あるいは暴風警報が発令された場合は、次の表のような扱いとなります。

警報の種類と発令の時間	休講措置
午前 7 ～ 9 時の間に特別警報あるいは暴風警報が発令された場合	警報が解除されても午前中は全学休講
午前 11 時を過ぎても特別警報、暴風警報が解除されない場合	午後も全学休講
授業開始後に特別警報、暴風警報が発令された場合	原則としてその時限の授業は平常通り実施、次の時限以降は全学休講

(8) 交通機関の運休に伴う授業の取扱について

気象条件の悪化等により次の交通機関の各線とも、全区間で運休した場合、授業を休講とします。

- ・近畿日本鉄道 近鉄難波線・奈良線（大阪難波～近鉄奈良）
- ・J R 西日本 大和路線（J R 難波～加茂）

なお、運転再開された場合の取扱は次のとおりとします。

運転再開時刻	授業の取扱
午前 7 時までに運転開始された場合	平常どおり
午前 11 時までに運転開始された場合	午後授業実施（午前中休講）
午前 11 時を過ぎても運転開始されない場合	全日休講

※ 自宅周辺や通学経路の状況により通学が困難な場合は無理をして通学せず、後日学務課各担当係に相談してください。

(9) 授業の公欠・忌引

特殊な事情（以下）で授業を欠席する場合には、公欠・忌引の届け出によって欠席したものとして取扱いません。事由によって、次の表に示す係で所定の届け出用紙に記入して手続を行い、科目担当教員に手渡してください。

公欠扱いとなる事項

事 由	期 間	担当課・係
教育実習、栄養教育実習	実習の期間及び実習校との打合せ期間	学務課・学務係
教職実践演習	附属学校園での学校観察日	
介護等体験	体験の期間	
博物館実習	実習の期間	
学校保健安全法施行規則に定められた感染症の治療（※1）	医師の診断等による期間	学務課・各所属学部（大学院）係
課外活動関係（※2） （近国体を含む。）	原則として競技大会、コンクール等開催日のみ	学生生活課・学生生活係
裁判員	裁判所へ出頭する期日	
就職試験（※3）	原則として試験日のみ	

※ 1 感染症の治療による公欠を願い出る場合は、本学所定の様式（学校感染症 登校許可証明書）を診断された医師により作成してもらうか、医師の診断書を所属学部（大学院）係に提出してください。（本学指定様式に対応いただけるかは、各医療機関の判断になります。また、発行手数料については、各医療機関にご確認ください。）本学所定の様式は下記の URL からダウンロードできるほか、学務課の窓口にも置いています。

https://www.nara-wu.ac.jp/nwu/education/kansenshou_certificate.pdf

本学で公欠として認められる感染症は、本学所定の様式をご確認ください。

- ※ 2 課外活動関係で公欠を願い出る場合は、大会等の実施要項等及び願出者が出場等することが確認できる資料を添えてください。
- ※ 3 就職試験による公欠を願い出る場合は、試験当日、就職試験を実施される企業等のご担当者を確認印を押印いただく必要がありますので、事前に学生生活課就職係で関係書類を受け取ってください。

忌引扱いとなる事項

続 柄		期間（葬儀日を含む）	担当課・係
父母・配偶者		7 日以内	学務課・所属の学部係
子		5 日以内	
祖父母・兄弟姉妹		3 日以内	
会葬札の葉書等死亡日が確認できる書面を添付すること 葬儀のため遠隔の地に赴く場合にあっては、往復に要する日数を上記期間に加えた日数とする その他特別な事情による場合は、上記期間の限りでない			

(10) 欠席届

公欠・忌引とは別に、病気やその他の理由で連続 1 週間以上欠席するときは、その都度学部長あてに届け出なくてはなりません。『キャンパスライフ 授業の公欠・忌引』ページ参照

(11) 奈良女 ID、メールアドレスについて

奈良女 ID は情報基盤センターより交付される大学のサービスを受けるための個人用 ID です。発行と同時に ID に紐づく本学専用のメールアドレスが付与されます。メールアドレスには大

学からのお知らせや、LMS からの講義に関するお知らせが配信されますので、常にチェックできるようにしておいてください。

メールアドレスは以下の形式です。

(奈良女 I D) @cc.nara-wu.ac.jp

※ (奈良女 I D) 部分には入学時に配付された個人用の ID が入ります。

奈良女メールアドレスあてに送信されたメールは、ウェブ上で確認することが可能で、使用するパソコンがインターネットに接続されていれば、学内外を問わずメールの送受信（一定の条件があります）ができます。利用方法の詳細は、情報基盤センターホームページで確認してください。

▼奈良女子大学ホームページ

HOME > 在学生の方へ > 奈良女メール

<https://www.nara-wu.ac.jp/itc/narajomail.html>

(12) 学習支援システム (LMS)

本学では、キャンパスクロスの学習支援システム (LMS=Learning Management System、以下「LMS」と略) を全学的に使用しています。この LMS は web 上で授業内容の告知や教材の提示、小テストやレポートの提出、教員からの学習指導などに使用されますので、ご自身が履修登録した科目について漏れのないように自己登録してください。LMS へのアクセスは、パソコン、タブレット、スマートフォンから可能です。詳細は、本学ホームページから参照してください。

▼奈良女子大学ホームページ

HOME > 修学案内 > 奈良女子大学ポータルシステム (Campus-Xs)

<https://www.nara-wu.ac.jp/nwu/education/affairs/camxs/index.html>

(13) 学習支援活動

大学生の勉強は、授業に出て単位を取るだけではありません。本学では、全学的連携組織である「学生支援室」の下で、学術情報センターや国際戦略センターなどが各種の学習支援企画を実施しています。いずれも日頃の学習やスキルアップ、国際交流体験に役立つ企画です。下記の案内を参考に、積極的な学びに取り組んでください。

①学術情報センター（附属図書館）・情報基盤センターの学習支援企画

学習支援企画一覧

学習	企画名	日程	企画の概要	申込み	問い合わせ先・詳細
情報基盤センター	新入生向けネットワークガイダンス	4月上旬～中旬	情報セキュリティやセンター管理パソコンに関する説明をします。	★入学式で案内を配付します。	情報基盤センター 0742-20-3251 pcroom@cc.nara-wu.ac.jp https://www.nara-wu.ac.jp/itc
学術情報センター（附属図書館）	新入生向けガイダンス	4月, 10月初旬	学術情報センターの施設・資料の利用方法や検索方法についてセンター内ツアーを交えてご案内します。	●詳細：学術情報センターHPでお知らせします。 ★入学式でも案内を配付します。	情報サービス係 0742-20-3303 service@cc.nara-wu.ac.jp https://www.nara-wu.ac.jp/aic
	留学生向けガイダンス	4月下旬 10月下旬に予定	留学生向けに、学術情報センターの利用方法や蔵書検索方法、Webサービスの活用などをわかりやすくご案内します。センター内ツアーも行います。	●詳細：学術情報センターHPでお知らせします。	
	論文の探し方・データベースの使い方講習会	5～6月、 10～11月に予定	学術情報センターでは、国内・外の様々な文献を探せるデータベースや電子ジャーナルを各種ご用意しています。皆様の学習・研究に役立つよう、検索から文献の入手までを分かりやすくご案内します。	●詳細：学術情報センターHPでお知らせします。	
	卒論・修論のための文献探索講座	6月, 11月に予定	先行研究を探すための文献データベースの使い方、文献の入手方法、参考文献として利用する際の注意点など、論文作成に役立つスキルをまとめてご紹介します。		
	オーダーメイド講習会	日程はご希望に応じて調整	定例の講習会に参加できなかった方のために、ご希望の日程・内容で承ります。（蔵書検索方法・新聞記事の探し方・参考図書の利用法・電子ジャーナルや各種データベースの使い方など..）	●ご相談・お申し込み先：サービスデスク ●詳細：学術情報センターHPで案内しています。	

②留学・国際交流活動について（国際戦略センター（N103）、国際課（N102））

（1）海外留学を希望する学生の方へ

○留学相談・説明会

- ・国際戦略センターでは、期間や種類を問わず、幅広い留学の相談を受け付けています。相談希望者は、まず“ならじょ”から留学!! サイト内の各種情報を確認したうえで、留学相談フォームからご連絡ください。

▼留学生相談フォーム

<https://www.nara-wu.ac.jp/iec/abroad/>

また、海外留学説明会、海外留学等の体験報告会、TOEFL、IELTS についての説明会などを実施しています。

○海外短期研修

国際戦略センターでは、以下をはじめとした様々な海外短期研修を実施しています。詳細は「“ならじょ”から留学!!」サイトをご覧ください。

- ・**グローバル女性人材養成プログラム（フィリピン）（8～9月）**
QQ English IT パーク校にて研修を行います。滞在形式は寮。特にスピーキング能力を高めるためのトレーニングを集中的に行い、英語運用能力の向上を図ります。
- ・**グローバル女性人材養成プログラム（ニュージーランド）（2月～3月）**
リンカーン大学 English Language Centre にて研修を行います。滞在形式はホームステイ。英語学習に留まらず、リンカーン大学の学生との交流や地元のイベントへの参加を行う予定です。
- ・**グローバル女性人材養成プログラム（ヨーロッパ）（2～3月）**
パリやブリュッセルなど欧州に本部を置く国際機関を訪問し、国際機関の役割と活動について理解を深めます。また「水の都」ヴェネツィアなどの世界遺産を見学し、欧州の歴史と文化を学びます。さらに欧州の学生との交流を通じ、欧州における日本文化の影響などを考察します。

○国際チャレンジ活動

科目化されていない大学等主催の海外研修や、個人で計画した海外における活動（留学、インターンシップ等）の中で、キャリア形成に有益であると認められるものについて単位を認定します。事前に登録は必要ありません。なお、海外における活動時間は22.5時間以上必要（オンライン可）です。

注）4回生は、活動終了日が10月1日以降の計画については申請できません。
詳細は「“ならじょ”から留学!!」サイトをご覧ください。

○国際チャレンジ活動（アカデミック）

海外での研究発表（学会やシンポジウム、研究交流会など）や共同研究のうち、キャリア形成に有益であると認められるものについて単位を認定します。活動時間は22.5時間以上必要（オンライン可）。詳細は「“ならじょ”から留学!!」サイトをご覧ください。

○交換留学（1年以内、正規生のみ）

この制度は、奈良女子大学と海外の大学が締結している“授業料等を不徴収とする大学間学生交流協定”に基づいて、海外の協定大学に留学する制度です。次のような特徴があります。

- ・留学先の大学で取得した単位の互換が可能（認定審査あり）。
- ・留年せずに卒業できる（留学時期や学生の取得希望資格等により、留年が必要な場合もあり）。
- ・留学中の授業料は、留学先大学ではなく本学に納める。
募集時期は、原則留学開始前年度の7月頃です。（お問い合わせ先：国際課留学生係）

○海外インターンシップ（セブ）

グローバル女性人材養成プログラム（フィリピン）の研修先にて、半年間のインターンシップを行います。宿泊や食事等は無料で提供されます。また、週に20時間のマンツーマン英語レッスンを受講することができます。6年一貫プログラムの一部として参加可能（学部、コースにより制限有）。（お問い合わせ先：国際戦略センター）

○単位認定留学制度

交換留学以外の留学であっても、一定の条件のもと、本学が指定する留学先にて単位取得をした場合は、単位を認める制度です。在籍の取り扱いには、以下の2パターンがあります。

・パターンA

留学期間を在学期間に含める。卒業要件を満たせば4年で卒業可能。（ただし、留学費用と本学への学費を同時に納める必要あり。）

・パターンB

留学期間中は休学する。（休学期間中、本学への学費支払いは必要なし。）

詳細については、5月に実施する海外留学説明会でお知らせします。（お問い合わせ先：国際戦略センター）

○語学力向上支援

- ・「Global Studies and Communication A・B」（前・後期）を開講（授業外課題としてオンライン英会話の受講含）
- ・キャリアデザイン・ゼミナール「TOEFL対策講座」を開講。
- ・国際戦略センターでは、TOEFLやIELTS等をはじめとした外国語学習に関する図書の貸出をしています。

(2) 留学生の方へ

○講座

- ・日本語科目「日本語FⅠ（1）（2）」（前・後期）、「日本語FⅡ（1）（2）」（前・後期）、「日本語FⅢ（前期）」、「日本語FⅣ（後期）」、「日本語JⅠ・Ⅱ」（前・後期）、「日本事情A・B」（前・後期）を開講。
- ・キャリアデザイン・ゼミナール「ビジネス日本語A・B」（前・後期）を開講。
- ・「国際キャンパス奈良への招待A・B」（前・後期）を開講。
- ・キャリアデザイン・ゼミナール「留学生キャリア形成チャレンジ」を開講。
- ・キャリアデザイン・ゼミナール「国際交流キャリア形成支援」を開講。
- ・教養科目「Modern Japanese Literature and Media A・B」（前・後期）、「Japanese Culture and History A・B」（前・後期）、「Contemporary Japanese Society A・B」（前・後期）、「Japanese Culture and Society from a global perspective A・B」（前・後期）を開講。

○イベント

- ・国際戦略センターでは、留学生が日本の文化・歴史・産業等について学ぶことのできるイベントを開催しています。

○図書の貸出

- ・国際戦略センターでは、日本語能力試験対策をはじめとした日本語、日本文化に関する本の貸出をしています。

○学習・生活相談

- ・国際戦略センター及び国際課では留学生の学習や生活、修学上の悩みの相談に対応しています。
相談したいことがある場合は、遠慮なく国際戦略センターもしくは国際課へお越しください。

▼奈良女子大学 留学生のためのサイト
<https://www.nara-wu.ac.jp/iec/int/ja/>

(3) 国際的な活動に興味のある方へ

○講座

- ・「国際キャンパス奈良への招待 A・B」(前・後期)を開講。
- ・キャリアデザイン・ゼミナール「留学生キャリア形成チャレンジ」を開講。
- ・キャリアデザイン・ゼミナール「国際交流キャリア形成支援」を開講。
- ・キャリアデザイン・ゼミナール「Global Citizenship Seminar」(後期)を開講。

○留学生チューター制度

チューターは留学生の学習・研究や日常生活(学内外の案内、官庁等での諸手続き、買い物等)の個別のサポートを行うことにより、留学生が短期間で日本の習慣に慣れ、学習・研究効果の向上を図ることを目的としたものです。国際課ではチューターバンクを設け、留学生のチューターとして登録いただける方を募集しています。任用対象は学部2回生以上、有償。(お問い合わせ先:国際課留学生係)

○奈良女子大学国際交流空間 CotoQue (ことく)

大学会館2階にあるCotoQueは、いろいろな国の言葉や文化に触れられるイベントを行う場所です。イベント以外の時間も、日本人学生や留学生が気軽に集い、交流を行う場として活用することができます。イベントの予定は、サイトやポスター掲示にて周知します。また、学生の持ち込み企画も随時募集しています。(お問い合わせ先:国際戦略センター)

○日本語ボランティア

留学生の日本語学習をサポートするボランティアです。ペアを決めて、原則週1回90分活動を行います。あくまでも、友人としてサポートしますので、特別な知識やスキルは必要ありません。募集は、前期と後期に行います。(お問い合わせ先:国際戦略センター)

(4) 海外の国際学会で発表を行う方へ(大学院生のみ対象)

- 「奈良女子大学国際学術交流奨励事業」を実施し、大学院生が国際学会等で発表する際の航空運賃を支援しています。(お問い合わせ先:国際課)

2 単位制

(1) 単位とは

すべての授業科目には単位が設定されています。単位とは、その科目を修得するために必要な時間の量を示すもので、授業時間と受講に必要な自主学習の時間を基礎として算出されます。単位の計算方法は、学校教育法にしたがって、本学の学則と学部規程に定められています。

(2) 単位の基準

授業科目は6つの形態に分類され、単位の計算方法は、授業形態によって異なります。

授業形態	内 容	単位の計算方法	
		教室での授業	自主学习の時間
講 義	教員が学生に対して、学問研究の内容を説明することにより知識を授ける授業形態	15 時間の講義を 1 単位とする	30 時間
演 習	教員の講義とともに、学生も討議・研究発表等を行いつつ指導を受ける授業形態	15～30 時間の演習を 1 単位とする	30～15 時間
実 験	理論や推論が正しいか、一定の条件で試してみる授業形態	30 時間～45 時間の 実験・実習・実技を 1 単位とする	15～0 時間
実 習	学んだ知識をもとに実際の場で学習する授業形態		
実 技	学んだ知識をもとに実地の技術や演技を行う授業形態		
複 合	上記授業方法の二つ以上の併用	授業形態の組み合わせに応じた時間の授業をもって 1 単位とする	

例えば2単位が設定された講義科目であれば、30時間の講義が行われることになります。本学では授業時間を90分ごとに区切り、これを2時間の学修とみなしますから、都合15回の授業が行われるわけです。

なお、単位には授業の時間だけでなく、受講者による自主的な学習の時間も含まれています。授業は、予習・復習、課題や発表の準備など、受講者の意欲的な自主学習に支えられて初めて成り立ちます。このような自主学習については、各科目のシラバスに記されるほか、授業中に担当教員より指示があります。

(3) 入学前の既修得単位、学外での学修の単位認定

本学に入学する前に他の大学や短期大学で履修した授業科目について修得した単位（大学において科目等履修生として修得した単位を含む。）については、一定の条件で本学での卒業要件の履修単位として認定されます。入学前の既修得単位の認定を希望する場合は、入学時に学務課に申請する必要があります。

また、本学に在籍する学生が、本学と単位互換協定を結んでいる他大学で修得した単位や、交流協定を結んでいる外国の大学への正規の留学で修得した単位については、一定の条件で本学の卒業要件の履修単位として認定されます。さらに、その他の学外での学修、例えばTOEIC、TOEFL、実用英語技能検定（英検）等で一定の成績を修めた場合などに、本学の卒業要件の履修単位として認定されることがあります。

以上については、履修登録との関係で、学期の最初に各教授会で単位認定が行われます。いずれの場合も、所定の手続が必要となりますので、期限までに学務課の所属学部担当係に必要書類を提出してください。（申請書は学務課の所属学部担当係にあります。）

区 分	申 請 期 限	必要書類等	提出先
他大学等における 既修得単位に係る 単位認定	前期：令和 8 年 4 月 6 日(月)午後 5 時 後期：令和 8 年 8 月 17 日(月)午後 5 時	申請書 他大学等の成績証明書 科目内容を記した シラバス	学務課の 所属学部 担当係

(4) 外国語科目における単位認定制度

学外での学修において、所定の基準をみたす場合、本学の外国語科目の履修単位として認定することができます。希望者は各外国語の認定に関する注意事項と基準の表を確認し、下記申請期限までに申請書類を学務課の所属学部担当係に提出してください。

なお、提出の前に、各外国語の専任教員もしくは学務課の所属学部担当係に相談することを強く勧めます。

申 請 期 限	必 要 書 類	提 出 先
前期：令和 8 年 4 月 7 日（火） 午後 5 時 後期：令和 8 年 9 月 30 日（水） 午後 5 時	・申請書 ・成績を証明する書類	学務課の 所属学部担当係

（英語の単位認定に関する注意事項）

1. 検定試験の資格は、申請時において当該試験の資格取得後 2 年を経過しないものに限
り、認定の対象となる。
2. 外国語の単位認定対象は、所属学部・学科における外国語の卒業要件単位のみである。
（外国語の卒業要件単位を超えて基礎科目群の単位に算入される単位には、使用でき
ない。）
3. 既に卒業要件単位をすべて修得している外国語科目については、単位を認定しない。
4. 各種検定試験の結果を本学および他の教育機関において既に単位認定に利用している
場合、その結果を再度利用することはできない。
5. 単位認定の上限は 4 単位とする。
6. 単位認定は一つの群につき一度限り行う。
（例. TOEIC で 650 点～ 799 点を取得し 2 単位を過去に認定された者は、もう 2 単
位の申請をする場合は、TOEIC 800 点以上や英検 1 級など、I 群に指定されているい
ずれかの資格を新たに取得する必要がある。ただし、他の注意事項の情報を満たして
いること。）
7. II の群の学修により 2 単位を付与された者が後に I の群の基準を満たした場合は、新
たに付与される単位数は 2 単位である。
8. I の群で 4 単位を付与された者は、II の群での申請はできない。

英語

学修の種類	本学において履修したと みなす授業科目	付与される 単位数
I ・実用英語技能検定 1 級 ・TOEIC L & R 800 点以上 （IP テストを含む） ・TOEFL iBT91 点以上*	コンプリヘンシブ・イングリッシュ、プ ラクティカル・イングリッシュ、アカデ ミック・イングリッシュまたはプレゼン テーション・イングリッシュ	4 単位
II ・実用英語技能検定準 1 級 ・TOEIC L & R 650 点～ 799 点 （IP テストを含む） ・TOEFL iBT68 点～ iBT90 点	コンプリヘンシブ・イングリッシュ、プ ラクティカル・イングリッシュ、アカデ ミック・イングリッシュまたはプレゼン テーション・イングリッシュ	2 単位

* IP テスト：奈良女子大学 TOEIC 実施委員会等が実施する団体特別受験制度によるテスト（下記を参照）

* iBT: internet Based Testing

TOEIC IP テストについて

本学では、TOEIC IP テストを学内で年間 5 回実施しています。

TOEIC（トイーック）とは Test of English for International Communication の略称で、英語によるコミュニケーション能力をスコアで評価する世界共通のテストです。

このテストは日本でも大学や企業で英語能力を測定する基準として取り入れられており、就職活動にも役立っています。

実施月：5 月・6 月・9 月・11 月・2 月（日時は後日掲示します。）

- (1) 申込期間：実施日の約 3 週間前の 2 週間
- (2) 申込場所：生協
- (3) メリット：団体受験により、受験料が個人受験より安価になります。（7,810 円→4,000 円）

（ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語・韓国語の単位認定に関する注意事項）

1. 検定試験の資格は、申請時において当該試験の資格取得後 2 年を経過しないものに限る、認定の対象となる。
2. 外国語の単位認定対象は、所属学部・学科における外国語の卒業要件単位のみである。（外国語の卒業要件単位を超えて基礎科目群の単位に算入される単位には、使用できない。）
3. 既に卒業要件単位をすべて修得している外国語科目については、単位を認定しない。
4. 各種検定試験の結果を本学および他の教育機関において既に単位認定に利用している場合、その結果を再度利用することはできない。
5. 単位認定の上限は、同一グレード（ⅠまたはⅡ）につき 4 単位とする。
6. 単位認定は同一グレード（ⅠまたはⅡ）につき一度限り行う。ただし、先に前期科目のみで 2 単位の認定を受けた者が、上位の資格を以って、同一グレードの残り 2 単位の認定を申請することは妨げない。
7. 単位認定を受けようとする者が、認定対象の外国語科目の一部について既に単位を修得している場合、所属学部・学科・コースにおける外国語の卒業要件単位数を上限として認定する。例）フランス語 8 単位をそろえる文学部生が、既に 6 単位を修得している場合、2 単位のみ認定される。
8. 単位認定を受けようとするグレード（ⅠまたはⅡ）より上のグレードについてすでに単位認定を受けている場合、下のグレードでの申請はできない。同一検定試験の異なるレベルの資格を同時期に取得した場合、両方の資格を以って単位認定を申請することは妨げない。

ドイツ語

学修の種類	本学において履修したとみなす授業科目	付与される単位数
- ドイツ語技能検定試験（独検） 2 級以上 - ゲーテ・インスティトゥートのドイツ語検定試験（Goethe-Zertifikat） B 1 以上 - オーストリアのドイツ語検定試験（ÖSD） B1 以上	ドイツ語 IA、ドイツ語 IB、ドイツ語 IIA、ドイツ語 IIB	8 単位
- ドイツ語技能検定試験（独検） 3 級 - ゲーテ・インスティトゥートのドイツ語検定試験（Goethe-Zertifikat） A 2 - オーストリアのドイツ語検定試験（ÖSD） A 2	ドイツ語 IA、ドイツ語 IB、ドイツ語 IIA、ドイツ語 IIB	4 単位

- ドイツ語技能検定試験（独検） 4 級 - ゲーテ・インスティトゥートのドイツ語検定試験（Goethe-Zertifikat） A 1 - オーストリアのドイツ語検定試験（ÖSD） A 1	ドイツ語 IA、ドイツ語 IB	4 単位
ドイツ語技能検定試験（独検） 5 級	ドイツ語 IA（前期科目のみ）、ドイツ語 IB（前期科目のみ）	2 単位

フランス語

学修の種類	本学において履修したとみなす授業科目	付与される単位数
実用フランス語技能検定試験（仏検） 2 級以上 ・ DELF B 1 以上	フランス語 IA、フランス語 IB、フランス語 IIA、フランス語 IIB	8 単位
・ 実用フランス語技能検定試験（仏検） 3 級 ・ DELF A 2	フランス語 IA、フランス語 IB、フランス語 IIA、フランス語 IIB	4 単位
・ 実用フランス語技能検定試験（仏検） 4 級 ・ DELF A 1	フランス語 IA、フランス語 IB	4 単位
・ 実用フランス語技能検定試験（仏検） 5 級	フランス語 IA（前期科目のみ）、フランス語 IB（前期科目のみ）	2 単位

中国語

【文学部】

学修の種類	本学において履修したとみなす授業科目	付与される単位数
・ 中国語検定 2 級以上 ・ HSK（漢語水平考試） 5 級以上	中国語 I、中国語 II	8 単位
・ 中国語検定 3 級 ・ HSK（漢語水平考試） 4 級	中国語 I、中国語 II	4 単位
・ 中国語検定 4 級 ・ HSK（漢語水平考試） 3 級	中国語 I	4 単位

【生活環境学部】【工学部】

学修の種類	本学において履修したとみなす授業科目	付与される単位数
・ 中国語検定 4 級以上 ・ HSK（漢語水平考試） 3 級以上	中国語 I	4 単位
・ 中国語検定 準 4 級 ・ HSK（漢語水平考試） 2 級	中国語 I（前期科目のみ）	2 単位

スペイン語（※文学部、生活環境学部の一部学科のみ該当）

学修の種類	本学において履修したと みなす授業科目	付与される 単位数
・スペイン語技能検定試験 4 級以上 ・DELE スペイン語検定 B 1 以上	スペイン語初級Ⅰ、スペイン語初級Ⅱ、スペイン語中級Ⅰ、スペイン語中級Ⅱ	4 単位
・スペイン語技能検定試験 5 級 ・DELE スペイン語検定 A 2	スペイン語初級Ⅰ、スペイン語初級Ⅱ	2 単位

ロシア語（※文学部、生活環境学部の一部学科のみ該当）

学修の種類	本学において履修したと みなす授業科目	付与される 単位数
・ロシア語検定試験（日本対外文化協会） 第1レベル以上 ・ロシア語能力検定試験（ロシア語能力検定委員会） 3 級以上	ロシア語初級Ⅰ、ロシア語初級Ⅱ、ロシア語中級Ⅰ、ロシア語中級Ⅱ	4 単位
・ロシア語検定試験（日本対外文化協会） 基礎レベル ・ロシア語能力検定試験（ロシア語能力検定委員会） 4 級	ロシア語初級Ⅰ、ロシア語初級Ⅱ	2 単位

韓国語（※文学部、生活環境学部の一部学科のみ該当）

学修の種類	本学において履修したと みなす授業科目	付与される 単位数
・韓国語能力試験 2 級以上 ・「ハングル」能力検定試験 3 級以上	韓国語初級Ⅰ、韓国語初級Ⅱ、韓国語中級Ⅰ、韓国語中級Ⅱ	4 単位
・韓国語能力試験 1 級 ・「ハングル」能力検定試験 4 級	韓国語初級Ⅰ、韓国語初級Ⅱ	2 単位

(5) 卒業要件

本学を卒業するために最低限必要な単位を、卒業要件単位といいます。本学では学校教育法に基づいて、学則に「124 単位以上」と定め、詳細は各学部規程で決められています。一部の学部・学科では 124 単位を上回る卒業要件が設定されていますから、学部規程をよく見て確かめてください。

また卒業要件単位の内訳として、各学部で教養教育と専門教育のそれぞれに最低必要単位数を設け、さらに各学科・専攻で修得すべき専門科目の単位数を定めています。これらの詳細については、各学部規程と『専門教育ガイド』に掲載される履修案内を熟読してください。

(6) 早期卒業

優秀な成績で所定の卒業要件単位を修得した場合、3 年以上 4 年未満の在学期間で卒業が認められることがあります。これを「早期卒業」といいます。早期卒業については、各学部でそれぞれ取り決めがありますから、学務課の所属学部担当係まで問い合わせてください。

(7) 卒業要件単位に算入できるメディア授業科目の単位数

学部生については、「メディア授業」の科目を受講して取得する単位について卒業要件に算入できる単位数の上限は、他大学等で履修した単位の認定と併せて 60 単位までと定められています。学生の皆さんは、60 単位上限に留意しながら学修計画を立てる必要があります。各科目のシラバスにおいて、「対面授業」「メディア授業」の区別を明記していますので、過度にメディア授業科目の履修に偏らないよう留意してください。なお、卒業要件に算入できるメディア授業の単位数は 60 単位が上限となりますが、在学中に 60 単位を超えてメディア授業を履修し、単位を取得すること自体は問題ありません。

※ 令和 2 年度から令和 5 年度前期に取得した単位については、新型コロナウイルス感染症に対する緊急時の特例的な措置により、メディア授業であっても「卒業要件単位の 60 単位上限に含めない」扱いとします。

3 履修登録

(1) 履修とは

科目の「履修」とは、科目の受講を登録し、受講して成績評価を受け、一定以上の成績を修めて単位を修得することを意味します。したがって各学期の最初に行われる履修登録にミスがあると、履修そのものが成り立ちません。また、卒業要件の充足や各種資格の取得など、入学から卒業までの学年や段階に応じて、計画的に履修していく必要があります。以下の事項によく注意して、充実した学修を進めてください。

履修の流れ

科目の選択 → 科目の登録 → 授業の受講 → 試験の受験 → 単位を修得

(2) 履修登録期間

履修登録期間は下記のとおりです。

	時期	内容	備考
前期	4月3日(金)～4月8日(水)	履修科目の登録	Web履修登録・修正 (キャンパスクロスで登録・修正)
	4月16日(木)～4月22日(水)	履修登録の修正	
後期	9月25日(金)～9月30日(水)	履修科目の登録	
	10月8日(木)～10月14日(水)	履修登録の修正	

(3) 履修登録方法

①履修登録

履修登録は、「キャンパスクロス（教務システム [Campus-Xs]）」を使用して、Web上で行います。個別に通知されたID、パスワードを使用してログインし、履修登録期間内に必ず登録を完了してください。履修登録期間を過ぎた後の修正はできませんので、十分注意して、確実に登録してください。（履修登録期間及び履修登録修正期間以外は、キャンパスクロスの「履修登録」メニューは使用できなくなります）

履修登録期間中は、自宅のパソコン、スマートフォン等からいつでも登録・修正をすることができます。

▼教務システム [Campus-Xs] ログインページ

HOME > 修学案内 > 奈良女子大学ポータルシステム Campus-Xs

<https://camxs.nara-wu.ac.jp/campusweb/top.do>

履修登録以外の機能を含めた詳細な操作手順は、キャンパスクロスログイン後のページに掲載しています。

②履修登録の修正

履修登録の修正（追加・取消）は、各学期の履修登録修正期間にキャンパスクロスを使用して、履修登録と同様にWeb上で行います。履修登録修正期間中、キャンパスクロスの「履修登録」メニューが再度使用できるようになりますので、登録科目の修正を希望する場合は、履修登録期間と同様の方法で履修科目の追加・削除をして再度登録を行ってください。履修登録の修正をしない場合は、キャンパスクロスでの操作・登録は必要ありません。

③登録内容の確認

履修登録修正期間経過後、学務課において登録内容の確認を行います。その結果、次のような場合は、学務課において登録内容を修正することがあります。

- ・登録すべき必修科目が登録されていない場合
- ・履修制限等で履修できないと言われた場合
- ・指定したクラス以外のクラスを登録した場合
- ・事前の予備登録等が必要な科目で、予備登録等を行っていない場合

学務課から登録内容について連絡事項がある場合は、キャンパスクロス・メール等を使用し、通知しますので、必ず確認してください。学務課による確認を経て履修登録内容の確定となります。履修登録結果は、キャンパスクロスの「履修確認」で必ず確認してください。もし、履修登録修正期間後にやむを得ない事情により訂正したい場合は、学務課所属学部係で相談するようにしてください。

(4) 履修登録時の留意事項

①履修登録時の留意事項

- ・1年間に登録できる単位の上限があるので、注意すること。
- ・二重登録（同一時間帯に複数科目の登録）は、できません。
- ・教育実習等の開講期が不定期、その他、不定期集中の科目は前期に履修登録すること（後期に再度登録する必要はありません）。成績は後期科目の成績と同時に通知されます。
- ・履修制限を行う授業科目があるので、注意すること。
- ・入学年度により履修方法が異なる場合があります。「全学教育ガイド」で確認すること。
- ・「放送大学教育協力型単位互換科目」については、集中講義の欄に登録すること。
- ・登録で分からないことがある場合は、事前に所属学部の教務担当教員、クラス担当教員や学務課の各学部（大学院）係に相談すること。

②履修登録修正時の留意事項

- ・登録取消を行った科目の単位数は、履修登録上限単位数から除かれます。
- ・当該学期分以外の履修登録を修正することはできません。
- ・前期に履修登録が必要な不定期、その他、不定期集中の科目は、前期の履修登録修正期間に修正する必要があります。
- ・指定したクラスがある科目のクラス変更はできません。
- ・登録修正期間を過ぎてからの修正は認められません。必ず修正期間中に手続きを行ってください。修正期間に登録を削除せず、履修しなかった場合には、成績評価（GPA）に影響することがあります。但し、登録修正期間後に日程が判明した集中講義については、集中講義同士の日程の重複等、個人的な事情によらない場合に限り、別途申請して認められれば修正することができます（GPA算出対象とはなりません）。この場合、修正理由が発生した後、速やかに申請してください。

(5) 履修登録単位の上限

①卒業要件単位の履修登録の上限設定

卒業要件単位の履修については、1年間に履修登録できる単位数に上限が設けられています。これは授業と自主学習の質を確保するために、法的に義務づけられていることで、本学では各学部規程で定められています。編入学生などに対して、特例が設けられている場合がありますから、各学部規程と『専門教育ガイド』でよく確かめてください。

これはあくまでも「履修登録できる」単位数で、結果的に取得した単位数とは違いますから、よく注意してください。

②卒業要件外の科目

本学の授業科目には、修得した単位が卒業要件単位に算入されるものと、算入されないものとがあります。後者を「卒業要件外」と呼びます。基本的には「キャリア教育科目」（一部の科目を除く。）がこれに該当します。卒業要件外の科目の履修には、履修登録単位数の上限が課せられません。

（6）成績優秀者表彰

1 年間の成績が優秀だった学生については、各学部の定めるところにしたがって表彰されます。また成績優秀者については、翌年度の履修単位数の上限が緩和されます。詳細は『専門教育ガイド』を参照してください。

4 試験・成績及び学修成果

(1) 試験

学期末試験は、各学期末に設定された試験期間中に行います。試験や学期末レポートについては、授業中に指示されるほか、掲示によって予告されます。試験の時間や教室が、通常の授業と異なる場合がありますから、必ず確認してください。

試験の際には、必ず学生証を携行し、監督者の指示に従ってください。不正行為は厳しく処罰されます。対面かオンラインかを問わず、試験においてカンニング等の重大な不正行為を行った場合、当該学期の「全履修科目の単位を認定しない」等の措置をとります。また、レポート作成時に他者の著作や論文などを「調べて、書き写す」場合、出典を明らかにし、「引用」していることを明示しなければなりません。このルールを守らない場合、「盗用・剽窃」行為と見なされ、試験時におけるカンニングと同様、「不正行為」として厳しい処分の対象になります。さらに、他の学生のレポートを写して自分で書いたものとして提出した場合、写した本人だけではなく、写させた者も処分の対象になります。

病気や事故など、やむを得ない事情によって試験が受けられない場合は、「特別の方法による成績評価」の適用を申請することができます。該当者は、すみやかに学務課の所属学部担当係に連絡してください。

(2) レポート

授業担当教員の指示により、レポートを学務課に提出する科目があります。レポートの課題や提出期限等は掲示で通知しますので、期限までに学務課に設置しているレポート提出ボックスに提出してください。なお、レポート提出ボックスを使用できる時間は以下のとおりですので、時間内に提出するように注意してください。

提出期限日の午後 5 時以降は受け付けできません。提出期日・時間は厳守してください。

学務課レポート提出ボックス使用可能時間	備 考
午前 8 時 30 分～午後 6 時 00 分 (授業期間外：午前 8 時 30 分～午後 5 時 00 分)	土・日曜日、祝日、夏季大学一斉休業・ 年末・年始等の閉室時は使用できません。

(3) 成績評価

①成績評価の観点

授業科目の成績評価は、試験だけでなく、多様な観点から行われます。評価の観点と割合は、各科目のシラバスに示されています。

②評価基準

科目ごとの成績は、100 点満点でつけられた素点に基づき、シラバス記載の「学習到達目標」に照らして、次の区分で評価されます。

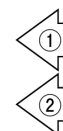
素 点	評 価
90 点以上	S (学習到達目標を十分に達成し、傑出した水準に達している。)
90 点未満 80 点以上	A (学習到達目標の達成度が優れている。)
80 点未満 70 点以上	B (学習到達目標の達成度が良好である。)
70 点未満 60 点以上	C (学習到達目標を達成している。)
60 点未満	F (学習到達目標を達成していないので単位が認定されない。)

「C」以上の成績を修めないと、履修単位が認められません。

(4) GPA (Grade Point Average) 制度

GPA とは、各自が履修した科目の成績を一定の方法で（計算式は下記）集計して、大学での学びの状況を数値化して示すものです。大学での学びの成果は決して数値だけで計れるようなものではありませんが、各自が自らの学びの状況を把握するための一つの指標として活用してください。

$$\text{GPA} = \frac{\text{GP: Grade Point} \times \text{《(GPA算出対象科目の素点-50) ÷ 10》} \times \text{当該科目の単位数}}{\text{履修したGPA算出対象科目の単位数の総和}}$$



GPA 計算式

科目名	単位数	素 点	評 価	G P
○ ○ 学概論	2	90	S	4
○ ○ 学講読	2	65	C	1.5
□ □ 学演習 I	1	45	F	0
△ △ 実習 I	1	80	A	3
△ △ 実習 II	1	999	放棄	0

*GPA の実際の算出例

$$\textcircled{1} \cdots (4 \times 2) + (1.5 \times 2) + (0 \times 1) + (3 \times 1) + (0 \times 1) = 14$$

$$\textcircled{2} \cdots 2 + 2 + 1 + 1 + 1 = 7$$

$$\underline{\underline{\text{GPA} = 14 \div 7 = 2}}$$

※ 1 評価が「F」、「不可」の場合は G P = 0 とする。

※ 2 GPA 算出対象科目は、卒業要件科目のうち 100 点満点で評価するもの。それ以外の「認定」科目や教員免許等の資格関連科目、単位互換の他大学科目、キャリア教育科目（「現代社会と職業」除く）は対象外。

また、所定の手続きを経て履修登録を取り消したものは除くが、「履修放棄」した科目は 0 として算出対象になるので、履修登録修正の手続きには十分に気をつけること。

算出された各学期および累計の GPA 値は、その学期の成績表に記載されると同時に、指導を担当している学科・コース等の教員にも通知されます。GPA 値は、各自の学びの状況把握に活用されると同時に、奨学生や成績優秀者を学内で選考する際の資料の一つとしても使われます。それ以外、外部に出す成績証明書等に記載されることはありません。

(5) 成績照会

成績は教務システム（Campus-Xs）の「成績照会」機能より確認してください。

(6) 成績評価の確認（異議申し立て）

各自の成績を見て、疑問点があった場合は、成績照会開始後の指定する期間に、学務課の所属学部（大学院）係に申し出てください。評価内容の確認とともに、必要に応じて担当教員から説明を求めることができ、場合によって成績が訂正されることがあります。申出の期間は掲示等で通知します。

(7) ディプロマ・ポリシー達成状況評価（令和 2 年度以降学部入学者）

ディプロマ・ポリシーに掲げる要素について、現時点でどの程度身につけているかを各授業科目の履修成績に基づき数量化し、レーダーチャートで可視化するディプロマ・ポリシー達成状況評価を令和 5 年度から導入しました（※1, 2）。

現在までの学修成果を可視化し把握することで、どの要素は十分に学べているのか、どの要素が不足しているのか、それをもとに、今後何をどのように学べばよいのかを皆さん自身が考え、主体的な履修選択と学びに繋げていただくことを目的としています。また、大学が皆さんの学修成果を把握することで、本学の教育活動を見直し、さらなる改善に活用します。

ディプロマ・ポリシー達成状況を示すレーダーチャートは、教務システム（キャンパスクロス）の「学生カルテ」機能より確認できます。

ディプロマ・ポリシー達成状況評価の結果（各評価項目の到達度）は、学部・学科が実施する教育内容における皆さんの履修選択の特徴を含めた結果が形となって表れるものであり、卒業時に全ての評価項目を達成（100%）することを求めるものではありません。また、履修科目の成績全てが反映されるものではなく、GPAとの相関はありません。

算出される結果は、あくまで自身の学びを把握するためのものであり、他の学生と数値を比較することや、奨学生や成績優秀者の資料に使用されることはありません。また、外部に出す成績証明書等に記載されることもありません。

- ※ 1 工学部においては、PBL（課題解決型チーム学習）を中心とした主要科目のルーブリックをもとに学習到達度評価を行い、独自のシステムで可視化を行います。詳しくはガイダンス等で確認してください。
- ※ 2 令和5年度の制度導入以降、達成状況評価の方法及びカリキュラムマップは、常に点検、見直しを行うため、一度算出した達成状況評価結果やレーダーチャートが変更になることがあります。

5 学籍・修業年限

(1) 修学年限と在学年限

入学から卒業までに要する期間を、「修業年限」といいます。本学では、学部では4年、編入学では2年と定められています。また、学生として在学が可能な年限を「在学年限」と呼び、修業年限を超えて在学することができます。学部では最長8年、編入学の場合は6年です。これらの期間には、休学の期間は含まれません（後述）。

(2) 在学中の留学

在学中に国外の大学などに留学する場合、事前に申請して学長の許可を得る必要があります。許可を得た留学の期間は、本学の在学期間に算入されます。

本学は、世界各国の大学と交流協定を結んでいます。その協定に基づいて、留学先に授業料を納めることなく留学できる制度、短期の交換留学制度などを設け、本学の学生を留学生として派遣しています。このほか、留学に関わる様々な奨学金制度もあります。留学については『キャンパスライフ』の「国際交流活動（海外留学）」の欄、本学のホームページや掲示で紹介しています。詳しくは国際課留学生係まで相談に来てください。

(3) 学籍異動

入学から卒業までの、学生の身分に関係する事柄の記録を「学籍」といいます。次の事項については、学籍上の身分が異動することになり、そのための手続が必要です。教授会の決定を必要とする重要なことから、よく考えて、家族や所属する学科等の担当教員ともよく相談のうえ、学務課の所属学部係で手続を行ってください。担当教員が不明な場合は学務課の所属学部係に問い合わせてください。

①休学

病気などやむを得ない事由によって、3か月以上にわたって修学が継続できない場合、許可を得て休学することができます。以下の条件で、手続が必要です。なお、休学可能な年限や在学可能な年限は、次表のとおり各区分で異なりますので注意してください。

区 分	修業年限	在学年限	休学年限（累計）	在籍年限（計）
学 部	4 年	8 年	4 年	12 年
3 年次編入学	2 年	6 年	2 年	8 年

- ・ 休学の手続には、「休学願」【保証人の記名捺印が必要】とともに、詳細な理由書が必要です。
また、病気・負傷のため休学する場合は、医師の診断書も併せて必要です。
- ・ 認められる休学期間は、1 回に 1 年以内ですが、特別な事情があると認められれば、延長することができます。
- ・ 休学を許可された期間内であっても、その理由がなくなった時は、許可を得て復学することができます。なお、この場合は「復学願」の提出が必要です。
- ・ 休学期間は、卒業に要する修業年限に含まれません。したがって休学を含めて 4 年間の在籍期間では卒業できないことになります。
- ・ 休学期間の累計は、学部で 4 年間、編入学で 2 年間を超えることができません。
- ・ 休学期間は在学年限に含まれません。学部 8 年、編入学 6 年の在学年限の場合、休学期間の累計を加えて、学部で 12 年、編入学で 8 年の在籍が認められます。
- ・ 授業料納入月（4 月と 10 月）以前（3 月又は 9 月まで）に休学手続を行った場合は、休学を許可された期間分の授業料が免除されます。

- ・ 授業料未納者が休学を許可された場合でも、二期分が未納となった時点で「授業料未納による除籍」となります。
- ・ 休学した場合、その学期の授業科目の成績評価を受けることができません。ただし、休学前の学期に履修した科目については、「特別の方法による成績評価」の適用を申請することができます。

以上の条件と手続を踏まえて、担任の教員や学科・専攻の教務担当教員などによく相談した上で、学務課の所属学部係で手続を行ってください。

②復学

休学を終え、「復学届」を提出することで、通常の学生生活に戻ることができます。休学期間が終わる1か月前までに、学務課の所属学部（大学院）係で手続を行ってください。復学した学期に履修した科目については、「特別の方法による成績評価」の適用を申請することができます。

なお、休学期間中に復学を希望する場合は、「復学願」を提出し、許可を得なければなりません。

③退学

学業が続けられなくなった場合、退学によって在籍を打ち切ることができます。「退学願」【保証人の記名捺印が必要】に詳細な理由書を添えて、学務課の所属学部（大学院）係に提出してください。退学願を提出するためには、それまでの授業料が納入済でなければなりません。

また、授業料納入月（4月と10月）以前（3月又は9月まで）に手続を行えば、退学の日翌月以降の授業料が免除されます。なお、許可を得て退学時の年次に再入学を認められることがあります。

④除籍

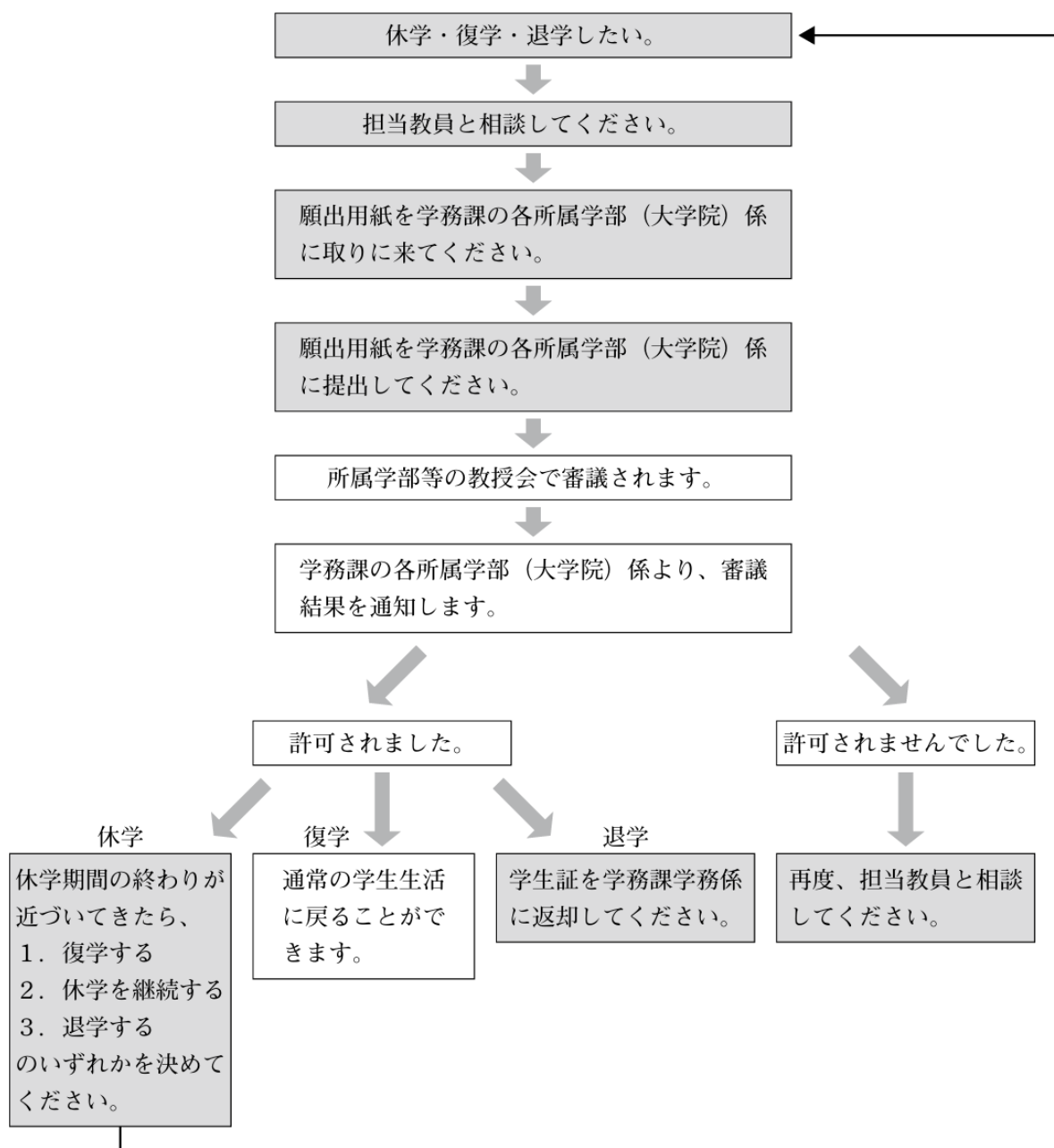
次の場合、学長によって除籍されます。

- ・ 所定の在学期間を超えても、学部の卒業資格が取得できない場合
- ・ 休学期間の累計の上限を超えても、なお修学できない場合
- ・ 入学料について、免除や徴収猶予が一部免除、あるいは不許可となり、期日までに所定の入学料が納入されなかった場合
- ・ 授業料を期日までに納入せず、督促してもなお納入されない場合。（この場合は、除籍時の年次に再入学が認められることがあります。）

⑤懲戒

学則に背き、学生としての本分に反する行為があった時は、教授会の議を経て学長による懲戒が行われます。懲戒として、戒告、停学、退学があります。

休学・復学・退学の手続き



- 休学・退学の願出理由が病気・負傷の場合は、詳細な理由書と併せて医師の診断書が必要です。
- 復学については、復学する時期によって手続が異なります。
 - ・ 休学許可期間満了時の復学……「復学届」を提出してください。許可は不要です。
 - ・ 休学許可期間中の途中復学……「復学願」を提出し、許可を得る必要があります。（上図）
- 奨学金受給者は別途手続が必要となりますので、学生生活課学生支援係に確認してください。

Ⅲ 教養教育科目の履修

1	本学の教養教育の理念	33
2	教養教育科目の仕組み・履修単位数	34
3	基礎科目群	40
(1)	外国語科目	40
	外国語の履修	40
	外国語の単位	40
	英語	43
	ドイツ語	45
	フランス語	48
	中国語	50
	その他の外国語	52
	外国語科目クラス分け・教科書一覧	53
(2)	日本語科目	58
(3)	保健体育科目	59
(4)	情報処理科目	62
4	教養科目群	63
5	積極開放科目	64

Ⅲ 教養教育科目の仕組み・履修案内

1 本学の教養教育の理念

「奈良女子大学的教養 — 5つの問いと 7つのアプローチ」

奈良女子大学によろこそ。

大学が「大学」である所以の一つは、高度な専門研究・教育と共に教養教育にあります。では「教養」とは何でしょうか。

よくある誤解は、幅広い知識や常識、というものです。たしかに知識は大切です。しかし死んだ知識をいくらたくさん持っていたとしても、それは教養ではありません。では、「生きた」知とは何でしょうか。

実はこれは今、日本中の大学で問い直されている問題なのです。私たちの奈良女子大学では、「奈良女子大学的教養」を敢えて以下のような5つの問いのかたちで皆さんに提起したいと思います。これらの問いを自ら考え、共に実践すること、それ自体が教養教育であり、その結果、皆さんの身についたものが「教養」である、と私たちは考えます。

5つの問い —

1. 大学ならではの学びとは何ですか？ [大学]
2. 女性ならではの知というのはありますか？ [女子]
3. 奈良で学ぶことを通じてあなたは世界にどんな貢献ができますか？ [奈良、グローバル]
4. 大学で学ぶことはあなたと未来の世代の人たちにとってどんな意味がありますか？ [次世代育成、未来]
5. あなたがよく生きるために必要な知と技（わざ）は何ですか？ [価値、モラル、知識、スキル]

これら5つの問いを皆さんが考え、実践するために、奈良女子大学の教養教育で私たちが重視しているのは、次の7つのアプローチです。

7つのアプローチ —

1. 知の創造に参加する

大学は知の創造の場であり、奈良女子大学の教員は一人ひとりが第一線の研究者です。教養教育においても、多様な分野の教員の研究の最先端に触れることを通じて学びます。

2. 社会的実践に飛び込む

大学の知は社会の現実と切り結ぶ中で創造されます。社会は豊かな学びの源泉でもあります。仲間と共に社会的な問題の解決に取り組む実践を通じて、学びの意味を認識し、実感できることを重視します。

3. 本物に触れる

奈良は様々な「本物の」文化財や出来事に接する機会に恵まれた地です。大学でも、本物のモノや人や古典に触れることを通じて学びます。

4. 背伸びする

大学の授業は、受け身で知識を与えてもらう場ではありません。教師が敢えて教えず、学生が少し背伸びして、自ら行動し、調べ、考え、気づくことを大切にします。また、そのために自らの生活と学びを設計し、管理するトレーニングを行ないます。

5. しっかり書く

よく生きるためには、物事を論理的に、そして深く考えることが必要です。言葉を正確に読み取り、聞き取り、的確に要約して書くトレーニングを徹底的に行なうことを通じて、タフで懐の深い思考の力を養います。

6. 問いをあたためる

学問研究の対象も社会的現実も、簡単に短絡的に捉えることができない複雑さに満ちています。安易に答えに飛びつかず、「正しさ」を疑い、問いを持ちこたえ、あたためることを大切に学びます。

7. 他者と学ぶ、他者から学ぶ、他者を学ぶ

様々な「他者」——大学の仲間たち、社会の中で立場や専門や利害を異にする人たち、異なる文化に生きる人たち——と積極的にコミュニケーションし、共に問題解決に取り組む経験を通じて学びます。

以上のような「奈良女子大学的教養」の5つの問いと7つのアプローチは、以下のような教養教育カリキュラムの全体に具体化されていますが、さらに豊かな学びを実現するために、「パサージュ」と「教養コア科目」が開講されています。詳細については77ページ以下を参照してください。

2 教養教育科目の仕組み・履修単位数

「教養教育科目」は「基礎科目群」と「教養科目群」の2群に大別されています。この2群それぞれについて、最低限履修しなければならない科目や単位数が設定されています。単位数については、学部によって異なりますから、後掲の表で確かめてください。

基礎科目群の単位については、外国語科目と保健体育科目の必修単位を除き、基礎科目群の各分野の科目から選択履修することができます。できるだけ1・2年次の間に履修してください。

教養科目群の単位については、科目群全体から選択履修してください。各分野にまたがり、卒業までの全期間にわたって、まんべんなく履修するよう心がけてください。

なお全学部とも、基礎科目群の必修単位数を上回る単位は、教養科目群の履修単位として認められます。

教養教育科目の最低履修単位（学部別）

文 学 部

〈令和 7 年度以降入学者対象〉

【子ども教育専修プログラム生以外】

区 分			必要単位数	備 考
教養教育科目	基礎科目群	外 国 語 科 目	16	外国人留学生の場合は「日本語科目」を含む
		保 健 体 育 科 目	2	「健康運動実習Ⅰ・Ⅱ」必修
		情 報 処 理 科 目	2	
		計	20	
	教養科目群		18	

- 基礎科目群の最低必要単位数を上回る修得単位は、教養科目群の履修単位に含めることができます。
- 編入学生については、保健体育科目の必修単位のうち、1 または 2 単位をスポーツ実習の単位で代えることができます。

【子ども教育専修プログラム生】

区 分			必要単位数	備 考
教養教育科目	基礎科目群	外 国 語 科 目	16	外国人留学生の場合は「日本語科目」を含む
		保 健 体 育 科 目	2	「健康運動実習Ⅰ・Ⅱ」必修
		情 報 処 理 科 目	2	「情報処理入門」必修
		計	20	
	教養科目群		10	「日本国憲法」必修

- 基礎科目群の最低必要単位数を上回る修得単位は、教養科目群の履修単位に含めることができます。

〈平成 31 ～令和 6 年度入学者対象〉

【子ども教育専修プログラム生以外】

区 分			必要単位数	備 考
教養教育科目	基礎科目群	外 国 語 科 目	16	外国人留学生の場合は「日本語科目」を含む
		保 健 体 育 科 目	2	「健康運動実習Ⅰ・Ⅱ」必修
		情 報 処 理 科 目	2	
		計	20	
	教養科目群		18*	

- * 高年次（3、4 年）に履修することを別に指定する教養科目 1 単位以上を含む（P.180 参照）
- 基礎科目群の最低必要単位数を上回る修得単位は、教養科目群の履修単位に含めることができます。
 - 編入学生については、保健体育科目の必修単位のうち、1 または 2 単位をスポーツ実習の単位で代えることができます。

【子ども教育専修プログラム生】

区 分			必要単位数	備 考
教養教育科目	基礎科目群	外国語科目	16	外国人留学生の場合は「日本語科目」を含む
		保健体育科目	2	「健康運動実習Ⅰ・Ⅱ」必修
		情報処理科目	2	「情報処理入門」必修（令和6年度以前履修の場合は「情報処理入門ⅠまたはⅡ」必修）
		計	20	
	教養科目群		10*	「日本国憲法」必修

- * 高年次（3、4年）に履修することを別に指定する教養科目1単位以上を含む（P.180 参照）
 ○ 基礎科目群の最低必要単位数を上回る修得単位は、教養科目群の履修単位に含めることができます。

〈平成28～30年度入学者対象〉

区 分			必要単位数	備 考
教養教育科目	基礎科目群	外国語科目	16	外国人留学生の場合は「日本語科目」を含む
		保健体育科目	2	「健康運動実習Ⅰ・Ⅱ」必修
		情報処理科目	2	
		計	20	
	教養科目群		18	

- 基礎科目群の最低必要単位数を上回る修得単位は、教養科目群の履修単位に含めることができます。
 ○ 編入学生については、保健体育科目の必修単位のうち、1 または 2 単位をスポーツ実習の単位で代えることができます。

理 学 部

〈令和7年度以降入学者対象〉

区 分			必要単位数	備 考
教養教育科目	基礎科目群	外国語科目	8	外国人留学生の場合は「日本語科目」を含む
		保健体育科目	2	「健康運動実習Ⅰ・Ⅱ」必修
		情報処理科目	—	選択履修
		計	12	外国語科目・保健体育科目の必修を含む合計
	教養科目群		18	

- 基礎科目群の最低必要単位数を上回る修得単位は、教養科目群の履修単位に含めることができます。
 ○ 編入学生については、保健体育科目の必修単位のうち、1 または 2 単位をスポーツ実習の単位で代えることができます。

〈令和 6 年度以前入学者対象〉

区 分			必要単位数	備 考
教養教育科目	基礎科目群	外国語科目	8	外国人留学生の場合は「日本語科目」を含む
		保健体育科目	2	「健康運動実習Ⅰ・Ⅱ」必修
		情報処理科目	—	選択履修
		計	12	外国語科目・保健体育科目の必修を含む合計
	教養科目群		18*	

* 高年次（3、4 年）に履修することを別に指定する教養科目 1 単位以上を含む（P. 180 参照）

- 基礎科目群の最低必要単位数を上回る修得単位は、教養科目群の履修単位に含めることができます。
- 編入学生については、保健体育科目の必修単位のうち、1 または 2 単位をスポーツ実習の単位で代えることができます。

生活環境学部

〈令和 7 年度以降入学者対象〉

区 分			食物栄養学科 心身健康学科 住環境学科 文化情報学科 (生活情報通信科学コース)	文化情報学科 (生活文化学コース)
教養教育科目	基礎科目群	外国語科目	12	12
		保健体育科目（必修）	2	2
		情報処理科目	—	—
		計	14	14
	教養科目群		16	20

- 上記基礎科目群の各科目の最低単位数を含めて 14 単位が必要です。
- 基礎科目群の必要単位数 14 単位を超えて修得した基礎科目群の単位は、教養科目群の単位に含めることができます。
- 保健体育科目は、卒業要件単位として、健康運動実習Ⅰ及びⅡを履修しなければなりません。ただし、編入学生については、うち 1 または 2 単位をスポーツ実習の単位で代えることができます。

〈令和 4 ～ 6 年度入学者対象〉

区 分			食物栄養学科 心身健康学科 住環境学科 文化情報学科 (生活情報通信科学コース)	文化情報学科 (生活文化学コース)
教養教育科目	基礎科目群	外国語科目	12	12
		保健体育科目(必修)	2	2
		情報処理科目	—	—
		計	14	14
	教養科目群		16*	20*

* 高年次（3、4 年）に履修することを別に指定する教養科目 1 単位以上を含む（P. 180 参照）

○ 上記基礎科目群の各科目の最低単位数を含めて 14 単位が必要です。

○ 基礎科目群の必要単位数 14 単位を超えて修得した基礎科目群の単位は、教養科目群の単位に含めることができます。

○ 保健体育科目は、卒業要件単位として、健康運動実習Ⅰ及びⅡを履修しなければなりません。ただし、編入学生については、うち 1 または 2 単位をスポーツ実習の単位で代えることができます。

〈平成 31 ～令和 3 年度入学者対象〉

区 分			食物栄養学科 心身健康学科 情報衣環境学科	住環境学科 生活文化学科
教養教育科目	基礎科目群	外国語科目	12	12
		保健体育科目(必修)	2	2
		情報処理科目	—	—
		計	14	14
	教養科目群		16*	20*

* 高年次（3、4 年）に履修することを別に指定する教養科目 1 単位以上を含む（P. 180 参照）

○ 上記基礎科目群の各科目の最低単位数を含めて 14 単位が必要です。

○ 基礎科目群の必要単位数 14 単位を超えて修得した基礎科目群の単位は、教養科目群の単位に含めることができます。

○ 保健体育科目は、卒業要件単位として、健康運動実習Ⅰ及びⅡを履修しなければなりません。ただし、編入学生については、うち 1 または 2 単位をスポーツ実習の単位で代えることができます。

〈平成 30 年度入学者対象〉

区 分			食物栄養学科 心身健康学科 情報衣環境学科	住環境学科 生活文化学科
教養教育科目	基礎科目群	外国語科目	12	12
		保健体育科目（必修）	2	2
		情報処理科目	—	—
		計	14	14
	教養科目群		16	20

- 上記基礎科目群の各科目の最低単位数を含めて 14 単位が必要です。
- 基礎科目群の必要単位数 14 単位を超えて修得した基礎科目群の単位は、教養科目群の単位に含めることができます。
- 保健体育科目は、卒業要件単位として、健康運動実習Ⅰ及びⅡを履修しなければなりません。ただし、編入学生については、うち 1 または 2 単位をスポーツ実習の単位で代えることができます。

工 学 部

〈令和 4 年度以降入学者対象〉

区 分			必要単位数	備 考
教養教育科目	基礎科目群	外国語科目	8	外国人留学生の場合は「日本語科目」を含む
		保健体育科目	2	「健康運動実習Ⅰ・Ⅱ」必修
		情報処理科目	—	選択履修
		計	12	外国語科目・保健体育科目の必修を含む合計
	教養科目群		18	

- 基礎科目群の最低必要単位数を上回る修得単位は、教養科目群の履修単位に含めることができます。
- 編入学生については、保健体育科目の必修単位のうち、1 または 2 単位をスポーツ実習の単位で代えることができます。

〈令和 8 年度以降入学者対象〉

区 分			必要単位数	備 考
教養教育科目	基礎科目群	外国語科目	8	外国人留学生の場合は「日本語科目」を含む
		保健体育科目	2	「健康運動実習Ⅰ・Ⅱ」必修
		情報処理科目	2	
		計	12	外国語科目・保健体育科目の必修を含む合計
	教養科目群		16	

- 基礎科目群の最低必要単位数を上回る修得単位は、教養科目群の履修単位に含めることができます。
- 編入学生については、保健体育科目の必修単位のうち、1 または 2 単位をスポーツ実習の単位で代えることができます。

3 基礎科目群

基礎科目群は、本学の教育全体の基礎や前提として、入学後の早い時期（1・2年次）に選択履修すべき科目です。外国語科目、日本語科目（外国人留学生のみ）、保健体育科目、情報処理科目の4分野からなります。

(1) 外国語科目

■外国語の履修

- (1) 外国語科目の履修は、これからの大学における勉学の基礎となります。自分の希望する進路や、学ぼうとする学問領域をしっかりと考えて選択してください。
- (2) 本学で履修できる外国語は、英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語です。このうち、スペイン語と韓国語とロシア語は、科目数が少なく、4単位分しか履修できません。
- (3) 卒業に必要な外国語科目の単位数と履修方法は、学部によって異なります。このガイドでは言語別に履修案内を掲載しているので、各自の所属学部の部分を熟読してください。
- (4)すでに外国語の実力を十分に備えている学生は、それを証明できる文書を添えて申請すれば、単位が与えられる単位認定制度があります。詳しくは、「外国語科目における単位認定制度」（88ページ）を見てください。
- (5) なお、学部や入学年次によって、履修方法や単位の扱いが異なるので、よく注意して履修してください。

外国語（英語・ドイツ語・フランス語・中国語）の履修選択の参考として、各言語の紹介動画を公開しています。履修科目を決める前に、ぜひご覧ください。

▼動画の掲載場所

Campus-Xs>外部リンク『【学生用】Web 掲示板』>『全学生共通掲示板』>『外国語紹介動画（1回生用）』

■外国語科目の単位

英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語の7か国語があります。それぞれの履修可能な単位数は次のようになります。

英語	計8単位まで履修可能 令和2年度以前入学者については、16単位まで履修可能
ドイツ語/フランス語	計10単位まで履修可能
スペイン語	1年に2単位ずつ、2年間で計4単位まで履修可能
中国語	計10単位まで履修可能
ロシア語/韓国語	1年に2単位ずつ、2年間で計4単位まで履修可能

外国語の単位は、文学部の必修が16単位、理学部の必修が8単位、生活環境学部の必修が12単位、工学部の必修が8単位です。必修単位として認められる外国語の種類と単位数、履修方法が学部によって異なりますので、後述する各外国語の詳しい説明をよく読んで、間違いなく履修してください。

なお、必修単位数以上に履修した外国語科目の単位は、文学部、生活環境学部は教養科目群として、理学部、工学部は基礎科目群の履修単位として認められます。

※履修方法等不明な点は、必ず学務課または各外国語の欄に示された問い合わせ先に問い合わせてください。

(表) 学部別 卒業要件として必要な外国語科目の単位数一覧

学部・学科・コース		必要 単位数	必要 言語数	備考	要件を満たす※ 履修例	要件を満たさない※ 履修例	超過分 算入箇所
文学部		16	2ヶ国語 以上	・うち1か国語は8単位必要 ・同じ外国語は外国語科目として 8単位までカウント *超えた分については教養科目群に算入	・英語8単位+独語4単位 +仏語4単位 ・英語8単位+独語8単位 など	英語6単位+独語6単位 +仏語4単位 など	教養科目群
理学部		8	1ヶ国語 以上	外国語科目として指定されて いるのは英・独・仏のみ (学科により指定の場合あり)	・英語4単位+独語4単位 ・英語8単位 など	英語6単位+ 韓国語2単位 など	基礎科目群
生活環境学部	食物栄養学科	12	2ヶ国語	・英語8単位必須 ・英語以外の外国語科目のうち 1つを4単位取得	・英語8単位+仏語4単位 など	英語8単位+仏語2単位 +西語2単位 など	教養科目群
	心身健康学科/情報学科 生活文化学コース (旧) 生活文化学科 (旧) 情報環境学科 衣環境学コース		2ヶ国語	・第1外国語として8単位 (英・独・仏) ・第2外国語として4単位 (英・独・仏・中・露・韓・西)	・英語8単位+仏語4単位 など	・英語8単位+仏語2単位 +西語2単位 ・英語10単位+仏語2単位 など	
	文化情報学科 生活情報通言科学コース (旧) 情報環境学科 生活情報通言科学コース		2ヶ国語 以上	・英語8単位必須 ・残りは独・仏・中から 4単位取得(組み合わせは自由)	・英語8単位+仏語4単位 ・英語8単位+仏語2単位 +独語2単位 など	英語10単位+仏語2単位 など	
	住環境学科		2ヶ国語 以上	・英・独・仏のうちから1つの 外国語について8単位 ・残りを英・独・仏・西・ 中・露・韓から	・英語8単位+仏語4単位 など	英語6単位+仏語6単位 など	
工学部		8	1ヶ国語 以上 *英語4単位必須	外国語科目として指定されてい るのは英・独・仏・中のみ	・英語4単位+独語4単位 ・英語8単位 など	英語4単位+独語2単位 +西語2単位 など	基礎科目群

※履修例は外国語修得要件との関係を説明するための一例であり、履修の選択を制限または推奨するものではありません。

文学部

①文学部は、国際語としての英語を中心にしながら、さらにもう一つ以上の外国語を修得することを義務づけています。ボーダーレス化、多極化する世界の中で、様々な情報源から現在を読み取り、そこでの自分の位置と進路を見定めていくことが、ますます必要となっています。また、言語を通じた異文化への理解は、人生を豊かにしてくれるはずです。

②卒業に必要な外国語科目の単位数は、2か国語以上で16単位となっています。さらにそのうち1か国語は、8単位なければなりません。例えば、英語8単位、ドイツ語4単位、フランス語4単位という履修の仕方も可能です。ただし、英語6単位、ドイツ語6単位、フランス語4単位といった履修方法は、どの言語も8単位に達していないため、卒業要件としては認められていません。また、同じ外国語は、外国語科目として8単位までしかカウントされないの、注意してください。ただ、外国語科目全体で16単位を超えた分は、教養科目群の履修単位に算入されます。

理学部

理学部の卒業に必要な外国語科目に指定されているのは、英語、ドイツ語、フランス語のみです。また、卒業に必要な外国語科目の単位数は、8単位となっています。英語8単位を2年間で取得することも、フランス語4単位を英語と組み合わせて、1年間で8単位を取得することも可能ですが、学科によっては、外国語科目の履修方法が指定される場合があります。8単位を超えた分や、スペイン語・中国語・ロシア語・韓国語を履修した場合の単位は、基礎科目群の履修単位に算入されます。

生活環境学部

①生活環境学部は、住環境学科を除く各学科で、二つの異なる外国語を修得することを義務づけています。ボーダーレス化、多極化する世界の中で、様々な情報源から現在を読み取り、そこでの自分の位置と進路を見定めていくことが、ますます必要となっています。また、言語を通じた異文化への理解は、人生を豊かにしてくれるはずです。

②卒業に必要な外国語科目の単位数は12単位です。学科ごとに修得の仕方を説明します。なお、どの学科においても卒業要件を超えた分については、教養科目群の履修単位に算入されます。

食物栄養学科では、英語8単位とドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語のうち1つの外国語科目を4単位、計12単位修得してください。

心身健康学科、情報衣環境学科衣環境学コース、生活文化学科または文化情報学科生活文化学コースでは、英語、ドイツ語、フランス語から第一外国語科目として8単位、英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、韓国語、スペイン語から第二外国語として4単位を修得してください。英語8単位、ドイツ語2単位、フランス語2単位修得では卒業要件を満たしません。

情報衣環境学科生活情報通信科学コースまたは文化情報学科生活情報通信科学コースでは、英語8単位とドイツ語、フランス語、中国語から4単位、計12単位修得してください。ドイツ語、フランス語、中国語の4単位は組み合わせを問いません。

住環境学科では12単位修得してください。英語、ドイツ語、フランス語のうち、一つの外国語から8単位以上修得し、残りの単位は、英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語から修得してください。英語6単位、ドイツ語6単位修得では卒業要件を満たしません。

工学部

工学部の卒業に必要な外国語科目に指定されているのは、英語、ドイツ語、フランス語、中国語のみです。また、卒業に必要な外国語科目の単位数は、英語4単位以上を含む8単位となっています。英語8単位を2年間で取得することも、英語以外の外国語4単位を英語4単位と組み合わせて、1年間で8単位を取得することも可能です。8単位を超えた分や、スペイン語、ロシア語、韓国語を履修した場合の単位は、基礎科目群の履修単位に算入されます。

■英語（全学部共通）

外国語科目の英語として、「コンプリヘンシブ・イングリッシュ」（1年次対象）、「プラクティカル・イングリッシュ」（1年次対象）、「アカデミック・イングリッシュ」（2年次対象）、「プレゼンテーション・イングリッシュ」（2年次対象）が開講されています。

各科目について、それぞれ前後期各1単位、合計2単位まで履修可能で、これらの中から単位数をそろえることになります。なお、同じ科目を3単位以上履修することはできません。たとえば、すでに「コンプリヘンシブ・イングリッシュ」を2単位修得している場合、「コンプリヘンシブ・イングリッシュ」を再度履修することはできません。

英語の履修登録について

指定のクラスを履修登録してください。学部、学年によっては前もって「予備登録」が必要です。掲示やさくら連絡網、奈良女メールアドレス宛での案内に注意してください。

前期に履修した場合、後期クラスは次のように指定されます。

科目名	後期クラス
コンプリヘンシブ・イングリッシュ	前期のクラスに12を足したクラス
プラクティカル・イングリッシュ	前期のクラスに28を足したクラス
アカデミック・イングリッシュ	前期のクラスに10を足したクラス
プレゼンテーション・イングリッシュ	前期のクラスに18を足したクラス

※登録に関する疑問は、学務課または英語教務担当教員に問い合わせてください。

英語の履修方法について

[1年次]

a) 1年次対象には、「コンプリヘンシブ・イングリッシュ」と「プラクティカル・イングリッシュ」が開講され、この2科目で年間最大4単位を履修できます。この場合、「コンプリヘンシブ・イングリッシュ」を2単位分、「プラクティカル・イングリッシュ」を2単位分履修することになります。

b) 「コンプリヘンシブ・イングリッシュ」と「プラクティカル・イングリッシュ」はクラス指定です。クラスは Campus-Xs で案内するとともに、学内掲示板にも掲示しますので、指定されたクラスで履修登録してください。

c) 基本的には各科目を前期1単位、後期1単位履修してください。

d) 再履修者は、3月中に申請のあった英語の予備登録を基にクラス指定を行います。決定したクラスは Campus-Xs で案内するとともに、学内掲示板にも掲示しますので、指定されたクラスで履修登録してください。

なお、前期にクラス指定を受けた場合は、後期は前期に対応するクラスを受講してください。

e) 編入学生は、別にクラス指定を行います。学務課窓口にある「英語予備登録票」を必ず提出

してください。決定したクラスは Campus-Xs で案内するとともに、学内掲示板にも掲示しますので、指定されたクラスで履修登録してください。

なお、前期にクラス指定を受けた場合は、後期は前期に対応するクラスを受講してください。

f) 20 ページの学外の学修（実用英語技能検定（英検）、TOEIC、TOEFL）によって、1 年次対象科目の単位認定を受けた人は、2 年次対象科目を履修することもできます。上記 e) と同様に学務課窓口にある「英語予備登録票」を必ず提出してください。決定したクラスは Campus-Xs で案内するとともに、学内掲示板にも掲示しますので、指定されたクラスで履修登録してください。

なお、前期にクラス指定を受けた場合は、後期は前期に対応するクラスを受講してください。

[2 年次]

a) 2 年次対象には、「アカデミック・イングリッシュ」と「プレゼンテーション・イングリッシュ」が開講され、この 2 科目で年間最大 4 単位分履修できます。この場合、「アカデミック・イングリッシュ」を 2 単位分、「プレゼンテーション・イングリッシュ」を 2 単位分履修することになります。年間にそれより少ない単位数を履修する場合は、「アカデミック・イングリッシュ」と「プレゼンテーション・イングリッシュ」の組み合わせは自由です。

b) 基本的には各科目を前期 1 単位、後期 1 単位履修してください。

c) 「アカデミック・イングリッシュ」と「プレゼンテーション・イングリッシュ」を履修する者は、3 月中に申請のあった英語の予備登録を基にクラス指定を行います。クラスは Campus-Xs で案内するとともに、学内掲示板にも掲示しますので、指定されたクラスで履修登録してください。なお、前期にクラス指定を受けた場合は、後期は前期に対応するクラスを受講してください。

■ ドイツ語

履修や登録について質問のある場合は、ドイツ語担当教員（S 棟 217 吉田孝夫、S 棟 220 児玉麻美）まで、お気軽にお問い合わせください。

文学部

a) ドイツ語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳが開講されます。このうち、ドイツ語ⅠとⅡはクラス指定を行います。

b) クラス指定

・1年次は、文学部のクラス分け（A～H組）に基づき、下記の表に指定された科目を登録してください。

・ドイツ語Ⅰ・Ⅱは、前期・後期それぞれ、文法中心の科目「ドイツ語A」2コマと、コミュニケーション中心の科目「ドイツ語B」2コマの組み合わせで授業を進めます。「Ⅰ」は初級、「Ⅱ」は中級です。1コマ1単位の授業を、前期・後期それぞれ週に4コマ履修することで、一年間で合計8単位を取得することができます。特別な理由がない限り、このすべてを受講してください。

・(1)と(2)のペア、および(3)と(4)のペアは、それぞれ一体のものであり分離して履修することはできません。（ただし、講義コードは8コマ全てに設定されているので、別々に登録してください。）

A・B・C・D組	前期	文法	ドイツ語ⅠA (1) / ドイツ語ⅠA (2)
		コミュニケーション	ドイツ語ⅠB (1) / ドイツ語ⅠB (2)
	後期	文法	ドイツ語ⅡA (1) / ドイツ語ⅡA (2)
		コミュニケーション	ドイツ語ⅡB (1) / ドイツ語ⅡB (2)
E・F・G・H組	前期	文法	ドイツ語ⅠA (3) / ドイツ語ⅠA (4)
		コミュニケーション	ドイツ語ⅠB (3) / ドイツ語ⅠB (4)
	後期	文法	ドイツ語ⅡA (3) / ドイツ語ⅡA (4)
		コミュニケーション	ドイツ語ⅡB (3) / ドイツ語ⅡB (4)

c) 再履修者は、未修得単位と同一グレード（Ⅰ又はⅡ）及び同一分野（A又はB）のクラスを履修してください。学部指定やクラス指定は適用しないので、他学部指定クラスを履修することも可能です。ただし、文学部向けクラスのうち、同一教員のペア授業は分離して履修することはできません。

d) 編入学生は、概ね再履修の場合と同様ですが、各グレード内の分野の別はこれを適用しません。必要なグレードのクラスを、分野の別にかかわらず、選択し履修してください。クラスの指定は行いませんので、専門科目の時間割を優先して、他学部対象のクラスも視野に入れて登録してください。

e) ドイツ語Ⅲ及びドイツ語Ⅳは、原則としてドイツ語Ⅰ及びドイツ語Ⅱを修得済みでさらにドイツ語を学習したい学生を対象に、広く全学に開かれた科目です。いずれも全学部全学年対象で開講され、全在生について外国語科目の必須履修単位に含めることができます。

f) ドイツ語Ⅰ～Ⅳの単位は、合計8単位までが卒業に必要な外国語科目16単位の一部として認定されます。

理学部、生活環境学部、工学部

a) ドイツ語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳが開講されます。このうち、ドイツ語Ⅰはクラス指定を行います。

b) クラス指定

・前期・後期それぞれ、文法中心の初級科目「ドイツ語 A」1 コマと、コミュニケーション中心の初級科目「ドイツ語 B」1 コマの組み合わせで授業を進めます。「Ⅰ」は初級、「ⅠⅠ」は中級です。1 コマ 1 単位の授業を、前期・後期それぞれ週に 2 コマ履修することで、一年間で合計 4 単位を取得することができます。

理学部	ドイツ語Ⅰは、1 年次履修時にクラス指定を行います。各自の学籍番号に基づいて、下記のクラスに履修登録をしてください。 クラス (5) 理 1 : 数物科学科 (学籍番号*1029 番まで) クラス (7) 理 2 : 数物科学科 (学籍番号*1030 番以降)、化学コース クラス (9) 理 3 : 生物科学コース、環境科学コース 8 桁の学籍番号のうち、末尾の 1 桁を除く下 4 桁の数字〇〇〇■●■●〇の■●の部分を見てください。 後期のドイツ語Ⅰは、前期に履修したクラスの番号に 1 を足したクラスに履修登録をしてください。 例) 前期クラス (5) →後期クラス (6)
生活環境学部	ドイツ語Ⅰは、1 年次履修時にクラス指定を行います。各自の学科に基づいて、下記のクラスに履修登録をしてください。 クラス (11) 生 1 : 食物栄養学科、住環境学科 クラス (13) 生 2 : 心身健康学科 クラス (15) 生 3・工 : 文化情報学科 後期のドイツ語Ⅰは、前期に履修したクラスの番号に 1 を足したクラスに履修登録をしてください。 例) 前期クラス (11) →後期クラス (12)
工学部	ドイツ語Ⅰは、前期の履修登録においてドイツ語ⅠA (15) とドイツ語ⅠB (15) のクラスを選択し、登録をしてください。 後期のドイツ語Ⅰは、ドイツ語ⅠA (16) とドイツ語ⅠB (16) のクラスに履修登録をしてください。

・履修登録者数に偏りがある場合、人数調整をして別のクラス (教科書・時間割は同一) に移ってもらうことがあります。クラス変更の場合はメール・掲示板等で通知しますので、学務課の連絡に注意をお願いします。

・2 年次以上で新たにドイツ語を履修する場合は、クラス指定を適用しません。ただしクラスの人数調整のため、履修登録前に、上記のドイツ語担当教員 (吉田、児玉) まで相談してください。

c) 再履修者は、未修得単位と同一グレード（Ⅰ又はⅡ）及び同一分野（A又はB）のクラスを履修してください。学部指定、クラス指定は適用しませんので、他学部指定クラスを履修することも可能です。ただし、文学部向けクラスのうち、週2回開講のペア授業は分離して履修することはできません。

なお、再履修者は、必要とする科目が前期と後期のどちらであるかに注意して、正しく履修登録してください。前期と後期では授業内容が異なります。

d) 編入学生は、概ね再履修の場合と同様ですが、各グレード内の分野の別はこれを適用しません。必要なグレードのクラスを分野の別にかかわらず、選択し履修してください。

e) ドイツ語ⅡA(5)(6)及びドイツ語ⅡB(5)(6)は、ドイツ語Ⅰの修得者に開かれた、中級の発展科目です。積極的に履修してください。

f) ドイツ語Ⅲ及びドイツ語Ⅳは、原則としてドイツ語Ⅰ及びドイツ語Ⅱを修得済みでさらにドイツ語を学習したい人を対象に、広く全学に開かれた科目です。いずれも全学部全学年対象で開講され、全在生について外国語科目の必須履修単位に含めることができます。

■フランス語

※履修登録に関して、疑問や質問のある人は、フランス語担当教員（高岡研究室 S221 号室）まで、遠慮なく相談に来てください。

文学部

a) フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳが開講されます。フランス語ⅠとⅡはクラス指定を行います。

b) クラス指定

文学部のクラス（A組～H組）に基づき、下記の要領で登録してください。

A・B・C・D クラス	前期	文法	フランス語ⅠA (1) / フランス語ⅠA (2)
		会話コミュニケーション	フランス語ⅠB (1) / フランス語ⅠB (2)
	後期	文法	フランス語ⅡA (1) / フランス語ⅡA (2)
		会話コミュニケーション	フランス語ⅡB (1) / フランス語ⅡB (2)
E・F・G・H クラス	前期	文法	フランス語ⅠA (3) / フランス語ⅠA (4)
		会話コミュニケーション	フランス語ⅠB (3) / フランス語ⅠB (4)
	後期	文法	フランス語ⅡA (3) / フランス語ⅡA (4)
		会話コミュニケーション	フランス語ⅡB (3) / フランス語ⅡB (4)

c) 受講クラスと必修単位

前期（初級＝Ⅰ）・後期（中級＝Ⅱ）それぞれ、文法中心の科目「フランス語A」2コマと、コミュニケーション中心の科目「フランス語B」2コマの組み合わせで授業を進めます。1コマ1単位の授業を、前期・後期それぞれ週に4コマ履修することで、一年間で合計8単位を取得することとなります。

d) 単位取得についての注意

登録のための科目番号は、クラスごとに違います。「クラス指定」に基づき、指示されたクラスの組み合わせで履修してください。「A (1) / A (2)、B (1) / B (2)」「A (3) / A (4)、B (3) / B (4)」のグループ分けに従い、それぞれのクラスについて履修登録が必要です。

e) 中級以上の履修

フランス語Ⅲ及びフランス語Ⅳは原則としてフランス語Ⅰ及びフランス語Ⅱを修得済みでさらにフランス語を学習したい人を対象に、広く全学に開かれた科目です。いずれも全学部対象で開講され、外国語科目の必須履修単位に含めることができます。

f) 編入学生と再履修者

編入学生と再履修者は、特にクラスの指定は行いません。専門科目の履修を優先して、必要な外国語科目の単位を能率的に取得してください。理学部・生活環境学部対象のクラスに登録することも視野に入れ、自由に登録してかまいません。ただし「フランス語A」と「フランス語B」の組み合わせ、取得単位数の計算に注意してください。

※編入学生については、登録の前に、フランス語担当教員（高岡研究室 S221 号室）に相談に来ることを勧めます。

理学部、生活環境学部、工学部

a) フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳが開講されます。

b) クラスについて

フランス語ⅠA	(前期) (5) / (6) / (9) のいずれかのクラス
	(後期) 前期と同じ教員のクラス ・前期 (5) または (9) の場合、後期は (7) または (10) に登録してください。 ・前期 (6) の場合、後期は (8) に登録してください。
フランス語ⅠB	(前期) (5) / (6) / (9) のいずれかのクラス
	(後期) 前期と同じ教員のクラス ・前期 (5) または (6) の場合、後期は (7) または (8) に登録してください。 ・前期 (9) の場合、後期は (10) に登録してください。

「フランス語ⅠA」と「フランス語ⅠB」は、それぞれ同じ内容のクラスが3つ開講されます。クラスの指定はありません。履修登録の際は、時間割を考慮していずれかのクラスを選択してください。

前期と後期の授業内容は連続しています。後期の履修は原則として前期と同じ担当教員のクラスに登録してください。ただし、特別な事情がある場合は、事前に相談してください。

なお、同じ内容の3クラス間で登録人数に大きな偏りが生じた場合、初回授業後に抽選による人数調整を行い、他のクラスへの移動をお願いすることがあります。

c) 前期・後期それぞれ、文法中心の科目「フランス語ⅠA」1コマと、コミュニケーション中心の科目「フランス語ⅠB」1コマの組み合わせで授業を進めます。1コマ1単位の授業を、前期・後期それぞれ週に2コマ履修することで、一年間で合計4単位を取得することとなります。

d) 単位取得についての注意

「フランス語A」「フランス語B」を組み合わせてください。それぞれのクラスについて、履修登録が必要です。

e) 中級以上の履修

フランス語ⅡA及びフランス語ⅡBは、フランス語Ⅰの修得者に開かれた発展科目です。積極的に履修してください。フランス語Ⅲとフランス語Ⅳは、原則としてフランス語Ⅰ及びフランス語Ⅱを修得済みでさらにフランス語を学習したい人を対象に、広く全学に開かれた科目です。いずれも全学部対象で開講され、外国語科目の必須履修単位に含めることができます。

f) 編入学生と再履修者

編入学生と再履修者は、特にクラスの指定は行いません。専門科目の履修を優先して、必要な外国語科目の単位を能率的に取得してください。ただし、「フランス語A」と「フランス語B」の組み合わせに、取得単位数の計算に注意してください。また、不足する科目が前期と後期のどちらであるかに注意して、正しく履修登録してください。前期と後期では授業内容が異なります。

※編入学生については、登録の前に、フランス語担当教員（高岡研究室 S221 号室）に相談に来ることを勧めます。

■中国語

※登録に関して疑問がある場合は、必ず中国語担当教員（前田研究室 N219 号室）に問い合わせてください。

文学部

a) 中国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳが開講されます。このうち、中国語ⅠとⅡはクラス指定を行います。

b) 中国語Ⅰ・Ⅱの履修パターンと単位認定

文学部1年次を主な対象として、〈週4コマ・コース〉（中国語Ⅰ・Ⅱ）が開講されます。1コマ1単位の授業を、前期・後期それぞれ週に4コマ履修することにより、一年間で合計8単位取得できます。

前期の「中国語Ⅰ」については、4コマ一括して単位を認定するため、分離しての履修はできません。なお、履修登録は、4コマすべてについて行ってください。

後期の「中国語Ⅱ」は、4コマ別々に単位を認定しますが、特別な事情がない限り、4コマすべて履修してください。

c) 中国語Ⅰ・Ⅱのクラス指定

クラス指定は、文学部のクラス分けに基づきます。

文学部A組・B組・C組・D組の者は（A）・（B）・（C）・（D）の4コマを、文学部E組・F組・G組・H組の者は（E）・（F）・（G）・（H）の4コマを登録してください。

A・B・C・Dクラス	（前期）Ⅰ（A）／Ⅰ（B）／Ⅰ（C）／Ⅰ（D）の4コマ
	（後期）Ⅱ（A）／Ⅱ（B）／Ⅱ（C）／Ⅱ（D）の4コマ
E・F・G・Hクラス	（前期）Ⅰ（E）／Ⅰ（F）／Ⅰ（G）／Ⅰ（H）の4コマ
	（後期）Ⅱ（E）／Ⅱ（F）／Ⅱ（G）／Ⅱ（H）の4コマ

d) 中国語検定クラス

「中国語検定初級Ⅰ・Ⅱ」、「中国語検定中級Ⅰ・Ⅱ」は全学対象の中国語検定試験対策クラスです。これらの科目は、中国語Ⅰ・Ⅱと密接に関係しており、中国人講師による音声面でのトレーニングを行うので、併せて履修することが望ましいです。ただし、外国語科目の単位に含めることはできず、教養科目群の履修単位に算入されます。

e) 中級者向けクラス

中国語Ⅲ・Ⅳは、原則として中国語Ⅰ及び中国語Ⅱを修得済みで、さらに中国語の学習を続けたい人のための全学対象のクラスです。外国語科目の必須履修単位に含めることができます。

f) 編入学生と再履修者

編入学生と再履修者は、特にクラス指定は行いませんが、登録の前に必ず中国語担当教員に問い合わせてください。受講者が多い場合は履修登録できないことがあります。

生活環境学部、工学部

※理学部の場合、中国語は外国語科目として指定されておらず、基礎科目群の履修単位に参入されます。

※生活環境学部では、中国語を「外国語科目」に含めるかどうか、含める場合も何単位まで認めるかが、学科や入学年度により異なります。「外国語科目の履修」の欄を熟読し、不明な点は学科の教務委員に指導を受けてください。「外国語科目」の条件に当てはまらない場合も、履修は可能で、単位も修得できます。修得した単位は、教養科目群の履修単位に算入されます。

a) 中国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳが開講されます。

b) クラス分けについて

生活環境学部・工学部1年次を主な対象として中国語Ⅰ〈週2コマ・コース〉が開講されます。1コマ1単位の授業を、前期・後期それぞれ週に2コマ履修することにより、1年間で合計4単位取得できます。履修登録は、2コマとも行ってください。クラス分けは、次の通りです。

食物栄養学科・心身健康学科：	(前期) Ⅰ (J) / Ⅰ (L) の2コマ (後期) Ⅰ (N) / Ⅰ (P) の2コマ
住環境学科・文化情報学科：	(前期) Ⅰ (K) / Ⅰ (M) の2コマ (後期) Ⅰ (O) / Ⅰ (Q) の2コマ
編入学生、再履修者及び工学部生：	(前期) Ⅰ (R) / Ⅰ (S) の2コマ (後期) Ⅰ (T) / Ⅰ (U) の2コマ

c) 中国語Ⅰを履修した生活環境学部2年次を主な対象として中国語Ⅱ〈週1コマ・コース〉が開講されます。1コマ1単位の授業を、前期・後期それぞれ週に1コマ履修することにより、1年間で合計2単位取得できます。

d) 中国語Ⅰ、中国語Ⅱの再履修者は、不足する科目が前期と後期のどちらであるかに注意して、正しく履修登録してください。前期と後期では授業内容が異なります。

e) 中国語Ⅲ・Ⅳは、原則として中国語Ⅰ及び中国語Ⅱを修得済みで、さらに中国語の学習を続けたい人のための全学対象のクラスです。

f) 「中国語検定初級Ⅰ・Ⅱ」、「中国語検定中級Ⅰ・Ⅱ」は全学対象の中国語検定試験対策クラスです。ただし、外国語科目の単位に含めることはできず、文学部・理学部・生活環境学部は教養科目群の履修単位に、工学部は基礎科目群の履修単位にそれぞれ算入されます。

■その他の外国語について

文学部、生活環境学部

※理学部・工学部の場合、スペイン語、ロシア語、韓国語は外国語科目として指定されておらず、基礎科目群の履修単位に参入されます。

●スペイン語

- a) スペイン語初級Ⅰ・初級Ⅱ・中級Ⅰ・中級Ⅱが各1クラス開講されます。
 - b) 原則として、初級Ⅰ→初級Ⅱ→中級Ⅰ→中級Ⅱの順に履修してください。ただし、履修に十分な語学力があると担当教員が認める場合は、この限りではありません。
 - c) スペイン語は、外国語科目の卒業要件単位としては4単位までしか充足できないので注意してください。また、4単位を充足するためには2年間の履修が必要です。
 - d) 生活環境学部の場合、情報環境学科生活情報通信科学コースを除く各学科で卒業要件単位とすることができます。
- 疑問がある場合は、必ず学務課またはスペイン語担当教員に問い合わせてください。

●ロシア語

- a) ロシア語初級Ⅰ・初級Ⅱ・中級Ⅰ・中級Ⅱが各1クラス開講されます。
 - b) 原則として、初級Ⅰ→初級Ⅱ→中級Ⅰ→中級Ⅱの順に履修してください。ただし、履修に十分な語学力があると担当教員が認める場合は、この限りではありません。
 - c) ロシア語の履修は2年次から可能で、外国語科目の卒業要件単位としては4単位までしか充足できないので注意してください。また、4単位を充足するためには2年間の履修が必要です。
- 疑問がある場合は、必ず学務課またはロシア語担当教員に問い合わせてください。

●韓国語

- a) 韓国語初級Ⅰ・初級Ⅱが各2クラス、中級Ⅰ・中級Ⅱが各1クラス開講されます。初級Ⅰ（A）と初級Ⅰ（B）、初級Ⅱ（A）と初級Ⅱ（B）はそれぞれ同じ内容ですので、（A）と（B）どちらかを選択することが可能です。
 - b) 原則として、初級Ⅰ→初級Ⅱ→中級Ⅰ→中級Ⅱの順に履修してください。ただし、履修に十分な語学力があると担当教員が認める場合は、この限りではありません。
 - c) 韓国語は、外国語科目の卒業要件単位としては4単位までしか充足できないので注意してください。また、4単位を充足するためには2年間の履修が必要です。
- 疑問がある場合は、必ず学務課または韓国語担当教員に問い合わせてください。

英語クラス分け・教科書一覧表

【前期】	*は非常勤講師							
講義名 (クラス)	講義 コード	対象	科目ナンバ リングコード	担当者	曜日	時限	教科書	
コンプリヘンシブ	(1)	0106101	—	0111001D1	市川千恵子	金	1・2	【Intercultural Perspectives】ISBN:978-4-7647-4248-2
	(2)	0106102	—	0111002D1	中川千帆	金	1・2	【Inside Reading 4】ISBN:978-0-19-441630-6
	(3)	0106103	—	0111003D1	須賀あゆみ	金	1・2	【Intercultural Perspectives】ISBN:978-4-7647-4248-2
	(4)	0106104	—	0111004D1	齊藤美和	火	1・2	【British News Update 8 (BBC)】ISBN:978-4-7647-4241-3
	(5)	0106105	—	0111005D1	井上瞬*	火	1・2	【Tipping Point: Thinking from Diverse Perspectives】ISBN:978-4-255-15740-5
	(6)	0106106	—	0111006D1	竹本憲昭	火	1・2	プリント
	(7)	0106107	—	0111007D1	石谷祐子*	火	1・2	【OUR WORLD, OUR STORIES】ISBN:978-4-7919-7317-0
	(8)	0106108	—	0111008D1	太田純*	火	1・2	【AFP World News Report 8】ISBN:978-4-7919-7344-6
	(9)	0106109	—	0111009D1	奥西豊子	金	1・2	【Integrity: Advanced】ISBN:978-4-7647-4176-8
	(10)	0106110	—	0111010D1	前田悦子*	金	1・2	【AFP World News Report 8】ISBN:978-4-7919-7344-6
	(11)	0106111	—	0111011D1	井上瞬*	金	1・2	【Social Puzzle】ISBN:978-4-384-33543-9
	(12)	0106112	—	0111012D1	北島美咲 *	金	1・2	【Well-being: Essential Elements for Our Life】ISBN:978-4-88198-788-9
ブラクテイカル	(1)	0106601	—	0111025D1	To Calum Philip Minh	火	1・2	【World English Level 3 3rd ed. Student Book with Spark Access + e-Book (1 year access)】ISBN:9798214085289
	(2)	0106602	—	0111026D1	Gary O. Haase*	火	1・2	【American Empower Student’ s Book A with Digital Pack, Upper-intermediate/B2】ISBN:9781108861427
	(3)	0106603	—	0111027D1	Leigh McDowell*	火	1・2	【Oxford Bookworms Library Factfiles Level 4: Women Who Made a Difference】ISBN:9780194267809
	(4)	0106604	—	0111028D1	Andrew Sowter*	火	1・2	【 Impact Second Edition Combo Split 2A with Spark Access + e-Book (1 year access) 】ISBN:9798214175140
	(5)	0106605	—	0111029D1	William Ives*	火	1・2	【Smartchoice 1】ISBN:ISBN : 9780194060998
	(6)	0106606	—	0111030D1	中川千帆	火	1・2	【Effective Academic Writing Level 3】ISBN:9780194323482
	(7)	0106607	—	0111031D1	笹本涼子	火	1・2	プリント
	(8)	0106608	—	0111032D1	William Ives*	金	1・2	【Smartchoice 1】ISBN:ISBN : 9780194060998
	(9)	0106609	—	0111033D1	竹本憲昭	金	1・2	プリント
	(10)	0106610	—	0111034D1	伊達桃子	金	1・2	【Voice Your Opinion】ISBN:978-4-7647-4179-9
	(11)	0106611	—	0111035D1	西岡幸恵*	金	1・2	【Global Gate Upper-intermediate】ISBN:978-4-7919-7283-8
	(12)	0106612	—	0111036D1	雲島知恵	金	1・2	【Working in Japan <Further Explorations> 】ISBN:9784863124356
	(13)	0106613	—	0111037D1	正田久美*	金	1・2	【Global Connections: Communicative English with National Geographic Video】ISBN:978-1-305-58444-0
	(14)	0106614	—	0111038D1	福地浩子*	金	1・2	【A Passage to Paragraph Writing 】ISBN:978-4-86312-182-9
	(15)	0106615	—	0111039D1	中尾朋子*	金	1・2	【Ready to Present 】ISBN:978-4-86312-351-9
	(16)	0106616	—	0111040D1	松林和佳子*	金	1・2	【INTEGRITY Intermediate-Vitalize Your English Studies with Authentic Videos】ISBN:978-4-7647-4175-1
	(17)	0106617	—	0111041D1	前田哲宏*	金	1・2	【 5つのステップで学ぶパラグラフ・ライティング】ISBN:978-4-7553-0051-6
	(18)	0106618	—	0111042D1	柑本幸子*	金	1・2	【Message Delivered Upper Intermediate】ISBN:978-4-523-17903-0
	(19)	0106619	—	0111043D1	松井ゆう子*	金	1・2	【Write It Right!】ISBN:978-4-7553-0363-0
	(20)	0106620	—	0111044D1	小林佳寿*	火	1・2	【Speaking Steps】ISBN:978-4-7647-4151-5
	(21)	0106621	—	0111045D1	福地浩子*	火	1・2	【A Passage to Paragraph Writing 】ISBN:978-4-86312-182-9
	(22)	0106622	—	0111046D1	進藤三佳*	火	1・2	プリント
	(23)	0106623	—	0111047D1	徳田真央*	火	1・2	【Presentable】ISBN:978-4-86312-425-7
	(24)	0106624	—	0111048D1	中川朗子*	火	1・2	プリント
	(25)	0106625	—	0111049D1	伊達桃子	火	1・2	【Voice Your Opinion】ISBN:978-4-7647-4179-9
	(26)	0106626	—	0111050D1	北口未来*	火	1・2	【Our Time, Our Lives, Our Movies映画で読むわたしたちの時代と社会】ISBN:978-4-7647-4044-0
	(27)	0106627	—	0111051D1	西岡幸恵*	火	1・2	【Global Gate Upper-intermediate】ISBN:978-4-7919-7283-8
	(28)	0106628	—	0111052D1	雲島知恵	火	1・2	【Working in Japan <Further Explorations> 】ISBN:9784863124356
アカデミック	(1)	0107101	—	0111081D2	北島美咲*	金	3・4	【Vital Voices 3 People & Cultures on Video】ISBN:978-4-7754-5013-0
	(2)	0107102	—	0111082D2	前田悦子*	金	3・4	【CNN: ビデオで見る世界のニュース (27)】ISBN:978-4-255-15746-7
	(3)	0107103	—	0111083D2	雲島知恵	火	3・4	【Introduction to Academic Reading: Acquiring the Essential Academic Vocabulary】ISBN:978-4-86312-049-5
	(4)	0107104	—	0111084D2	太田純*	火	3・4	【Changes and Choices】ISBN:978-4-269-19045-0
	(5)	0107105	—	0111085D2	山本尚子*	火	3・4	【CNN 10 Students News Vol.14】ISBN:978-4-255-15747-4
	(6)	0107106	—	0111086D2	石谷祐子*	火	3・4	【Tipping Point Thinking from Diverse Perspectives】ISBN:978-4-255-15740-5
	(7)	0107107	—	0111087D2	進藤三佳*	火	3・4	プリント
	(8)	0107108	—	0111088D2	井上瞬 *	金	3・4	【Reading Trek!】ISBN:978-4-7647-4081-5
	(9)	0107109	—	0111089D2	岡田律子*	金	3・4	【SDGs and Challenges We Face 映像メディアで考えるSDGs 】ISBN:978-4-88198-781-0
	(10)	0107110	—	0111090D2	福地浩子*	金	3・4	【Reading Fusion 1, Second Edition】ISBN:978-4-523-17972-6
プレゼンテーション	(1)	0107601	—	0111101D2	Andrew Sowter*	火	3・4	【Speaking of Speech Premium Edition】ISBN:978-4-863123854
	(2)	0107602	—	0111102D2	William Ives*	火	3・4	【Stretch 1 2nd Edition】ISBN:ISBN : 9780194135931
	(3)	0107603	—	0111103D2	Gary O. Haase*	火	3・4	【Active Presentation B (2017～) Speech and Presentaion Activities (購入方法については初回授業で指示) 】ISBN:
	(4)	0107604	—	0111104D2	Leigh McDowell*	火	3・4	【Keynote Level 3 Student Book with Spark Access + e-Book (1 year access) 2nd ed.】ISBN:978-0-357-96071-4
	(5)	0107605	—	0111105D2	西岡幸恵*	火	3・4	【Keynote 1 with the Spark platform】ISBN:9798214-333854
	(6)	0107606	—	0111106D2	To Calum Philip Minh	金	3・4	【Keynote Level 3 2nd ed. Student Book with Spark Access + e-Book (1 year access)】ISBN:9780357960714
	(7)	0107607	—	0111107D2	William Ives*	金	3・4	【Stretch 1 2nd Edition】ISBN:ISBN : 9780194135931
	(8)	0107608	—	0111108D2	松林和佳子*	金	3・4	【Dynamic Presentations】ISBN:978-4-7647-4156-0
	(9)	0107609	—	0111109D2	雲島知恵	金	3・4	【Successful Presentations: An Interactive Guide】ISBN:9784863124134
	(10)	0107610	—	0111110D2	齊藤美和	金	3・4	【プレゼンテーションの英語表現】ISBN:978-4532110390
	(11)	0107611	—	0111111D2	正田久美*	金	3・4	【Presentation to Go: Building Presentation Skills for Your Future Career】ISBN:978-4-86312-410-3
	(12)	0107612	—	0111112D2	松井ゆう子*	金	3・4	プリント
	(13)	0107613	—	0111113D2	中尾朋子*	金	3・4	【Keynote 3 Combo Split 3B with Spark Access + e-Book (1 year access) 】ISBN:9798214333946
	(14)	0107614	—	0111114D2	柑本幸子*	金	3・4	プリント
	(15)	0107615	—	0111115D2	小林佳寿*	火	3・4	【Winning Presentations】ISBN:978-4-7919-3424-9
	(16)	0107616	—	0111116D2	中川朗子*	火	3・4	プリント
	(17)	0107617	—	0111117D2	徳田真央*	火	3・4	【College Presentation】ISBN:978-4-7647-4099-0
	(18)	0107618	—	0111118D2	北口未来*	火	3・4	【Activator next】ISBN:978-4-7647-4178-2

【後期】

*は非常勤講師

講義名 (クラス)	講義 コード	対象	科目ナンバ リングコード	担当者	曜日	時限	教科書
コン プ リ ヘ ン シ ブ	(13)	0106113	—	0111013D1 齊藤美和	金	1・2	【British News Update 8 (BBC)】 ISBN:978-4-7647-4241-3
	(14)	0106114	—	0111014D1 佐本涼子	金	1・2	プリント
	(15)	0106115	—	0111015D1 竹本憲昭	金	1・2	プリント
	(16)	0106116	—	0111016D1 市川千恵子	火	1・2	【You, Me and the World: 3rd edition featuring SDGs】 ISBN:978-4-7647-4205-5
	(17)	0106117	—	0111017D1 須賀あゆみ	火	1・2	【Intercultural Perspectives】 ISBN:978-4-7647-4248-2
	(18)	0106118	—	0111018D1 石谷祐子*	火	1・2	【OUR WORLD, OUR STORIES】 ISBN:978-4-7919-7317-0
	(19)	0106119	—	0111019D1 太田純*	火	1・2	【AFP World News Report 8】 ISBN:978-4-7919-7344-6
	(20)	0106120	—	0111020D1 井上瞬*	火	1・2	【Elevate your English with Shadowing-VOA Learning English】 ISBN:978-4-384-33531-6
	(21)	0106121	—	0111021D1 石谷祐子*	金	1・2	【OUR WORLD, OUR STORIES】 ISBN:978-4-7919-7317-0
	(22)	0106122	—	0111022D1 北島美咲 *	金	1・2	【Well-being: Essential Elements for Our Life】 ISBN:978-4-88198-788-9
	(23)	0106123	—	0111023D1 井上瞬*	金	1・2	【AFP World News Report 8】 ISBN:978-4-7919-7344-6
	(24)	0106124	—	0111024D1 前田悦子*	金	1・2	【Social Perspectives】 ISBN:978-4-384-33527-9
ブ ラ ク テ ィ カ ル	(29)	0106629	—	0111053D1 Leigh McDowell*	火	1・2	【Oxford Bookworms Library Factfiles Level 4: Women Who Made a Difference】 ISBN:9780194267809
	(30)	0106630	—	0111054D1 To Calum Philip Minh	火	1・2	【World English Level 3 3rd ed. Student Book with Spark Access + e-Book (1 year access)】 ISBN:9798214085289
	(31)	0106631	—	0111055D1 Gary O. Haase*	火	1・2	【American Empower Student' s Book A with Digital Pack, Upper-intermediate/B2】 ISBN:9781108861427
	(32)	0106632	—	0111056D1 William Ives*	火	1・2	【Smartchoice 1】 ISBN:ISBN : 9780194060998
	(33)	0106633	—	0111057D1 Andrew Sowter*	火	1・2	【 Impact Second Edition Combo Split 2A with Spark Access + e-Book (1 year access) 】 ISBN:9798214175140
	(34)	0106634	—	0111058D1 佐本涼子	火	1・2	プリント
	(35)	0106635	—	0111059D1 中川千帆	火	1・2	【 Effective Academic Writing Level 3】 ISBN:9780194323482
	(36)	0106636	—	0111060D1 西岡幸恵*	金	1・2	【Global Gate Upper-intermediate】 ISBN:978-4-7919-7283-8
	(37)	0106637	—	0111061D1 William Ives*	金	1・2	【Smartchoice 1】 ISBN:ISBN : 9780194060998
	(38)	0106638	—	0111062D1 正田久美*	金	1・2	【Global Connections: Communicative English with National Geographic Video】 ISBN:978-1-305-58444-0
	(39)	0106639	—	0111063D1 伊達桃子	金	1・2	【Voice Your Opinion】 ISBN:978-4-7647-4179-9
	(40)	0106640	—	0111064D1 市川千恵子	金	1・2	【British News Update 8】 ISBN:978-4-7647-4241-3
	(41)	0106641	—	0111065D1 雲島知恵	金	1・2	【Working in Japan <Further Explorations> 】 ISBN:9784863124356
	(42)	0106642	—	0111066D1 須賀あゆみ	金	1・2	【Voice Your Opinion】 ISBN:978-4-7647-4149-9
	(43)	0106643	—	0111067D1 松井ゆう子*	金	1・2	【Write It Right!】 ISBN:978-4-7553-0363-0
	(44)	0106644	—	0111068D1 前田哲宏*	金	1・2	【 5つのステップで学ぶパラグラフ・ライティング】 ISBN:978-4-7553-0051-6
	(45)	0106645	—	0111069D1 中尾朋子*	金	1・2	【Ready to Present 】 ISBN:978-4-86312-351-9
	(46)	0106646	—	0111070D1 松林和佳子*	金	1・2	【INTEGRITY Intermediate-Vitalize Your English Studies with Authentic Videos】 ISBN:978-4-7647-4175-1
	(47)	0106647	—	0111071D1 柑本幸子*	金	1・2	【Message Delivered Upper Intermediate】 ISBN:978-4-523-17903-0
	(48)	0106648	—	0111072D1 進藤三佳*	火	1・2	プリント
	(49)	0106649	—	0111073D1 小林佳寿*	火	1・2	【Speaking Steps】 ISBN:978-4-7647-4151-5
	(50)	0106650	—	0111074D1 福地浩子*	火	1・2	【Notting Hill: New Format Edition】 ISBN:978-4-88198-590-8
	(51)	0106651	—	0111075D1 伊達桃子	火	1・2	【Voice Your Opinion】 ISBN:978-4-7647-4179-9
	(52)	0106652	—	0111076D1 北口未来*	火	1・2	【Our Time, Our Lives, Our Movies映画で読むわたしたちの時代と社会】 ISBN:978-4-7647-4044-0
	(53)	0106653	—	0111077D1 雲島知恵	火	1・2	【Working in Japan <Further Explorations> 】 ISBN:9784863124356
	(54)	0106654	—	0111078D1 徳田真央*	火	1・2	【Presentable】 ISBN:978-4-86312-425-7
	(55)	0106655	—	0111079D1 中川朗子*	火	1・2	プリント
	(56)	0106656	—	0111080D1 西岡幸恵*	火	1・2	【Global Gate Upper-intermediate】 ISBN:978-4-7919-7283-8
ア カ デ ミ ッ ク	(11)	0107111	—	0111091D2 前田悦子*	金	3・4	【CNN: ビデオで見る世界のニュース(27)】 ISBN:978-4-255-15746-7
	(12)	0107112	—	0111092D2 北島美咲*	金	3・4	【Vital Voices 3 People & Cultures on Video】 ISBN:978-4-7754-5013-0
	(13)	0107113	—	0111093D2 太田純*	火	3・4	【Changes and Choices】 ISBN:978-4-269-19045-0
	(14)	0107114	—	0111094D2 山本尚子*	火	3・4	【CNN 10 Students News Vol.14】 ISBN:978-4-255-15747-4
	(15)	0107115	—	0111095D2 雲島知恵	火	3・4	【Introduction to Academic Reading: Acquiring the Essential Academic Vocabulary】 ISBN:978-4-86312-049-5
	(16)	0107116	—	0111096D2 進藤三佳*	火	3・4	プリント
	(17)	0107117	—	0111097D2 石谷祐子*	火	3・4	【Tipping Point Thinking from Diverse Perspectives】 ISBN:978-4-255-15740-5
	(18)	0107118	—	0111098D2 岡田律子*	金	3・4	【SDGs and Challenges We Face 映像メディアで考えるSDGs 】 ISBN:978-4-88198-781-0
	(19)	0107119	—	0111099D2 福地浩子*	金	3・4	【Reading Fusion 2, Second Edition】 ISBN:978-4-523-17973-3
	(20)	0107120	—	0111100D2 石谷祐子*	金	3・4	【Tipping Point Thinking from Diverse Perspectives】 ISBN:978-4-255-15740-5
ブ レ ゼ ン テ ー シ ョ ン	(19)	0107619	—	0111119D2 William Ives*	火	3・4	【Stretch 1 2nd Edition】 ISBN:ISBN : 9780194135931
	(20)	0107620	—	0111120D2 Andrew Sowter*	火	3・4	【Speaking of Speech Premium Edition】 ISBN:978-4-863123854
	(21)	0107621	—	0111121D2 Leigh McDowell*	火	3・4	【Keynote Level 3 Student Book with Spark Access + e-Book (1 year access) 2nd ed. 】 ISBN:978-0-357-96071-4
	(22)	0107622	—	0111122D2 西岡幸恵*	火	3・4	【Keynote 1 with the Spark platform】 ISBN:9798214-333854
	(23)	0107623	—	0111123D2 Gary O. Haase*	火	3・4	【Active Presentation B (2017~) Speech and Presentation Activities (購入方法については初回授業で指示) 】 ISBN:
	(24)	0107624	—	0111124D2 William Ives*	金	3・4	【Stretch 1 2nd Edition】 ISBN:ISBN : 9780194135931
	(25)	0107625	—	0111125D2 To Calum Philip Minh	金	3・4	【Keynote Level 3 2nd ed. Student Book with Spark Access + e-Book (1 year access)】 ISBN:9780357960714
	(26)	0107626	—	0111126D2 正田久美*	金	3・4	【Presentation to Go: Building Presentation Skills for Your Future Career】 ISBN:978-4-86312-410-3
	(27)	0107627	—	0111127D2 松林和佳子*	金	3・4	【Dynamic Presentations】 ISBN:978-4-7647-4156-0
	(28)	0107628	—	0111128D2 雲島知恵	金	3・4	プリント (学生が前期に使った教科書を継続して使用)
	(29)	0107629	—	0111129D2 中尾朋子*	金	3・4	【Speaking of Speech Premium Edition】 ISBN:978-4-86312-385-4
	(30)	0107630	—	0111130D2 柑本幸子*	金	3・4	プリント
	(31)	0107631	—	0111131D2 井上瞬*	金	3・4	【College Presentation: Bridge to Better Communication】 ISBN:978-4-7647-4099-0
	(32)	0107632	—	0111132D2 松井ゆう子*	金	3・4	プリント
	(33)	0107633	—	0111133D2 徳田真央*	火	3・4	【College Presentation】 ISBN:978-4-7647-4099-0
	(34)	0107634	—	0111134D2 北口未来*	火	3・4	【Activator next】 ISBN:978-4-7647-4178-2
	(35)	0107635	—	0111135D2 中川朗子*	火	3・4	プリント
	(36)	0107636	—	0111136D2 小林佳寿*	火	3・4	【Winning Presentations】 ISBN:978-4-7919-3424-9

ドイツ語クラス分け・教科書一覧表

【前期】*は非常勤講師

講義名 (クラス)		講義 コード	対象	科目ナンバ リングコード	担当者	曜日	時限	教科書
ドイツ語	I A(1)	0110001	文ABCD	0111201D1	吉田孝夫	月	5・6	松鶴功記ほか『リヒトホーフ・ノイ』朝日出版社
	I A(2)	0110002	文ABCD	0111202D1	吉田孝夫	木	5・6	松鶴功記ほか『リヒトホーフ・ノイ』朝日出版社
	I B(1)	0110501	文ABCD	0111217D1	ロジュー・ティボール・ワルツヒ*	月	3・4	Denglerほか『Netzwerk neu A1.1』Klett (978-3-12-607161-1 または新版 978-3-12-607154-3)
	I B(2)	0110502	文ABCD	0111218D1	トーマス・ハックナー	木	3・4	Denglerほか『Netzwerk neu A1.1』Klett (978-3-12-607161-1 または新版 978-3-12-607154-3)
	I A(3)	0110003	文EFGH	0111203D1	児玉麻美	月	7・8	児玉麻美、木田綾子、野村優子『ドイツ語デジタル教科書 (電子書籍)』白水社
	I A(4)	0110004	文EFGH	0111204D1	児玉麻美	木	3・4	児玉麻美、木田綾子、野村優子『ドイツ語デジタル教科書 (電子書籍)』白水社
	I B(3)	0110503	文EFGH	0111219D1	ロジュー・ティボール・ワルツヒ*	月	5・6	Denglerほか『Netzwerk neu A1.1』Klett (978-3-12-607161-1 または新版 978-3-12-607154-3)
	I B(4)	0110504	文EFGH	0111220D1	トーマス・ハックナー	木	5・6	Denglerほか『Netzwerk neu A1.1』Klett (978-3-12-607161-1 または新版 978-3-12-607154-3)
	I A(5)	0110005	理1	0111205D1	池田晋也*	月	7・8	上野成利ほか『パノラマ』(三訂版) 白水社
	I B(5)	0110505	理1	0111221D1	土谷真理子*	木	3・4	清野智昭『恋するベルリン』(Web改訂版) 朝日出版社
	I A(7)	0110007	理2	0111207D1	小松紀子*	月	7・8	上野成利ほか『パノラマ』(三訂版) 白水社
	I B(7)	0110507	理2	0111223D1	廣川香織*	木	3・4	清野智昭『恋するベルリン』(Web改訂版) 朝日出版社
	I A(9)	0110009	理3	0111209D1	藤田隼風*	月	7・8	上野成利ほか『パノラマ』(三訂版) 白水社
	I B(9)	0110509	理3	0111225D1	西井美幸*	木	3・4	清野智昭『恋するベルリン』(Web改訂版) 朝日出版社
	I A(11)	0110011	生1	0111210D1	池田晋也*	月	5・6	上野成利ほか『パノラマ』(三訂版) 白水社
	I B(11)	0110511	生1	0111228D1	土谷真理子*	木	5・6	清野智昭『恋するベルリン』(Web改訂版) 朝日出版社
	I A(13)	0110013	生2	0111212D1	小松紀子*	月	5・6	上野成利ほか『パノラマ』(三訂版) 白水社
	I B(13)	0110513	生2	0111230D1	廣川香織*	木	5・6	清野智昭『恋するベルリン』(Web改訂版) 朝日出版社
	I A(15)	0110015	生3	0111214D1	藤田隼風*	月	5・6	上野成利ほか『パノラマ』(三訂版) 白水社
	I B(15)	0110515	生3	0111232D1	小松紀子*	木	5・6	清野智昭『恋するベルリン』(Web改訂版) 朝日出版社
	II A(5)	0111005	理生工 (2回生以上)	0111237D2	西井美幸*	木	1・2	福山明治ほか『ドイツ語作文400題』朝日出版社、
	II B(5)	0111505	理生工 (2回生以上)	0111243D2	トーマス・ハックナー	月	5・6	プリントもしくはPDFの形で授業時に配布
	III	0112000	全学 (2年次以上)	0111245D2	児玉麻美	月	3・4	Annette Elisabeth von Droste-Hülshoff『ユーデンプーヘ』(小川超 編) 同学社

【後期】

講義名 (クラス)		講義 コード	対象	科目ナンバ リングコード	担当者	曜日	時限	教科書
ドイツ語	II A(1)	0111001	文ABCD	0111233D1	吉田孝夫	月	5・6	松鶴功記ほか『リヒトホーフ・ノイ』朝日出版社
	II A(2)	0111002	文ABCD	0111234D1	吉田孝夫	木	5・6	松鶴功記ほか『リヒトホーフ・ノイ』朝日出版社
	II B(1)	0111501	文ABCD	0111239D1	ロジュー・ティボール・ワルツヒ*	月	3・4	Denglerほか『Netzwerk neu A1.2』Klett (978-3-12-607169-7 または新版978-3-12-607155-0)
	II B(2)	0111502	文ABCD	0111240D1	トーマス・ハックナー	木	3・4	Denglerほか『Netzwerk neu A1.2』Klett (978-3-12-607169-7 または新版978-3-12-607155-0)
	II A(3)	0111003	文EFGH	0111235D1	児玉麻美	月	7・8	児玉麻美、木田綾子、野村優子『ドイツ語デジタル教科書 (電子書籍)』白水社
	II A(4)	0111004	文EFGH	0111236D1	児玉麻美	木	3・4	児玉麻美、木田綾子、野村優子『ドイツ語デジタル教科書 (電子書籍)』白水社
	II B(3)	0111503	文EFGH	0111241D1	ロジュー・ティボール・ワルツヒ*	月	5・6	Denglerほか『Netzwerk neu A1.2』Klett (978-3-12-607169-7 または新版978-3-12-607155-0)
	II B(4)	0111504	文EFGH	0111242D1	トーマス・ハックナー	木	5・6	Denglerほか『Netzwerk neu A1.2』Klett (978-3-12-607169-7 または新版978-3-12-607155-0)
	I A(6)	0110006	理1	0111206D1	池田晋也*	月	7・8	上野成利ほか『パノラマ』(三訂版) 白水社
	I B(6)	0110506	理1	0111222D1	土谷真理子*	木	3・4	清野智昭『恋するベルリン』(Web改訂版) 朝日出版社
	I A(8)	0110008	理2	0111208D1	小松紀子*	月	7・8	上野成利ほか『パノラマ』(三訂版) 白水社
	I B(8)	0110508	理2	0111224D1	廣川香織*	木	3・4	清野智昭『恋するベルリン』(Web改訂版) 朝日出版社
	I A(10)	0110010	理3	0111210D1	藤田隼風*	月	7・8	上野成利ほか『パノラマ』(三訂版) 白水社
	I B(10)	0110510	理3	0111226D1	西井美幸*	木	3・4	清野智昭『恋するベルリン』(Web改訂版) 朝日出版社
	I A(12)	0110012	生1	0111211D1	池田晋也*	月	5・6	上野成利ほか『パノラマ』(三訂版) 白水社
	I B(12)	0110512	生1	0111229D1	土谷真理子*	木	5・6	清野智昭『恋するベルリン』(Web改訂版) 朝日出版社
	I A(14)	0110014	生2	0111213D1	小松紀子*	月	5・6	上野成利ほか『パノラマ』(三訂版) 白水社
	I B(14)	0110514	生2	0111231D1	廣川香織*	木	5・6	清野智昭『恋するベルリン』(Web改訂版) 朝日出版社
	I A(16)	0110016	生3	0111215D1	藤田隼風*	月	5・6	上野成利ほか『パノラマ』(三訂版) 白水社
	I B(16)	0110516	生3	0111233D1	小松紀子*	木	5・6	清野智昭『恋するベルリン』(Web改訂版) 朝日出版社
	II A(6)	0111006	理生工 (2回生以上)	0111238D2	西井美幸*	木	1・2	福山明治ほか『ドイツ語作文400題』朝日出版社、
	II B(6)	0111506	理生工 (2回生以上)	0111244D2	トーマス・ハックナー	月	5・6	プリントもしくはPDFの形で授業時に配布
	IV	0112100	全学 (2年次以上)	0111246D2	児玉麻美	月	3・4	Adalbert Stifter『石灰石』(小川超 編) 同学社

フランス語クラス分け・教科書一覧表

【前期】 *は非常勤講師

講義名 (クラス)	講義 コード	対象	科目ナンバ リングコード	担当者	曜日	時限	教科書
フ ラ ン ス 語	I A(1)	0114001	文ABCD	0111301D1	高岡尚子	月	3・4『Accès くわしく学ぶフランス語の基礎』 朝日出版社
	I A(2)	0114002	文ABCD	0111302D1	高岡尚子	木	3・4『Accès くわしく学ぶフランス語の基礎』 朝日出版社
	I B(1)	0114501	文ABCD	0111311D1	各務奈緒子*	木	5・6 Totem 1 Hachette
	I B(2)	0114502	文ABCD	0111312D1	イザベル・トノムラ	月	5・6 Totem 1 Hachette
	I A(3)	0114003	文EFGH	0111303D1	森田俊吾	月	7・8『Accès くわしく学ぶフランス語の基礎』 朝日出版社
	I A(4)	0114004	文EFGH	0111304D1	森田俊吾	木	5・6『Accès くわしく学ぶフランス語の基礎』 朝日出版社
	I B(4)	0114504	文EFGH	0111314D1	イザベル・トノムラ	月	3・4 Totem 1 Hachette
	I B(3)	0114503	文EFGH	0111313D1	各務奈緒子*	木	7・8 Totem 1 Hachette
	I A(5)	0114005	理生工 1	0111305D1	藤田あゆみ*	木	5・6『ビエールとユゴー』〔三訂版〕 白水社
	I A(6)	0114006	理生工 1	0111306D1	川上紘史*	木	5・6『ビエールとユゴー』〔三訂版〕 白水社
	I A(9)	0114009	理生工 1	0111309D1	藤田あゆみ*	木	3・4『ビエールとユゴー』〔三訂版〕 白水社
	I B(5)	0114505	理生工 1	0111315D1	各務奈緒子*	月	5・6『パリのクール・ジャパン』 朝日出版社
	I B(6)	0114506	理生工 1	0111316D1	各務奈緒子*	月	7・8『パリのクール・ジャパン』 朝日出版社
	I B(9)	0114509	理生工 1	0111319D1	柿本佳美*	月	5・6『パリのクール・ジャパン』 朝日出版社
	II A(5)	0115005	理・生 (2年次以上)	0111325D2	各務奈緒子*	月	3・4『カフェ・フランセ 2』 朝日出版社
	II B(5)	0115505	理・生 (2年次以上)	0111331D2	イザベル・トノムラ	金	3・4 Totem 2 Hachette
	III	0116000	全学 (2年次以上)	0111333D2	森田俊吾	月	3・4 プリント配布

【後期】

講義名 (クラス)	講義 コード	対象	科目ナンバ リングコード	担当者	曜日	時限	教科書
フ ラ ン ス 語	II A(1)	0115001	文ABCD	0111321D1	高岡尚子	月	3・4『Accès くわしく学ぶフランス語の基礎』 朝日出版社
	II A(2)	0115002	文ABCD	0111322D1	高岡尚子	木	3・4『Accès くわしく学ぶフランス語の基礎』 朝日出版社
	II B(1)	0115501	文ABCD	0111327D1	各務奈緒子*	木	5・6 Totem 1 Hachette
	II B(2)	0115502	文ABCD	0111328D1	イザベル・トノムラ	月	5・6 Totem 1 Hachette
	II A(3)	0115003	文EFGH	0111323D1	森田俊吾	月	7・8『Accès くわしく学ぶフランス語の基礎』 朝日出版社
	II A(4)	0115004	文EFGH	0111324D1	森田俊吾	木	5・6『Accès くわしく学ぶフランス語の基礎』 朝日出版社
	II B(3)	0115503	文EFGH	0111329D1	各務奈緒子*	木	7・8 Totem 1 Hachette
	II B(4)	0115504	文EFGH	0111330D1	イザベル・トノムラ	月	3・4 Totem 1 Hachette
	I A(7)	0114007	理生工 1	0111307D1	藤田あゆみ*	木	5・6『ビエールとユゴー』〔三訂版〕 白水社
	I A(8)	0114008	理生工 1	0111308D1	川上紘史*	木	5・6『ビエールとユゴー』〔三訂版〕 白水社
	I A(10)	0114010	理生工 1	0111310D1	藤田あゆみ*	木	3・4『ビエールとユゴー』〔三訂版〕 白水社
	I B(7)	0114507	理生工 1	0111317D1	各務奈緒子*	月	5・6『パリのクール・ジャパン』 朝日出版社
	I B(8)	0114508	理生工 1	0111318D1	各務奈緒子*	月	7・8『パリのクール・ジャパン』 朝日出版社
	I B(10)	0114510	理生工 1	0111320D1	柿本佳美*	月	5・6『パリのクール・ジャパン』 朝日出版社
	II A(6)	0115006	理・生 (2年次以上)	0111326D2	各務奈緒子*	月	3・4『カフェ・フランセ 2』 朝日出版社
	II B(6)	0115506	理・生 (2年次以上)	0111332D2	イザベル・トノムラ	金	3・4 Totem 2 Hachette
	IV	0116100	全学 (2年次以上)	0111334D2	森田俊吾	月	3・4 プリント配布

中国語クラス分け・教科書一覧表

【前期】

*は非常勤講師

講義名 (クラス)		講義 コード	対象	科目ナンバ リングコード	担当者	曜日	時限	教科書
中国語	I (A)	0118001	文ABCD	0111501D1	前田真砂美	月	1・2	・『初級中国語 講読編～自分のことばで表現する中国語～改訂版』 金星堂 (978-4-7647-0730-6) ・『初級中国語 会話編～自分のことばで話す中国語～改訂版』 金星堂 (978-4-7647-0729-0)
	I (B)	0118002	文ABCD	0111502D1	大平幸代	月	3・4	
	I (C)	0118003	文ABCD	0111503D1	曾環蕙*	木	1・2	
	I (D)	0118004	文ABCD	0111504D1	曾環蕙*	木	3・4	
	I (E)	0118005	文EFGH	0111505D1	大平幸代	月	1・2	
	I (F)	0118006	文EFGH	0111506D1	前田真砂美	月	3・4	
	I (G)	0118007	文EFGH	0111507D1	何穎*	木	1・2	
	I (H)	0118008	文EFGH	0111508D1	何穎*	木	3・4	
	I (J)	0118009	生 (食物・心身)	0111509D1	何穎*	月	5・6	
	I (L)	0118011	生 (食物・心身)	0111511D1	西尾和子*	木	5・6	
	I (K)	0118010	生 (住環・文情)	0111510D1	西尾和子*	月	5・6	
	I (M)	0118012	生 (住環・文情)	0111512D1	何穎*	木	5・6	
	I (R)	0118017	生(編入・再履) 、工	0111517D1	西尾和子*	月	7・8	
	I (S)	0118018	生(編入・再履) 、工	0111518D1	曾環蕙*	木	7・8	
	II (J)	0118509	生・工 (2年次以上)	0111529D2	西尾和子*	木	7・8	『カレント中国ー初級から中級へー』朝日出版社(978-4-255-45302-6)
	III	0118600	全学 (2年次以上)	0111531D2	何穎*	月	7・8	『時事中国語の教科書2026年度版』朝日出版社(978-4-255-45420-7)

【後期】

講義名 (クラス)		講義 コード	対象	科目ナンバ リングコード	担当者	曜日	時限	教科書
中国語	II (A)	0118501	文ABCD	0111521D1	前田真砂美	月	1・2	各クラス毎に指示
	II (B)	0118502	文ABCD	0111522D1	大平幸代	月	3・4	
	II (C)	0118503	文ABCD	0111523D1	曾環蕙*	木	1・2	
	II (D)	0118504	文ABCD	0111524D1	曾環蕙*	木	3・4	
	II (E)	0118505	文EFGH	0111525D1	大平幸代	月	1・2	
	II (F)	0118506	文EFGH	0111526D1	前田真砂美	月	3・4	
	II (G)	0118507	文EFGH	0111527D1	何穎*	木	1・2	
	II (H)	0118508	文EFGH	0111528D1	何穎*	木	3・4	
	I (N)	0118013	生 (食物・心身)	0111513D1	何穎*	月	5・6	・『初級中国語 講読編～自分のことばで表現する中国語～改訂版』 金星堂 (978-4-7647-0730-6) ・『初級中国語 会話編～自分のことばで話す中国語～改訂版』 金星堂 (978-4-7647-0729-0)
	I (P)	0118015	生 (食物・心身)	0111515D1	西尾和子*	木	5・6	
	I (O)	0118014	生 (住環・文情)	0111514D1	西尾和子*	月	5・6	
	I (Q)	0118016	生 (住環・文情)	0111516D1	何穎*	木	5・6	
	I (T)	0118019	生(編入・再履) 、工	0111519D1	西尾和子*	月	7・8	
	I (U)	0118020	生(編入・再履) 、工	0111520D1	曾環蕙*	木	7・8	
	II (K)	0118510	生・工 (2年次以上)	0111530D2	西尾和子*	木	7・8	『カレント中国ー初級から中級へー』朝日出版社(978-4-255-45302-6)
	IV	0118700	全学 (2年次以上)	0111532D2	何穎*	月	7・8	『時事中国語の教科書2026年度版』朝日出版社(978-4-255-45420-7)

(2) 日本語科目

外国人留学生がより深く日本語・日本文化を学ぶために開講される日本語教育の科目です（日本人学生は履修できません）。授業は原則として全て日本語で行われます。

日本語科目の履修単位は、各学部規程により、「外国語科目」の履修単位として認められます。『キャンパスライフ』の次の個所をよく読み、卒業要件単位を満たすよう履修してください。

文学部生……文学部規程第2章第5条 理学部生……理学部規程第2章第4条
生活環境学部生……生活環境学部規程第2章第5条
工学部生……工学部規程第2章第5条

★日本語科目のレベル目安（習熟度によって受講できない場合があります。）

初学者・・・「日本語 F」

日本語能力試験 N4 ～ N3・・・「日本語 J」

日本語能力試験 N2・・・「日本語 I」および「日本事情」

日本語能力試験 N1・・・「日本語 II」

日本語科目の履修

■ 日本語科目は1年次から受講可能です。受講希望者は履修登録期間内に登録してください。

日本語科目一覧

日本語科目

*は非常勤講師

科目ナンバリングコード	講義名	内 容	担 当 者	学期	曜日	時間	教室
0112001E1	日本語 I A	文法	中川 明日佳*	前期	火	5・6	A210
0112002E1	日本語 I B	文法	中川 明日佳*	後期	火	5・6	A210
0112003E1	日本語 I C	読解	吉川 仁子	前期	金	3・4	S227
0112004E1	日本語 I D	読解	吉川 仁子	後期	金	3・4	S227
0112005E1	日本語 II A	聴解	松永 光代	前期	木	3・4	国際セミナー室
0112006E1	日本語 II B	聴解	松永 光代	後期	木	3・4	国際セミナー室
0112007E1	日本語 II C	作文	今枝 杏子*	前期	月	3・4	S124
0112008E1	日本語 II D	作文	今枝 杏子*	後期	月	3・4	S124
0112009E1	日本事情 A	総合力	久岡 明徳*	前期	水	7・8	国際セミナー室
0112010E1	日本事情 B	総合力	久岡 明徳*	後期	水	7・8	国際セミナー室
0112011E1	日本語 F I (1)	総合力	松永 光代	前期	火	7・8	N203
0112012E1	日本語 F I (2)	総合力	松永 光代	後期	火	7・8	N203
0112013E1	日本語 F II (1)	総合力	松永 光代	前期	火	9・10	N203
0112014E1	日本語 F II (2)	総合力	松永 光代	後期	火	9・10	N203
0112015E1	日本語 F III	総合力	松永 光代	前期	水	7・8	N203
0112016E1	日本語 F IV	総合力	松永 光代	後期	水	7・8	N203
0112017E1	日本語 J I	総合力	吉川 仁子	前期	木	3・4	IT コモンズ2
0112018E1	日本語 J II	総合力	吉川 仁子	後期	木	3・4	N203

※下記科目は外国語科目の履修単位として認められませんが、日本語教育の科目です。

キャリアデザイン・ゼミナール A

科目ナンバリングコード	講義名	テーマ	担 当 者	学期	曜日	時間	教室
0210109B1	キャリアデザイン・ゼミナール (19)	ビジネス 日本語 A	松永 光代	前期	木	9・10	S124
0210110B1	キャリアデザイン・ゼミナール (20)	ビジネス 日本語 B	松永 光代	後期	木	9・10	S124

※教室表示のない科目については、シラバス又は Campus-Xs で確認。

★履修に関する相談、問い合わせ先

オフィスアワー 松永 (N227)：月曜 14：40 ～ 16：10

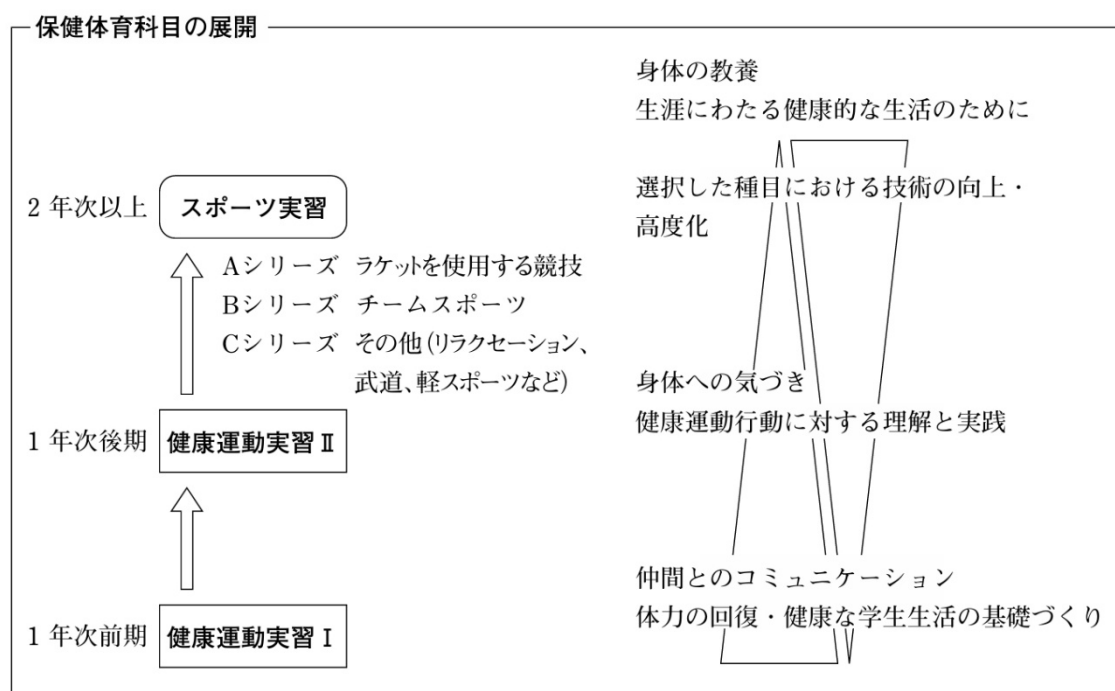
吉川 (N221)：火曜 16：20 ～ 17：00

(3) 保健体育科目

保健体育科目には、基礎的な内容を扱う「健康運動実習」と発展的な内容を扱う「スポーツ実習」の2種類の科目があります。

全学部で必修となっている保健体育科目2単位は、「健康運動実習Ⅰ」（1単位、1年次前期）と「健康運動実習Ⅱ」（1単位、1年次後期）を履修しなければなりません。大学生の健康と体力づくりの基礎となる科目です。この2科目については、それぞれ学部別にクラスが指定されます。掲示を確かめて、各自が履修登録すべきクラスを間違えないように気をつけてください。「健康運動実習」2単位は、教員免許状取得のための必修単位です。

「スポーツ実習」は、発展篇として様々な種目のスポーツを体験し、個人スポーツやチーム競技を学んでいく科目です。「スポーツ実習」の履修単位は、保健体育科目の必修単位には数えられませんが、基礎科目群の履修単位として認められます。



保健体育科目の履修

健康運動実習

- 全学部とも、「健康運動実習Ⅰ」（前期 1 単位）「健康運動実習Ⅱ」（後期 1 単位）の計 2 単位が 1 年次での必修科目となっています。
- 次ページに、学部別のクラス分けが書かれています。さらに各クラスは学生番号によって分けられます。詳細なクラス分けについては、掲示によって通知されますので、必ず確認して、誤りなく履修登録してください。
- 再履修者は、原則として最初に受講したクラスに履修登録してください。最初の授業で各担当教員に申し出ること。ただし、時間割上不都合のある場合は、後述の問い合わせ先まで申し出てください。
- 「健康運動実習」2 単位は、教員免許状取得のための必修単位です。

スポーツ実習

- スポーツ実習の履修単位は、「基礎科目群」の履修単位として認められます。
- スポーツ実習については、何科目でも履修が可能です。ただし、すでに履修済みの科目を重複して登録することはできません。また、設備などの都合により、受講者数の制限を行うことがあります。（第一週授業の出席者を優先します）
- スポーツ実習は A（ラケットを使用する競技）・B（チームスポーツ）・C（その他：リラクゼーション、武道、軽スポーツなど）の 3 分野からなり、種目別や習熟度別に開講されています。様々なスポーツに楽しく挑戦してください。

令和 8 年度編入学生へ

令和 8 年度の第 3 年次編入学生（全学部）が、必修の保健体育科目を履修する場合、専門科目の時間割などの都合で「健康運動実習（A ～ P 15 クラス）」の履修が困難な時には、「スポーツ実習」（A ～ C 各科目）の履修によって代替することができます。

この代替措置については、所属学科の教務担当教員・学務課の各学部係とよく相談してください。

【重要】保健体育科目の授業出席に関する確認事項

実技科目のため、「授業への出席（対面）」「運動参加や態度」「受講生同士の交流・コミュニケーション」といった観点を重視しています。

履修や授業展開に関して不安や心配事がある場合は、まずは教員までご相談ください。

- ① 下記窓口教員に相談する（主に履修登録期間や授業開始以前。随時、相談は受け付けます）
- ② 授業担当教員に直接相談する（主に授業開始以降）

《問い合わせ窓口》

以下のような時は実習窓口までお問い合わせください。個別具体的な相談内容については守秘義務を遵守します。

- 編入生、再履修について
 - ※ 「健康運動実習」のクラス分けに必要な情報のため、該当する学生は必ずご連絡ください。
- 保健体育科目の履修全般に関する質問・相談について

生活環境学部心身健康学科 スポーツ健康科学コース

浅野友之 N118 (0742-20-3773) t.asano@cc.nara-wu.ac.jp

健康運動実習クラス一覧

前期

健康運動実習Ⅰ

*は非常勤講師

クラス	対象	科目ナンバリングコード	担当者	曜日	時限
(A)	文学部	0113001D1	平塚卓也	月	7・8
(B)	文学部	0113003D1	河西正博*	月	7・8
(C)	文学部	0113005D1	智原江美*	金	5・6
(D)	文学部	0113007D1	辻野和美*	金	5・6
(E)	環境科学コース	0113009D1	石坂友司	水	3・4
(F)	数物科学科A	0113011D1	井上裕美子*	木	5・6
(G)	数物科学科B	0113013D1	成瀬九美	木	5・6
(H)	化学コース	0113015D1	奥田直希*	金	3・4
(I)	生物科学コース	0113017D1	浅野友之	金	3・4
(J)	食物栄養学科	0113019D1	小山宏之*	火	7・8
(K)	心身健康学科	0113021D1	星野聡子	火	7・8
(L)	住環境学科	0113023D1	智原江美*	金	7・8
(M)	生活文化学コース	0113025D1	辻野和美*	金	7・8
(N)	工学部A	0113027D1	浅野友之	火	3・4
(O)	工学部B	0113029D1	小西暢子*	火	3・4
(P)	生活情報通信科学コース	0113031D1	井上理佐*	水	3・4

後期

健康運動実習Ⅱ

クラス	対象	科目ナンバリングコード	担当者	曜日	時限
(A)	文学部	0113002D1	平塚卓也	月	7・8
(B)	文学部	0113004D1	魚田尚吾*	月	7・8
(C)	文学部	0113006D1	智原江美*	金	5・6
(D)	文学部	0113008D1	辻野和美*	金	5・6
(E)	環境科学コース	0113010D1	石坂友司	水	3・4
(F)	数物科学科A	0113012D1	永井夕起子*	木	5・6
(G)	数物科学科B	0113014D1	成瀬九美	木	5・6
(H)	化学コース	0113016D1	奥田直希*	金	3・4
(I)	生物科学コース	0113018D1	横山瑞紀*	金	3・4
(J)	食物栄養学科	0113020D1	筒井香*	火	7・8
(K)	心身健康学科	0113022D1	星野聡子	火	7・8
(L)	住環境学科	0113024D1	智原江美*	金	7・8
(M)	生活文化学コース	0113026D1	辻野和美*	金	7・8
(N)	工学部A	0113028D1	浅野友之	火	3・4
(O)	工学部B	0113030D1	小西暢子*	火	3・4
(P)	生活情報通信科学コース	0113032D1	井上理佐*	水	3・4

スポーツ実習クラス一覧

スポーツ実習

クラス	内容	科目ナンバリングコード	担当者	学期	曜日	時限
A 9	バドミントン初級	0113041D2	河西正博*	前期	月	5・6
A 1 1	卓球初級	0113043D2	竹村匡弥*	前期	水	5・6
A 1 2	卓球初中級	0113044D2	竹村匡弥*	後期	水	5・6
B 1	バレーボール	0113045D2	竹村匡弥*	前期	水	7・8
B 2	バスケットボール	0113046D2	竹村匡弥*	後期	水	7・8
C 1	ボディ・アウエアネス	0113050D2	井上裕美子*	前期	木	7・8
C 3	リラクゼーション・フィットネス	0113052D2	永井夕起子*	後期	木	7・8
C 4	武道（剣道・なぎなた）	0113053D2	星野聡子	前期	月	5・6
C 5	スイミング・アクアエクササイズ	0113054D2	石坂友司 他	前期	—	—
C 6	スキー	0113055D2	成瀬九美 他	後期	—	—

(4) 情報処理科目

「情報処理入門」（令和6年度以前の「情報処理入門Ⅰ」から科目名変更）では、原則として学部別クラス編成で、ICTの活用が当然となっている現代社会で活躍するための基礎知識として、情報とコミュニケーション、情報ネットワーク、情報システム、情報セキュリティ、情報倫理、データサイエンス、AIなどについて体系的に学びます。

「情報処理基礎演習」では、大学での授業や課題作成に必要な不可欠なPCの基本操作、Word・Excelの基本操作と応用的な使い方、生成AIを用いる際の留意点と活用方法などについて、オンデマンド形式による動画視聴と自学自習、小テストによる確認を繰り返すことで、実践的に学びます。

教員免許状取得のためには、「情報処理入門」（2単位）が必修となります（理学部化学生物環境学科のみ「環境科学基礎プログラミング演習」（理学部専門科目）選択可能）。

情報処理科目の履修

「情報処理入門」（前期）

■ 学部別にクラスが編成されていますので、できるだけ所属学部のクラスで受講してください。

クラス	対象	科目ナンバリングコード	氏名	曜日	時限	教室
(A)	理学部	0114001A1	瀧本 栄二	火	7・8	G101
(B)	理学部・工学部	0114002A1	瀧本 栄二	水	7・8	
(C)	文学部・工学部	0114003A1	瀧本 栄二	水	1・2	
(D)	文学部・工学部	0114004A1	藤原 賢二	木	7・8	
(E)	生活環境学部	0114005A1	瀧本 栄二	火	5・6	
(F)	生活環境学部	0114006A1	Meng-Yu Jennifer Kuo	金	5・6	

「情報処理基礎演習」（後期集中）

■ 学部別にクラスが編成されていますので、所属学部のクラスで受講してください。

クラス	対象	科目ナンバリングコード	氏名	曜日	時限	教室
(A)	文学部	0114001B1	石崎研二	—	—	—
(B)	生活環境学部	0114002B1	水原啓暁	—	—	—

数理・データサイエンス・AI 教育プログラムについて

本学では、「情報処理入門」（令和3～6年度の「情報処理入門Ⅰ」）をリテラシーレベルの「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム」として実施し、「情報処理入門」の単位を修得し、理解度確認テストに合格した学生へプログラム修了証を発行しています。本プログラムは令和4年8月に文部科学省「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」に認定されました。修了証は、本プログラムを適切に修了したことを証明するものとして、就職活動等に活用してください。

プログラム詳細は大学ホームページを確認してください。

大学ホームページ→「修学案内」→「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム」
<https://www.nara-wu.ac.jp/nwu/education/aidatascience/aidatascience.html>

※「数理・データサイエンス・AI」とは、内閣府の「AI 戦略 2019」に示されているように、デジタルトランスフォーメーション（DX）社会の「読み・書き・そろばん」のことです。

4 教養科目群

教養科目群は、各自の関心に応じて、先述の「奈良女子大学的教養」を身につけるための科目群です。教養科目は専門科目を学ぶための基礎学習ではありません。従って、全在学期間を通じて履修できるようになっています（一部の科目を除く）。科目のテーマから、「大学生活入門・パサージュ」「人間と文化」「生活と社会」「人間と自然」「グローバル教育科目」という5つの分野に分けられています。

それぞれの分野の科目は、下のようになります。ただし科目によっては、毎年開講されるとは限りませんから、「Ⅷ 科目一覧・科目改正一覧」や『シラバス（Web）』を参照してください。

なお、「日本国憲法」は教員免許状取得のための必修科目、「人権と差別」、「哲学の歴史」、「現代の倫理」、「現代宗教学への招待」は教員免許状取得のために履修することが望ましい科目です。

教養科目群の分野と科目

【大学生活入門・パサージュ・諸学への誘い】

『奈良』女子大学入門、「パサージュ」、「考える力をみがく」「これからの社会で生きるために」「諸学への誘い」があります。

『奈良』女子大学入門は、特に新入生向けの導入科目で、本学の学生としての勉強や生活をスタートする際の工夫や注意点が講義されます。1回生の最初に履修することを推奨します。

「パサージュ」は、1回生の最初に大学の「学問」に触れ、それが高校までの学習と如何に違うのかを体験する授業です。（←5つの問いの1．大学ならではの学びとは何ですか？）1回生前期を前半、後半に分けて、7回の1単位科目として設定されています。学部混合で、人数は各25名程度までのミニゼミです。履修希望者は第3希望まで申し込み、希望多数の場合は抽選で人数調整します。詳細については、入学式当日に配布する資料を参照してください。[こちら](#)からガイダンス映像を見ることができます。169ページにテーマ一覧を掲載しています。

「考える力をみがく」は、パサージュでの経験やそれぞれの興味・関心、日常の大学生活の中からテーマをピックアップし、それらについて思考を深める演習活動に取り組むことを通じて、その思考を支える「技」や「術」を鍛えます。

「これからの社会で生きるために」は、SMBCコンシューマーファイナンス株式会社の寄附講座「金融リテラシー講座」として開講します。「金融の基礎知識」について、社会の第一線で活躍しているSMBCグループ各社の実務家の方々に講師としておいでいただき、そのお話を伺った後に議論します。皆さんが大学で学んだ後、社会に出たときに必要とされる知識を身につけ、そこで直面する問題について考えることを通して、これからの社会で働き、生活し、学びつづけるための準備をします。（この科目は、平成31年度入学生からは3回生以上に履修する高年次教養科目となっています。平成30年度以前入学生も、履修が可能です。）

「諸学への誘い（いざない）」は、学問の面白さや奥深さを知るための集中講義形式の授業です。諸分野の専門家が1コマずつ登壇しますので、8コマ以上を受講してください。オンライン受講も可。詳細はシラバス及び教養教育ウィーク奈良カレッジズ学問祭HP (<https://www.nara-ni.ac.jp/research/gakumonsai/>) にて。

「人間と文化」「生活と社会」「人間と自然」「グローバル教育科目」

164 ページの「科目一覧」を参照してください。

『教養コア科目』

「奈良女子大学的教養」（33 ページ参照）を身につけるための中核科目として、平成 27 年度から開講されている教養科目です。令和 8 年度は下記の 3 科目が開講されます。

- ・ 古典を読む A
- ・ 共生科学
- ・ これからの社会で生きるために

「教養」とは知識の量や幅ではなく、それをどれだけ使いこなせるか、という「機能」である、という考え方にに基づき、専門領域の異なる複数の教員が協働して一つのテーマを徹底的に追求し、ゼミや実習、フィールドワーク、反転授業、ディベートなど、多様な学びの方法論を活用することを通じて、皆さんの学ぶ力、考える力を鍛えます。そして、一つのテーマに関する深い学びから、関連する様々な「サテライト科目」へと、学びが広がります。

多彩な学習方法を取り入れるため、希望者多数の場合は抽選などで受講者数の制限をすることがあります。必ず初回の授業に出席するようにしてください。

〔高年次教養科目〕※平成 31 年度以降入学者

教養科目というと普通は 1・2 回生で履修するイメージかもしれませんが。しかし「教養」は決して「専門」の基礎ではありません。むしろ本格的に「専門」の学び・研究に向かい合うときにこそ、そのことの自分や社会にとっての意味を問い直すことのできる「教養」が求められます（本学の教養教育の理念「奈良女子大学的教養」を参照）。

平成 31 年度～令和 6 年度入学の方は、高年次（3・4 回生）で履修することを指定する科目（高年次教養科目）から 1 単位以上を履修することを必修とします。令和 8 年度に開講される高年次教養科目は以下の 5 科目です。

それぞれの科目は単位数、開講時期が異なり、履修期限がある場合もあるので、シラバスをよく確認してください。

- ・ [コア] これからの社会で生きるために
- ・ [コア] 古典を読む A
- ・ 社会に出るまでに知っておきたい科学Ⅰ（A）
- ・ 社会に出るまでに知っておきたい科学Ⅰ（B）
- ・ 教養としての化学数学

5 積極開放科目

「積極開放科目」とは、教養教育と専門教育を連携させるために、積極的に他学科や他学部の学生の履修を受け入れる専門教育科目で、学部ごとにふさわしい科目が指定され、履修単位は卒業要件単位に算入されます。

それぞれの専門分野で視野を広げたり、専門外の領域の知識を体系的に身につけたりするには、教養教育科目だけでは物足りなくなることがあります。また自分の関心から、他学部で魅力的な科目が開講されているのに気づくこともあります。

積極開放科目の一覧は『専門教育ガイド』の各学部のページに示されています。

なお、積極開放科目に指定されていない専門科目でも、他学部生の履修を受け入れることが可能な場合もあります。その科目の担当教員に相談してみてください。

IV キャリア教育科目の履修

1	キャリアプラン科目群	-----	66
2	教職科目群・資格関連科目群について	-----	67

Ⅳ キャリア教育科目の履修

1 キャリアプラン科目群

キャリアプラン科目群の履修

卒業後の就職や進学などの将来設計について、基礎知識や情報収集能力・構想力を身につけ、各自のプランづくりに早期から取り組むための科目群です。科目の一部は卒業要件単位に算入されます。

このカリキュラムは、次表のような科目で構成されています。各科目の詳細はシラバス（Web で公開）を参照してください。

キャリアプラン科目群の構成

科目名	標準履修 年次	内容	開講期
現代社会と職業 —大学での学びと 私の仕事（A/B）	主に 1 ～ 3 年次	キャリア教育全体の基礎となる科目。働きつつ生きる ことの意味や、その舞台としての現代社会の仕組み を理解する。また、専門職やスペシャリストへの道を、 各分野で活躍している方々の話を聞きながら考える。	前期・ 後期
キャリアデザイン・ゼミナール A～C	1 ～ 4 年次	多彩な開講科目を提供。スキルの習得（文章表現力・ 英語力・プレゼンテーション・IT など）や実地体験（コ ミュニケーション力・問題発見力・企画力などを習得） を通じ、自分ならではの実践力をつける。重複履修可。	詳細は 時間割 ページ表 を参照

このうち、「現代社会と職業」の履修単位は、「教養科目群」の履修単位として認められます。

（参考）全学共通科目・専門教育科目で開講されるインターンシップ科目一覧（令和 8 年度開講科目）

開講区分		科目名	対 象	科目 ナンバリング コード	担当者	開講期
全学共通科目		実践型キャリア 教育プログラムⅡ	全学 3～4回生	0210040D3	未定	不定期
専 門 教 育 科 目	境 生 学 活 部 環	住環境学学外実習Ⅰ (インターンシップ)	住環境学科 3回生	3241055D3	山本直彦	集中
		住環境学学外実習Ⅱ (インターンシップ)	住環境学科 3回生	3241056D3	山本直彦	集中
		インターンシップ実習 (生活文化学)	生活文化学科 3回生	3251062D3	大塚浩	集中

●内容については Web シラバスを確認してください。

★相談・問い合わせ先 学務課学務係

2 教職科目群・資格関連科目群について

本学ではキャリア教育の一環として、教育職員免許状（教員免許）取得のためのカリキュラム（教職課程）のほか、学芸員、学校図書館司書教諭の資格カリキュラムを設けており、「キャリア教育科目」の「教職科目群」ならびに「資格関連科目群」がこれに相当します。

教職課程では、附属学校園（附属幼稚園・附属小学校・附属中等教育学校）とも連携しながら、幼稚園から高校まで、ほとんどの校種、教科の教員免許状を在学中に取得できます。ただし、文学部人間科学科「子ども教育専修プログラム」の学生以外が幼稚園・小学校免許取得のための科目を履修する場合は制限がありますので注意してください。

なお、教員免許状と学芸員資格の両方を取得するのは難しいため、綿密に履修計画を立てて実行してください。

各資格の詳細については「Ⅶ 諸資格の取得」を参照してください。

V 他大学科目の履修

1	連携開設科目	69
2	単位互換制度	72
(1)	放送大学教育協力型単位互換科目	72
(2)	奈良教育大学との単位互換制度	76
(3)	お茶の水女子大学との単位互換制度	77
(4)	奈良県大学連合における単位互換制度	79

V 他大学科目の履修

本学で開講される授業科目のほか、協定等を締結した他大学の授業科目の一部を履修し、本学の単位として修得することができます（「連携開設科目」、「単位互換制度」）。制度により履修手続きや修得単位の取り扱いが異なるため、よく確認して履修してください。

<各制度の概要>

制度名・協定大学		対象学年	履修手続き			科目の取り扱い		
			出願 科目数 上限	事前 出願	履修 登録	年間 登録 上限	GPA 算入	卒業要件単位への 算入
連携開設科目 (奈良教育大学)		1 回生以上	なし	不要	必要	含む	含む	教養科目 …教養科目群 教職科目 …対象外（※2）
単位 互換 制度	放 送 大 学	1回生（後期）以上	年間 2 科目	必要	必要	含ま ない	含ま ない	自由選択科目へ 参入される
	奈良教育大学	1回生（後期）以上	なし （※1）		不要	含む		対象外（教職、資格科目に該当）
	お茶の水女子 大 学	2 回生以上						自由選択科目へ 参入される
	奈良県内大学 連 合	2 回生以上						年間 4 科目

※1 各大学における開講科目ごとに、受講者数が制限されることがあります。

※2 文学部人間科学科「子ども教育専修プログラム」生は「教育経営行政論」の修得単位は卒業要件に含む。

1 連携開設科目

令和4年度より、本学と奈良教育大学の間で、教養科目の一部を両大学の学生が受講できる「連携開設科目」として開講し、本学の学生が奈良教育大学の教養科目を受講し、卒業要件単位に含めることができます。

令和8年度に連携開設科目として開講される奈良教育大学の授業科目や手続き等については以下のとおりです。対象科目を受講する場合は、手続きや履修方法に注意してください。

令和8年度奈良教育大学開講連携開設科目 前期

科目ナンバリングコード	授 業 科 目 名	教員名	単位	曜日	時限
0126009A1	キャリアとアントレプレナーシップ	石井僚、世良啓太	2	月	1・2
0126001A1	フィールドワークで地域に学ぶ	河本大地	2	火	1・2
0126019A1	科学技術の歴史と身の回りの物質	梶原篤	2	火	1・2
0126008A1	仮名書道と実用書	北山聡佳	2	火	5・6
0126010A1	国際文化交流史	ヤナセ・ペーテル	2	火	7・8
0126020A1	E S D と防災	及川幸彦	2	木	3・4

0126021A1	考古学と自然科学	青木智史、金原正明	2	木	9・10
0126003A1	多文化・人権フィールドワーク	南雲勇多	2	木	9・10
0126004A1	外国人児童生徒等のための日本語教育の基礎	和泉元千春	2	金	1・2
0126022A1	サバイバルロジカルシンキング	中村元彦	2	金	3・4
0126011A1	グローバル・シティズンシップ学習論Ⅰ	南雲勇多	2	集中	—
0126012A1	海外体験プログラム（東南アジア）	南雲勇多	2	集中	—

後期

科目ナンバリングコード	授 業 科 目 名	教員名	単位	曜日	時限
0126013A1	教職へのキャリアデザイン	奥村浩一	2	月	3・4
0126013A1	教職へのキャリアデザイン	奥村浩一	2	月	5・6
0126023A1	Excel VBAのプログラミング：教育用ゲームを作る	出口拓彦	2	火	3・4
0126015A1	教師力ケースメソッド	奥村浩一	2	火	3・4
0126005A1	運動と健康	前川真姫	2	水	3・4
0126006A1	ESDと気候変動	及川幸彦	2	木	5・6
0126007A1	ESDと世界遺産	中澤静男、大西浩明	2	木	9・10
0126024A1	足元の多文化化・国際化	南雲勇多	2	木	9・10
0126002A1	国際・異文化間理解(海外体験プログラムへの誘い)	南雲勇多、前田康二、佐藤臨太郎	2	金	9・10
0126016A1	山間地教育入門	河本大地、板橋孝幸	2	集中	—
0126017A1	国際協力のセカイをめぐる	南雲勇多	2	集中	—
0126018A1	グローバル・シティズンシップ学習論Ⅱ	南雲勇多	2	集中	—

〈教職科目〉

科目ナンバリングコード	授 業 科 目 名	教員名	単位	時間割	
0220083B2	学校フィールド演習Ⅰ（学校体験活動）	竹村謙司	1	不定期	
0220084B3	学校フィールド演習Ⅱ（学校インターンシップ）	竹村謙司	1	不定期	
0220085A2	教育経営行政論（A）	小林昇光	2	前期	木 3・4
0220086A2	教育経営行政論（B）	小林昇光	2	後期	木 7・8

■ 履修登録

履修登録期間内に、本学の他の授業科目と同様に、Campus-Xsを使用して奈良教育大学の連携開設科目を履修登録してください。

■ 履修単位の取扱い

卒業要件単位として含めることができる連携開設科目の単位は、最大30単位までです。ただし、学部により卒業要件単位等の扱いが異なりますので、所属学部の規程で確認してください。

■ 履修方法と成績評価

- ・対面で実施される科目は、奈良教育大学の講義室で受講する必要があります。実施形態は奈良教育大学シラバスまたは奈良教育大学LMS（Moodle）で確認してください。
- ・本学と奈良教育大学では授業の開始・終了時刻が一部異なります。本学の時間割と移

動時間等を考慮して受講を計画してください。

- ・本学と奈良教育大学の授業日程が一部異なることがあります。また、試験日が他の授業と重なる

こともあります。この場合は、奈良教育大学の授業・試験を優先してください。

- ・授業の受講に関しては、奈良教育大学のルール等に従ってください。
- ・奈良教育大学開講科目に係る休講・補講等の連絡は、奈良教育大学ホームページの該当ページを確認してください。

・成績は、他の授業と同様に、Campus-Xs から確認することができます。成績評価は、奈良教育大学の基準に従い行われ、本学の対応する成績評価（S, A, B, C, F）に変換されます。

■ LMS（奈良教育大学 Moodle）の登録

授業連絡や配布物等のデータのやりとりは、奈良教育大学の LMS（奈良教育大学では Moodle と呼びます）を用いて行われます。初回の授業から参加できるよう、授業開始日までに奈良教育大学の Moodle の自己登録を行い、連絡事項を確認してください。

＜奈良教育大学 Moodle の登録手順＞

1. 奈良女 LMS へログインし、リンク集から「奈良教育大学 LMS」へ移動（下記の URL、QR コードからも直接アクセスできます）

2. 奈良女 LMS と同じアカウント名、パスワードでサインイン

※初めて利用する場合はプロフィール登録を行います。

（「姓」：本学の学生番号、「名」：漢字氏名（フルネーム））

3. 該当する授業科目を検索して自己登録を行う

※連携開設科目に関する参考ページ

- ・奈良教育大学 LMS ログインページ

<https://elearn.nara-edu.ac.jp/login/index.php>

- ・奈良教育大学シラバス

<https://www.nara-edu.ac.jp/ADMIN/KYOUNU/syllabus.htm>

- ・休講・補講等の授業に関するお知らせ（奈良教育大学）

https://www.nara-edu.ac.jp/students/class_info/

2 単位互換制度

単位互換制度とは、他大学の科目を履修し、それを所属大学の卒業要件単位として認定する制度のことです。制度により履修手続きが異なりますので、よく確認して履修してください。

(1) 放送大学教育協力型単位互換科目

「放送大学教育協力型単位互換科目」は、本学では開設が難しい分野へ学びを広げることと趣旨として、放送大学の授業科目の一部を本学の教育課程の中で開講するもので、本学の履修単位として単位を取得することができます。**放送大学科目の履修は、1人につき年間2科目を上限**とします。本制度の趣旨をよく理解して履修計画を行ってください。

※受講に必要な放送大学の授業料（1人1科目につき12,000円）は、大学が負担して実施しています。

■ 開講科目

下表の10科目が開講されます。詳細なシラバスは、放送大学のホームページに掲載されています。下記のURLから各自で確認してください。

URL：<https://www.ouj.ac.jp/kamoku/kyouyou/C/>

学期	科目ナンバリングコード	科目名	メディア	単位
前期	0300001A1	社会調査の基礎	放送授業（TV）	2
	0300002A1	舞台芸術の世界※	放送授業（TV）	2
	0300003A1	市民生活と裁判	オンライン授業	2
	0300007A1	情報社会と国際ボランティア活動	放送授業（TV）	2
	0300008A1	レジリエンスの科学	放送授業（TV）	2
	0300010A1	人間・環境情報とDX	放送授業（TV）	2
後期	0300004A1	環境を可視化する技術と応用	放送授業（TV）	2
	0300005A1	情報社会のユニバーサルデザイン	放送授業（TV）	2
	0300006A1	金融と社会	放送授業（TV）	2
	0300009A1	太陽と太陽系の科学	放送授業（TV）	2

※「舞台芸術の世界」は、「舞台芸術の魅力」の単位履修者は履修できません。

■ 特別聴講学生の出願

受講には、放送大学への「特別聴講学生」の出願が必要です。

<前期の出願について>

2026年度前期の出願期間は2月6日に終了しています。

次年度前期分の学内出願については、2027年1月頃、学内掲示板およびキャンパスクロスにて案内予定です。

<後期の出願について>

6月下旬以降に、出願手続きの詳細について案内します。

出願期限予定：7月下旬 学内掲示板およびキャンパスクロスにて案内予定。

※令和9年3月卒業予定者は、後期科目履修不可です。

※出願期限後の辞退は出来ません。

■ 本学での履修登録

放送大学での手続とは別に、本学の科目としての履修登録が必要です。
この科目は、集中講義として扱われます。各学期の履修登録の際、通常の授業科目と同様に、科目名、科目担当者名を確認して、「集中講義欄」で登録してください。
この科目については、履修登録単位の上限が課せられません。

令和8年度卒業予定者については、放送大学の成績評価と本学の卒業判定の時期の関係から、9月卒業者は前期、3月卒業者は後期開講の科目を履修登録できません。

■ 再履修の禁止

単位を修得した科目を再び履修することはできません。

■ 履修単位の扱いと成績通知

この科目の履修単位は、卒業要件単位の自由選択科目に算入されます。教養教育または専門教育としての単位にはならないため、よく注意してください。
成績評価は、放送大学から受講者個人宛に郵送されるほか、本学へ成績表によって通知されます。

■ 調査活動への協力をお願い

受講者を対象に、アンケート調査等が行われます。得られたデータは、今後の大学間の単位互換制度の改善に役立てられますので、ご協力ください。

■ 授業の特徴

放送大学の授業は「放送授業」と「オンライン授業」があります。

〈放送授業〉

放送教材（授業番組）の視聴による学習と、放送大学から届く印刷教材（テキスト）による学習を進めます（1科目につき放送教材は45分×15回、印刷教材は15章）。授業番組はBS放送だけでなく、受講生はインターネットでいつでも視聴できます。通信指導や単位認定試験があり、合格すると単位修得となります。

放送授業の視聴方法

放送大学ウェブサイトのシステム WAKABA（教務情報システム）からログインし、「学内リンク」→「放送授業のインターネット配信」と選択してください。インターネット配信サイトが起動しますので、視聴する科目を選択（または、検索）して視聴ください。

〈オンライン授業〉

講義の視聴・課題提出など全てインターネット上で学習を進めます。選択式問題、レポート、ディスカッション等の課題提出により成績評価を行うため、通信指導や単位認定試験はありません（一部科目は単位認定試験を行います）。

オンライン授業の受講方法

放送大学ウェブサイトのシステム WAKABA（教務情報システム）からログインし、「学内リンク」→「オンライン授業」を選択してください。

授業はどちらも原則として、インターネットを利用し、自宅のパソコン、スマートフォン、タブレット端末で受講してください。同じ授業を何度でも視聴することができます。

■ 印刷教材の配付（※放送授業のみ）

授業は、インターネット配信の視聴とともに印刷教材が使われます。印刷教材は放送大学から直接、出願時に記載の住所に送付されます。

■ Web 通信指導と Web 単位認定試験（※放送授業のみ）

各科目とも、学期の中間に「通信指導」が行われます。Web 通信指導による提出ですので問題冊子の送付はありません。通信指導問題は、前期は4月上旬、後期は10月上旬に授業共有ファイル(システム WAKABA→授業サポート→授業共有ファイル)から確認できます(PDF形式)。テーマとして課せられた課題を、定められた期限(後述スケジュール参照)に、放送大学へ各自が Web で提出しなければなりません。通信指導提出期間内にシステム WAKABA からログインして提出してください。添削結果は、Web 通信指導上で確認してください。学期末には単位認定試験が行われ、Web 受験(一部科目のみ郵送受験)にて実施します。試験期間内(後述スケジュール参照)にシステム WAKABA からログインして受験してください。

受験票は郵送されませんので、当該学期に受験可能な科目は、システム WAKABA「教務情報→単位認定試験時間割照会(学生用)」からご確認ください。

通信指導を受けた上で単位認定試験に合格しなければ、単位が認められません。

単位認定試験が受けられなかった場合や、不合格となった場合、放送大学が実施する再試験を受けることはできません。

Web 受験方式での試験実施が困難と判断し、対面で実施を希望する場合、指定の期日までに、放送大学の本部に申請することになっていますので注意してください。

対面での試験の場合は、Web 通信指導と Web 単位認定試験と取扱いが異なります。

試験日程も決められていますので、「学生生活の葉(特別聴講学生)」や「授業科目案内」をよく確認してください。

○放送大学「学生生活の葉(特別聴講学生)」

放送大学ホームページ>大学案内>単位互換協定締結校の学生の方へ>参考資料

(2) 放送大学の他の科目の受講

「放送大学教育協力型単位互換科目」として指定された科目以外で、放送大学の開講科目を受講する場合(1単位6,000円・入学金は不要)は、本学と放送大学との間で結ばれた単位互換協定、および各学部の定める規則に基づいて履修することになりますが、詳細については、学務課学務係に問い合わせてください。

2026年度の放送大学教育協力型単位互換科目の履修スケジュール

■第1学期（前期）科目（放送大学前期授業期間：4月上旬～7月上旬）

1月～2月上旬	第1期（前期）科目の学内出願（すでに終了しました）
3月下旬～4月上旬	テキスト（印刷教材）郵送（受講者個人宛）（※）
4月3日（金）～ 4月8日（水）	奈良女子大学 前期履修登録期間 （放送大学科目も履修登録が必要です。）
5月7日～27日	Web 通信指導の提出（※）
6月末～7月上旬	通信指導の合否結果（Web 上で確認）（※）（※2）
7月14日～22日	単位認定試験（Web 試験）（※）
8月下旬	成績通知

（※）放送授業のみ

（※2）システムWAKABA「教務情報→単位認定試験時間割照会（学生用）」で確認

■第2学期（後期）科目（放送大学後期授業期間：10月上旬～1月上旬）

6月～7月下旬	第2期（後期）科目の学内出願
9月下旬～10月上旬	テキスト（印刷教材）郵送（受講者個人宛）（※）
10月1日（木）～ 10月4日（日）	奈良女子大学 後期履修登録期間 （放送大学科目も履修登録が必要です。）
11月5日～25日	Web 通信指導の提出（※）
12月末～1月上旬	通信指導の合否結果（Web 上で確認）（※）（※2）
1月17日～25日	単位認定試験（Web 試験）（※）
2月下旬	成績通知

（※）放送授業のみ

（※2）システムWAKABA「教務情報→単位認定試験時間割照会（学生用）」で確認

(2) 奈良教育大学との単位互換制度

奈良女子大学と奈良教育大学は、両大学の特色を生かした学生の履修の機会拡充を図るため、相手大学が開講する教職科目及び学芸員資格科目の一部を履修し、修得した単位を自大学の科目の単位として認定する単位互換制度を実施しています。

令和8年度に奈良教育大学が開講する対象科目や手続き等については以下のとおりです。対象科目を受講したい場合は、手続きの期限や提出書類などに注意して履修してください。

■ 令和8年度 奈良教育大学開講科目

教職科目

科目名	担当教員	開講期	曜日	時間	単位数
教育社会学	粕谷 圭佑	前期	木	3・4 限	2
		後期	木	7・8 限	2
教育方法論（情報通信技術の活用を含む。）	赤沢 早人	前期	月	5・6 限	2
		前期	木	5・6 限	2

※定員は前・後期それぞれ10名です。希望者多数の場合は抽選を行います。

※「教育方法論」を履修し修得した単位は、本学における「教育方法の理論と実践（情報通信技術の活用を含む。）」の単位に読み替えます。

学芸員資格科目

科目名	担当教員	開講期	曜日	時間	単位数
博物館経営論	巽 善信	前期	木	5・6 限	2
博物館情報・メディア論	巽 善信	前期集中	—	—	2
博物館資料保存論	巽 善信	後期	木	5・6 限	2
博物館資料論	巽 善信	後期	木	9・10 限	2
博物館展示論	巽 善信	前期集中	—	—	2

■ 対象学生

奈良教育大学の単位互換科目は、**1 年次後期**から履修することが可能です。ただし、本学で2 年次以上の対象科目としているものは、2 年次以上でないと履修できません。また、卒業予定の学期（例、4 年次後期）には履修できません。

■ 身分

奈良教育大学において「特別聴講学生」の身分が与えられ、履修期間中有効な身分証が発行されます。なお、著しい成績不良や迷惑行為があった場合は、身分が取り消されることがあります。

■ 履修登録

奈良教育大学単位互換科目を受講する場合、通常の履修登録は不要です。下記の手順に従って手続きしてください。

- ・ 学務課学務係に「奈良教育大学と奈良女子大学との単位互換科目受講希望届（奈良女子大学生用）」を提出してください。提出期限は掲示によって通知されます。
- ・ 大学間の事務手続きが終わり次第、奈良教育大学から身分証が交付されますが、前期の開講科目については、事務手続きの完了前に授業が開始されることがあります。奈良教育大学の受講上の注意に従って、初回の授業から受講を開始してください。

■ 履修単位の扱い

奈良教育大学の授業科目を履修し、修得した単位は、**本学で開講する科目の単位に読み替え、各学部規程の定めに応じた単位数に含めることができます。**

なお、教職科目を履修して修得した単位については、教員免許取得に必要な単位とすることができ、学芸員資格科目を履修して修得した単位については、学芸員資格取得に必要な単位とすることができます。

■ 履修方法と成績評価

授業科目の開講時期や授業方法、成績評価は、奈良教育大学の方針に従います。試験日程が本学の試験と重複した場合は、奈良教育大学の日程が優先されます。その場合、本学内の受講科目について「特別の方法による成績評価」の適用を申請してください。なお、受講期間中日程の重複による公欠の扱いは受けられません。

■ LMS（奈良教育大学 Moodle）の登録

授業連絡や配布物等のデータのやりとりは、奈良教育大学の LMS（奈良教育大学では Moodle と呼びます）を用いて行われます。初回の授業から参加できるよう、授業開始日までに奈良教育大学の Moodle の自己登録を行い、連絡事項を確認してください。

＜奈良教育大学 Moodle の登録手順＞

1. 奈良女 LMS へログインし、リンク集から「奈良教育大学 LMS」へ移動
(下記の URL、QR コードからも直接アクセスできます)
2. 奈良女 LMS と同じアカウント名、パスワードでサインイン
※初めて利用する場合はプロフィール登録を行います。
(「姓」：本学の学生番号、「名」：漢字氏名 (フルネーム))
3. 該当する授業科目を検索して自己登録を行う

・奈良教育大学 LMS ログインページ

<https://elearn.nara-edu.ac.jp/login/index.php>

・休講・補講等の授業に関するお知らせ (奈良教育大学)

https://www.nara-edu.ac.jp/students/class_info/

(3) お茶の水女子大学との単位互換制度

奈良女子大学とお茶の水女子大学は、両大学間で締結した学生交流協定に基づき、相手大学が開講する教養科目及び専門科目の一部を履修し、修得した単位を自大学の科目の単位として認定する単位互換制度を実施しています。

令和 8 年度にお茶の水女子大学が開講する対象科目や手続き等については以下のとおりです。対象科目を受講したい場合は、手続きの期限や提出書類などに注意して履修してください。

■ 令和 8 年度 お茶の水女子大学開講科目

科目名	担当教員	開講期	曜日	時間	単位数
教育開発概論 (1)	浜野 隆	前期前半	木	7・8 限	2
教育開発概論 (2)	浜野 隆	前期後半	木	7・8 限	2

※「教育開発概論 (1) (2)」はセットで履修すること。

お茶の水女子大学授業時間

時 限	授業時間
1 ・ 2 限	9 : 00 ～ 10 : 30
3 ・ 4 限	10 : 40 ～ 12 : 10
5 ・ 6 限	13 : 20 ～ 14 : 50
7 ・ 8 限	15 : 00 ～ 16 : 30
9 ・ 10 限	16 : 40 ～ 18 : 10

※ お茶の水女子大学の時間割は、本学と午後の時間割（5・6限～9・10限）が異なります。本学の授業時間帯と重複する時間帯のコマは、本学の他の科目を履修できませんので注意してください。

例：お茶の水女子大学の5・6限（13：20～14：50）を履修する場合

→本学7・8限（14：40～16：10）の科目は時間帯が重複するため履修不可

お茶の水女子大学の7・8限（15：00～16：30）を履修する場合

→本学9・10限（16：20～17：50）の科目は時間帯が重複するため履修不可

■ 対象学生

1 年次以上のすべての学部正規学生。ただし卒業予定の学期（例、4 年次後期）には履修できません。

■ 身分

お茶の水女子大学において「特別聴講学生」の身分が与えられます。なお、著しい成績不良や迷惑行為があった場合は、身分が取り消されることがあります。

■ 履修登録

お茶の水女子大学単位互換科目を受講する場合、通常の履修登録は不要です。学務課学務係に「特別聴講学生願書（お茶の水女子大学用）」を提出してください。提出期限は掲示によって通知されます。

※令和8年度前期分は、3 月中に締め切っているために出願はできません。

■ 履修単位の扱い

お茶の水女子大学の授業科目を履修し、修得した単位は、本学における卒業要件単位の自由選択単位として算入されます。教養教育科目、専門教育科目の必修単位数にはカウントできません。

■ 履修方法と成績評価

授業は全てオンラインで開講され、お茶の水女子大学の LMS に関する詳細は、受入れが確定次第通知されます。

成績評価は、お茶の水女子大学の方針に従います。試験日程が本学の試験と重複した場合は、お茶の水女子大学の日程が優先されます。その場合、本学内の受講科目について「特別の方法による成績評価」の適用を申請してください。なお、受講期間中日程の重複による公欠の扱いは受けられません。

- ・ お茶の水女子大学シラバスページ

<https://tw.ao.ocha.ac.jp/Syllabus/>

(4) 奈良県大学連合における単位互換制度

平成 20 年度より、本学は奈良県内大学間単位互換協定に加盟し、県内の 7 大学（帝塚山大学、天理大学、奈良大学、奈良教育大学、奈良県立大学、奈良県立医科大学、奈良学園大学）で開講される授業科目を履修することができます。

加盟大学間の協定に基づいて、本学では下記のような原則と手続きに従って、希望する学生を派遣します。この制度を利用して他大学の科目を受講したい場合は、手続きの期限や提出書類などに注意して履修してください。

■ 対象

2 年次以上のすべての学部正規学生。ただし卒業予定の学期（例、4 年次後期）には履修できません。

■ 身分

履修先の大学において「特別聴講学生」または「特別科目等履修生」の身分が与えられ、履修期間中有効な身分証が発行されます。なお、著しい成績不良や迷惑行為があった場合は、身分が取り消されることがあります。

■ 履修できる科目

1 年間に 1 人あたり 4 科目 8 単位以内（複数の受講大学分を総計）。あらかじめ加盟各大学から通知される科目の中から選択して履修します。

■ 履修単位の扱い

単位互換によって取得した単位は、本学における卒業要件単位の自由選択単位として算入されます。教養教育科目、専門教育科目の必修単位数にはカウントできません。また教員免許など資格取得に用いることもできませんから、十分注意してください。

■ 履修方法と成績評価

授業科目の開講時期や授業方法、成績評価は、開講大学の方針に従います。試験日程が本学の試験と重複した場合は、開講大学の日程が優先されます。その場合、本学内の受講科目について「特別の方法による成績評価」の適用を申請してください。なお、受講期間中日程の重複による公欠の扱いは受けられません。

■ 履修登録

奈良県内大学間単位互換科目は、通常の履修登録期間の履修登録は不要です。下記の手順に従って手続きして下さい。

- 各大学から開講科目が連絡されます。Campus-Xs「学生用 Web 掲示板」で、大学別の資料から希望の科目を選択してください。
- 奈良県内大学間単位互換制度による履修科目は、本学における年間履修登録単位数の上限に含まれます。学内の履修科目とのバランス、また開講大学への往復に要する時間にも、十分注意してください。
- 学務課学務係に「奈良県内大学間単位互換による科目受講希望届（本学学生用）」を提出してください。提出期限は掲示によって通知されます。
前期：4 月上旬、後期：未定
- これに基づいて開講大学別の受講申請書類が手渡されます。説明を受けた後に必要事項を記入して、学務課学務係に提出してください。提出期限は掲示によって通知されます。期限を厳守してください。
- 大学間の事務手続きが終わり次第、開講大学から身分証が交付されますが、前期の開講科目については、事務手続きの完了前に授業が開始されることがあります。各大学の受

講上の注意やガイダンスに従って、授業を受け始めてください。前期・後期（未定）ともに、原則として初回の授業から出席してください。

以上の決まりを守り、他大学の多様な授業科目を履修しながら、他大学の学生との交流を深めてください。

VI 副専攻プログラム

プログラムの登録	82
プログラムの修了認定	82
テーマ別一覧	83

VI 副専攻プログラム

副専攻プログラム (平成 30 年度入学者から履修可能)

副専攻プログラムとは、みなさんが在籍している学部において所定の学修をもって学位を取得する「学位プログラム」とは別に、特にテーマ性をもった学びを修めたことを証明する「教育プログラム」です。

副専攻プログラムでは、自学部以外の専門科目の履修も可能である本学の特徴を踏まえ、学部横断的なテーマを設定しています。

本プログラムの修了要件は、テーマごとに定められた選択科目のうちから 12 単位以上を履修することですが、一部履修条件がありますので、各テーマの内容を確認してください。プログラムに登録した学生には、卒業時に修了証が交付されます。また、履修内容に関しては、学修証明書を発行します。

プログラムの登録・修了認定の詳細は、以下のとおりです。

●プログラムの登録

I 申請方法

1. プログラムの履修を希望する学生は、卒業年度の学務課指定期日までに、「副専攻プログラム登録届」を所属の学部係に提出してください。

2. 複数のプログラムに届け出ることができます。

3. 履修した科目及び履修予定の科目をテーマごとに届け出ることができます。(※)

※ 平成 30 年度以降入学者が、指定した科目を履修した場合、履修済みの科目として取得単位とすることができます。

II 届出の時期

前期および後期履修登録確認期間が終了後、届出期間を設けます。日程は別途周知します。

III 修了見込証明書の発行

1. 登録者には、希望により修了見込証明書を発行します。

2. プログラムの履修を希望する未登録者が、履修する予定であることの証明を希望する場合、その理由を付して「予備登録」し、発行を願い出ることができます。ただし、予備登録時において修得するための必要単位数が 3 単位以下であることを条件とします。

※ 「副専攻プログラム登録届」「副専攻プログラム登録届【予備登録】」は、学務課カウンターで用紙を受け取るか、または Campus-Xs でデータをダウンロードしてください。

●プログラムの修了認定

I 手順

1. プログラム登録者が所属する学部教授会において、卒業が認められたことを受け、所定単位を修得していることを確認し、プログラム修了を認定します。

2. 卒業の認定を受けた者と同様に、修了認定者を公表します。

3. 認定を受けた者に対し、修了証を発行し、学位記とともに授与します。

4. 修了証を授与した者には、同時に学修証明書を発行します。

テーマ別一覧

プログラム名称	地域志向 Local Studies			
(プログラムの概要)「奈良女子大学の教養」の理念に掲げられた問いのうち、“奈良で学ぶことを通じてあなたは世界にどんな貢献ができますか”“大学で学ぶことはあなたと未来の世代の人たちにとってどんな意味がありますか”を具体的に問いかける科目、また、奈良を知り奈良を好きになる契機とする科目や、自治体へ赴いて地域の課題解決に実践的に取り組む科目やサテライト施設を活用した授業を実施する科目を履修するプログラムです。				
(到達目標) 奈良というフィールドにおいて、“社会的実践に飛び込む”“本物に触れる”“他者と学ぶ、他者から学ぶ”などのアプローチにより、問題を解決する能力を養い、さらに専門性の深い学びへとつなげていくことを目標とします。				
区 分	授業科目名	単位数	修了要件単位数	履修条件
教養教育科目	「奈良」女子大学入門	2	12単位	
	パサージュ (1A)	1		令和4年度のみ
	歴史を歩く、地域を学ぶ - 奈良入門 -			
	パサージュ (1B)	1		令和4年度のみ
	歴史を歩く、地域を学ぶ - 奈良入門 -			
	なら学	2		令和7年度以前入学者
	なら学+ (プラス)	2		令和6年度以前入学者
	環太平洋くろしお文化論	2		
文学部 専門教育科目	地誌A	2		
	文化人類学特殊研究	2		令和5年度以前入学者
	なら学フィールドワーク実習	1		令和3年度以前入学者
	なら学実習	1		令和7年度以前入学者
	コミュニティ・リサーチ	1		
	コミュニティ・アクション	1		
	なら学演習	2		令和7年度以前入学者
	地域探究実践演習	2		令和3年度以前入学者
	地域社会の課題演習	2		令和3年度以前入学者
	フィールド探究演習	2		令和4年度以降入学者
理学部 専門教育科目	サイエンス・オープンラボⅠ	2		
	サイエンス・オープンラボⅡ	2		
	森林生物学野外実習	1		
	河川生物学野外実習	1		
生活環境学部 専門教育科目	地域連携運動演習	2		
	地域居住学	2		
キャリア教育科目	キャリアデザイン・ゼミナールB (11) 奈良の食をさぐる	1		副専攻「カーボンニュートラル」との重複は認めない
	キャリアデザイン・ゼミナールB (17) 奈良の食を知る	1		副専攻「カーボンニュートラル」との重複は認めない
	合 計			12単位

※一部受講制限を行う科目があります。

プログラム名称	グローバル Global Studies			
(プログラムの概要) 大学の基本理念の一つに「開かれた大学ー国際交流の推進と地域・社会への貢献ー」を掲げています。 本プログラムでは、国際社会で活躍する女性人材の育成を目的に、国際交流活動を通して本学に蓄積された教育・研究の特色を活かした魅力ある科目を提供します。講義科目では、主に自国文化や異文化理解、国際社会の現状と課題について学習します。また、国際交流活動や海外短期研修等を行う演習科目では、受講を通じて、語学力やコミュニケーション能力を高める機会とします。				
(到達目標) 国際感覚に優れた教養を身につけ、さまざまな国際交流の経験や留学生交流を通じて、国際的な知的活動や社会活動に貢献し、グローバルに活躍できる女性人材としての基礎力を養うことを目標とします。				
(修了要件に関する留意事項) 海外研修等への参加を必修とします。具体的には、表中の選択必修科目を一つ以上受講することです。なお、指定の科目以外の留学（交換留学、単位認定留学を含む私費留学、長期海外インターンシップ等）についても、大学が認定する場合* 1は、選択必修科目を履修したものとして要件を満たすことができます。ただし、その場合は他の科目で12単位そろえることが必要です。 *1 ガイダンス資料で確認してください。				
区 分	授業科目名	単位数	修了要件単位数	履修条件
教養教育科目	アジア学入門	2	12単位	
	アラビアの言語と文化	2		
	ベトナムの言語と文化	2		
	イタリアの言語と文化	2		
	国際関係論	2		副専攻「カーボンニュートラル」との重複は認めない
	国際キャンパス奈良への招待A	2		
	国際キャンパス奈良への招待B	2		
	ヨーロッパ学入門	2		
	国際機構論入門	2		
	アメリカ学生研修SEASoN	2		選択必修
	異文化理解と国際協力	2		令和3年度のみ
	異文化理解と平和構築	2		令和3年度のみ
	Modern Japanese Literature and Media A	2		
	Modern Japanese Literature and Media B	2		
	Japanese Culture and History A	2		
	Japanese Culture and History B	2		
	Japanese Culture and Society from a global perspective A	1		令和8年以降
	Japanese Culture and Society from a global perspective B	1		令和8年以降
	日本文化と地域社会C（1）	1		令和8年以降
	日本文化と地域社会C（2）	1		令和8年以降
Global Studies and Communication A	2			
Global Studies and Communication B	2			
文学部 専門教育科目	地誌B	2		
キャリア教育科目	キャリアデザイン・ゼミナールA（16） TOEFL対策講座	1		
	キャリアデザイン・ゼミナールA（37） IELTS対策講座	1		令和6年度のみ
	キャリアデザイン・ゼミナールB（37） 国際グループワークA	1		令和3～6年度のみ
	キャリアデザイン・ゼミナールB（38） 国際グループワークB	1		令和3～6年度のみ
	キャリアデザイン・ゼミナールB（46） 学生交流企画の立案・実行	1		令和3～4年度のみ
	キャリアデザイン・ゼミナールB（46） 海外協定大学の短期留学生（短期プログラム参加者）との交流企画の立案と実行A	1		令和5年度のみ
	キャリアデザイン・ゼミナールB（46） 学生交流企画の立案・実行A	1		令和6年度以降

キャリア教育科目	キャリアデザイン・ゼミナールB (47) グローバル女性人材養成プログラム (中国)	1	12単位	選択必修
	キャリアデザイン・ゼミナールB (48) グローバル女性人材養成プログラム (ニュージーランド)	1		選択必修
	キャリアデザイン・ゼミナールB (49) グローバル女性人材養成プログラム (ベトナム)	1		選択必修 令和3～4年度のみ
	キャリアデザイン・ゼミナールB (50) 海外インターンシップ (ハワイ)	1		選択必修 令和3年度のみ
	キャリアデザイン・ゼミナールB (51) 海外インターンシップ (ベトナム)	1		選択必修 令和3年度のみ
	キャリアデザイン・ゼミナールB (54) 国際チャレンジ活動A	1		選択必修
	キャリアデザイン・ゼミナールB (58) グローバル女性人材養成プログラム (フィリピン)	1		選択必修
	キャリアデザイン・ゼミナールB (59) グローバル女性人材養成プログラム (タイ)	1		選択必修 令和3～6年度のみ
	キャリアデザイン・ゼミナールB (65) 留学生キャリア形成チャレンジ	1		令和7年度以降
	キャリアデザイン・ゼミナールB (70) 海外協定大学の短期留学生 (短期プログラム参加者) との交流企画の立案と実行B	1		令和5年度のみ
	キャリアデザイン・ゼミナールB (70) 海外協定大学の短期留学生 (短期プログラム参加者) との交流企画の立案と実行B	1		令和6年度以降
	キャリアデザイン・ゼミナールB (71) 国際チャレンジ活動B	1		選択必修 令和4年度以降
	キャリアデザイン・ゼミナールB (72) 国際チャレンジ活動C	1		選択必修 令和4年度以降
	キャリアデザイン・ゼミナールB (73) 国際チャレンジ活動D	1		選択必修 令和4年度以降
	キャリアデザイン・ゼミナールB (74) 国際チャレンジ活動E	1		選択必修 令和4年度以降
	キャリアデザイン・ゼミナールB (76) 国際交流インターンシップ	1		令和6年度のみ
	キャリアデザイン・ゼミナールB (76) 国際交流キャリア支援	1		令和7年度以降
	キャリアデザイン・ゼミナールB (78) 「国際キャンパス奈良」 スチューデント・アンバサダーA	1		令和6年度のみ
	キャリアデザイン・ゼミナールB (79) 「国際キャンパス奈良」 スチューデント・アンバサダーB	1		令和6年度のみ
	キャリアデザイン・ゼミナールB (80) 国際チャレンジ活動アカデミックA	1		
	キャリアデザイン・ゼミナールB (81) 国際チャレンジ活動アカデミックB	1		
	キャリアデザイン・ゼミナールB (84) 奈良チャレンジ活動A	1		令和6年度のみ
	キャリアデザイン・ゼミナールB (85) 奈良チャレンジ活動B	1		令和6年度のみ
	キャリアデザイン・ゼミナールB (86) グローバル女性人材養成プログラム (ヨーロッパ)	1		令和7年度以降
	キャリアデザイン・ゼミナールC (10) 海外留学のすすめA	1		令和6年度のみ
	キャリアデザイン・ゼミナールC (11) 海外留学のすすめB	1		令和6年度のみ
	キャリアデザイン・ゼミナールC (12) Global Citizenship Seminar	1		
	合 計		12単位	

プログラム名称	ジェンダー Gender Studies			
(プログラムの概要)本学で開講されているうち、ジェンダーの概念を用いて学ぶ科目を履修するプログラムです。ジェンダーとは、性とそれがもたらす影響を考える一つの視点ですが、ジェンダーは私たちのふるまいや人生の選択に大きな影響を与えるだけでなく、文学、法律、アート、教育、医学、政治などの社会のあらゆる分野で大きな意味と力を持っています。ジェンダーの視点は、自分が生きる力を身につける上で、また何よりも公正な社会を実現する上でなくてはならない視点といえます。				
(到達目標) プログラム科目の履修により、実社会に生きる上でのジェンダーの視点を獲得することを目標とします。				
区 分	授業科目名	単位数	修了要件単位数	履修条件
教養教育科目	ジェンダー論入門	2	12単位	
	ジェンダー生理学	2		
	女性リーダー論	2		
	女性リーダーシップ演習	2		令和3～4年度のみ
文学部 専門教育科目	学ぶことと女性のライフスタイル	2		
	社会地理学特殊研究A	2		令和3年度以前入学者
	社会地理学特殊研究	2		令和4年度以降入学者
	家族社会学特殊研究	2		
	ジェンダー社会学特殊研究	2		
	社会学演習Ⅰ(講義コード2043860/担当：陳先生)	2		令和8年度以降
	ジェンダー言語文化学概論	2		
	ジェンダー言語文化学演習	2		令和5年度以前入学者
	フェミニズム文学批評概論	2		令和6年度以降入学者
	ジェンダー言語文化学特殊研究A	2		
	ジェンダー言語文化学特殊研究B	2		
	生活環境学部 専門教育科目	服飾とジェンダー		2
ジェンダー文化論		2		
ジェンダー理論		2		
家族関係論		2		令和7年度以降
ライフコース論		2		隔年開講 令和8年度以降
合 計				12単位

※一部受講制限を行う科目があります。

プログラム名称	カーボンニュートラル Carbon Neutrality Studies				
(プログラムの概要) 世界各国で2050年カーボンニュートラルを目標とする動きが広がり、日本においても、 2050年カーボンニュートラルの実現を目指すべく、国・地方自治体・企業等が取り組みを始めています。					
本プログラムでは、「カーボンニュートラル」分野で活躍する人材育成を目的に、気候変動・生物多様性・世界情勢・人権や倫理について学習し、演習科目の受講により、新たな価値を創出する能力を高める機会とします。					
(到達目標) グローバルの環境問題解決に対して地域での課題としての考え方や、新たな価値創出の基礎力を養うことを目標とします。					
区 分	授業科目名	単位数	修了要件単位数	履修条件	
教養教育科目	現代の倫理	2	2	選択必修	
	人権と差別	2	2	選択必修	
	共生科学	2	2	必修	
	国際関係論	2		副専攻「グローバル」との重複は認めないが受講が望ましい	
	地域の人と暮らし	2			
	自然環境の地理学	2			
	諸学への誘い	1		重複履修可	
文学部 専門教育科目	地域自然環境論特殊研究	2		令和3年度以前入学者	
	環境地理学特殊研究	2		令和4年度以降入学者	
	倫理学特殊研究	2			
理学部 専門教育科目	地球環境科学1 (A)	2			
	地球環境科学1 (B)	2			
	地球環境科学2 (A)	2			
	地球環境科学2 (B)	2			
	生命圏の地球化学	2		令和7年度以前入学者	
	環境リスク論	2		令和7年度以前入学者	
工学部 専門教育科目	環境・防災科学	2			
	河川・海岸工学	2		R8非開講/R9開講	
キャリア教育科目	キャリアデザイン・ゼミナールB (11) 奈良の食をさぐる	1		副専攻「地域志向」との重複は認めない	
	キャリアデザイン・ゼミナールB (17) 奈良の食を知る	1		副専攻「地域志向」との重複は認めない	
	キャリアデザイン・ゼミナールC (9) 山村で考える多様な生き方 ー下北山村学入門ー	1	いずれか 1単位		
	キャリアデザイン・ゼミナールC (13) 未来共創コーディネート演習Ⅰ	1		選択必修	
	キャリアデザイン・ゼミナールC (14) 未来共創コーディネート演習Ⅱ	1			
	キャリアデザイン・ゼミナールC 未来共創コーディネート演習Ⅲ (15)	1			
	三重大学科目	SciLets の指定する科目 (注1)			2単位まで
	放送大学科目	地球温暖化とイノベーション	2		令和6年度以前入学者
情報社会と国際ボランティア活動		2			
合 計			12単位		

※一部受講制限を行う科目があります。

(注1) 三重大学の SciLets 育成事業において提供されるビデオ講義科目から選択履修してください。

プログラム名称		情報科学 Information Science Studies		
(プログラムの概要) 情報科学の基礎知識について学ぶ科目を履修するプログラムです。これらのうち、対象科目を履修することによって、本プログラムとは別に「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（応用基礎レベル）」の認定を受けることが可能です。				
(到達目標) 高度情報化社会で活躍するための能力を養うことを目標としています。				
区 分	授業科目名	単位数	修了要件単位数	履修条件
教養教育科目	情報処理入門Ⅰ	2	12単位	令和 6 年度までに履修済の場合
	情報処理入門Ⅱ	2		令和5年度までに履修済の場合
	情報処理入門	2		
	情報基礎	2		令和5年度までに履修済の場合
文学部 専門教育科目	教育社会学調査法実習Ⅰ	1		令和5年度までに履修済の場合
	教育社会学調査法実習Ⅱ	1		令和5年度までに履修済の場合
理学部 専門教育科目	確率解析学	2		
	確率論入門	2		
	数理統計学	2		いずれか1科目
	生物環境統計学	2		
	生物統計学	2		いずれか1科目
	プログラミング	2		
	環境科学基礎プログラミング	2		いずれか1科目
	プログラミング演習	2		
	環境科学基礎プログラミング演習	2		
	数理モデリング	2		
生活環境学部専門教育科目	応用数学Ⅱ（線形代数学）	2		応用基礎必修※
	経営データサイエンス	2		応用基礎必修※
	プログラミング言語Ⅰ	2		
	プログラミング言語演習*（注1）	2		応用基礎選択必修
	プログラミング言語Ⅱ*（注1）	2		（いずれか1科目）
	アルゴリズムとデータ構造*（注1）	2		応用基礎必修
	データベース論	2		応用基礎必修※
	生活と人工知能	2		応用基礎必修※
	計算機アーキテクチャ論	2		
	計算機ネットワーク	2		
	ソーシャルコンピューティング論	2		
工学部 専門教育科目	確率・統計	1		
	情報学概論	2		令和7年度以前入学者対象
	情報ビジネス	2		令和7年度以前入学者対象
合 計			12単位	

※一部受講制限を行う科目があります。

（注1）*の科目は、応用基礎レベル取得見込み（応用基礎必修の※4科目の単位を取得済み）の学生のみ受講できます。

VII 諸資格の取得

1 教育職員免許状（教職科目群の履修）	90
(1) 教員免許状取得のための教育課程	90
(2) 教職課程の履修の流れ	92
(3) 教員免許状取得のために必要な教養教育科目	97
(4) 教育実習について（幼・小・中・高教員免許）	98
(5) 奈良教育大学との教職科目の単位互換について	100
(6) 介護等体験について（小・中教員免許）	101
〈令和5年度以降入学者用〉	102
(7-1) 教職課程の概要	103
(7-2) 「教育の基礎的理解に関する科目等」・ 「各教科（保育内容）の指導法」	105
(7-3) 「教科（領域）に関する専門的事項」・ 「大学が独自に設定する科目」	113
(7-4) 二種免許状について	152
〈平成31～令和4年度入学者用〉 ※別冊 (8-1) 教職課程の概要 (8-2) 「教育の基礎的理解に関する科目等」・ 「各教科（保育内容）の指導法」 (8-3) 「教科（領域）に関する専門的事項」・ 「大学が独自に設定する科目」 (8-4) 二種免許状について	
2 資格関連科目群の履修	153
(1) 学芸員の資格取得について	153
(2) 学校図書館司書教諭の資格取得について	158
3 その他の資格について	160

1 教育職員免許状（教職科目群の履修）

（1）教員免許状取得のための教育課程

本学ではキャリア教育の一環として、教員免許状取得のためのカリキュラム（教職課程）を設けています。「キャリア教育科目」の「教職科目群」がこれに相当します。附属学校園（附属中等教育学校・附属小学校・附属幼稚園）とも連携しながら、幼稚園から高校まで、ほとんどの校種、教科の教員免許状を在学中に取得できます。

ただし、文学部人間科学科「子ども教育専修プログラム」の学生以外による幼稚園・小学校免許取得のための科目を履修する場合は制限がありますので注意してください（103 ページの表VI-2-2 の下の☆参照）。詳細は学務課学務係に問い合わせてください。

■ 履修上の注意

教職関係の科目は、取得すべき科目と単位数が多く、免許の種類によって複雑に分かれています。履修年次の定められた科目や、他の科目の履修を前提として履修できる科目などもあります。また、入学年度によって履修すべきカリキュラム（教職課程）や、科目の履修方法が異なることがあります。以下の説明や表に入学年度別の指定がある場合には、十分注意してください。教職に関心のある人は、これらの注意事項を踏まえて、1 年次から計画的に履修してください。

■ 教員免許状の取得のために修得が必要な科目等について

教員免許状を取得するためには、以下①～④の条件を全て満たさなければなりません。

①基礎資格（学位等）

②所要資格（教科や教職に関する科目）

教育職員免許法・同施行規則に定められた科目区分毎に、必要な科目・単位数を修得する必要があります。

③施行規則第 66 条の 6 に定める科目（教養教育科目）

④介護等体験（小学校・中学校免許のみ）

①～④の詳細については、以下のページで確認してください。

①基礎資格（学位等）および②所要資格（教科や教職に関する科目）

平成 31 年度～令和 4 年度入学者用の教職課程が適用される場合……別冊(B-1～B-50)を参照

令和 5 年度以降入学者用の教職課程が適用される場合……102～152 ページを参照

なお、教職に関する科目のうち、教育実習については「(4) 教育実習について（幼・小・中・高教員免許）」（98～100 ページ）を、栄養教育実習については適用される教職課程の「栄養教育実習」の項目（110 ページ／B-9）を参照してください。

③施行規則第 66 条の 6 に定める科目（教養教育科目）

「(3) 教員免許状取得のために必要な教養教育科目」（97 ページ）を参照

④介護等体験

「(5) 介護等体験について（小・中教員免許）」（101 ページ）を参照

■ 教職に関する履修相談について

教員免許状取得希望者を対象に、教職履修相談を随時受け付けています。教員免許状取得についての相談を希望する人は学務課学務係へご相談ください。

なお、単位認定・履修登録上限・卒業要件単位・教科科目（専門科目）については学務課各所属学部係で相談してください。

窓口受付時間

(授業期間中) 土曜日・日曜日・祝日を除く平日の 8 時 30 分～18 時 00 分

(休業期間中) 土曜日・日曜日・祝日を除く平日の 8 時 30 分～17 時 15 分

■ 教員免許更新制について

令和 4 年 7 月 1 日付教員免許法の改正により、教員免許状の更新制は廃止され、有効期間の定めはありません。詳細は文部科学省ホームページをご覧ください。

(https://www.mext.go.jp/a_menu/14167461.htm)

■ 学校図書館司書教諭について

教員免許状の取得とあわせて、学校図書館司書教諭の資格取得を希望する場合は、「3 資格関連科目群」の「(2) 学校図書館司書教諭の資格取得について」(158～159 ページ)を確認してください。

(2) 教職課程の履修の流れ

本学の教職課程の履修は、年次と科目の区分によって、細かい指定があります。また各段階で重要な手続きやガイダンスが行われますが、それぞれにたいへん重要な意味があります。以下に標準的な履修モデルを示しますので、これを参考に、各自の履修計画を立ててください。

教職課程の履修モデルと各種ガイダンス・手続き等の時期について

年次	履修すべき科目	ガイダンスや手続き等
1年次	・「外国語（スペイン語除く）」、「健康運動実習」の履修 ・「日本国憲法」、「情報処理入門」など必要な教養教育科目の履修 ・教科に関する専門的事項（以下、教科科目）のうち、「1回生で履修できる専門科目」の履修 ・教育の基礎的理解に関する科目等（以下、教職科目）のうち、「教職論」の履修	・学部別ガイダンスで説明（4月） ・新入生教職ガイダンス（4月） ・「教職実践演習」の「履修カルテ」作成開始〔106・110ページ／B-5・B-9参照〕
2年次	・教職科目の本格的履修開始。教育実習の前提となる「各教科の指導法」・「保育内容の指導法」や「教育原理」などを優先的に。集中講義に注意してください。 ・教科科目の履修	・学部別ガイダンスで説明（4月） ・栄養教育実習オリエンテーション（7月） [各自の希望する栄養教育実習先を届け出] ・介護等体験の申し込み（11月） ・介護等体験事前説明会（2月）
3年次	・教職科目、教科科目の履修 ・「教育実習Ⅱ（中・小・幼）」の履修登録・実施 ・「介護等体験（中・小）」の実施 ・「栄養教育実習、事前・事後指導（栄養）」の履修登録・実施 ・教職科目、教科科目の履修	・教育実習総合ガイダンス（4月） （栄養教諭免許希望者を除く全員） [各自の取得を希望する免許状を届け出] ・小学校・幼稚園教育実習Ⅱオリエンテーション（4月） ・栄養教育実習オリエンテーション（4月） ・介護等体験事前指導（6月）
4年次	・教職科目、教科科目の履修 ・「教育実習Ⅰ」、「事前・事後指導」の履修登録・実施〔履修条件に注意すること〕 ・「教職実践演習」の履修登録・実施	・教育実習Ⅰオリエンテーション（4月） （学校種毎（中高・小・幼）に実施） ・単位修得状況調の提出（6月頃） ・教員免許状授与申請（11月～12月頃） ・教員免許状授与（卒業式当日）

■教員免許・全学共通実習関係（教育実習・介護等体験など）のお知らせについて

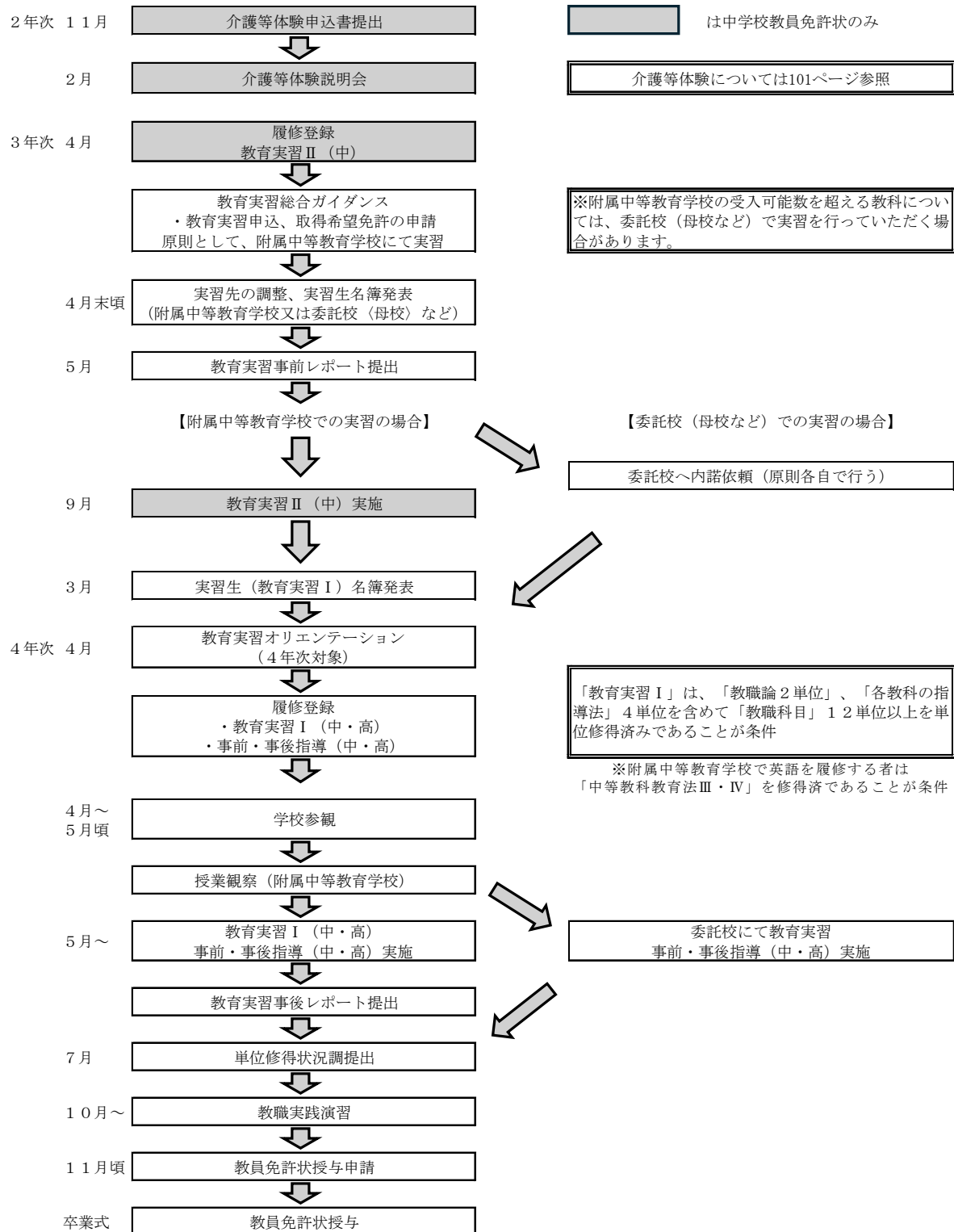
学術情報センター（附属図書館）・情報基盤センター横の実習用掲示板でお知らせするほか、教務システム「Campus-Xs」ポータルサイトの掲示板でもお知らせすることがありますので注意してください。教育実習・介護等体験に行く人は、ガイダンス・オリエンテーション等の案内も掲示します。なお、掲示を見ていなかったことにより生じる不利益には対応できません。

■麻疹（はしか）の免疫確認についての書類提出について

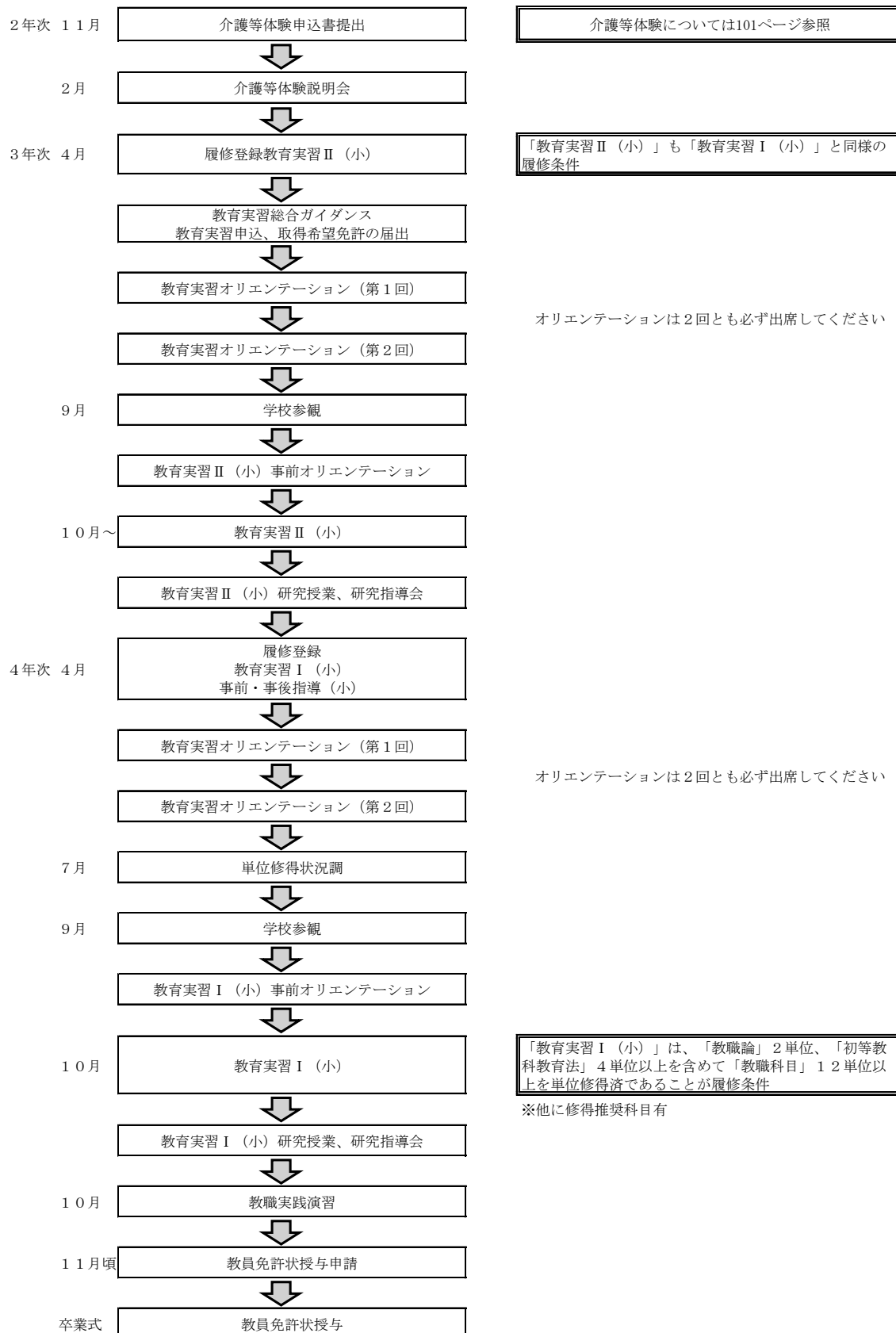
教育実習・介護等体験に行く人は、麻疹（はしか）の免疫確認についての書類〔過去に2回ワクチンを接種したことが分かる書類又は抗体検査の結果（基準値を超える抗体があることが分かる書類）〕を必ず実習又は体験に行くまでに学務課学務係に提出してください。麻疹（はしか）の免疫確認についての書類を提出されない場合は教育実習・介護等体験に行くことが出来ません。

教員免許状取得までの流れ

1. 教員免許状（中学校・高等学校）



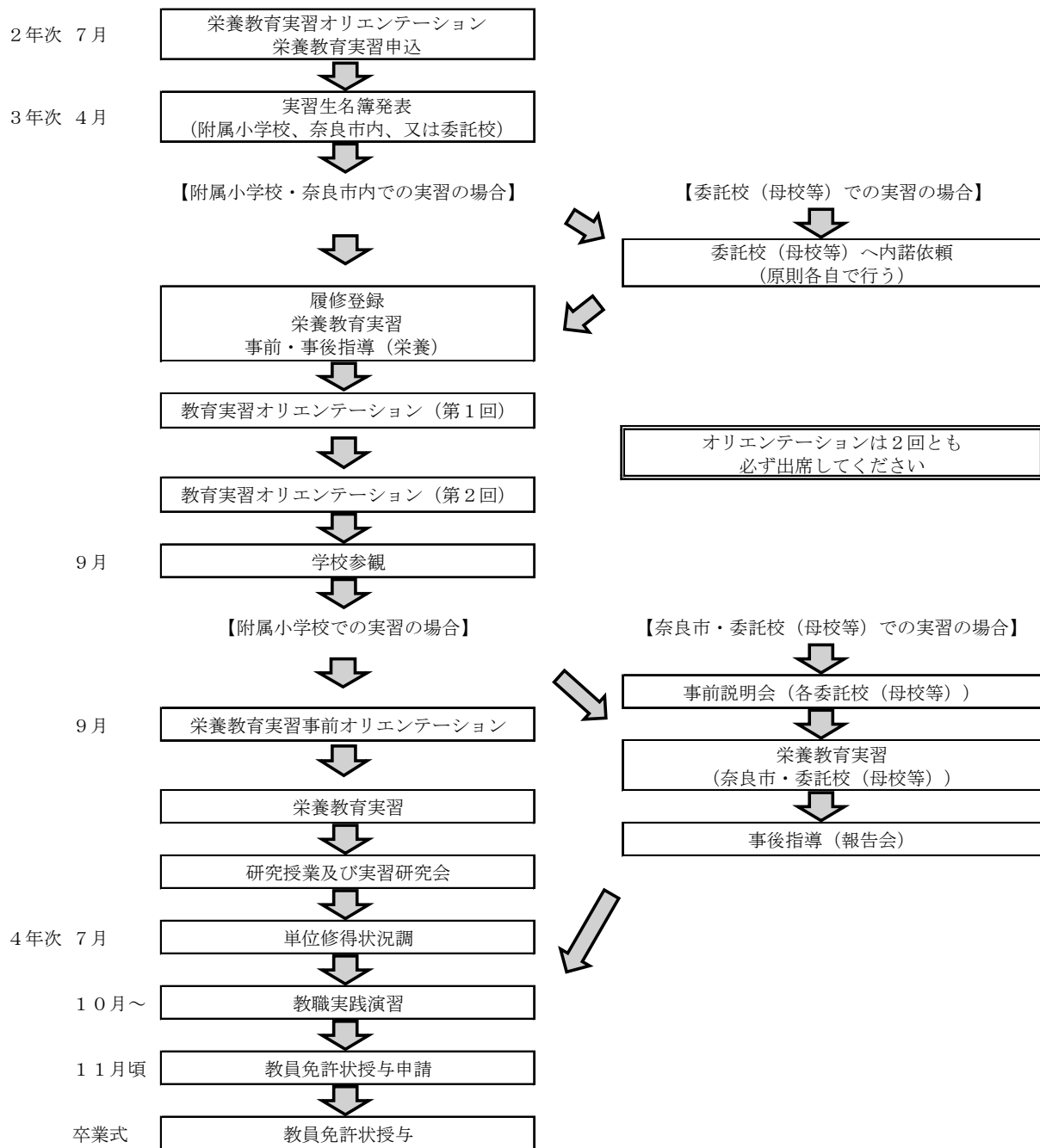
2. 教員免許状（小学校）



3. 教員免許状（幼稚園）



4. 教員免許状（栄養教諭）



(3) 教員免許状取得のために必要な教養教育科目

教員免許状を取得するためには、教育職員免許法に定める所要資格に加えて、教養教育科目のうちから「日本国憲法」「外国語（スペイン語除く）」「健康運動実習」「情報処理入門（理学部化学生物環境学科のみ「環境科学基礎プログラミング演習」選択可能）」各2単位を必ず履修しなければなりません。

このほか、履修することが望ましい科目として、「哲学の歴史」「現代の倫理」「現代宗教学への招待」「人権と差別」（以上教養教育科目）、「人権と教育」（文学部共通科目、令和元年度まで開講）があります。この中から、いずれか1科目以上を履修することが望ましいです。

以上について、詳しくは以下の表を参照してください。

表VI-1-1 教員免許に関係する教養教育科目（令和7年度以降入学者）

科目名（講義コード）	単位	備 考	履修条件
日本国憲法（（A）：0100101・（B）0100102）	2		必修
外国語（スペイン語除く）	2		
健康運動実習Ⅰ・Ⅱ	2		
情報処理入門 *1	2		
哲学の歴史（0137010）	2	教養科目群	いずれか1科目以上履修することが望ましい
現代の倫理（0137200）	2		
現代宗教学への招待（0137410）	2		
人権と差別（0100300）	2		

*1 理学部化学生物環境学科のみ「環境科学基礎プログラミング演習」（理学部専門科目）選択可能。

表VI-1-2 教員免許に関係する教養教育科目（令和4年度以降入学者）

科目名（講義コード）	単位		備 考	履修条件
日本国憲法（（A）：0100101・（B）0100102）	2			必修
外国語（スペイン語除く）	2			
健康運動実習Ⅰ・Ⅱ	2			
情報処理入門Ⅰ・Ⅱ *1	(2)	2	I、Ⅱのどちらも可 令和6年度までに履修済みの場合	
情報処理入門	(2)			
哲学の歴史（0137010）	2		教養科目群	いずれか1 科目以上履 修すること が望ましい
現代の倫理（0137200）	2			
現代宗教学への招待（0137410）	2			
人権と差別（0100300）	2			

*1 情報処理入門Ⅰは「数理、データ活用及び人工知能に関する科目」として認定を受けているため、Ⅰを履修することが望ましい。

理学部化学生物環境学科のみ「環境科学基礎プログラミング演習」（理学部専門科目）選択可能。

表VI-1-3 教員免許に関係する教養教育科目（平成28～令和3年度入学者）

科目名（講義コード）	単位		備 考	履修条件
日本国憲法（（A）：0100101・（B）0100102）	2			必修
外国語（スペイン語除く）	2			
健康運動実習Ⅰ・Ⅱ	2			
情報処理入門Ⅰ・Ⅱ *1	(2)	2	I、Ⅱのどちらも可 令和6年度までに履修済みの場合	
情報処理入門	(2)			
哲学の歴史（0137010）	2		教養科目群	いずれか1科目以上履修することが望ましい
現代の倫理（0137200）	2			
現代宗教学への招待（0137410）	2			
人権と差別（0100300）	2		文学部専門科目（学部共通）	

*1 情報処理入門Ⅰは「数理、データ活用及び人工知能に関する科目」として認定を受けているため、Ⅰを履修することが望ましい。

理学部化学生物環境学科のみ「環境科学基礎プログラミング演習」（理学部専門科目）選択可能。

(4) 教育実習について（幼・小・中・高教員免許）

教育実習を行う3年次生（令和8年度編入学生を含む）については、下記の要領で教育実習を行います。これを熟読した上で、ガイダンスやオリエンテーションへ参加し、履修登録に間違いの無いように、十分注意してください。分からないことは学務課学務係に相談してください。

■ 麻疹（はしか）の免疫確認についての書類提出について

教育実習・介護等体験に行く人は、麻疹（はしか）の免疫確認についての書類〔過去に2回ワクチンを接種したことが分かる書類又は抗体検査の結果（基準値を超える抗体があることが分かる書類）〕を必ず実習又は体験に行くまでに学務課学務係に提出してください。麻疹（はしか）の免疫確認についての書類を提出されない場合は教育実習・介護等体験に行くことができません。

■ 教育実習Ⅰ（2単位）の履修と履修条件

幼稚園・小学校・中学校・高等学校教員免許状取得に必要な実習で、「事前・事後指導」と合わせて4年次に実施します。必ず4年次の前期に「教育実習Ⅰ」と「事前・事後指導」の2科目をセットで履修登録してください。ただし実習先は取得する免許の種類によって異なり、そのために3年次の4月から手続きが必要です。3年次4月に行われる「教育実習総合ガイダンス」に必ず参加してください。具体的な実習内容については、『Webシラバス』を参照してください。

「教育実習Ⅰ」の履修にあたっては、「教育の基礎的理解に関する科目等」及び「教科に関する専門的事項」を十分に履修しておいてください。また免許の種類によって、下記のような履修条件があります。3年次が終わるまでに、指定された科目を履修し、単位を取得しておいてください。

中学校・高等学校免許の場合

「教職論」2単位、「各教科の指導法」4単位を含んで「教育の基礎的理解に関する科目等」・「各教科（保育内容）の指導法」（教職科目）から12単位以上を単位修得済であること。なお、本学附属中等教育学校で教育実習Ⅰ（中・高）の「英語」を履修する者は、上記に加えて、「中等教科教育法英語Ⅲ・Ⅳ」を履修済であることを履修条件とする。教育実習先については、次ページ参照のこと。

小学校免許の場合

「教職論」2単位「初等教科教育法」4単位以上を含めて「教育の基礎的理解に関する科目等」・「各教科（保育内容）の指導法」（教職科目）から12単位以上を単位修得済であること。なお、実習開始前までに、「初等教科教育法 国語」「初等教科教育法 算数」、資格関連専門科目「国語」「算数」のうち、いずれか1科目以上について単位修得済であることを強く推奨する。

幼稚園免許の場合

「教職論」2単位「保育内容指導法」4単位以上を含めて「教育の基礎的理解に関する科目等」・「各教科（保育内容）の指導法」（教職科目）から12単位以上を単位修得済であること。

なお、この履修条件は、編入学生、大学院生および海外の交流協定締結校への派遣留学経験者に限って、例外的な扱いが可能です。

ただし、下記の科目の単位は必ず修得しておいてください。

中学校・高等学校免許の場合は「各教科の指導法」4単位。

小学校免許の場合は「初等教科教育法」4単位以上。

幼稚園免許の場合は「保育内容指導法」4単位以上。

■ 教育実習Ⅱ（2単位）の履修

幼稚園・小学校・中学校教員免許状取得に必要な実習で、3年次に実施します。この実習は附属学校園の協力の下に、基本的には本学で実施されますが、人数が一定数を超えた場合は、母校など他の委託校で実習をお願いすることがあります。委託校での実習は4年次に実施することになります。

なお、幼稚園・小学校については、教育実習Ⅱの履修にあたって教育実習Ⅰと同様の履修条件を設けていますので、留意してください。2年次が終わるまでに指定された科目を履修し、単位を取得しておいてください。

3年次4月に行われる「教育実習総合ガイダンス」に全員参加し、原則として3年次の前期に「教育実習Ⅱ」を履修登録してください。なお、幼稚園免許状については、「教育実習Ⅱ」を4年次に履修することができます。希望者は「教育実習総合ガイダンス」の際に申し出てください。「教育実習Ⅱ」の具体的な実習内容については、『Web シラバス』を参照してください。

■ 事前・事後指導（1単位）の履修

幼稚園・小学校・中学校・高等学校教員免許状取得に必要な科目で、「教育実習Ⅰ」と不可分の科目として、4年次に実施します。必ず4年次の前期に履修登録してください。「事前・事後指導」のみの履修登録はできません。オリエンテーションなどは「教育実習Ⅰ」と併せて行います。具体的な実習内容については、『Web シラバス』を参照してください。

■ 複数学校種の免許状を併せて取得する場合の教育実習

小学校と中学校、幼稚園と小学校のように複数学校種の免許状を併せて取得する場合、履修方法に注意が必要です。本学で小学校と中学校の免許状を併せて取得する場合、「教育実習Ⅱ（小・中）」（2単位）と、「教育実習Ⅰ（小・中）」（2単位）を履修してください。小学校と幼稚園の免許状を併せて取得する場合は、原則「教育実習Ⅱ（幼稚園）」と「教育実習Ⅰ（小学校）」を履修してください。それ以外の形での履修を希望する場合は幼小教育実習担当教員に相談してください。

小学校と中学校と高等学校の免許状を併せて取得する場合は、「教育実習Ⅱ（小・中）」（2単位）と、「教育実習Ⅰ（中・高）」（2単位）の組み合わせで履修してください。

なお、上述の小学校と中学校と高等学校の免許状を併せて取得する場合や、幼稚園と中学校、小学校と高等学校等、隣接しない学校種の免許状の取得を希望する場合は、必ず学務課学務係に相談してください。なお、文学部人間科学科「子ども教育専修プログラム」以外の学生の小学校免許取得のための科目の履修にあたっては、中学校免許と併せて取得予定であることが条件となりますので注意してください。

■ 取得する免許状の種類と「教育実習Ⅰ」の実習先

「教育実習Ⅰ」の実習先は、取得を希望する免許状の種類により、原則として、下記の表のように分かります。3年次の4月に行われる「教育実習総合ガイダンス」の際に届け出た、教員免許の取得希望に沿って、手続きが進められますので、間違いのないように注意してください。

免許状の種類	教育実習先
中学校・高等学校免許を併せて取得する場合 中学校免許のみ取得する場合 高等学校免許のみ取得する場合	本学附属中等教育学校 ただし、教科ごとの受入れ可能人数を上回るときは、委託校（母校など）での実習をお願いすることがあります。附属か委託校かの調整は、3年次の「教育実習総合ガイダンス」の後、4月中に行い、掲示にて連絡します。実習先が委託校となった場合は、3年次の5月連休明け頃から、各自で委託校へ内諾依頼を行ってください。 なお、本学附属中等教育学校への振り分けは以下の順で行います。 ①中学校・高等学校免許を併せて取得する者および中学校免許のみ取得する者→②高等学校免許のみ取得する者（母校の所在地が大学から離れている者から順に附属中等教育学校へ振り分けます。）
小学校免許	本学附属小学校
幼稚園免許	本学附属幼稚園

■ ガイダンスとオリエンテーション

① 教育実習総合ガイダンス

教育実習に向けての最初の重要なガイダンスで、3年次の4月初旬に行われます。教員免許状取得を希望する3年次生は必ず出席して「教員免許状取得希望届」を提出してください。これに沿って免許状取得までの履修指導が行われます。ガイダンスでは、取得する免許状の種類によって異なる教育実習の履修方法や時期・手続について説明されます。説明を聞いて配付資料をよく読み、掲示に注意してください。

② 教育実習オリエンテーション

各教育実習科目の授業の一環として行われるオリエンテーションです。4月初旬～下旬にかけて学校種毎に行いますので、掲示等に注意し、履修する各教育実習科目のオリエンテーションを必ず受講してください。

- 幼・小 教育実習Ⅰ・Ⅱいずれの場合もそれぞれ2回オリエンテーションを行います。当該年度に教育実習ⅠまたはⅡを履修する者は、2回とも必ず出席してください。
- 中・高 4月初旬にオリエンテーションを行います。当該年度に「教育実習Ⅰ」を履修する者は必ず出席してください。「事前・事後指導」と「教育実習Ⅰ」について詳細を説明します。

なお、ガイダンスおよびオリエンテーションについての掲示は、例年2月に学内掲示板および大学HPにて行います。

(<https://www.nara-wu.ac.jp/nwu/education/affairs/teaching>)

(5) 奈良教育大学との教職科目の単位互換について

「教育の基礎的理解に関する科目等(教職科目)」のうち大学が指定する科目について、奈良教育大学と奈良女子大学との単位互換に関する覚書に基づき奈良教育大学開講科目を履修することができます。令和8年度の対象科目や単位の取扱いについては以下のとおりです。

令和8年度 奈良教育大学開講科目

科目名	担当教員	開講期	曜日	時限	単位数
教育社会学	粕谷 圭佑	前期	木	3・4限	2
教育社会学	粕谷 圭佑	後期	木	7・8限	2
教育方法論(情報通信技術の活用を含む。)	赤沢 早人	前期	月	5・6限	2
教育方法論(情報通信技術の活用を含む。)	赤沢 早人	前期	木	5・6限	2

※ 定員は前・後期それぞれ10名です。希望者多数の場合は抽選を行います。

※ 「教育方法論(情報通信技術の活用を含む。)」を履修し、修得した単位は、本学における「教育方法の理論と実践(情報通信技術の活用を含む。)」の単位に読み替えます。

履修単位の扱い

奈良教育大学の科目を履修し、修得した単位は、本学で開講する科目の単位に読み替え、各学部の定めに応じた単位数に含めることができます。

その他の履修対象学生等の原則や、履修登録の方法等については、奈良教育大学との単位互換制度のページを参照してください。(P.76)

この制度を利用して奈良教育大学の開講科目を受講する場合は、手続きの期限や提出書類などに注意して履修してください。

(6) 介護等体験について（小・中教員免許）

小学校または中学校教諭の免許状を取得するには、大学の開講科目以外に、「障害者、高齢者等に対する介護、介助、その人たちとの交流等の体験」（介護等体験）が要件として必要になっています（「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」）。本学においては、この体験を3年次で実施しますが、申し込みと説明会は2年次のうちに行います。また実施直前の6月頃に事前指導を行います。以下の説明を参照の上、掲示等に注意してください。

介護等体験は、特別支援学校（盲・ろう・養護学校）（2日間）及び社会福祉施設等（5日間）で、原則7日間行われます。奈良県では、さらに奈良県社会福祉協議会主催の合同オリエンテーション1日を加えて、計8日間となります。

事前に学内の健康診断を必ず受診しておくことと、**学生教育研究災害傷害保険（学研災）及び学研災付帯賠償責任保険（学研賠）**に加入しておくことが必要です。

体験後に各自に交付される「**介護等体験証明書**」がないと、教員免許状の申請が認められません。この証明書が交付されたら、速やかに**学務課学務係**まで提出してください。**介護等体験証明書は再発行されませんので、絶対に紛失しないようにしてください。**

○介護等体験の日程と手続（予定）

下記の説明会への参加、各種書類の提出はすべて必要不可欠です。**実習関係掲示板に注意してください。**

年次	時期	内 容	手続きなど
2年次	10月下旬頃 (掲示注意)	①介護等体験申込の提出（※）	LMSへ
		②麻疹（はしか）の免疫確認についての書類の提出（※）	学務課学務係カウンターへ
	2月中旬頃	介護等体験説明会（学内）	申込関係書類の配布（LMS）
3年次	4月初旬	健康診断を受診	保健管理センター
	4月上旬頃	特別支援学校体験先の決定と日程の通知	
	5月中旬頃	合同オリエンテーションの日程掲示 社会福祉施設等体験先の決定と日程の通知	
	6月上旬頃	介護等体験事前指導（学内）	諸経費徴収
	6月中旬	合同オリエンテーション開始 （奈良県社会福祉協議会）	
	6月～3月	介護等体験実施（日程は体験先によって異なる） （特別支援学校2日間、社会福祉施設等5日間）	
	（体験終了後）	介護等体験証明書提出	学務課学務係カウンターへ

※提出書類①と②は必ず両方提出してください。

〈令和 5 年度以降入学者用〉

- (7-1) 教職課程の概要（令和 5 年度以降入学者）
- (7-2) 「教育の基礎的理解に関する科目等」・「各教科（保育内容）の指導法」（令和 5 年度以降入学者）
- (7-3) 「教科（領域）に関する専門的事項」・「大学が独自に設定する科目」（令和 5 年度以降入学者）
- (7-4) 二種免許状について（令和 5 年度以降入学者）

(7-1) 教職課程の概要（令和5年度以降入学者）

■ 取得できる教員免許状

本学において取得することができる教員免許状の種類及び教科、必要な基礎資格及び最低必要単位数は、以下の表VI-2-2のとおりです。ただし、修士の学位を基礎資格とする専修免許状は、学部では取得できません。なお、各教員免許状を取得する教育課程は、学科・専攻・コースごとに文部科学省の認定を得ていますが、科目の履修と教員免許状の取得については、学生の所属学科に関わらず、自由に選択できます。

ただし、文学部人間科学科「子ども教育専修プログラム」の学生以外による幼稚園・小学校免許取得のための科目を履修する場合は制限がありますので注意してください（表VI-2-2の下☆参照）。詳細は学務課学務係に問い合わせてください。

中学校、小学校、幼稚園、栄養教諭の二種免許状については「(7-4) 二種免許状について」を参照してください。

表VI-2-2 本学で取得できる免許状の種類、基礎資格及び修得必要最低単位数

免許状の種類		教 科	所 要 資 格	
			基礎資格	修得必要最低単位数
				教科及び教職に関する科目 (栄養に係る教育及び教職に関する科目)
高等学校教諭	専修免許状	国語、地理歴史、公民、数学、理科、保健体育、家庭、情報、英語	修士の学位	83
	一種免許状	国語、地理歴史、公民、数学、理科、書道、保健体育、家庭、情報、英語	学士の学位	59
中学校教諭	専修免許状	国語、社会、数学、理科、保健体育、家庭、英語	修士の学位	83
	一種免許状	国語、社会、数学、理科、保健体育、家庭、英語	学士の学位	59
	二種免許状	国語、社会、数学、理科、保健体育、家庭、英語	短期大学士の学位	35
小学校教諭	専修免許状	———	修士の学位	83
	一種免許状	———	学士の学位	59
	二種免許状	———	短期大学士の学位	37
幼稚園教諭	専修免許状	———	修士の学位	75
	一種免許状	———	学士の学位	51
	二種免許状	———	短期大学士の学位	31
栄養教諭	専修免許状	———	修士の学位・管理栄養士免許	46
	一種免許状	———	学士の学位・管理栄養士免許又は管理栄養士養成課程修了+栄養士免許	22
	二種免許状	———	短期大学士の学位・栄養士免許	14

※本学における実際に必要な修得単位数は、修得科目が教員免許法・同施行規則上の科目区分と分野（各科目に含めることが必要な事項）を満たす必要があるため、上記表中の単位数よりさらに多くなる場合があります。なお、二種免許状については「(7-4) 二種免許状について」を参照してください。

※専修免許の基礎資格には、博士前期課程に1年以上在学し、30単位以上取得した場合を含みます。

☆文学部人間科学科「子ども教育専修プログラム」以外の学生の小学校免許取得のための科目の履修にあたっては、中学校免許を取得予定であることが条件となります。その際、中学校課程の科目の一部は、小学校課程の科目としても適用されます（詳細は、「(7-3) 教科（領域）に関する専門的事項・大学が独自に設定する科目」113ページ以下の表で確認してください。

■ 教育課程の構造

前掲表Ⅵ-2-2に示す「所要資格」（教科及び教職に関する科目）については、以下の3区分に分けられます。それぞれ修得が必要な単位数等が定められていますので、よく確認のうえ履修してください。

教員免許状を取得するために必要な科目は、教育職員免許法・同施行規則の定めにより、「教科及び教科の指導法（領域及び保育内容の指導法）に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目等」（教職科目）、「大学が独自に設定する科目」とに大別されます。「教科及び教科の指導法（領域及び保育内容の指導法）に関する科目」は、さらに「教科に関する専門的事項（領域に関する専門的事項）」（教科科目）と「各教科（保育内容）の指導法」（教職科目）に分かれます。

栄養教諭の場合は「栄養に係る教育に関する科目」（栄養教育科目）、「教育の基礎的理解に関する科目等」（教職科目）、「大学が独自に設定する科目」となります。

■ 教育の基礎的理解に関する科目等・各教科（保育内容）の指導法（教職科目）

教職全体の基礎となる科目で、教育の基礎理論や指導法、教育実習などからなります。「(7-2)「教育の基礎的理解に関する科目等」・「各教科（保育内容）の指導法」（令和5年度以降入学者）」（105ページ以降）を確認してください。

「教育の基礎的理解に関する科目等」は全学共通で開講され、原則2年次以上で履修可能です（一部の科目を除く）。必修単位が免許状の種類によって細かく分かれ、さらに入学年度によって異なりますから、必ず該当年度の箇所を熟読して、間違いなく履修してください。教職科目の開講計画は167ページ、各科目の詳細は『Web シラバス』を参照してください。

なお、第3年次編入学生については、本学入学年度の2年前の教職科目が適用されます。

■ 教科（領域）に関する専門的事項（教科科目）、栄養に係る教育に関する科目（栄養教育科目）

教科の専門的な内容を扱います。基本的に、各学部・学科の専門科目です。科目によって1年次から履修できます。免許教科ごと、また開講している学科・コースごとに、履修すべき科目が異なります。また、必修科目・選択必修科目・選択科目に分かれています。教科と学科・コースの組み合わせに注意して、「(7-3) 教科（領域）に関する専門的事項・大学が独自に設定する科目」113ページ以下の表で科目を確かめた上で、『専門教育ガイド』と『Web シラバス』を参照してください。

■ 大学が独自に設定する科目

教科科目や教職科目から選択履修する科目グループです。本学では、免許教科ごとに、教科科目と一部の教職科目を組み合わせで履修するようになっているため、「教科科目」と一括して扱われます。「(7-3) 教科（領域）に関する専門的事項・大学が独自に設定する科目」113ページ以下の表で確認してください。

(7-2)「教育の基礎的理解に関する科目等」・「各教科（保育内容）の指導法」（教職科目）（令和5年度以降入学者）

A. 高等学校・中学校・小学校・幼稚園教諭関係（令和5年度以降入学者用）

免許状を取得するために必要な「教職科目」は、以下の4群に区分されます。本学の開講科目は、表VIC-1、VIC-2に示すとおりです。入学年度によって履修方法が異なるので、必ず該当する入学年度の説明と表を熟読してください。教職科目の開講計画は167ページ、各科目の詳細は『Webシラバス』を参照してください。1年次で履修できる教職科目は「教職論」1科目だけです。

■「教育の基礎的理解に関する科目」の群

全免許状について、「教育原理」（2単位）、「教職論」（2単位）、「教育社会学」又は「教育経営行政論」※（2単位）、「教育心理学」（2単位）、「特別支援論」（1単位）、「教育課程論」（1単位）の合計10単位を必ず履修しなければなりません。

※「教育経営行政論」は、奈良教育大学開講の連携開設科目（70ページ参照）。

■「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」の群
高等学校 「総合的な探究の時間の指導法」として「総合的な学習の時間の理論と実践」

（1単位）、「特別活動の指導法」として「特別活動論」（1単位）、「教育の方法及び技術」・「情報通信技術を活用した教育の理論及び方法」として「教育方法の理論と実践（情報通信技術の活用を含む。）」（2単位）、「生徒指導の理論及び方法」・「進路指導及びキャリア教育の理論及び方法」として「生徒指導・進路指導論」（2単位）、「教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法」として「教育相談」（2単位）を必ず履修してください。

中学校 「道徳の理論及び指導法」として「道徳教育の理論と実践」（2単位）、「総合的な学習の時間の指導法」として「総合的な学習の時間の理論と実践」（1単位）、「特別活動の指導法」として「特別活動論」（1単位）、「教育の方法及び技術」・「情報通信技術を活用した教育の理論及び方法」として「教育方法の理論と実践（情報通信技術の活用を含む。）」（2単位）、「生徒指導の理論及び方法」・「進路指導及びキャリア教育の理論及び方法」として「生徒指導・進路指導論」（2単位）、「教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法」として「教育相談」（2単位）を必ず履修してください。

小学校 「道徳の理論及び指導法」として「道徳教育の理論と実践」（2単位）、「総合的な学習の時間の指導法」として「総合的な学習の時間の理論と実践」（1単位）、「特別活動の指導法」として「特別活動論」（1単位）、「教育の方法及び技術」・「情報通信技術を活用した教育の理論及び方法」として「教育方法の理論と実践（情報通信技術の活用を含む。）」（2単位）、「生徒指導の理論及び方法」・「進路指導及びキャリア教育の理論及び方法」として「生徒指導・進路指導論」（2単位）、「教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法」として「教育相談」（2単位）を必ず履修してください。

幼稚園 「教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）」として「教育方法の理論と実践（情報通信技術の活用を含む。）」（2単位）、「教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法」として「教育相談」（2単位）、「幼児理解の理論及び方法」として「幼児理解の理論と方法」（1単位）を必ず履修してください。

■「各教科の指導法」・「保育内容の指導法」の群

「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」（幼稚園では「保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）」）として履修しなければならない科目は、表VIC-2-1～3に示すとおりです。

■「教育実践に関する科目」の群

①「教育実習」

免許状の種類によって、次の科目を履修しなければなりません。なお、免許状ごとに講義コードが異なるので注意してください。詳しくは表VIC-3を参照してください。（本学では「学校体験活動」に該当する授業科目の開設はありません。）

高等学校 「教育実習Ⅰ」 (2単位) 及び「事前・事後指導」(1単位) の併せて3単位を、4年次に履修しなければなりません。

中学校・小学校・幼稚園 原則として「**教育実習Ⅱ**」(2単位) を3年次に、「**教育実習Ⅰ**」(2単位) 及び「**事前・事後指導**」(1単位) を4年次に履修し、併せて5単位を履修しなければなりません。

なお、「**教育実習Ⅰ**」の履修には履修条件が課せられ、免許状の種類によって、前もって履修しておくべき科目が定められています(「(4) 教育実習について」98ページ参照)。3年次が終わるまでに、所定の科目を履修して単位を取得してください。また、幼稚園・小学校については、「教育実習Ⅱ」の履修に「教育実習Ⅰ」と同様の履修条件を課していますので、あわせて確認してください。

また、教育実習の実施時期と実習先は、取得したい免許状の種類によって、細かく分かれています。98ページ以下の「(4) 教育実習について(幼・小・中・高教員免許)」を熟読し、間違いなく履修してください。

②「教職実践演習」

免許状の種類によって、必要な教職科目を履修した上で、次の科目を4年次後期に履修しなければなりません。表VIC-4を参照してください。

高等学校・中学校 「教職実践演習(中・高)」(2単位) を必ず履修しなければなりません。

小学校・幼稚園 「教職実践演習(幼・小)」(2単位) を必ず履修しなければなりません。

※教職実践演習(中・高)と教職実践演習(幼・小)の両方に該当する場合は、それぞれ履修登録してください。

※食物栄養学科の学生のうち、教職実践演習(中・高)と教職実践演習(栄養)の両方に該当する場合は、それぞれ履修登録してください。

なお、教職実践演習の実施日程については、7月上旬頃に実習掲示板でお知らせしますので、必ず確認してください。10～12月(土曜日)に計3回の集中講義を実施予定です。

※欠席は附属学校園教育実習における公欠要件と同一とします。病欠・忌引・就職試験・面接・大学院受験：欠席届及び証明書提出の上、1日限り認め、個別指導を行いません。2日以上欠席は認めません。

※「教職実践演習」の履修条件として、1年次から「履修カルテ」を作成する必要があります。詳細については「教職論」の授業の中でガイダンスを行います。履修カルテの作成方法については、別途お知らせします。

koto.nara-wu.ac.jp/gakusei/kyomen2.htm

・履修カルテには、免許状取得に必要な教職科目すべての履修記録・成績、毎学年末の自己評価等の情報を蓄積します。1年次から4年次まで各自大切に保管してください。

・履修カルテは、「教職実践演習」第1回集中講義にて使用します。第1回集中講義までに履修カルテを完成させて、必ず持参・提出してください。履修カルテを完成させて提出できなければ、「教職実践演習」を履修することはできません。

※指定科目(下記)について、学習の記録としてLMSでレポートを提出・保存しておき、教員の評価コメントを「履修カルテ」に記録する必要があります。

中・高 「教職論」「教育課程論」「教育相談」「教育方法の理論と実践(情報通信技術の活用を含む。)」

- 小 「教職論」「教育課程論」「教育方法の理論と実践（情報通信技術の活用を含む。）」「教育相談」
- 幼 「教職論」「教育課程論」「教育方法の理論と実践（情報通信技術の活用を含む。）」「教育相談」「幼児理解の理論と方法」

※3 年次編入生について

教職実践演習履修開始時に前大学の履修カルテを持参できる場合、前大学の単位修得済科目について、教職実践演習のためのレポートは例外的な扱いが可能です。なお、前大学で履修カルテを作成している場合でも、本学での履修カルテ作成は必要です。

表VIC-1 教育の基礎的理解に関する科目等（教職科目）（令和5年度以降入学者用）

免許法施行規則に定める科目 (法定単位数。カッコは二種免許)			本学開講科目		単位数				履修年次
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	科目名	高	中	小	幼		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10 (6)	教育原理 (A)0160201・(B)0160202	2	2	2	2	2年次以上	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職論 (A)0160001・(B)0160002	2	2	2	2	1年次以上	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育社会学 ※1 (A)0160411・(B)0160412	(2)	2	2	2	2	2年次以上
			教育経営行政論 ※1 (A)0169320・(B)0169325	(2)					
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学 (A)0160501・(B)0160502	2	2	2	2	2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援論 0160550	1	1	1	1		
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論 ※2 (A)0160611・(B)0160612	1	1	1	1		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法 及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	高 8 中 10(6) 小 10(6) 幼 4	道徳教育の理論と実践 (A)0161121・(B)0161122	/	2	2	/	2年次以上	
	(小中)総合的な学習の時間の指導法 (高)総合的な探求の時間の指導法		総合的な学習の時間の理論と実践 0161150	1	1	1	/		
	特別活動の指導法		特別活動論(道徳、総合的な学習の時間に関する内容を含む。)*2 (A)0160711・(B)0160712	1	1	1	/		
	・教育の方法及び技術 ・情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		教育方法の理論と実践 (情報通信技術の活用を含む。)(0160910)	2	2	2	/		
	教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む。)			/	/	/	2		
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導・進路指導論 (A)0165501・(B)0165502	2	2	2	/		
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法			/	/	/	/		
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)*の理論及び方法		教育相談 (A)0165601・(B)0165602	2	2	2	2		
	幼児理解の理論及び方法		幼児理解の理論と方法 (0165900)	/	/	/	1		
				/	/	/	/		
教育実践に関する科目	教育実習(表VIC-3 参照)	高 3 中 5 小 5 幼 5	事前・事後指導(教育実習)	1	1	1	1	4年次	
	学校体験活動		教育実習Ⅰ	2	2	2	2	3年次以上	
			教育実習Ⅱ	/	2	2	2		
	教職実践演習(表VIC-4 参照)	2	教職実践演習	2	2	2	2	4年次 (教職科目の最後に履修)	
合計単位数	最低修得単位数 高 23、中 27(19)、小 27(19)、幼 21(17)			23	27	27	22		

※1「教育社会学」又は「教育経営行政論」のいずれかを2単位以上修得すること。また、「教育経営行政論」は奈良教育大学開講の連携開設科目。

※2『教育課程論』と『特別活動論』の2科目については、同じクラス名同士(A/B)のいずれかの組合せをセットで履修することを推奨する。

※3※2以外のクラス分けのある科目については、(A)・(B)どちらを履修しても構いません。

表VIC-2-1 各教科の指導法・保育内容の指導法（教職科目）（令和5年度以降入学者用）

免許法施行規則に定める科目区分 (法定単位数。カッコは二種免許)			本学開講科目		必要単位数				履修年次
科目	各科目に含めることが必要な事項 (表VIC-2-2～3を参照)	単位数	科目名	高	中	小	幼		
【教科及び教科の指導法(領域及び保育内容の指導法)に関する科目】	(小中高)各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	高 4 中 8(2)	中等教科教育法(各 2 単位)	4	8	/	/	2年次以上	
		小	初等教科教育法(各 2 単位) (国語、社会、算数、理科、生活、 音楽、図画工作、家庭、体育、英語)	/	/	20	/		
	(幼)保育内容の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	幼	保育内容指導法※ (総論、健康、人間関係、環境、言葉 (各 2 単位) 表現・音楽分野、表現・造形分野(各 1 単位))	/	/	/	12		
合計単位数	最低修得単位数 高 4、中 8(2)、小・幼については最低修得単位数の定めなし。			4	8	20	12		

表VIC-2-2 「各教科の指導法」に関する本学開講科目（高等学校・中学校）

令和5年度以降入学者用

免許 種別	科目名（講義コード）	中学校		高等学校		免許 種別	科目名（講義コード）	中学校		高等学校	
		単位	必修	単位	必修			単位	必修	単位	必修
国語	中等教科教育法 国語Ⅰ (0161200)	2		2		数学	中等教科教育法 数学Ⅰ (0162200)	2		2	
	中等教科教育法 国語Ⅱ (0161300)	2	8		4		中等教科教育法 数学Ⅱ (0162300)	2	8		4
	中等教科教育法 国語Ⅲ (0161340)	2		2			中等教科教育法 数学Ⅲ (0162340)	2		2	
	中等教科教育法 国語Ⅳ (0161350)	2					中等教科教育法 数学Ⅳ (0162350)	2			
英語 ※1	中等教科教育法 英語Ⅰ (0161400)	2		2	4	理科	中等教科教育法 理科Ⅰ (0162400)	2		2	
	中等教科教育法 英語Ⅱ (0161500)	2	8	2	(※2)		中等教科教育法 理科Ⅱ (0162500)	2	8		4
	中等教科教育法 英語Ⅲ (0161540)	2		2	4		中等教科教育法 理科Ⅲ (0162540)	2		2	
	中等教科教育法 英語Ⅳ (0161550)	2		2	(※2)		中等教科教育法 理科Ⅳ (0162550)	2			
地理 歴史	中等教科教育法 社会Ⅰ（地歴分野）(0161930)	—	—	2	4	家庭	中等教科教育法 家庭Ⅰ (0162800)	2		2	
	中等教科教育法 社会Ⅲ（地歴分野）(0161950)	—		2			中等教科教育法 家庭Ⅱ (0162900)	2	8		4
公民	中等教科教育法 社会Ⅱ（公民分野）(0161940)	—	—	2	4		中等教科教育法 家庭Ⅲ (0163120)	2		2	
	中等教科教育法 社会Ⅳ（公民分野）(0161960)	—		2			中等教科教育法 家庭Ⅳ (0163130)	2			
社会	中等教科教育法 社会Ⅰ（地歴分野）(0161930)	2		—		保健 体育	中等教科教育法 保健Ⅰ (0163200)	2		2	
	中等教科教育法 社会Ⅱ（公民分野）(0161940)	2	8	—	—		中等教科教育法 保健Ⅱ (0163300)	2	8		4
	中等教科教育法 社会Ⅲ（地歴分野）(0161950)	2		—			中等教科教育法 体育Ⅰ (0163310)	2		2	
	中等教科教育法 社会Ⅳ（公民分野）(0161960)	2		—			中等教科教育法 体育Ⅱ (0163320)	2			
書道	書道科教育法Ⅰ (0162000)	—	—	2	4	情報	情報科教育法Ⅰ (0162600)	—	—	2	4
	書道科教育法Ⅱ (0162100)	—		2			情報科教育法Ⅱ (0162700)	—		2	

※1 本学附属中等教育学校で教育実習Ⅰ（中・高）の「英語」を履修する者は、必ず「中等教科教育法英語Ⅲ・Ⅳ」を修得済みであることを履修条件とする。教育実習先については、99ページを必ず参照すること。

※2 高（英語）の指導法については、「中等教科教育法英語Ⅰ・Ⅱ」（4単位）または「中等教科教育法英語Ⅲ・Ⅳ」（4単位）のいずれかの組合せで履修すること。指定の組合せ以外で履修した場合、教員免許状の申請に利用できないので注意すること。

表VIC-2-3 「各教科の指導法」「保育内容の指導法」に関する本学開講科目（小学校・幼稚園）

令和5年度以降入学者用

令和5年度以降入学者用

小 学 校				幼 稚 園			
科目名（講義コード）			単位	必修	科目名（講義コード）		
初等教科教育法 国語（書写を含む。）(0166000)	2		20		保育内容指導法（総論）(0166100)	2	12
初等教科教育法 社会 (0166010)	2				保育内容指導法（健康）(0166110)	2	
初等教科教育法 算数 (0166020)	2				保育内容指導法（人間関係）(0166120)	2	
初等教科教育法 理科 (0166030)	2				保育内容指導法（環境）(0166130)	2	
初等教科教育法 生活 (0166040)	2				保育内容指導法（言葉）(0166140)	2	
初等教科教育法 音楽 (0166050)	2				保育内容指導法（表現・音楽分野）(0166150)	1	
初等教科教育法 図画工作 (0166060)	2				保育内容指導法（表現・造形分野）(0166160)	1	
初等教科教育法 家庭 (0166070)	2						
初等教科教育法 体育 (0166080)	2						
初等教科教育法 英語 (0166090)	2						

表VIC-3 「教育実習」本学開講科目（令和5年度以降入学者用）

高等学校			中 学 校			小学校・中学校共通		
科目名（講義コード）	単位	必修	科目名（講義コード）	単位	必修	科目名（講義コード）	単位	必修
教育実習Ⅰ (0167000)	2	3	教育実習Ⅰ (0167000)	2		教育実習Ⅰ (0167050)	2	
事前・事後指導 (0167200)	1		教育実習Ⅱ (0167100)	2	5	教育実習Ⅱ (0167150)	2	5
			事前・事後指導 (0167200)	1		事前・事後指導 (0167250)	1	
小 学 校			幼 稚 園					
科目名（講義コード）	単位	必修	科目名（講義コード）	単位	必修			
教育実習Ⅰ (2100270)	2		教育実習Ⅰ (2100300)	2				
教育実習Ⅱ (2100280)	2	5	教育実習Ⅱ (2100310)	2	5			
事前・事後指導 (2100290)	1		事前・事後指導 (2100320)	1				

※幼稚園・小学校については、文部省人間科学科子ども教育専修プログラム専門科目。

※小学校・中学校共通の科目の履修については、小学校免許と中学校免許を併せて取得予定であることが条件。

表VIC-4 「教職実践演習」本学開講科目（令和5年度以降入学者用）

高等学校・中学校			小学校・幼稚園		
科目名（講義コード）	単位	必修	科目名（講義コード）	単位	必修
教職実践演習（中・高）(0169100)	2	2	教職実践演習（幼・小）(2100330)	2	2

※幼稚園・小学校については、文部省人間科学科子ども教育専修プログラム専門科目。

B. 栄養教諭関係 (令和5年度以降入学用)

栄養教諭免許取得には、基礎資格として「管理栄養士の免許を受けていること」もしくは「管理栄養士養成施設の課程を修了し、栄養士の免許を受けていること」が必要です(前掲表VI-2-2)。免許状を取得するために必要な「教職科目」は、次の4群に区分され、本学の開講科目は、表VID-1に示すとおりです。履修にあたっては、以下の部分を熟読してください。教職科目の開講計画は167ページ、各科目の詳細は『Web シラバス』を参照してください。

■ 「教職の基礎的理解に関する科目」の群

「教育原理」(2単位)、「教職論」(2単位)、「教育社会学」又は「教育経営行政論」※(2単位)、「教育心理学」(2単位)、「特別支援論」(1単位)、「教育課程論」(1単位)の合計10単位を必ず履修しなければなりません。

※「教育経営行政論」は奈良教育大学開講の連携開設科目(70ページ参照)。

■ 「道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目」の群

「道徳、総合的な学習の時間及び総合的な探究の時間並びに特別活動に関する内容」として「特別活動論」(1単位)、「教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)」として「教育方法の理論と実践(情報通信技術の活用を含む。)」(2単位)、「生徒指導の理論及び方法として「生徒指導・進路指導論」(2単位)、「教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法」として「教育相談」(2単位)を必ず履修してください。

■ 「教育実践に関する科目」の群

①「栄養教育実習」

「栄養教育実習」(1単位)及び「事前・事後指導(栄養教育実習)」(1単位)の合計2単位を履修しなければなりません。詳しくは表VID-2を参照してください。

栄養教育実習は2年次(7月頃)にガイダンスが行われます。その際に附属小学校、奈良市内の小学校、委託校(母校等)のうち各自の希望する実習先を届け出る必要があります。附属小学校及び奈良市内の小学校での実習申込みは本学で取りまとめますが、受入れ人数に限りがあります。また、委託校(母校等)での実習はガイダンス後に各自で母校と連絡を取り、内諾を得ておかなければなりません。実習は3年次に行われます。

栄養教育実習の履修要件は、「栄養教諭論」「食に関する指導論」を栄養教育実習前までに2単位修得済であることです。

■ 麻疹(はしか)の免疫確認の書類提出について

教育実習に行く人は、麻疹(はしか)の免疫確認についての書類〔過去に2回ワクチンを接種したことが分かる書類又は抗体検査の結果(基準値を超える抗体があることが分かる書類)〕を必ず実習又は体験に行くまでに学務課学務係に提出してください。麻疹(はしか)の免疫確認についての書類を提出されない場合は教育実習に行くことができません。

②「教職実践演習」

「教職実践演習(栄養)」を4年次後期に必ず履修しなければなりません。表VID-3を参照してください。

なお、教職実践演習の実施日程については、7月上旬頃に実習掲示板でお知らせしますので、必ず確認してください。10~12月(土曜日)に計3回の集中講義を実施予定です。

※欠席は附属学校園教育実習における公欠要件と同一とします。病欠・忌引・就職試験・面接・大学院受験:欠席届及び証明書提出の上、1日限り認め、個別指導を行ないません。2日以上欠席は認めません。

※「教職実践演習」の履修条件として、1年次から「履修カルテ」を作成する必要があります。詳細については「教職論」の授業の中でガイダンスを行います。履修カルテの作成方法については、別途お知らせします。

koto.nara-wu.ac.jp/gakusei/kyomen2.htm

- ・履修カルテには、免許状取得に必要な教職科目すべての履修記録・成績、毎学年末の自己評価等の情報を蓄積します。1年次から4年次まで各自大切に保管してください。

- ・履修カルテは、教職実践演習第1回集中講義にて使用します。第1回集中講義までに履修カルテを完成させて、必ず持参・提出してください。履修カルテを完成させて提出できなければ、「教職実践演習」を履修することはできません。

※指定科目（下記）について、学習の記録としてLMSでレポートを提出・保存しておき、教員の評価コメントを「履修カルテ」に記録する必要があります。

「教職論」「教育課程論」「教育相談」「教育方法の理論と実践（情報通信技術の活用を含む。）」

表VID-1 栄養教諭関係 教育の基礎的理解に関する科目等（令和5年度以降入学者用）

免許法施行規則に定める科目区分 (法定単位数)			本学開講科目		必要単位数	履修年次
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	科目名（講義コード）	単位		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	8	教育原理 (A) 0160201・(B) 0160202	2	10	2年次以上
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職論 (A) 0160001・(B) 0160002	2		1年次以上
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育社会学 ※1 (A) 0160411・(B) 0160412	(2)		2年次以上
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育経営行政論 ※1 (A) 0169320・(B) 0169325	(2)		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		教育心理学 (A) 0160501・(B) 0160502	2		
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		特別支援論 (0160550)	1		
			教育課程論 ※2 (A) 0160611・(B) 0160612	1		
道徳、総合的な学習の時間等に関する科目 及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳、総合的な学習の時間及び総合的な探究の時間並びに特別活動に関する内容	6	特別活動論 ※2 (道徳、総合的な学習の時間に関する内容を含む。) (A) 0160711・(B) 0160712	1	7	2年次以上
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		教育方法の理論と実践（情報通信技術の活用を含む。） (0160910)	2		
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導・進路指導論 (A) 0165501・(B) 0165502	2		
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談 (A) 0165601・(B) 0165602	2		
栄養教育実践に関する科目	栄養教育実習（表VID-2参照）	2	事前・事後指導（栄養教育実習）	1	4	3年次
			栄養教育実習	1		4年次
	教職実践演習（表VID-3参照）	2	教職実践演習（栄養）	2		
最低修得単位数（18単位）					21	

※1「教育社会学」又は「教育経営行政論」のいずれかを2単位以上修得すること。また、「教育経営行政論」は奈良教育大学開講の連携開設科目。

※2『教育課程論』と『特別活動論』の2科目については、同じクラス名同士（A/B）のいずれかの組合せをセットで履修することを推奨する。

※3※2以外のクラス分けのある科目については、(A)・(B) どちらを履修しても構いません。

表VID-2 栄養教諭関係「教育実習」本学開講科目（令和5年度以降入学者用）

栄 養		
科目名（講義コード）	単位	必修
事前・事後指導（栄養教育実習） (0168500)	1	2
栄養教育実習 (0167900)	1	

表VID-3 栄養教諭関係「教職実践演習」本学開講科目（令和5年度以降入学者用）

栄 養		
科目名（講義コード）	単位	必修
教職実践演習（栄養） (0169200)	2	2

(7-3)「教科（領域）に関する専門的事項」・「大学が独自に設定する科目」

(1)	地理歴史	文学部人文社会学科（令和5～7年度入学者用）
	地理歴史	文学部人文社会学科（令和8年度以降入学者用）
(2)	公民	文学部人文社会学科（令和5年度入学者用）
	公民	文学部人文社会学科（令和6年度以降入学者用）
(3)	社会	文学部人文社会学科（令和5年度入学者用）
	社会	文学部人文社会学科（令和6・7年度入学者用）
	社会	文学部人文社会学科（令和8年度以降入学者用）
(4)	国語	文学部言語文化学科（令和5～7年度入学者用）
	国語	文学部言語文化学科（令和8年度以降入学者用）
(5)	書道	文学部言語文化学科（令和5～7年度入学者用）
	書道	文学部言語文化学科（令和8年度以降入学者用）
(6)	英語	文学部言語文化学科（令和5～7年度入学者用）
	英語	文学部言語文化学科（令和8年度以降入学者用）
(7)	数学	理学部数物科学科数学コース（令和5年度以降入学者用）
(8)	理科	理学部数物科学科物理学コース（令和5～7年度入学者用）
	理科	理学部数物科学科物理学コース（令和8年度以降入学者用）
(9)	理科	理学部化学生物環境学科（令和5～7年度入学者用）
	理科	理学部化学生物環境学科（令和8年度以降入学者用）
(10)	家庭	生活環境学部食物栄養学科（令和5年度入学者用）
	家庭	生活環境学部食物栄養学科（令和6年度以降入学者用）
(11)	栄養	生活環境学部食物栄養学科（令和5年度以降入学者用）
(12)	家庭	生活環境学部心身健康学科生活健康学コース（令和5年度入学者用）
	家庭	生活環境学部心身健康学科生活健康学コース（令和6年度入学者用）
	家庭	生活環境学部心身健康学科生活健康学コース（令和7年度入学者用）
	家庭	生活環境学部心身健康学科生活健康学コース（令和8年度以降入学者用）
(13)	保健体育	生活環境学部心身健康学科スポーツ健康科学コース（令和5～7年度入学者用）
	保健体育	生活環境学部心身健康学科スポーツ健康科学コース（令和8年度以降入学者用）
(14)	家庭	生活環境学部住環境学科（令和5年度入学者用）
	家庭	生活環境学部住環境学科（令和6～7年度入学者用）
	家庭	生活環境学部住環境学科（令和8年度入学者用）
(15)	家庭	生活環境学部文化情報学科生活文化学コース（令和5年度入学者用）
	家庭	生活環境学部文化情報学科生活文化学コース（令和6～7年度入学者用）
	家庭	生活環境学部文化情報学科生活文化学コース（令和8年度以降入学者用）
(16)	情報	生活環境学部文化情報学科生活情報通信科学コース（令和5～7年度入学者用）
	情報	生活環境学部文化情報学科生活情報通信科学コース（令和8年度以降入学者用）
(17)	小学校	文学部人間科学科子ども教育専修プログラム（令和5・6年度入学者用）（※）
	小学校	文学部人間科学科子ども教育専修プログラム（令和7年度入学者用）（※）
	小学校	文学部人間科学科子ども教育専修プログラム（令和8年度以降入学者用）（※）
(18)	幼稚園	文学部人間科学科子ども教育専修プログラム（令和5・6年度入学者用）（※）
	幼稚園	文学部人間科学科子ども教育専修プログラム（令和7年度以降入学者用）（※）

（※）文学部人間科学科「子ども教育専修プログラム」の学生以外による幼稚園・小学校免許取得のための科目を履修する場合は制限があります（P103の表VI-2-2参照）ので注意してください。詳細は学務課学務係に問い合わせてください。

(1) 地理歴史 文学部人文社会学科 (令和5～7年度入学者用)

免許法上の科目区分と分野		本学の開講科目における相当科目と単位数（高等学校一種）				
		必修科目と単位数		必修	選択科目と単位数	
教科に 関する 専門的 事項	日本史	日本史概論 A※	2	2	日本古代史特殊研究 A	2
		日本史概論 B※	2		日本史特殊研究 A	2
					日本史特殊研究 B	2
					日本史特殊研究 C	2
					日本史特殊研究 D	2
					日本史特殊研究 E	2
					日本古代史講読	2
					日本史講読 A	2
					日本史講読 B	2
	外国史	東洋史概論 A	2	2	東洋古代史特殊研究	2
		東洋史概論 B※	2		東洋史特殊研究 A	2
		西洋史概論 A※	2	2	東洋史特殊研究 B	2
		西洋史概論 B※	2		西洋史特殊研究 A	2
					西洋史特殊研究 B	2
					西洋史特殊研究 C	2
					東洋古代史講読	2
					東洋史講読 A	2
					東洋史講読 B	2
					西洋史講読 A	2
					西洋史講読 B	2
	人文地理学及び自然 地理学	人文地理学概論 A※	2	2	地域情報学概論 A	2
		人文地理学概論 B※	2		地域情報学概論 B	2
		自然地理学概論 A※	2	2	人文地理学特殊研究	2
		自然地理学概論 B※	2		経済地理学特殊研究	2
					都市地理学特殊研究	2
					社会地理学特殊研究	2
					文化地理学特殊研究	2
		環境地理学特殊研究	2			
		地域分析論特殊研究	2			
		地域環境論特殊研究	2			
		地形環境学特殊研究	2			
		環境変遷史特殊研究	2			
		気候・風土学特殊研究	2			
		地域調査法特殊研究	2			
地誌	地誌 A※	2	2			
	地誌 B※	2				
計20単位		計		12		
大学が独自に設定する 科目 12単位				20	左上記の必修科目欄で必修として履修しなかった科目及び右上記 の選択科目から選択。 または下記のものも選択可能。ただし、高等学校免許の申請に おいて利用できるのは、最大で12単位まで。 ・道徳教育の理論と実践 ・道徳教育の理論と実践 ・学校図書館メディアの活用 ・学校図書館メディアの構成 ・読書と豊かな人間性 ・学校経営と学校図書館 ・学習指導と学校図書館 ・情報メディアの活用 ・学校フィールド演習Ⅰ（学校体験活動）＊ ・学校フィールド演習Ⅱ（学校インターンシップ）＊ ＊奈良教育大学連携開設科目	
計	32単位			32		

注：※の付いた科目は、令和8年度以降に履修した場合に限り、「小学校」及び、「中学校・高等学校」の教科に関する専門的事項の単位として適用することができます。(令和7年度以前に履修した場合は、小学校課程の科目として適用することはできません。)

(1) 地理歴史 文学部人文社会学科 (令和8年度以降入学者用)

免許法上の科目区分と分野		本学の開講科目における相当科目と単位数（高等学校一種）					
		必修科目と単位数		必修	選択科目と単位数		
教 科 に 関 す る 専 門 的 事 項	日本史	日本史概論 A※	2	2	日本史特殊研究 A	2	
		日本史概論 B※	2		日本史特殊研究 B	2	
					日本史特殊研究 C	2	
					日本史特殊研究 D	2	
					日本史特殊研究 E	2	
					日本古代史講読	2	
					日本史講読 A	2	
					日本史講読 B	2	
	外国史	東洋史概論 A	2	2	東洋史特殊研究 A	2	
		東洋史概論 B※	2		東洋史特殊研究 B	2	
		西洋史概論 A※	2	2	東洋史特殊研究 C	2	
		西洋史概論 B※	2		西洋史特殊研究 A	2	
					西洋史特殊研究 B	2	
					西洋史特殊研究 C	2	
					東洋古代史講読	2	
					東洋史講読 A	2	
					東洋史講読 B	2	
					西洋史講読 A	2	
					西洋史講読 B	2	
	人文地理学及び自然 地理学	人文地理学概論 A※	2	2	地域情報学概論 A	2	
		人文地理学概論 B※	2		地域情報学概論 B	2	
		自然地理学概論 A※	2	2	人文地理学特殊研究	2	
		自然地理学概論 B※	2		経済地理学特殊研究	2	
					都市地理学特殊研究	2	
社会地理学特殊研究					2		
環境地理学特殊研究					2		
地域分析論特殊研究					2		
地域環境論特殊研究					2		
地形環境学特殊研究					2		
環境変遷史特殊研究					2		
気候・風土学特殊研究					2		
地誌					地誌 A※	2	2
		地誌 B※	2				
計20単位		計		12			
大学が独自に設定する 科目 12単位				20	左上記の必修科目欄で必修として履修しなかった科目及び右上記 の選択科目から選択。 または下記のものも選択可能。ただし、高等学校免許の申請に おいて利用できるのは、最大で12単位まで。 ・道徳教育の理論と実践 ・情報メディアの活用 ・学校図書館メディアの構成 ・学校フィールド演習Ⅰ（学校体験活動）＊ ・読書と豊かな人間性 ・学校フィールド演習Ⅱ（学校インターンシップ）＊ ・学校経営と学校図書館 ＊奈良教育大学連携開設科目 ・学習指導と学校図書館		
計	32単位				32		

注：※の付いた科目は、「小学校」及び、「中学校・高等学校」の教科に関する専門的事項の単位として適用することができます。

2) 公 民 文学部人文社会学科 (令和5年度入学者用)

免許法上の科目区分と分野		本学の開講科目における相当科目と単位数（高等学校一種）				
		必修科目と単位数		必修	選択科目と単位数	
教科に関する専門的事項	「法学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	法学概論A	2	2		
		法学概論B	2			
		政治学概論A	2	2		
		政治学概論B	2			
	「社会学、経済学（国際経済を含む。）」	社会学概論A※	2	2	文化人類学概論	2
		社会学概論B※	2		文化社会学概論	2
		経済学概論A	2	2	現代社会論特殊研究	2
		経済学概論B	2		社会調査法特殊研究	2
					計量社会学特殊研究	2
					文化社会学特殊研究	2
					地域社会学特殊研究	2
					家族社会学特殊研究	2
			文化人類学特殊研究		2	
「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	哲学概論	2	2	哲学特殊研究	2	
	倫理学概論	2		倫理学特殊研究	2	
				思想文化学特殊研究	2	
				宗教学特殊研究	2	
				心理学概論	2	
				心の研究史概論	2	
				社会心理学特殊研究	2	
				感情・人格心理学	2	
		対人心理学特殊研究	2			
計20単位		計		10		
大学が独自に設定する科目 12単位				22	左上記の必修科目欄で必修として履修しなかった科目及び右上記の選択科目から選択。 または、下記のものも選択可能。ただし、高等学校免許の申請において利用できるのは、最大で12単位まで。 ・道徳教育の理論と実践 ・学校経営と学校図書館 ・学校図書館メディアの構成 ・学習指導と学校図書館 ・読書と豊かな人間性 ・情報メディアの活用 ・学校フィールド演習Ⅰ（学校体験活動）＊ ・学校フィールド演習Ⅱ（学校インターンシップ）＊ ＊奈良教育大学連携開設科目	
計	32単位			32		

注：※の付いた科目は、令和8年度以降に履修した場合に限り、「小学校」及び、「中学校・高等学校」の教科に関する専門的事項の単位として適用することができます。(令和7年度以前に履修した場合は、小学校課程の科目として適用することはできません。)

公 民 文学部人文社会学科（令和6年度以降入学用）

免許法上の科目区分と分野		本学の開講科目における相当科目と単位数（高等学校一種）				
		必修科目と単位数		必修	選択科目と単位数	
教科に関する専門的事項	「法学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	法学概論 A	2	2		
		法学概論 B	2			
		政治学概論 A	2	2		
		政治学概論 B	2			
	「社会学、経済学（国際経済を含む。）」	社会学概論 A※	2	2	文化人類学概論	2
		社会学概論 B※	2		文化社会学概論	2
		経済学概論 A	2	2	現代社会論特殊研究	2
		経済学概論 B	2		社会調査法特殊研究	2
					計量社会学特殊研究	2
					文化社会学特殊研究	2
					地域社会学特殊研究	2
					家族社会学特殊研究	2
					文化人類学特殊研究	2
	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	哲学概論	2	2	哲学特殊研究	2
		倫理学概論	2		人間存在論特殊研究	2
					倫理学特殊研究	2
					思想文化学特殊研究	2
					哲学思想史特殊研究	2
					宗教学特殊研究	2
					心理学概論	2
					心の研究史概論	2
					社会心理学特殊研究	2
					感情・人格心理学	2
					対人心理学特殊研究	2
計20単位		計	10			
大学が独自に設定する科目 12単位				22	左上記の必修科目欄で必修として履修しなかった科目及び右上記の選択科目から選択。 または、下記のものも選択可能。ただし、高等学校免許の申請において利用できるのは、最大で12単位まで。 ・道徳教育の理論と実践 ・学校経営と学校図書館 ・学校図書館メディアの構成 ・学習指導と学校図書館 ・読書と豊かな人間性 ・情報メディアの活用 ・学校フィールド演習Ⅰ（学校体験活動）* ・学校フィールド演習Ⅱ（学校インターンシップ）* *奈良教育大学連携開設科目	
計	32単位			32		

注：※の付いた科目は、令和8年度以降に履修した場合に限り、「小学校」及び、「中学校・高等学校」の教科に関する専門的事項の単位として適用することができます。（令和7年度以前に履修した場合は、小学校課程の科目として適用することはできません。）

(3) 社 会 文学部人文社会学科 (令和5年度入学者用)

免許法上の科目区分と分野		本学の開講科目における相当科目と単位数（中学校一種）						
		必修科目と単位数		必修	選択科目と単位数			
教科に関する専門的事項	日本史及び外国史	日本史概論A※	2	2	日本古代史特殊研究A	2	東洋史特殊研究A	2
		日本史概論B※	2		日本史特殊研究A	2	東洋史特殊研究B	2
		東洋史概論A	2	2	日本史特殊研究B	2	西洋史特殊研究A	2
		東洋史概論B※	2		日本史特殊研究C	2	西洋史特殊研究B	2
		西洋史概論A※	2	2	日本史特殊研究D	2	西洋史特殊研究C	2
		西洋史概論B※	2		日本史特殊研究E	2	東洋古代史講読	2
					日本古代史講読	2	東洋史講読A	2
					日本史講読A	2	東洋史講読B	2
					日本史講読B	2	西洋史講読A	2
					東洋古代史特殊研究	2	西洋史講読B	2
	地理学（地誌を含む。）	人文地理学概論A※	2	2	地域情報学概論A	2	環境地理学特殊研究	2
		人文地理学概論B※	2		地域情報学概論B	2	地域分析論特殊研究	2
		自然地理学概論A※	2	2	人文地理学特殊研究	2	地域環境論特殊研究	2
		自然地理学概論B※	2		経済地理学特殊研究	2	地形環境学特殊研究	2
		地誌A※	2	2	都市地理学特殊研究	2	環境変遷史特殊研究	2
		地誌B※	2		社会地理学特殊研究	2	気候・風土学特殊研究	2
					文化地理学特殊研究	2	地域調査法特殊研究	2
	「法学、政治学」	法学概論A	2	2				
		法学概論B	2					
		政治学概論A	2					
		政治学概論B	2					
	「社会学、経済学」	社会学概論A※	2	2	文化人類学概論	2	文化社会学特殊研究	2
		社会学概論B※	2		文化社会学概論	2	地域社会学特殊研究	2
		経済学概論A	2		現代社会論特殊研究	2	家族社会学特殊研究	2
		経済学概論B	2		社会調査法特殊研究	2	文化人類学特殊研究	2
					計量社会学特殊研究	2		
	「哲学、倫理学、宗教学」	哲学概論	2	2	哲学特殊研究	2	思想文化学特殊研究	2
		倫理学概論	2		倫理学特殊研究	2	宗教学特殊研究	2
	計20単位	計		18				
大学が独自に設定する科目 4単位			6	左上記の必修科目欄で必修として履修しなかった科目及び右上記の選択科目から選択。 または、下記のものも選択可能。 ・学校経営と学校図書館 ・学校図書館メディアの構成 ・学習指導と学校図書館 ・読書と豊かな人間性 ・情報メディアの活用 ・学校フィールド演習Ⅰ（学校体験活動）＊ ・学校フィールド演習Ⅱ（学校インターンシップ）＊ ＊奈良教育大学連携開設科目				ただし、中学校免許の申請において利用できるのは、最大で4単位まで。
計	24単位		24					

注：※の付いた科目は、令和8年度以降に履修した場合に限り、「小学校」及び、「中学校・高等学校」の教科に関する専門的事項の単位として適用することができます。(令和7年度以前に履修した場合は、小学校課程の科目として適用することはできません。)

社 会 文学部人文社会学科（令和6・7 年度入学者用）

免許法上の科目区分と分野		本学の開講科目における相当科目と単位数（中学校一種）						
		必修科目と単位数		必修	選択科目と単位数			
教 科 に 関 する 専 門 的 事 項	日本史及び外国史	日本史概論A※	2	2	日本古代史特殊研究A	2	東洋史特殊研究A	2
		日本史概論B※	2		日本史特殊研究A	2	東洋史特殊研究B	2
		東洋史概論A	2	2	日本史特殊研究B	2	西洋史特殊研究A	2
		東洋史概論B※	2		日本史特殊研究C	2	西洋史特殊研究B	2
		西洋史概論A※	2	2	日本史特殊研究D	2	西洋史特殊研究C	2
		西洋史概論B※	2		日本史特殊研究E	2	東洋古代史講読	2
					日本古代史講読	2	東洋史講読A	2
					日本史講読A	2	東洋史講読B	2
					日本史講読B	2	西洋史講読A	2
					東洋古代史特殊研究	2	西洋史講読B	2
	地理学（地誌を含む。）	人文地理学概論A※	2	2	地域情報学概論A	2	環境地理学特殊研究	2
		人文地理学概論B※	2		地域情報学概論B	2	地域分析論特殊研究	2
		自然地理学概論A※	2	2	人文地理学特殊研究	2	地域環境論特殊研究	2
		自然地理学概論B※	2		経済地理学特殊研究	2	地形環境学特殊研究	2
		地誌A※	2	2	都市地理学特殊研究	2	環境変遷史特殊研究	2
		地誌B※	2		社会地理学特殊研究	2	気候・風土学特殊研究	2
					文化地理学特殊研究	2	地域調査法特殊研究	2
	「法学、政治学」	法学概論A	2	2				
		法学概論B	2					
		政治学概論A	2					
		政治学概論B	2					
	「社会学、経済学」	社会学概論A※	2	2	文化人類学概論	2	文化社会学特殊研究	2
		社会学概論B※	2		文化社会学概論	2	地域社会学特殊研究	2
		経済学概論A	2		現代社会論特殊研究	2	家族社会学特殊研究	2
		経済学概論B	2		社会調査法特殊研究	2	文化人類学特殊研究	2
					計量社会学特殊研究	2		
	「哲学、倫理学、宗教学」	哲学概論	2	2	哲学特殊研究	2	思想文化学特殊研究	2
		倫理学概論	2		人間存在論特殊研究	2	哲学思想史特殊研究	2
					倫理学特殊研究	2	宗教学特殊研究	2
	計20単位	計		18				
大学が独自に設定する科目 4単位				6	左上記の必修科目欄で必修として履修しなかった科目及び右上記の選択科目から選択。 または、下記のものも選択可能。 ・学校経営と学校図書館 ・学校図書館メディアの構成 ・学習指導と学校図書館 ・読書と豊かな人間性 ・情報メディアの活用 ・学校フィールド演習Ⅰ（学校体験活動）* ・学校フィールド演習Ⅱ（学校インターンシップ）* *奈良教育大学連携開設科目			
計	24単位			24	ただし、中学校免許の申請において利用できるのは、最大で4単位まで。			

注：※の付いた科目は、令和8年度以降に履修した場合に限り、「小学校」及び、「中学校・高等学校」の教科に関する専門的事項の単位として適用することができます。（令和7年度以前に履修した場合は、小学校課程の科目として適用することはできません。）

社 会 文学部人文社会学科（令和8年度以降入学用）

免許法上の科目区分と分野		本学の開講科目における相当科目と単位数（中学校一種）						
		必修科目と単位数		必修	選択科目と単位数			
教科に関する専門的事項	日本史及び外国史	日本史概論A※	2	2	日本史特殊研究A	2	東洋史特殊研究C	2
		日本史概論B※	2		日本史特殊研究B	2	西洋史特殊研究A	2
		東洋史概論A	2	2	日本史特殊研究C	2	西洋史特殊研究B	2
		東洋史概論B※	2		日本史特殊研究D	2	西洋史特殊研究C	2
		西洋史概論A※	2	2	日本史特殊研究E	2	東洋古代史講読	2
		西洋史概論B※	2		日本古代史講読	2	東洋史講読A	2
					日本史講読A	2	東洋史講読B	2
					日本史講読B	2	西洋史講読A	2
					東洋史特殊研究A	2	西洋史講読B	2
					東洋史特殊研究B	2		
	地理学（地誌を含む。）	人文地理学概論A※	2	2	地域情報学概論A	2	環境地理学特殊研究	2
		人文地理学概論B※	2		地域情報学概論B	2	地域分析論特殊研究	2
		自然地理学概論A※	2	2	人文地理学特殊研究	2	地域環境論特殊研究	2
		自然地理学概論B※	2		経済地理学特殊研究	2	地形環境学特殊研究	2
		地誌A ※	2	2	都市地理学特殊研究	2	環境変遷史特殊研究	2
		地誌B ※	2		社会地理学特殊研究	2	気候・風土学特殊研究	2
	「法学、政治学」	法学概論A	2	2				
		法学概論B	2					
		政治学概論A	2					
		政治学概論B	2					
	「社会学、経済学」	社会学概論A※	2	2	文化人類学概論	2	文化社会学特殊研究	2
		社会学概論B※	2		文化社会学概論	2	地域社会学特殊研究	2
		経済学概論A	2		現代社会論特殊研究	2	家族社会学特殊研究	2
		経済学概論B	2		社会調査法特殊研究	2	文化人類学特殊研究	2
					計量社会学特殊研究	2		
	「哲学、倫理学、宗教学」	哲学概論	2	2	哲学特殊研究	2	思想文化学特殊研究	2
		倫理学概論	2		人間存在論特殊研究	2	哲学思想史特殊研究	2
					倫理学特殊研究	2	宗教学特殊研究	2
	計20単位		計		18			
大学が独自に設定する科目 4単位				6	左上記の必修科目欄で必修として履修しなかった科目及び右上記の選択科目から選択。 または、下記のものも選択可能。 ・学校経営と学校図書館 ・学校図書館メディアの構成 ・学習指導と学校図書館 ・読書と豊かな人間性 ・情報メディアの活用 ・学校フィールド演習Ⅰ（学校体験活動）＊ ・学校フィールド演習Ⅱ（学校インターンシップ）＊ ＊奈良教育大学連携開設科目			
計	24単位			24	ただし、中学校免許の申請において利用できるのは、最大で4単位まで。			

注：※の付いた科目は、「小学校」及び、「中学校・高等学校」の教科に関する専門的事項の単位として適用することができます。

(4) 国 語 文学部言語文化学科 (令和5～7年度入学者用)

免許法上の科目区分と分野			本学の開講科目における相当科目と単位数				
			選択科目と単位数				必修
教科に関する専門的事項	国語学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	国語学概論 A (国語学) ◇		2	国語学特殊研究 A (国語学)	2	8
		国語学概論 B (国語学) ◇		2	国語学特殊研究 B (国語学)	2	
		国語史概論 A (国語学) ◇		2	国語学講読 I (国語学)	2	
		国語史概論 B (国語学) ◇		2	国語学講読 II (国語学)	2	
	国文学 (国文学史を含む。)	日本言語文化学概論 A (国文学史)		2	近代国文学特殊研究 A (国文学)	2	8
		日本言語文化学概論 B (国文学史)		2	近代国文学特殊研究 B (国文学)	2	
		日本アジア言語文化学入門 A (国文学)		2	上代国文学講読 A (国文学)	2	
		上代国文学特殊研究 A (国文学)		2	上代国文学講読 B (国文学)	2	
		上代国文学特殊研究 B (国文学)		2	中古中世国文学講読 A (国文学)	2	
		中古中世国文学特殊研究 A (国文学)		2	中古中世国文学講読 B (国文学)	2	
中古中世国文学特殊研究 B (国文学)		2	中世近世国文学講読 A (国文学)	2			
中世近世国文学特殊研究 A (国文学)		2	中世近世国文学講読 B (国文学)	2			
中世近世国文学特殊研究 B (国文学)		2	近代国文学講読 A (国文学)	2			
			近代国文学講読 B (国文学)	2			
漢文学	中国言語文化学概論 A (漢文学)		2	中国文学特殊研究 B (漢文学)	2	4	
	中国言語文化学概論 B (漢文学)		2	中国文学講読 A (漢文学)	2		
	日本アジア言語文化学入門 B (漢文学)		2	中国文学講読 B (漢文学)	2		
	中国語学概論 I (漢文学)		2	中国文学講読 C (漢文学) ※	2		
	中国語学概論 II (漢文学)		2	中国文学講読 D (漢文学) ※	2		
	中国文学特殊研究 A (漢文学)		2				
書道 (書写を中心とする。)	書道 A I		1	書道 B II	1	2中のみ	
	書道 A II		1	書写 I	1		
	書道 B I		1	書写 II	1		
計20単位	計			高等学校一種		20	
				中学校一種		22	
大学が独自に設定する科目	高等学校一種	12 単位	上記で必修として履修しなかった科目から選択。 または、下記のものも選択可能。 ただし、書道に関する科目は、中学校のみ選択可能。 ・道徳教育の理論と実践 (高校のみ選択可) ・学校経営と学校図書館 ・学校図書館メディアの構成 ・学習指導と学校図書館 ・読書と豊かな人間性 ・情報メディアの活用 ・学校フィールド演習 I (学校体験活動) * ・学校フィールド演習 II (学校インターンシップ) * *奈良教育大学連携開設科目				12
	中学校一種	4 単位					2
合計	高等学校一種	32 単位					32
	中学校一種	24 単位					24

注1：※の付いた科目は、令和8年度以降に履修した場合に限り、「国語」の教科に関する専門的事項の単位として適用することができます。

注2：◇の付いた科目は、令和8年度以降に履修した場合に限り、「小学校」及び、「中学校・高等学校」の教科に関する専門的事項の単位として適用することができます。(令和7年度以前に履修した場合は、小学校課程の科目として適用することはできません。)

(4) 国 語 文学部言語文化学科 (令和8年度以降入学者用)

免許法上の科目区分と分野			本学の開講科目における相当科目と単位数					
			選択科目と単位数				必修	
教科に関する専門的事項	国語学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	国語学概論 A (国語学) ※		2	国語学特殊研究 A (国語学)		2	8
		国語学概論 B (国語学) ※		2	国語学特殊研究 B (国語学)		2	
		国語史概論 A (国語学) ※		2	国語学講読 I (国語学)		2	
		国語史概論 B (国語学) ※		2	国語学講読 II (国語学)		2	
	国文学 (国文学史を含む。)	日本言語文化学概論 A (国文学史)		2	近代国文学特殊研究 A (国文学)		2	8
		日本言語文化学概論 B (国文学史)		2	近代国文学特殊研究 B (国文学)		2	
		日本アジア言語文化学入門 A (国文学)		2	上代国文学講読 A (国文学)		2	
		上代国文学特殊研究 A (国文学)		2	上代国文学講読 B (国文学)		2	
		上代国文学特殊研究 B (国文学)		2	中世近世国文学講読 A (国文学)		2	
		中古中世国文学特殊研究 A (国文学)		2	中世近世国文学講読 B (国文学)		2	
中古中世国文学特殊研究 B (国文学)		2	近代国文学講読 A (国文学)		2			
中世近世国文学特殊研究 A (国文学)		2	近代国文学講読 B (国文学)		2			
漢文学	中国言語文化学概論 A (漢文学)		2	中国文学特殊研究 B (漢文学)		2	4	
	中国言語文化学概論 B (漢文学)		2	中国文学講読 A (漢文学)		2		
	日本アジア言語文化学入門 B (漢文学)		2	中国文学講読 B (漢文学)		2		
	中国語学概論 I (漢文学)		2	中国文学講読 C (漢文学)		2		
	中国語学概論 II (漢文学)		2	中国文学講読 D (漢文学)		2		
	中国文学特殊研究 A (漢文学)		2					
書道 (書写を中心とする。)	書道 A I		1	書道 B II		1	2中のみ	
	書道 A II		1	書写 I		1		
	書道 B I		1	書写 II		1		
計20単位	計			高等学校一種		20		
				中学校一種		22		
大学が独自に設定する科目	高等学校一種	12単位	上記で必修として履修しなかった科目から選択。 または、下記のものも選択可能。 ただし、書道に関する科目は、中学校のみ選択可能。 ・道徳教育の理論と実践 (高校のみ選択可) ・学校経営と学校図書館 ・学校図書館メディアの構成 ・学習指導と学校図書館 ・読書と豊かな人間性 ・情報メディアの活用 ・学校フィールド演習 I (学校体験活動) * ・学校フィールド演習 II (学校インターンシップ) * *奈良教育大学連携開設科目				12	
	中学校一種	4単位					2	
合計	高等学校一種	32単位					32	
	中学校一種	24単位					24	

注：※の付いた科目は、「小学校」及び、「中学校・高等学校」の教科に関する専門的事項の単位として適用することができます。

(5) 書 道 文学部言語文化学科 (令和5～7年度入学者用)

免許法上の科目区分と分野		本学の開講科目における相当科目と単位数		
		必修科目と単位数	必修	選択科目と単位数
教科に関する専門的事項	書道 (書写を含む。)	書道 A I	1	2
		書道 A II	1	
		書道 B I	1	
		書道 B II	1	
		書写 I	1	
		書写 II	1	
	書道史	書道史 A	2	2
		書道史 B	2	
	「書論、鑑賞」	書道理論	2	2
		書道名品鑑賞	2	
	「国文学、漢文学」	日本アジア言語文化学入門 A	2	4
		日本アジア言語文化学入門 B	2	
		日本言語文化学概論 A	2	
		日本言語文化学概論 B	2	
		上代国文学特殊研究 A	2	
		上代国文学特殊研究 B	2	
		中古中世国文学特殊研究 A	2	
		中古中世国文学特殊研究 B	2	
		中世近世国文学特殊研究 A	2	
		中世近世国文学特殊研究 B	2	
		近代国文学特殊研究 A	2	
		近代国文学特殊研究 B	2	
		上代国文学講読 A	2	
		上代国文学講読 B	2	
		中古中世国文学講読 A	2	
		中古中世国文学講読 B	2	
		中世近世国文学講読 A	2	
		中世近世国文学講読 B	2	
		近代国文学講読 A	2	
		近代国文学講読 B	2	
		中国言語文化学概論 A	2	
		中国言語文化学概論 B	2	
		中国文学特殊研究 A	2	
		中国文学特殊研究 B	2	
		中国文学講読 A	2	
		中国文学講読 B	2	
		中国文学講読 C ※	2	
		中国文学講読 D ※	2	
	計20単位	計		10
大学が独自に設定する科目	12単位	上記の科目欄で必修として履修しなかった科目から選択。 または、下記のものも選択可能。ただし、高等学校免許の申請において利用できるのは、最大で12単位まで。 ・道徳教育の理論と実践 ・学校経営と学校図書館 ・学校図書館メディアの構成 ・学習指導と学校図書館 ・読書と豊かな人間性 ・情報メディアの活用 ・学校フィールド演習Ⅰ (学校体験活動) * ・学校フィールド演習Ⅱ (学校インターンシップ) * *奈良教育大学連携開設科目		22
合計	32単位	—	32	

注：※の付いた科目は、令和8年度以降に履修した場合に限り、「国語」の教科に関する専門的事項の単位として適用することができます。

(5) 書 道 文学部言語文化学科 (令和8年度以降入学者用)

免許法上の科目区分と分野		本学の開講科目における相当科目と単位数		
		必修科目と単位数	必修	選択科目と単位数
教科に関する専門的事項	書道 (書写を含む。)	書道 A I	1	2
		書道 A II	1	
		書道 B I	1	
		書道 B II	1	
		書写 I	1	
		書写 II	1	
	書道史	書道史 A	2	2
		書道史 B	2	
	「書論、鑑賞」	書道理論	2	2
		書道名品鑑賞	2	
	「国文学、漢文学」	日本アジア言語文化学入門 A	2	4
		日本アジア言語文化学入門 B	2	
		日本言語文化学概論 A	2	
		日本言語文化学概論 B	2	
		上代国文学特殊研究 A	2	
		上代国文学特殊研究 B	2	
		中古中世国文学特殊研究 A	2	
		中古中世国文学特殊研究 B	2	
		中世近世国文学特殊研究 A	2	
		中世近世国文学特殊研究 B	2	
		近代国文学特殊研究 A	2	
		近代国文学特殊研究 B	2	
		上代国文学講読 A	2	
		上代国文学講読 B	2	
		中世近世国文学講読 A	2	
		中世近世国文学講読 B	2	
		近代国文学講読 A	2	
		近代国文学講読 B	2	
		中国言語文化学概論 A	2	
		中国言語文化学概論 B	2	
		中国文学特殊研究 A	2	
		中国文学特殊研究 B	2	
		中国文学講読 A	2	
		中国文学講読 B	2	
		中国文学講読 C	2	
		中国文学講読 D	2	
	計20単位	計		10
大学が独自に設定する科目	12単位	上記の科目欄で必修として履修しなかった科目から選択。 または、下記のものも選択可能。ただし、高等学校免許の申請において利用できるのは、最大で12単位まで。 ・ 道德教育の理論と実践 ・ 学校経営と学校図書館 ・ 学校図書館メディアの構成 ・ 学習指導と学校図書館 ・ 読書と豊かな人間性 ・ 情報メディアの活用 ・ 学校フィールド演習Ⅰ (学校体験活動) * ・ 学校フィールド演習Ⅱ (学校インターンシップ) * *奈良教育大学連携開設科目	22	
合計	32単位	——	32	

(6) 英 語 文学部言語文化学科 (令和5～7年度入学者用)

免許法上の科目区分と分野			本学の開講科目における相当科目と単位数					
			必修科目と単位数		必修	選択科目と単位数		
教科に関する専門的事項	英語学	英語学概論A※		2	4	英語分析論特殊研究		2
		英語学概論B※		2		英語表現論特殊研究		2
		英語理論概論A		2		英語テキスト論特殊研究		2
		英語理論概論B		2		英語対照論特殊研究		2
		英文法講読A		2	4	英語対照論演習		2
		英文法講読B		2		英語分析論演習		2
		英語学講読A		2		英語表現論演習		2
		英語学講読B		2		英語テキスト論演習		2
					英語構造論演習		2	
	英語文学	イギリス言語文化史概論A※		2	2			
		イギリス言語文化史概論B※		2				
		アメリカ言語文化史概論A※		2				
アメリカ言語文化史概論B※		2						
イギリス文学テキスト論講読A		2	6					
イギリス文学テキスト論講読B		2						
アメリカ文学テキスト論講読A		2						
アメリカ文学テキスト論講読B		2						
英語コミュニケーション	英語コミュニケーションA		1	4				
	英語コミュニケーションB		1					
	英語コミュニケーションC		1					
	英語コミュニケーションD		1					
	英語コミュニケーションE		1					
	英語コミュニケーションF		1					
	英語コミュニケーションG		1					
	英語コミュニケーションH		1					
異文化理解	イギリス地域文化論講読A		2	2				
	イギリス地域文化論講読B		2					
	アメリカ地域文化論講読A		2					
	アメリカ地域文化論講読B		2					
計20単位		計			22			
大学が独自に設定する科目	高等学校一種	12単位	――		10	左上記の必修科目欄で必修として履修しなかった科目及び右上記の選択科目から選択。 または、下記のものも選択可能。 ・道徳教育の理論と実践（高校のみ選択可） ・学校経営と学校図書館 ・学校図書館メディアの構成 ・学習指導と学校図書館 ・読書と豊かな人間性 ・情報メディアの活用 ・学校フィールド演習Ⅰ（学校体験活動）＊ ・学校フィールド演習Ⅱ（学校インターンシップ）＊ ＊奈良教育大学連携開設科目		
	中学校一種	4単位	――		2			
合計	高等学校一種	32単位	――		32			
	中学校一種	24単位	――		24			

注：※の付いた科目は、令和8年度以降に履修した場合に限り、「小学校」及び、「中学校・高等学校」の教科に関する専門的事項の単位として適用することができます。（令和7年度以前に履修した場合は、小学校課程の科目として適用することはできません。）

(6) 英 語 文学部言語文化学科 (令和8年度以降入学者用)

免許法上の科目区分と分野			本学の開講科目における相当科目と単位数					
			必修科目と単位数		必修	選択科目と単位数		
教科に関する専門的事項	英語学	英語学概論 A※		2	4	英語分析論特殊研究		2
		英語学概論 B※		2		英語表現論特殊研究		2
		英語理論概論 A		2		英語テキスト論特殊研究		2
		英語理論概論 B		2		英語対照論特殊研究		2
		英文法講読 A		2	4	英語対照論演習		2
		英文法講読 B		2		英語分析論演習		2
		英語学講読 A		2		英語表現論演習		2
		英語学講読 B		2		英語テキスト論演習		2
					英語構造論演習		2	
	英語文学	イギリス言語文化史概論 A※		2	2			
		イギリス言語文化史概論 B※		2				
		アメリカ言語文化史概論 A※		2				
		アメリカ言語文化史概論 B※		2				
		イギリス文学テキスト論講読 A		2	6			
イギリス文学テキスト論講読 B		2						
アメリカ文学テキスト論講読 A		2						
アメリカ文学テキスト論講読 B		2						
英語コミュニケーション	英語コミュニケーション A		1	4				
	英語コミュニケーション B		1					
	英語コミュニケーション C		1					
	英語コミュニケーション D		1					
	英語コミュニケーション E		1					
	英語コミュニケーション F		1					
	英語コミュニケーション G		1					
	英語コミュニケーション H		1					
異文化理解	英米言語文化論講読 A		2	2				
	英米言語文化論講読 B		2					
	英米言語文化論講読 C		2					
	英米言語文化論講読 D		2					
	計20単位		計					22
大学が独自に設定する科目	高等学校一種	12単位	――		10	左上記の必修科目欄で必修として履修しなかった科目及び右上記の選択科目から選択。 または、下記のものも選択可能。 ・道徳教育の理論と実践（高校のみ選択可） ・学校経営と学校図書館 ・学校図書館メディアの構成 ・学習指導と学校図書館 ・読書と豊かな人間性 ・情報メディアの活用 ・学校フィールド演習Ⅰ（学校体験活動）＊ ・学校フィールド演習Ⅱ（学校インターンシップ）＊ ＊奈良教育大学連携開設科目		
	中学校一種	4単位	――		2			
合計	高等学校一種	32単位	――		32			
	中学校一種	24単位	――		24			

注：※の付いた科目は、「小学校」及び、「中学校・高等学校」の教科に関する専門的事項の単位として適用することができます。

(7) 数 学 理学部数物科学科数学コース（令和5年度以降入学者用）

免許法上の科目区分と分野			本学の開講科目における相当科目と単位数					
			必修科目と単位数		必修	選択科目と単位数		
教科に関する専門的事項	代数学	線形代数学Ⅰ※		2	2	線形代数学Ⅰ 演習	2	
		線形代数学Ⅱ		2		線形代数学Ⅱ 演習	2	
	幾何学	集合・位相		2	2	集合・位相演習	2	
		グラフ理論		2		ベクトルと空間の幾何学	2	
						ベクトルと空間の幾何学演習	2	
						形態の数理	2	
					シンメトリーの数理	2		
	解析学	微分積分学Ⅰ		2	2	微分積分学Ⅰ 演習	2	
微分積分学Ⅱ		2	微分積分学Ⅱ 演習	2				
微分積分学入門		2	微分積分学Ⅲ	2				
				微分積分学Ⅲ演習	2			
				ベクトル解析	2			
				ベクトル解析演習	2			
				応用複素解析	2			
				応用複素解析演習	2			
				フーリエ解析	2			
「確率論、統計学」	数理統計学		2	2	確率解析学		2	
確率論入門		2						
統計処理論		2						
コンピュータ	プログラミング		2	2	プログラミング演習		2	
	発展方程式の数値解法		2		計算機処理演習		2	
	計算機処理		2					
計20単位			計			10		
大学が独自に設定する科目	高等学校一種	12単位	――		22	左上記の必修科目欄で必修として履修しなかった科目及び右上記の選択科目から選択。 または、下記のものも選択可能。ただし、免許の申請において利用できるのは、最大で高等学校12単位・中学校4単位まで。 ・道徳教育の理論と実践（高校のみ選択可） ・学校経営と学校図書館 ・学校図書館メディアの構成 ・学習指導と学校図書館 ・読書と豊かな人間性 ・情報メディアの活用 ・学校フィールド演習Ⅰ（学校体験活動）＊ ・学校フィールド演習Ⅱ（学校インターンシップ）＊ ＊奈良教育大学連携開設科目		
	中学校一種	4単位	――					
合計	高等学校一種	32単位	――		32			
	中学校一種	24単位	――					

注：※の付いた科目は、令和8年度以降に履修した場合に限り、「小学校」及び、「中学校・高等学校」の教科に関する専門的事項の単位として適用することができます。（令和7年度以前に履修した場合は、小学校課程の科目として適用することはできません。）

(8) 理 科 理学部数物科学科物理学コース (令和5～7年度入学者用)

免許法上の科目 区分と分野			本学の開講科目における相当科目と単位数						
			必修科目と単位数		中学	高校	選択科目と単位数		
教科 に 関 する 専 門 的 事 項	物理学	基礎の物理（Ａ）	2	2	力学 2	2	電磁気学 1 演習	2	
		現代の物理（Ａ）	2		力学演習	2	電磁気学 2	2	
		力学 1	2		熱力学	2	電磁気学 2 演習	2	
				量子力学 1	2	統計力学 1	2		
					量子力学 2	2	統計力学 2	2	
					電磁気学 1	2			
	化学	化学概論Ⅰ※	2	2	基礎化学 3 ※	2			
		化学概論Ⅱ※	2		物理化学通論 1 ※	2			
		基礎化学 1 ※◇	2		無機化学通論 1 ※	2			
		基礎化学 2 ※◇	2		有機化学通論 1 ※	2			
基礎化学 4 ※ 注2)		2							
生物学	基礎生物学 1 ※◇	2	2	生化学※	2	進化生物学※	2		
	基礎生物学 2 ※◇	2		基礎細胞生物学※	2	生物環境統計学※	2		
				基礎遺伝学※	2	生命圏の地球化学※	2		
				植物生理学※	2	環境リスク論※	2		
				恒常性の生理学※	2	生物統計学※	2		
				保全生物学※	2				
地 学	地学概論 1（Ａ）	2	2						
	地学概論 2（Ａ）	2							
	地球環境科学 1（Ａ）	2							
	地球環境科学 2（Ａ）	2							
< 中学 > 物理学実験・ 化学実験・ 生物学実験・ 地学実験 < 高校 > 「物理学実 験、 化学実験、 生物学実験、 地学実験」	物理学実験 1（Ａ）	2	2	4					
	化学基礎実験 1（Ａ）	2	2						
	生物学実験（Ａ）	2	2						
	地学実験Ⅰ（Ａ） 地学実験Ⅱ（Ａ）	1 1	2						
	計20単位	計		16	12				
大学が 独自に 設定す る科目	高等学校 一種	12 単位	――	――	20	左上記の必修科目欄で必修として履修しなかった科目 及び右上記の選択科目から選択。 または、下記のものも選択可能。ただし、免許の申 請において利用できるのは、最大で高等学校12単位・ 中学校4単位まで。 ・道徳教育の理論と実践（高校のみ選択可） ・学校経営と学校図書館 ・学校図書館メディアの構成 ・学習指導と学校図書館 ・読書と豊かな人間性 ・情報メディアの活用 ・学校フィールド演習Ⅰ（学校体験活動）＊ ・学校フィールド演習Ⅱ（学校インターンシップ）＊ ＊奈良教育大学連携開設科目			
	中学校 一種	4 単位	――	8	――				
合計	高等学 校一種	32 単位	――	――	32				
	中学校 一種	24 単位	――	24	――				

注：※印の付いた科目は、化学生物環境学科開講科目。

注2：R8年度以降に修得した場合のみ選択必修科目として扱う。
(R7年度以前に「基礎化学4」を修得していた場合、選択科目として扱う。)注3：◇の付いた科目は、令和8年度以降に履修した場合に限り、「小学校」及び、「中学校・高等学校」の教科に関
する専門的事項の単位として適用することができます。(令和7年度以前に履修した場合は、小学校課程の科目
として適用することはできません。)

(8) 理 科 理学部数物科学科物理学コース (令和8年度以降入学者用)

免許法上の科目 区分と分野			本学の開講科目における相当科目と単位数								
			必修科目と単位数		中学	高校	選択科目と単位数				
教 科 に 関 する 専 門 的 事 項	物理学	基礎の物理（A）		2	2	力学 2		2	電磁気学 1 演習		2
		現代の物理（A）		2		力学演習		2	電磁気学 2		2
		力学 1		2		熱力学		2	電磁気学 2 演習		2
						量子力学 1		2	統計力学 1		2
	化学	基礎化学 1 ※◇		2	2	量子力学 2		2	統計力学 2		2
		基礎化学 2 ※◇		2		電磁気学 1		2			
		基礎化学 4 ※		2		基礎化学 3 ※		2			
						物理化学通論 1 ※		2			
	生物学	基礎生物学 1 ※◇		2	2	無機化学通論 1 ※		2			
		基礎生物学 2 ※◇		2		有機化学通論 1 ※		2			
						生化学※		2	進化生物学※		2
						基礎細胞生物学※		2	生物環境統計学※		2
地 学					基礎遺伝学※		2	生物統計学※		2	
					植物生理学※		2				
					恒常性の生理学※		2				
					保全生物学※		2				
< 中学 > 物理学実験・ 化学実験・ 生物学実験・ 地学実験 < 高校 > 「物理学実 験、 化学実験、 生物学実験、 地学実験」	地学概論 1（A）		2	2							
	地学概論 2（A）		2								
	地球環境科学 1（A）		2								
	地球環境科学 2（A）		2								
	物理学実験 1（A）		2	2							
	化学基礎実験 1（A）		2	2							
生物学実験（A）		2	2								
地学実験Ⅰ（A）		1	2								
地学実験Ⅱ（A）		1									
計20単位			計		16	12					
大学が 独自に 設定する科目	高等学校一種	12 単位	――		――	20	左上記の必修科目欄で必修として履修しなかった科目 及び右上記の選択科目から選択。 または、下記のものも選択可能。ただし、免許の申請において利用できるのは、最大で高等学校12単位・ 中学校4単位まで。 ・ 道徳教育の理論と実践（高校のみ選択可） ・ 学校経営と学校図書館 ・ 学校図書館メディアの構成 ・ 学習指導と学校図書館 ・ 読書と豊かな人間性 ・ 情報メディアの活用 ・ 学校フィールド演習Ⅰ（学校体験活動）* ・ 学校フィールド演習Ⅱ（学校インターンシップ）* *奈良教育大学連携開設科目				
	中学校一種	4 単位	――		8	――					
合計	高等学校一種	32 単位	――		――	32					
	中学校一種	24 単位	――		24	――					

注1：※印の付いた科目は、化学生物環境学科開講科目。

注2：◇の付いた科目は、「小学校」及び、「中学校・高等学校」の教科に関する専門的事項の単位として適用することができます。

(9) 理 科 理学部化学生物環境学科 (化学コース・生物科学コース・環境科学コース)

(令和5～7年度入学用)

免許法上の科目 区分と分野			本学の開講科目における相当科目と単位数								
			必修科目と単位数		中学	高校	選択科目と単位数				
教科 に 関 する 専 門 的 事 項	物理学	基礎の物理 (B)		2	2	力学 2 ※		2	電磁気学 1 演習※		2
		現代の物理 (B)		2		力学演習※		2	電磁気学 2 ※		2
		力学 1※		2		熱力学※		2	電磁気学 2 演習※		2
						量子力学 1 ※		2	統計力学 1 ※		2
	化学				2	量子力学 2 ※		2	統計力学 2 ※		2
						電磁気学 1 ※		2			
		基礎化学 1◇		2		基礎化学 3		2			
		基礎化学 2◇		2		物理化学通論 1		2			
		化学概論Ⅰ		2		無機化学通論 1		2			
		化学概論Ⅱ		2		有機化学通論 1		2			
	生物学	基礎化学 4 注2)		2							
		基礎生物学 1◇		2	2	生化学		2	進化生物学		2
		基礎生物学 2◇		2		基礎細胞生物学		2	生物環境統計学		2
						基礎遺伝学		2	生命圏の地球化学		2
				植物生理学		2	環境リスク論		2		
	地 学				2	恒常性の生理学		2	生物統計学		2
						保全生物学		2			
		地学概論 1 (B)		2							
地学概論 2 (B)		2									
< 中学 > 物理学実験・ 化学実験・ 生物学実験・ 地学実験	地球環境科学 1 (B)		2	2							
	地球環境科学 2 (B)		2								
	物理学実験 1 (B)		2		4						
	化学基礎実験 1 (B)		2								
	生物学実験 (B)		2								
地学実験Ⅰ (B) 又は (C)		1	2								
地学実験Ⅱ (B)		1									
計20単位			計		16	12					
大学が 独自に 設定する科目	高等学校一種	12 単位	—		—	20	左上記の必修科目欄で必修として履修しなかった科目及び右上記の選択科目から選択。 または、下記のものも選択可能。ただし、免許の申請において利用できるのは、最大で高等学校12単位・中学校4単位まで。 ・道徳教育の理論と実践 (高校のみ選択可) ・学校経営と学校図書館 ・学校図書館メディアの構成 ・学習指導と学校図書館 ・読書と豊かな人間性 ・情報メディアの活用 ・学校フィールド演習Ⅰ (学校体験活動) * ・学校フィールド演習Ⅱ (学校インターンシップ) * *奈良教育大学連携開設科目				
	中学校一種	4 単位	—		8	—					
合計	高等学校一種	32 単位	—		—	32					
	中学校一種	24 単位	—		24	—					

注：※印の付いた科目は、数物科学科物理学コース開講科目。

注2：R8年度以降に修得した場合のみ選択必修科目として扱う。
(R7年度以前に「基礎化学4」を修得していた場合、選択科目として扱う)

注3：◇の付いた科目は、令和8年度以降に履修した場合に限り、「小学校」及び、「中学校・高等学校」の教科に関する専門的事項の単位として適用することができます。(令和7年度以前に履修した場合は、小学校課程の科目として適用することはできません。)

(9) 理 科 理学部化学生物環境学科 (化学コース・生物科学コース・環境科学コース)

(令和8年度以降入学者用)

免許法上の科目 区分と分野			本学の開講科目における相当科目と単位数									
			必修科目と単位数		中学	高校	選択科目と単位数					
教 科 に 関 する 専 門 的 事 項	物理学	基礎の物理 (B)		2	2		力学 2 ※	2	電磁気学 1 演習※	2		
		現代の物理 (B)		2			力学演習※	2	電磁気学 2 ※	2		
		力学 1※		2			熱力学※	2	電磁気学 2 演習※	2		
					量子力学 1 ※	2	統計力学 1 ※	2				
	化学	基礎化学 1◇		2	2		量子力学 2 ※	2	統計力学 2 ※	2		
		基礎化学 2◇		2			電磁気学 1 ※	2				
		基礎化学 4		2			基礎化学 3	2				
		生物学	基礎生物学 1◇		2	2		物理化学通論 1	2			
	基礎生物学 2◇		2	無機化学通論 1	2							
				有機化学通論 1	2							
							生化学	2	進化生物学	2		
						基礎細胞生物学	2	生物環境統計学	2			
				基礎遺伝学	2	生物統計学	2					
				植物生理学	2							
教 科 に 関 する 専 門 的 事 項	地 学	地学概論 1 (B)		2	2		恒常性の生理学	2				
		地学概論 2 (B)		2			保全生物学	2				
		地球環境科学 1 (B)		2								
		< 中学 > 物理学実験・ 化学実験・ 生物学実験・ 地学実験	地球環境科学 2 (B)		2	2						
	物理学実験 1 (B)		2	2	4							
	化学基礎実験 1 (B)		2	2								
	生物学実験 (B)		2	2								
	< 高校 > 「物理学実験、 化学実験、 生物学実験、 地学実験」	地学実験Ⅰ (B) 又は (C)		1	2							
		地学実験Ⅱ (B)		1			2					
	計20単位		計			16	12					
	大学が 独自に 設定する科目	高等学校一種	12 単位	――		――	20	左上記の必修科目欄で必修として履修しなかった科目 及び右上記の選択科目から選択。 または、下記のものも選択可能。ただし、免許の申請において利用できるのは、最大で高等学校12単位・ 中学校4単位まで。 ・道徳教育の理論と実践 (高校のみ選択可) ・学校経営と学校図書館 ・学校図書館メディアの構成 ・学習指導と学校図書館 ・読書と豊かな人間性 ・情報メディアの活用 ・学校フィールド演習Ⅰ (学校体験活動) * ・学校フィールド演習Ⅱ (学校インターンシップ) * *奈良教育大学連携開設科目				
		中学校一種	4 単位	――		8	――					
合計	高等学校一種	32 単位	――		――	32						
	中学校一種	24 単位	――		24	――						

注：※印の付いた科目は、数物科学科物理学コース開講科目。

注2：◇の付いた科目は、「小学校」及び、「中学校・高等学校」の教科に関する専門的事項の単位として適用することができます。

(10) 家 庭 生活環境学部食物栄養学科（令和5年度入学者用）

免許法上の科目区分と分野			本学の開講科目における相当科目と単位数							
			必修科目と単位数		中	高	選択科目と単位数			
教科に関する専門的事項	家庭経営学（家族関係学及び家庭経済学を含む。）	家族関係論※	2	4						
		生活経営学 （家庭経済学を含む。）	2							
	被服学（被服実習を含む。）	衣環境学概論※	2	4						
		被服学実習Ⅰ	1							
		被服学実習Ⅱ	1							
	食物学（栄養学、食品学及び調理実習を含む。）	食物科学概論※ （栄養学、食品学を含む。）	2	4	食品微生物学	2	調理科学	2		
		調理学実習 応用調理学実習	1		食品化学総論	2	栄養生化学	2		
			1		食品化学各論	2	食品化学実験	2		
1			食品加工学		2	生体安全学実験	2			
(中) 住居学 (高) 住居学	住環境学概論※	2	2							
(中) 保育学 (高) 保育学	育児学	2	2							
					家庭機械・家庭電気 ・情報処理（高校のみ）	2				
計20単位		計		16	12					
大学が独自に設定する科目	高等学校一種	12単位	—	—	20	右上記の選択科目から選択。 または、下記のものも選択可能。ただし、免許の申請において利用できるのは、最大で高等学校12単位・中学校4単位まで。 ・道徳教育の理論と実践（高校のみ選択可） ・学校経営と学校図書館 ・学校図書館メディアの構成 ・学習指導と学校図書館 ・読書と豊かな人間性 ・情報メディアの活用 ・学校フィールド演習Ⅰ（学校体験活動）* ・学校フィールド演習Ⅱ（学校インターンシップ）* *奈良教育大学連携開設科目				
	中学校一種	4単位	—	8	—					
合計	高等学校一種	32単位	—	—	32					
	中学校一種	24単位	—	24	—					

注：※の付いた科目は、令和8年度以降に履修した場合に限り、「小学校」及び、「中学校・高等学校」の教科に関する専門的事項の単位として適用することができます。（令和7年度以前に履修した場合は、小学校課程の科目として適用することとはできません。）

家 庭 生活環境学部食物栄養学科（令和6年度以降入学者用）

免許法上の科目区分と分野			本学の開講科目における相当科目と単位数								
			必修科目と単位数		中	高	選択科目と単位数				
教科に 関する 専門的 事項	家庭経営学（家族関係学及び家庭経済学を含む。）		家族関係論※ 生活経営学 （家庭経済学を含む。）	2 2	4						
	被服学（被服実習を含む。）		衣環境学概論※ 被服学実習Ⅰ 被服学実習Ⅱ	2 1 1	4						
	食物学（栄養学、食品学及び調理実習を含む。）		食物科学概論※ （栄養学、食品学を含む。） 調理学実習 応用調理学実習	2 1 1	4	食品微生物学	2	調理科学	2		
						食品化学総論	2	栄養生化学	2		
						食品化学各論	2	食品化学実験	2		
						食品加工学	2	生体安全学実験	2		
						生体安全学	2	食品微生物学実験	2		
					食品衛生学	2	基礎栄養学実験	2			
								</			

注：※の付いた科目は、令和8年度以降に履修した場合に限り、「小学校」及び、「中学校・高等学校」の教科に関する専門的事項の単位として適用することができます。（令和7年度以前に履修した場合は、小学校課程の科目として適用することはできません。）

(11) 栄 養 生活環境学部食物栄養学科（令和5 年度以降入学者用）

免許法上の科目区分と分野		本学の開講科目における相当科目と単位数		
		必修科目と単位数		必修
栄養に係る 教育に関する 科目	・栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項 ・幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項 ・食生活に関する歴史的及び文化的事項	栄養教諭論	2	2
	・食に関する指導の方法に関する事項	食に関する指導論	2	2
	計4単位	計		4
合 計				4

(12) 家 庭 生活環境学部心身健康学科生活健康学コース (令和5年度入学者用)

免許法上の科目 区分と分野			本学の開講科目における相当科目と単位数						
			必修科目と単位数		中	高	選択科目と単位数		
教 科 に 関 する 専 門 的 事 項	家庭経営学 (家族関係学 及び家庭経済 学を含む。)	家族関係論※	2	4					
		生活経営学	2						
	被服学（被服 実習を含 む。）	衣環境学概論※	2	3	被服学実習Ⅱ	1	衣環境学実験	2	
		被服学実習Ⅰ	1		被服生理学	2			
	食物学（栄養 学、食品学及 び調理実習を 含む。）	食物科学概論※ （栄養学、食品学 を含む。）	2	5	衣環境管理学	2			
		調理学実習	1		生活界面化学	2			
		食環境論	2		食健康論	2			
					栄養学実験	2			
(中) 住居学 (高) 住居学	住環境学概論※	2	2	生活健康学基礎実験	2				
				環境人間工学	2				
(中) 保育学 (高) 保育学	育児学	2	2	発達臨床心理学 (発達心理学)	2				
				家庭機械・家庭電気 ・情報処理（高校のみ）	2				
計20単位		計		16	16				
大学が 独自に 設定する科目	高等学校一種	12 単位	――	―	16	右上記の選択科目から選択。 または、下記のものも選択可能。ただし、免許の申請にお いて利用できるのは、最大で高等学校12単位・中学校4単位 まで。 ・道徳教育の理論と実践（高校のみ選択可） ・学校経営と学校図書館 ・学校図書館メディアの構成 ・学習指導と学校図書館 ・読書と豊かな人間性 ・情報メディアの活用 ・学校フィールド演習Ⅰ（学校体験活動）＊ ・学校フィールド演習Ⅱ（学校インターンシップ）＊ ＊奈良教育大学連携開設科目			
	中学校一種	4 単位	――	8	―				
合計	高等学校一種	32 単位	――	―	32				
	中学校一種	24 単位	――	24	―				

注：※の付いた科目は、令和8年度以降に履修した場合に限り、「小学校」及び、「中学校・高等学校」の教科に関する専門的事項の単位として適用することができます。(令和7年度以前に履修した場合は、小学校課程の科目として適用することはできません。)

家 庭 生活環境学部心身健康学科生活健康学コース （令和6年度入学者用）

免許法上の科目 区分と分野			本学の開講科目における相当科目と単位数						
			必修科目と単位数		中	高	選択科目と単位数		
教 科 に 関 する 専 門 的 事 項	家庭経営学 （家族関係学 及び家庭経済 学を含む。）	家族関係論※	2	4					
		生活経営学	2						
	被服学（被服 実習を含 む。）	衣環境学概論※	2	3	被服学実習Ⅱ	1	衣環境学実験	2	
		被服学実習Ⅰ	1		被服生理学	2			
	食物学（栄養 学、食品学及 び調理実習を 含む。）	食物科学概論※ （栄養学、食品学 を含む。）	2	5	食健康論	2			
		調理学実習	1		栄養学実験	2			
	食環境論	2	生活健康学基礎実験	2					
(中) 住居学 (高) 住居学	住環境学概論※	2	2	環境人間工学		2			
	(中) 保育学 (高) 保育学	育児学		2	2	発達臨床心理学 (発達心理学)	2		
計20単位		計		16		16			
大学が 独自に 設定する科目	高等学校一種	12 単位	――		――	16	右上記の選択科目から選択。 または、下記のものも選択可能。ただし、免許の申請にお いて利用できるのは、最大で高等学校12単位・中学校4単位 まで。 ・道徳教育の理論と実践（高校のみ選択可） ・学校経営と学校図書館 ・学校図書館メディアの構成 ・学習指導と学校図書館 ・読書と豊かな人間性 ・情報メディアの活用 ・学校フィールド演習Ⅰ（学校体験活動）* ・学校フィールド演習Ⅱ（学校インターンシップ）* *奈良教育大学連携開設科目		
	中学校一種	4 単位	――		8	――			
合計	高等学校一種	32 単位	――		――	32			
	中学校一種	24 単位	――		24	――			

注：※の付いた科目は、令和8年度以降に履修した場合に限り、「小学校」及び、「中学校・高等学校」の教科に関する専門的事項の単位として適用することができます。（令和7年度以前に履修した場合は、小学校課程の科目として適用することはできません。）

家 庭 生活環境学部心身健康学科生活健康学コース （令和7年度入学者用）

免許法上の科目 区分と分野			本学の開講科目における相当科目と単位数						
			必修科目と単位数		中	高	選択科目と単位数		
教 科 に 関 する 専 門 的 事 項	家庭経営学 （家族関係学 及び家庭経済 学を含む。）	家族関係論※	2	4					
		生活経営学	2						
	被服学（被服 実習を含 む。）	衣環境学概論※	2	3	被服学実習Ⅱ	1	生活健康学実験Ⅲ	2	
		被服学実習Ⅰ	1		被服生理学	2			
	食物学（栄養 学、食品学及 び調理実習を 含む。）	食物科学概論※ （栄養学、食品学 を含む。） 調理学実習 食環境論	2	5	食健康論	2			
			1		生活健康学実験Ⅱ	2			
			2						
(中) 住居学 (高) 住居学	住環境学概論※	2	2	環境人間工学	2				
(中) 保育学 (高) 保育学	育児学	2	2	発達臨床心理学 (発達心理学)	2				
計20単位		計		16	16				
大学が 独自に 設定する科目	高等学校一種	12 単位	――	―	16	右上記の選択科目から選択。 または、下記のものも選択可能。ただし、免許の申請において利用できるのは、最大で高等学校12単位・中学校4単位まで。 ・道徳教育の理論と実践（高校のみ選択可） ・学校経営と学校図書館 ・学校図書館メディアの構成 ・学習指導と学校図書館 ・読書と豊かな人間性 ・情報メディアの活用 ・学校フィールド演習Ⅰ（学校体験活動）＊ ・学校フィールド演習Ⅱ（学校インターンシップ）＊ ＊奈良教育大学連携開設科目			
	中学校一種	4 単位	――	8	―				
合計	高等学校一種	32 単位	――	―	32				
	中学校一種	24 単位	――	24	―				

注：※の付いた科目は、令和8年度以降に履修した場合に限り、「小学校」及び、「中学校・高等学校」の教科に関する専門的事項の単位として適用することができます。（令和7年度以前に履修した場合は、小学校課程の科目として適用することはできません。）

家 庭 生活環境学部心身健康学科生活健康学コース （令和8年度以降入学者用）

免許法上の科目 区分と分野			本学の開講科目における相当科目と単位数						
			必修科目と単位数		中	高	選択科目と単位数		
教 科 に 関 する 専 門 的 事 項	家庭経営学 （家族関係学 及び家庭経済 学を含む。）	家族関係論※	2	4					
		生活経営学	2						
	被服学（被服 実習を含 む。）	衣環境学概論※	2	5	被服学実習Ⅱ	1	生活健康学実験Ⅲ	2	
		被服学実習Ⅰ	1		知覚・被服生理学	2			
		衣環境管理学	2		生活界面化学	2			
	食物学（栄養 学、食品学及 び調理実習を 含む。）	食物科学概論※ （栄養学、食品学 を含む。）	2	3	食健康論	2			
		調理学実習	1		生活健康学実験Ⅱ	2			
(中) 住居学 (高) 住居学	住環境学概論※	2	2	環境人間工学	2				
				生活健康学実験Ⅰ	2				
(中) 保育学 (高) 保育学	育児学	2	2	発達臨床心理学 （発達心理学）	2				
				女性健康論	2				
計20単位		計		16	16				
大学が 独自に 設定する科目	高等学校一 種	12 単位	――	――	16	右上記の選択科目から選択。 または、下記のものも選択可能。ただし、免許の申請にお いて利用できるのは、最大で高等学校12単位・中学校4単位 まで。 ・道徳教育の理論と実践（高校のみ選択可） ・学校経営と学校図書館 ・学校図書館メディアの構成 ・学習指導と学校図書館 ・読書と豊かな人間性 ・情報メディアの活用 ・学校フィールド演習Ⅰ（学校体験活動）＊ ・学校フィールド演習Ⅱ（学校インターンシップ）＊ ＊奈良教育大学連携開設科目			
	中学校一 種	4 単位	――	8	――				
合計	高等学校一 種	32 単位	――	――	32				
	中学校一 種	24 単位	――	24	――				

注：※の付いた科目は、「小学校」及び、「中学校・高等学校」の教科に関する専門的事項の単位として適用することができます。

(13) 保健体育 生活環境学部心身健康学科スポーツ健康科学コース (令和5～7年度入学者用)

免許法上の科目 区分と分野			本学の開講科目における相当科目と単位数								
			必修科目と単位数		中	高	選択科目と単位数				
教科 に 関 する 専 門 的 事 項	体育実技	身体表現実習	1	6							
		基礎運動実習	1								
		個人スポーツ実習B	1								
		ボディワーク実習	1								
		シーズンスポーツ実習・夏	1								
		武道実習	1								
		個人スポーツ実習A	1	1							
		チームスポーツ実習A	1								
		チームスポーツ実習B	1								
	「体育原理、 体育心理学、 体育経営管 理学、体育 社会学、体 育史」及び 運動学（運 動方法学を 含む。）	スポーツ心理学 （体育心理学を含む。）	2	8	体育・スポーツ史※ （体育史を含む）		2	スポーツ法学 （体育経営管理学を含む。）		2	
体育・スポーツ社会学※ （体育社会学を含む。）		2									
身体運動制御論 （運動学（運動方法学 を含む））		2									
身体コミュニケーション論 （運動学（運動方法学 を含む））		2									
生理学（運 動生理学を 含む。）	スポーツ精神生理学※ （運動生理学を含む。）	2	4	スポーツ生理学※ （運動生理学を含む）		2					
	人体生理学	2									
衛生学及び 公衆衛生学	衛生・公衆衛生学	2	4								
	運動医学論	2									
学校保健（小 児保健、精 神保健、学 校安全及び 救急処置を 含む。）	学校保健 （小児保健、精神保 健、学校安全及び救 急処置を含む）	2	2								
計20単位			計		25						
大学が 独自に 設定す る科目	高等学校一 種	12 単位	――		――	7	左上記の必修科目欄で必修として履修しなかった科目及び 右上記の選択科目から選択。 または、下記のものも選択可能。 ・道徳教育の理論と実践（高校のみ選択可） ・学校経営と学校図書館 ・学校図書館メディアの構成 ・学習指導と学校図書館 ・読書と豊かな人間性 ・情報メディアの活用 ・学校フィールド演習Ⅰ（学校体験活動）* ・学校フィールド演習Ⅱ（学校インターンシップ）* *奈良教育大学連携開設科目				
	中学校一 種	4 単位	――		――	――					
合計	高等学校一 種	32 単位	――		――	32					
	中学校一 種	24 単位	――		25	――					

注：※の付いた科目は、令和8年度以降に履修した場合に限り、「小学校」及び、「中学校・高等学校」の教科に関する専門的事項の単位として適用することができます。（令和7年度以前に履修した場合は、小学校課程の科目として適用することはできません。）

(13) 保健体育 生活環境学部心身健康学科スポーツ健康科学コース (令和8年度以降入学者用)

免許法上の科目 区分と分野			本学の開講科目における相当科目と単位数					
			必修科目と単位数		中	高	選択科目と単位数	
教 科 に 関 する 専 門 的 事 項	体育実技	身体表現実習	1	6				
		基礎運動実習	1					
		個人スポーツ実習B	1					
		ボディワーク実習	1					
		シーズンスポーツ実習・夏	1					
		武道実習	1					
		個人スポーツ実習A	1	1				
		チームスポーツ実習A	1					
		チームスポーツ実習B	1					
	「体育原理、 体育心理学、 体育経営管 理学、体育 社会学、体 育史」及び 運動学（運 動方法学を 含む。）	スポーツ心理学 （体育心理学を含む。）	2	8	体育・スポーツ史※ （体育史を含む）	2		
スポーツ法学 （体育経営管理学を含む。）		2	スポーツバイオメカニクス （運動学（運動方法学を含む））		2			
体育・スポーツ社会学※ （体育社会学を含む。）		2						
身体コミュニケーション論 （運動学（運動方法学 を含む））		2						
生理学（運 動生理学を 含む。）	スポーツ精神生理学※ （運動生理学を含む。）	2	4	スポーツ生理学※ （運動生理学を含む）	2			
	人体生理学	2						
衛生学及び 公衆衛生学	衛生・公衆衛生学	2	4					
	運動医学論	2						
学校保健（小 児保健、精 神保健、学 校安全及び 救急処置を 含む。）	学校保健 （小児保健、精神保 健、学校安全及び救 急処置を含む）	2	2					
計20単位		計		25				
大学が 独自に 設定す る科目	高等学 校一種	12 単位	—	—	7	左上記の必修科目欄で必修として履修しなかった科目及び 右上記の選択科目から選択。 または、下記のものも選択可能。 ・道徳教育の理論と実践（高校のみ選択可） ・学校経営と学校図書館 ・学校図書館メディアの構成 ・学習指導と学校図書館 ・読書と豊かな人間性 ・情報メディアの活用 ・学校フィールド演習Ⅰ（学校体験活動）* ・学校フィールド演習Ⅱ（学校インターンシップ）* *奈良教育大学連携開設科目		
	中学校 一種	4 単位	—	—	—			
合計	高等学 校一種	32 単位	—	—	32			
	中学校 一種	24 単位	—	25	—			

注：※の付いた科目は、「小学校」及び、「中学校・高等学校」の教科に関する専門的事項の単位として適用することができます。

(14) 家 庭 生活環境学部住環境学科（令和5年度入学者用）

免許法上の科目 区分と分野			本学の開講科目における相当科目と単位数					
			必修科目と単位数		中	高	選択科目と単位数	
教 科 に 関 する 専 門 的 事 項	家庭経営学 （家族関係 学及び家庭 経済学を含 む。）		家族関係論※ 生活経営学 （家庭経済学を含む。）	2 2	4			
	被服学（被服 実習を含 む。）		衣環境学概論※ 被服学実習Ⅰ 被服学実習Ⅱ	2 1 1	4			
	食物学（栄養 学、食品学及 び調理実習を 含む。）		食物科学概論※ （栄養学、食品学 を含む。） 調理学実習 応用調理学実習	2 1 1	4			
	(中) 住居学 (高) 住居学		住環境学概論※	2	2		住生活学 建築・住居史 建築・住宅論 建築環境学 空間デザイン学 建築計画学 地域居住学	2 2 2 2 2 2 2
	(中) 保育学 (高) 保育学		育児学	2	2			
							家庭機械・家庭電気 ・情報処理（高校のみ）	2
	計20単位		計		16	16		
大学が 独自に 設定す る科目	高等学 校一種	12 単位	——		—	16	右上記の選択科目から選択。 または、下記のものも選択可能。ただし、免許の申請において 利用できるのは、最大で高等学校12単位・中学校4単位まで。 ・道徳教育の理論と実践（高校のみ選択可） ・学校経営と学校図書館 ・学校図書館メディアの構成 ・学習指導と学校図書館 ・読書と豊かな人間性 ・情報メディアの活用 ・学校フィールド演習Ⅰ（学校体験活動）＊ ・学校フィールド演習Ⅱ（学校インターンシップ）＊ ＊奈良教育大学連携開設科目	
	中学校 一種	4 単位	——		8	—		
合計	高等学 校一種	32 単位	——		—	32		
	中学校 一種	24 単位	——		24	—		

注：※の付いた科目は、令和8年度以降に履修した場合に限り、「小学校」及び、「中学校・高等学校」の教科に関する専門的事項の単位として適用することができます。（令和7年度以前に履修した場合は、小学校課程の科目として適用することはできません。）

家 庭 生活環境学部住環境学科（令和6～7年度入学者用）

免許法上の科目 区分と分野			本学の開講科目における相当科目と単位数					
			必修科目と単位数		中	高	選択科目と単位数	
教 科 に 関 する 専 門 的 事 項	家庭経営学 （家族関係 学及び家庭 経済学を含 む。）		家族関係論※ 生活経営学 （家庭経済学を含む。）	2 2	4			
	被服学（被服 実習を含 む。）		衣環境学概論※ 被服学実習Ⅰ 被服学実習Ⅱ	2 1 1	4			
	食物学（栄養 学、食品学及 び調理実習を 含む。）		食物科学概論※ （栄養学、食品学 を含む。） 調理学実習 応用調理学実習	2 1 1	4			
	(中) 住居学 (高) 住居学		住環境学概論※	2	2		住生活学 建築史Ⅰ 建築史Ⅱ 建築環境学 空間デザイン学 建築計画学 地域居住学	2 3 3 3 2 2 2
	(中) 保育学 (高) 保育学		育児学	2	2			
	計20単位		計		16	16		
大学が 独自に 設定す る科目	高等学 校一種	12 単位	——		—	16	右上記の選択科目から選択。 または、下記のものも選択可能。ただし、免許の申請において 利用できるのは、最大で高等学校12単位・中学校4単位まで。 ・道徳教育の理論と実践（高校のみ選択可） ・学校経営と学校図書館 ・学校図書館メディアの構成 ・学習指導と学校図書館 ・読書と豊かな人間性 ・情報メディアの活用 ・学校フィールド演習Ⅰ（学校体験活動）＊ ・学校フィールド演習Ⅱ（学校インターンシップ）＊ ＊奈良教育大学連携開設科目	
	中学校 一種	4 単位	——		8	—		
合計	高等学 校一種	32 単位	——		—	32		
	中学校 一種	24 単位	——		24	—		

注：※の付いた科目は、令和8年度以降に履修した場合に限り、「小学校」及び、「中学校・高等学校」の教科に関する専門的事項の単位として適用することができます。（令和7年度以前に履修した場合は、小学校課程の科目として適用することはできません。）

家 庭 生活環境学部住環境学科（令和8年度以降入学用）

免許法上の科目 区分と分野			本学の開講科目における相当科目と単位数					
			必修科目と単位数		中	高	選択科目と単位数	
教 科 に 関 する 専 門 的 事 項	家庭経営学 （家族関係 学及び家庭 経済学を含 む。）		家族関係論※ 生活経営学 （家庭経済学を含む。）	2 2	4			
	被服学（被服 実習を含 む。）		衣環境学概論※ 被服学実習Ⅰ 被服学実習Ⅱ	2 1 1	4			
	食物学（栄養 学、食品学及 び調理実習を 含む。）		食物科学概論※ （栄養学、食品学 を含む。） 調理学実習 応用調理学実習	2 1 1	4			
	(中) 住居学 (高) 住居学		住環境学概論※	2	2		住生活学 建築史Ⅰ 建築史Ⅱ 建築環境学 空間デザイン学 建築計画学	2 2 2 2 2 2
	(中) 保育学 (高) 保育学		育児学	2	2		住環境造形実習 設計演習Ⅰ 設計演習Ⅱ 設計演習Ⅲ	2 3 3 3
	計20単位		計		16	16		
大学が 独自に 設定す る科目	高等学 校一種	12 単位	——		—	16	右上記の選択科目から選択。 または、下記のものも選択可能。ただし、免許の申請において 利用できるのは、最大で高等学校12単位・中学校4単位まで。 ・道徳教育の理論と実践（高校のみ選択可） ・学校経営と学校図書館 ・学校図書館メディアの構成 ・学習指導と学校図書館 ・読書と豊かな人間性 ・情報メディアの活用 ・学校フィールド演習Ⅰ（学校体験活動）＊ ・学校フィールド演習Ⅱ（学校インターンシップ）＊ ＊奈良教育大学連携開設科目	
	中学校 一種	4 単位	——		8	—		
合計	高等学 校一種	32 単位	——		—	32		
	中学校 一種	24 単位	——		24	—		

注：※の付いた科目は、「小学校」及び、「中学校・高等学校」の教科に関する専門的事項の単位として適用することができます。

(15) 家 庭 生活環境学部文化情報学科生活文化学コース (令和5年度入学者用)

免許法上の科目 区分と分野			本学の開講科目における相当科目と単位数						
			必修科目と単位数		中	高	選択科目と単位数		
教科に 関する 専門的 事項	家庭経営学 （家族関係 学及び家庭 経済学を含 む。）	家族関係論※	2	4	ジェンダー文化論	2	生活の情報管理と	2	
		生活経営学	2		生活経済学	2	システム		
		（家庭経済学を含む。）			消費者法	2	ライフスタイルと法	2	
					生活経済学演習	2	消費者法演習	2	
					家族援助法	2	食と農の経済学	2	
	被服学（被服 実習を含 む。）	衣環境学概論※	2	4	服飾とジェンダー	2			
		被服学実習Ⅰ	1						
		被服学実習Ⅱ	1						
食物学（栄養 学、食品学 及び調理実 習を含む。）	食物科学概論※	2	4	食生活文化論	2				
	（栄養学、食品学 を含む。）								
	調理学実習	1							
(中) 住居学 (高) 住居学	応用調理学実習	1							
	住環境学概論※	2	2	住生活文化論	2				
(中) 保育学 (高) 保育学	育児学	2	2						
					家庭機械・家庭電気 ・情報処理（高校のみ）	2			
計20単位		計		16	16				
大学が 独自に 設定する 科目	高等学校一 種	12 単位	――	――	16	右上記の選択科目から選択。 または、下記のものも選択可能。ただし、免許の申請にお いて利用できるのは、最大で高等学校12単位・中学校4単位 まで。 ・道徳教育の理論と実践（高校のみ選択可） ・学校経営と学校図書館 ・学校図書館メディアの構成 ・学習指導と学校図書館 ・読書と豊かな人間性 ・情報メディアの活用 ・学校フィールド演習Ⅰ（学校体験活動）＊ ・学校フィールド演習Ⅱ（学校インターンシップ）＊ ＊奈良教育大学連携開設科目			
	中学校一 種	4 単位	――	8	――				
合計	高等学校一 種	32 単位	――	――	32				
	中学校一 種	24 単位	――	24	――				

注：※の付いた科目は、令和8年度以降に履修した場合に限り、「小学校」及び、「中学校・高等学校」の教科に関する専門的事項の単位として適用することができます。(令和7年度以前に履修した場合は、小学校課程の科目として適用することはできません。)

家 庭 生活環境学部文化情報学科生活文化学コース （令和6～7年度以降入学者用）

免許法上の科目 区分と分野			本学の開講科目における相当科目と単位数							
			必修科目と単位数		中	高	選択科目と単位数			
教科 に 関 する 専 門 的 事 項	家庭経営学 （家族関係 学及び家庭 経済学を含 む。）	家族関係論※	2	4	ジェンダー文化論		2	生活の情報管理と		2
		生活経営学 （家庭経済学を含む。）	2		生活経済学		2	システム		
			消費者法		2	ライフスタイルと法		2		
			生活経済学演習		2	消費者法演習		2		
			家族援助法		2	食と農の経済学		2		
	被服学（被服 実習を含 む。）	衣環境学概論※	2	4	服飾とジェンダー		2			
		被服学実習Ⅰ	1							
被服学実習Ⅱ		1								
食物学（栄養 学、食品学及 び調理実習を 含む。）	食物科学概論※ （栄養学、食品学 を含む。）	2	4	食生活文化論		2				
	調理学実習	1								
	応用調理学実習	1								
(中) 住居学 (高) 住居学	住環境学概論※	2	2	住生活文化論		2				
(中) 保育学 (高) 保育学	育児学	2	2							
計20単位		計		16	16					
大学が 独自に 設定する科目	高等学校一種	12 単位	――	――	16	右上記の選択科目から選択。 または、下記のものも選択可能。ただし、免許の申請にお いて利用できるのは、最大で高等学校12単位・中学校4単位 まで。 ・道徳教育の理論と実践（高校のみ選択可） ・学校経営と学校図書館 ・学校図書館メディアの構成 ・学習指導と学校図書館 ・読書と豊かな人間性 ・情報メディアの活用 ・学校フィールド演習Ⅰ（学校体験活動）* ・学校フィールド演習Ⅱ（学校インターンシップ）* *奈良教育大学連携開設科目				
	中学校一種	4 単位	――	8	――					
合計	高等学校一種	32 単位	――	――	32					
	中学校一種	24 単位	――	24	――					

注：※の付いた科目は、令和8年度以降に履修した場合に限り、「小学校」及び、「中学校・高等学校」の教科に関する専門的事項の単位として適用することができます。（令和7年度以前に履修した場合は、小学校課程の科目として適用することはできません。）

家 庭 生活環境学部文化情報学科生活文化学コース （令和8年度以降入学者用）

免許法上の科目 区分と分野			本学の開講科目における相当科目と単位数							
			必修科目と単位数		中	高	選択科目と単位数			
教 科 に 関 する 専 門 的 事 項	家庭経営学 （家族関係 学及び家庭 経済学を含 む。）	家族関係論※	2	4		ジェンダー文化論	2	ライフスタイルと法	2	
		生活経営学 （家庭経済学を含む。）	2			生活経済学	2	消費者法演習	2	
	被服学（被服 実習を含 む。）	衣環境学概論※ 被服学実習Ⅰ 被服学実習Ⅱ	1			4		服飾とジェンダー	2	
			1							
			1							
	食物学（栄養 学、食品学及 び調理実習を 含む。）	食物科学概論※ （栄養学、食品学 を含む。） 調理学実習 応用調理学実習	2			4		食生活文化論	2	
			1							
1										
(中) 住居学 (高) 住居学	住環境学概論※	2	2		住生活文化論	2				
(中) 保育学 (高) 保育学	育児学	2	2							
計20単位		計		16	16					
大学が 独自に 設定する科目	高等学校一種	12 単位	――	――	16	右上記の選択科目から選択。 または、下記のものも選択可能。ただし、免許の申請において利用できるのは、最大で高等学校12単位・中学校4単位まで。 ・道徳教育の理論と実践（高校のみ選択可） ・学校経営と学校図書館 ・学校図書館メディアの構成 ・学習指導と学校図書館 ・読書と豊かな人間性 ・情報メディアの活用 ・学校フィールド演習Ⅰ（学校体験活動）* ・学校フィールド演習Ⅱ（学校インターンシップ）* *奈良教育大学連携開設科目				
	中学校一種	4 単位	――	8	――					
合計	高等学校一種	32 単位	――	――	32					
	中学校一種	24 単位	――	24	――					

注：※の付いた科目は、「小学校」及び、「中学校・高等学校」の教科に関する専門的事項の単位として適用することができます。

(16) 情 報 生活環境学部文化情報学科生活情報通信科学コース (令和5～7年度入学者用)

免許法上の科目区分と分野			本学の開講科目における相当科目と単位数				
			必修科目と単位数		必修	選択科目と単位数	
教 科 に 関 する 専 門 的 事 項	情報社会（職業に関する内容を含む。） ・情報倫理	情報社会学	2	6			
		生活と情報倫理	2				
		情報と職業	2				
	コンピュータ及び情報処理	プログラミング言語Ⅰ	2	8	論理回路論	2	
		プログラミング言語演習	2			2	
		プログラミング言語Ⅱ	2			言語処理系論	
		アルゴリズムとデータ構造	2				
情報システム	データベース論	2	4	データベース演習	2		
	計算機アーキテクチャ論	2		オペレーティングシステム論 （実習を含む）	2		
情報通信ネットワーク	計算機ネットワーク	2	2	ソフトウェア工学概論	2		
マルチメディア表現及び技術	ソーシャルコンピューティング論	2	2	パターン認識	2		
	ヒューマンインタフェイス概論	2					
計20単位		必修科目と単位数			22		
大学が独自に設定する科目	高等学校一種	12単位	――		10	右上記の選択科目から選択。 または、下記のものも選択可能。 ・道徳教育の理論と実践 ・学校経営と学校図書館 ・学校図書館メディアの構成 ・学習指導と学校図書館 ・読書と豊かな人間性 ・情報メディアの活用 ・学校フィールド演習Ⅰ（学校体験活動）＊ ・学校フィールド演習Ⅱ（学校インターンシップ）＊ ＊奈良教育大学連携開設科目	
合計	高等学校一種	32単位	――		32		

(16) 情 報 生活環境学部文化情報学科生活情報通信科学コース (令和8年度以降入学用)

免許法上の科目区分と分野			本学の開講科目における相当科目と単位数					
			必修科目と単位数		必修	選択科目と単位数		
教 科 に 関 する 専 門 的 事 項	情報社会（職業に関する内容を含む。） ・情報倫理	情報社会学	2	6				
		生活と情報倫理	2					
		情報と職業	2					
	コンピュータ及び情報処理	プログラミング言語Ⅰ	2	8	論理回路論	2		
		プログラミング言語演習	2		情報処理技術Ⅰ	2		
		プログラミング言語Ⅱ	2		情報処理技術Ⅱ	2		
		アルゴリズムとデータ構造	2					
情報システム	データベース論	2	4	データベース演習	2			
	計算機アーキテクチャ論	2		オペレーティングシステム論 （実習を含む）	2			
情報通信ネットワーク	計算機ネットワーク	2	2	ソフトウェア工学概論	2			
	マルチメディア表現及び技術	ソーシャルコンピューティング論		2	パターン認識	2		
					ヒューマンインタフェイス概論	2		
計20単位		必修科目と単位数			22			
大学が独自に設定する科目	高等学校一種	12単位	――		10	右上記の選択科目から選択。 または、下記のものも選択可能。 ・道徳教育の理論と実践 ・学校経営と学校図書館 ・学校図書館メディアの構成 ・学習指導と学校図書館 ・読書と豊かな人間性 ・情報メディアの活用 ・学校フィールド演習Ⅰ（学校体験活動）＊ ・学校フィールド演習Ⅱ（学校インターンシップ）＊ ＊奈良教育大学連携開設科目		
合計	高等学校一種	32単位	――			32		

(17) 小学校（文学部人間科学科子ども教育専修プログラム・令和5・6年度入学者用）

免許法上の科目 区分と単位数		本学の開講科目における担当科目と単位数（小学校一種）			
		科 目 名	単 位	必修	備 考
教科に関する専門的事項	教科の指導法とあわせて30	英語	2	2	文学部子ども教育 専修プログラム 専門教育科目
		国語	2		
		社会	2		
		算数	2		
		理科	2		
		生活	2		
		国語学概論 A ※	2		文学部専門教育科目 (学部共通)
		国語学概論 B ※	2		
		国語史概論 A ※	2		
		国語史概論 B ※	2		
		日本史概論 A ※	2		
		日本史概論 B ※	2		
		東洋史概論 B ※	2		
		西洋史概論 A ※	2		
		西洋史概論 B ※	2		
		人文地理学概論 A ※	2		
		人文地理学概論 B ※	2		
		自然地理学概論 A ※	2		
		自然地理学概論 B ※	2		
		地誌 A ※	2		
		地誌 B ※	2		
		社会学概論 A ※	2		
		社会学概論 B ※	2		
		英語学概論 A ※	2		
		英語学概論 B ※	2		
		イギリス言語文化史概論 A ※	2		
		イギリス言語文化史概論 B ※	2		
		アメリカ言語文化史概論 A ※	2		
		アメリカ言語文化史概論 B ※	2		
		線形代数学 I (B) ※◇	2		理学部数物科学科 数学コース専門教育科目
		基礎化学 1 ※◇	2		化学生物環境学科専門教育科目
		基礎化学 2 ※◇	2		
		基礎生物学 1 ※	2		
		基礎生物学 2 ※	2		
		家族関係論 ※	2		生活環境学部 文化情報学科専門教育科目
		衣環境学概論 ※	2		
		食物科学概論 ※	2		生活環境学部住環境学科 専門教育科目
		住環境学概論 ※	2		
		体育・スポーツ社会学 ※	2		生活環境学部 心身健康学科 スポーツ健康科学コース 専門教育科目
		体育・スポーツ史 ※	2		
		スポーツ精神生理学 ※	2		
		スポーツ生理学 ※	2		
大学が独自に設定する科目	2	哲学概論	2	2	文学部専門教育科目 (学部共通)
		倫理学概論	2		
		教育学概論	2		
		教育史概論	2		
		音楽概論	2		
		身体文化学概論	2		
		社会・集団・家族心理学	2		文学部専門教育科目 (学科共通)
		発達心理学	2		
		哲学特殊研究	2		
		倫理学特殊研究	2		
		子ども史特殊研究	2		
		音楽と子ども特殊研究	2		
		子どもメディア文化論特殊研究	2		
		障害者・障害児心理学	2		
		知覚・認知心理学	2		
		発達心理学特殊研究	2		
		学校フィールド演習 I (学校体験活動)	1		奈良教育大学連携開設科目
		学校フィールド演習 II (学校インターンシップ)	1		

注1：文学部人間科学科子ども教育専修プログラムの学生の卒業要件に含まれる科目については、専門教育ガイドをよく確認してください。

注2：※の付いた科目は、令和8年度以降に履修した場合に限り、「小学校」及び、「中学校・高等学校」の教科に関する専門的事項の単位として適用することができます。（令和7年度以前に履修した場合は、小学校課程の科目として適用することはできません。）

注3：◇の付いた科目は、備考欄に記載している開講学部・学科以外の学生が履修する場合には以下の制限があるため、留意すること。
「線形代数学 I (B)」：高等学校で数Cベクトルを履修していること。
「基礎化学 1」及び「基礎化学 2」：高等学校で化学を履修し、大学入学共通テストで化学を選択していることが望ましい。

(17) 小学校（文学部人間科学科子ども教育専修プログラム・令和7年度入学者用）

免許法上の科目 区分と単位数		本学の開講科目における担当科目と単位数（小学校一種）			
		科 目 名	単位	必修	備考
教科に関する専門的事項	教科の指導法とあわせて30	英語	2	2	文学部子ども教育 専修プログラム 専門教育科目
		国語	2		
		社会	2		
		算数	2		
		理科	2		
		生活	2		
		国語学概論 A ※	2		文学部専門教育科目 (学部共通)
		国語学概論 B ※	2		
		国語史概論 A ※	2		
		国語史概論 B ※	2		
		日本史概論 A ※	2		
		日本史概論 B ※	2		
		東洋史概論 B ※	2		
		西洋史概論 A ※	2		
		西洋史概論 B ※	2		
		人文地理学概論 A ※	2		
		人文地理学概論 B ※	2		
		自然地理学概論 A ※	2		
		自然地理学概論 B ※	2		
		地誌 A ※	2		
		地誌 B ※	2		
		社会学概論 A ※	2		
		社会学概論 B ※	2		
		英語学概論 A ※	2		
		英語学概論 B ※	2		
		イギリス言語文化史概論 A ※	2		
		イギリス言語文化史概論 B ※	2		
		アメリカ言語文化史概論 A ※	2		
		アメリカ言語文化史概論 B ※	2		
		線形代数学 I (B) ※◇	2		理学部数物科学科 数学コース専門教育科目
		基礎化学 1 ※◇	2		化学生物環境学科専門教育科目
		基礎化学 2 ※◇	2		
		基礎生物学 1 ※	2		
		基礎生物学 2 ※	2		生活環境学部 文化情報学科専門教育科目
		家族関係論 ※	2		
		衣環境学概論 ※	2		生活環境学部住環境学科 専門教育科目
		食物科学概論 ※	2		
		住環境学概論 ※	2		生活環境学部 心身健康学科 スポーツ健康科学コース 専門教育科目
		体育・スポーツ社会学 ※	2		
		体育・スポーツ史 ※	2		
		スポーツ精神生理学 ※	2		
		スポーツ生理学 ※	2		
大学が独自に設定する科目	2	哲学概論	2	2	文学部専門教育科目 (学部共通)
		倫理学概論	2		
		教育学概論	2		
		教育史概論	2		
		音楽概論	2		
		身体文化学概論	2		
		社会・集団・家族心理学	2		文学部専門教育科目 (学科共通)
		発達心理学	2		
		哲学特殊研究	2		
		倫理学特殊研究	2		
		子ども史特殊研究	2		
		音楽と子ども特殊研究	2		
		障害者・障害児心理学	2		
		知覚・認知心理学	2		
		発達心理学特殊研究	2		
		学校フィールド演習 I (学校体験活動)	1		奈良教育大学連携開設科目
		学校フィールド演習 II (学校インターンシップ)	1		

注1：文学部人間科学科子ども教育専修プログラムの学生の卒業要件に含まれる科目については、専門教育ガイドをよく確認してください。

注2：※の付いた科目は、令和8年度以降に履修した場合に限り、「小学校」及び、「中学校・高等学校」の教科に関する専門的事項の単位として適用することができます。（令和7年度以前に履修した場合は、小学校課程の科目として適用することはできません。）

注3：◇の付いた科目は、備考欄に記載している開講学部・学科以外の学生が履修する場合には以下の制限があるため、留意すること。
「線形代数学 I (B)」：高等学校で数Cベクトルを履修していること。
「基礎化学 1」及び「基礎化学 2」：高等学校で化学を履修し、大学入学共通テストで化学を選択していることが望ましい。

(17) 小学校（文学部人間科学科子ども教育専修プログラム・令和8年度以降入学用）

免許法上の科目 区分と単位数		本学の開講科目における担当科目と単位数（小学校一種）			
		科 目 名	単 位	必修	備 考
教科に関する専門的事項	教科の指導法とあわせて30	国語	2	10	文学部子ども教育 専修プログラム 専門教育科目
		社会	2		
		算数	2		
		理科	2		
		生活	2		
		英語	2		
		国語学概論 A ※	2		文学部専門教育科目 (学部共通)
		国語学概論 B ※	2		
		国語史概論 A ※	2		
		国語史概論 B ※	2		
		日本史概論 A ※	2		
		日本史概論 B ※	2		
		東洋史概論 B ※	2		
		西洋史概論 A ※	2		
		西洋史概論 B ※	2		
		人文地理学概論 A ※	2		
		人文地理学概論 B ※	2		
		自然地理学概論 A ※	2		
		自然地理学概論 B ※	2		
		地誌 A ※	2		
		地誌 B ※	2		
		社会学概論 A ※	2		
		社会学概論 B ※	2		
		英語学概論 A ※	2		
		英語学概論 B ※	2		
		イギリス言語文化史概論 A ※	2		
		イギリス言語文化史概論 B ※	2		
		アメリカ言語文化史概論 A ※	2		
		アメリカ言語文化史概論 B ※	2		
		音楽概論	2		
		身体文化概論	2		
		線形代数学 I ※◇	2		理学部数物科学科 数学コース専門教育科目
		基礎化学 1 ※◇	2		化学生物環境学科専門教育科目
		基礎化学 2 ※◇	2		
		基礎生物学 1 ※	2		
		基礎生物学 2 ※	2		
		家族関係論 ※	2		生活環境学部 文化情報学科専門教育科目
		衣環境学概論 ※	2		
		食物科学概論 ※	2		生活環境学部住環境学科 専門教育科目
		住環境学概論 ※	2		
		体育・スポーツ社会学 ※	2		生活環境学部 心身健康学科 スポーツ健康科学コース 専門教育科目
		体育・スポーツ史 ※	2		
		スポーツ精神生理学 ※	2		
		スポーツ生理学 ※	2		
大学が独自に設定する科目	2	哲学概論	2	2	文学部専門教育科目 (学部共通)
		倫理学概論	2		
		教育学概論	2		
		教育史概論	2		
		社会・集団・家族心理学	2		
		発達心理学	2		
		哲学特殊研究	2		文学部専門教育科目 (学科共通)
		倫理学特殊研究	2		
		子ども史特殊研究	2		
		音楽と子ども特殊研究	2		
		障害者・障害児心理学	2		
		知覚・認知心理学	2		
		発達心理学特殊研究	2		
		学校フィールド演習Ⅰ（学校体験活動）	1		
		学校フィールド演習Ⅱ（学校インターンシップ）	1		
					奈良教育大学連携開設科目

注1：文学部人間科学科子ども教育専修プログラムの学生の卒業要件に含まれる科目については、専門教育ガイドをよく確認してください。

注2：※の付いた科目は、「小学校」及び、「中学校・高等学校」の教科に関する専門的事項の単位として適用することができます。

注3：◇の付いた科目は、備考欄に記載している開講学部・学科以外の学生が履修する場合には以下の制限があるため、留意すること。
「線形代数学Ⅰ（B）」：高等学校で数Cベクトルを履修していること。
「基礎化学Ⅰ」及び「基礎化学Ⅱ」：高等学校で化学を履修し、大学入学共通テストで化学を選択していることが望ましい。

(18) 幼稚園（文学部人間科学科子ども教育専修プログラム・令和5・6年度入学者用）

免許法上の科目 区分と単位数		本学の開講科目における担当科目と単位数（小学校一種）			
		科 目 名	単位	必修	備考
領域に関する専門的事項	教科の指導法とあわせて16	健康	1	4	文学部子ども教育専修プログラム 専門教育科目
		人間関係	1		
		環境	1		
		言葉	1		
		表現	1		
大学が独自に設定する科目	14	哲学概論	2	14	文学部専門教育科目 （学部共通）
		倫理学概論	2		
		教育学概論	2		
		教育史概論	2		
		音楽概論	2		
		身体文化学概論	2		
		社会・集団・家族心理学	2		
		発達心理学	2		
		哲学特殊研究	2		文学部専門教育科目 （学科共通）
		倫理学特殊研究	2		
		子ども史特殊研究	2		
		音楽と子ども特殊研究	2		
		子どもメディア文化論特殊研究	2		
		障害者・障害児心理学	2		
		知覚・認知心理学	2		
		発達心理学特殊研究	2		
		学校フィールド演習Ⅰ（学校体験活動）	1		奈良教育大学連携開設科目
		学校フィールド演習Ⅱ（学校インターンシップ）	1		

幼稚園（文学部人間科学科子ども教育専修プログラム・令和7年度以降入学者用）

免許法上の科目 区分と単位数		本学の開講科目における担当科目と単位数（小学校一種）			
		科 目 名	単位	必修	備考
領域に関する専門的事項	教科の指導法とあわせて16	健康	1	4	文学部子ども教育専修プログラム 専門教育科目
		人間関係	1		
		環境	1		
		言葉	1		
		表現	1		
大学が独自に設定する科目	14	哲学概論	2	14	文学部専門教育科目 （学部共通）
		倫理学概論	2		
		教育学概論	2		
		教育史概論	2		
		音楽概論	2		
		身体文化学概論	2		
		社会・集団・家族心理学	2		
		発達心理学	2		
		哲学特殊研究	2		文学部専門教育科目 （学科共通）
		倫理学特殊研究	2		
		子ども史特殊研究	2		
		音楽と子ども特殊研究	2		
		障害者・障害児心理学	2		
		知覚・認知心理学	2		
		発達心理学特殊研究	2		
		学校フィールド演習Ⅰ（学校体験活動）	1		奈良教育大学連携開設科目
		学校フィールド演習Ⅱ（学校インターンシップ）	1		

(7-4) 二種免許状について（令和5年度以降入学者）

修得必要最低単位数は表VI-2-2「本学で取得できる免許状の種類、基礎資格及び修得必要最低単位数」（103ページ）に記載のとおりですが、以下のことに注意して履修してください。

■ 中学校二種免許状

① 教職科目について

「教育の基礎的理解に関する科目」および「道徳・総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」の各群については、一種免許状と同一の科目を履修してください。

「教科の指導法」については、各教科の「教科教育法Ⅱ」及び「教科教育法Ⅳ」（「保健体育」は「保健」及び「体育」それぞれの「教科教育法Ⅱ」）計4単位を履修してください。

② 教科科目について

教科ごとに必要な必修科目を必ず含んで履修してください。

■ 小学校二種免許状

① 教職科目について

「教育の基礎的理解に関する科目」および「道徳・総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」の各群については、一種免許状と同一の科目を履修してください。

「初等教科教育法（情報通信技術の活用を含む。）」については、音楽、図画工作及び体育の中の2科目以上を含む6科目（計12単位）以上を履修してください。

② 教科科目について

国語（書写を含む）、社会、算数、理科、生活、英語のうち、2科目（計4単位）以上を履修してください。

■ 幼稚園二種免許状

① 教職科目について

「教育の基礎的理解に関する科目」および「道徳・総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」の各群については、一種免許状と同一の科目を履修してください。

「保育内容の指導法」については、「保育内容指導法〔総論〕〔人間関係〕〔環境〕〔言葉〕」の4科目（8単位）と、「保育内容指導法〔健康〕〔表現・造形分野〕〔表現・音楽分野〕」から2科目（2～3単位）までを含む計10単位以上を履修してください。

② 教科科目について

「領域に関する専門的事項〔健康〕〔人間関係〕〔環境〕〔言葉〕〔表現〕」のうち、2科目（2単位）以上を履修してください。

■ 栄養教諭二種免許状

栄養教諭二種免許状を取得する場合は、栄養教諭一種免許状を取得する場合と同一の履修をする必要があります。具体的には、「栄養に係る教育に関する科目」4単位と「教育の基礎的理解に関する科目等」21単位を履修しなければなりません。

二種免許状を取得希望の学生についても、教育実習Ⅰの履修にあたって「(4) 教育実習について」（98ページ）で記載のと通りの履修条件を満たしていることが必要となりますので、注意してください。

2 資格関連科目群の履修

学校図書館司書教諭、学芸員の資格カリキュラムは、「キャリア教育科目」の「資格関連科目群」がこれに相当します（卒業要件外）。

なお、教員免許状と学芸員資格の両方取得について、本学では保証できませんので、よく考えた上で履修計画を立ててください。

(1) 学芸員の資格取得について

- 令和8年度入学の1回生・編入生・大学院博士前期課程1回生で、学芸員の資格を得ようとする人は、4月上旬に実施される学芸員新入生ガイダンスに必ず出席してください。日時等は掲示でお知らせします。学術情報センター横の実習用掲示板に注意してください。

- 博物館法に基づく学芸員の資格を得ようとする人は、博物館法施行規則に従って本学で開講される、表VI-E-1（平成24年度以降入学者用、平成24年度以降入学編入学生・平成24年度以降入学大学院博士前期課程を含む）の必修科目を履修しなければなりません。平成23年度以前入学者や、他大学で修得した単位のある編入学生・大学院生は、必要な科目について学務課学務係で必ず確認してください。

また選択科目として、文化史・美術史・考古学・民俗学・自然科学史・物理・化学・生物学・地学の分野から2科目以上（各1単位以上）修得する必要があります。本学で開講されている教養教育科目・専門教育科目を履修していれば、上記の条件は満たされます。特に科目の指定はありません。

- 「博物館実習Ⅰ」「博物館実習Ⅱ」について

前期に履修登録を行い、4月中旬にLMSに資料をアップロードしますので確認してください。（後期には履修登録できません。）日程等は掲示でお知らせしますので、注意してください。

- 「博物館実習Ⅲ」について

学外の博物館、美術館等で行います。次の点に注意してください。

- ① 原則として「博物館教育論」「博物館概論」「博物館資料論」「博物館経営論」を履修済みであることを履修条件とします。

- ② 前期に履修登録を行い、4月下旬にLMSに資料をアップロードしますので確認してください。（後期には履修登録できません。）

- ③ 次の博物館・美術館は、本学の斡旋による実習生のみを受け入れるので、個人で申し込むことはできません。なお、受け入れ人数に限りがあるため、斡旋の結果必ずしも希望の館に行けるとは限りません。

奈良市美術館 入江泰吉記念奈良市写真美術館 大和文華館

- ④ 上記以外の施設で実習を希望する人は、個人で実習先を探さなければなりません。いずれの施設も実習生受け入れに制限を設けていることが多いので、ガイダンス以前の早い時期から実習先をみつけるよう努力してください。

なお、次の館は実習受け入れをしていないので、申し込むことはできません。

奈良国立博物館 京都国立博物館 京都国立近代美術館 国立国際美術館
元興寺文化財研究所 奈良県立民俗博物館

- ⑤ 非斡旋館での実習を希望する人は、内諾（口頭可）が得られ次第、「博物館実習依頼状送付申込書」を学務課学務係へ提出してください。

- ⑥ 実習先によっては、実習経費（自己負担）が必要となる場合があります。

- 学芸員資格の証明について

本学において、学芸員資格取得に必要な単位をすべて取得して卒業した人は、学芸員としての資格を得られますが、特別な資格証明書はありません。資格があることを証明するためには、卒業証明書と学芸員に関する科目の単位修得証明書が必要です。

- その他詳細は、学務課学務係に照会してください。

■ 奈良教育大学との学芸員資格科目の単位互換について

学芸員資格取得に必要な科目のうち一部の科目について、奈良教育大学との単位互換制度に基づき、奈良教育大学で開講される科目を履修することができます。単位の取扱いについては以下のとおりです。

令和8年度 奈良教育大学開講科目

科目名	担当教員	開講期	曜日	時間	単位数
博物館経営論	巽 善信	前期	木	5・6限	2
博物館情報・メディア論	巽 善信	前期集中	—	—	2
博物館資料保存論	巽 善信	後期	木	5・6限	2
博物館資料論	巽 善信	後期	木	9・10限	2
博物館展示論	巽 善信	前期集中	—	—	2

※定員は各科目5名です。希望者多数の場合は抽選を行います。

履修単位の扱い

単位互換によって取得した単位は、本学で開講する科目の単位に読み替え、学芸員資格のための単位として用いることができます。（卒業要件単位にはなりません。）

その他の履修対象学生等の原則や、履修登録の方法等については、奈良教育大学との単位互換科目のページを参照してください。（P.76参照）

表Ⅵ-E-1 学芸員資格のための科目（平成24年度以降入学者用、
平成24年度以降入学編入学生・平成24年度以降入学大学院博士前期課程を含む）

博物館法施行規則に定める科目と単位数		本学開講科目				備考
科目名	単位	科目ナンバリングコード	科目名	単位	必修	
生涯学習概論	2	1237560A1	社会教育論	2	2	文学部専門科目(学部共通)
博物館概論	2	0230001E1	博物館概論	2	2	資格関連科目群
博物館経営論	2	0230006E2	博物館経営論	2	2	
博物館資料論	2	0230003E2	博物館資料論	2	2	
博物館資料保存論	2	0230004E2	博物館資料保存論	2	2	
博物館展示論	2	0230005E2	博物館展示論	2	2	
博物館教育論	2	0230002E1	博物館教育論	2	2	
博物館情報・メディア論	2	0230007E2	博物館情報・メディア論	2	2	
博物館実習	3	0230008D3	博物館実習Ⅰ	1	1	
		0230009D3	博物館実習Ⅱ	1	1	
		0230010D4	博物館実習Ⅲ	1	1	
合 計	19				19	

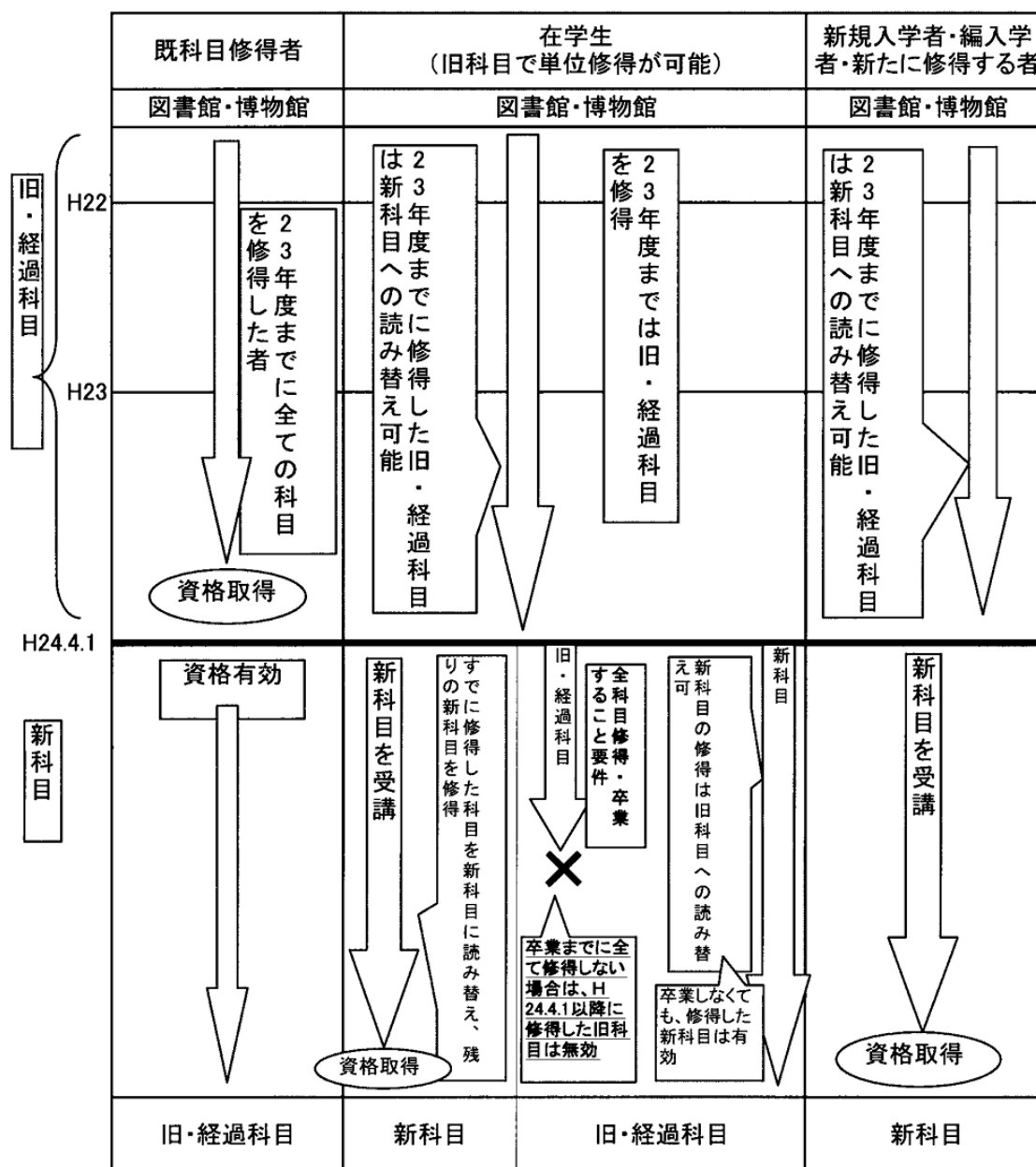
表Ⅵ-E-2 新旧科目対応表

省令上科目名 【旧課程】	本学の科目名 【旧課程】	省令上科目名 【新課程】	本学の科目名 【新課程】
生涯学習概論	社会教育学特殊研究(隔年)	生涯学習概論	社会教育論
	社会教育論		
博物館概論	博物館概論	博物館概論	博物館概論
博物館経営論	博物館経営論・情報論	博物館経営論	博物館経営論
博物館資料論	博物館資料論	博物館資料論	博物館資料論
		博物館資料保存論	博物館資料保存論
		博物館展示論	博物館展示論
博物館情報論	(博物館経営論・情報論)		
視聴覚教育メディア論	視聴覚教育法 (A)		
	視聴覚教育法 (B)		
教育学概論	教育原理 (A)		
	教育原理 (B)		
		博物館情報・メディア論	博物館情報・メディア論
		博物館教育論	博物館教育論
博物館実習	博物館実習	博物館実習	博物館実習Ⅰ
			博物館実習Ⅱ
			博物館実習Ⅲ

(平成23年10月3日 文部科学省 事務連絡)

図書館法施行規則・博物館法施行規則の施行に関する資料

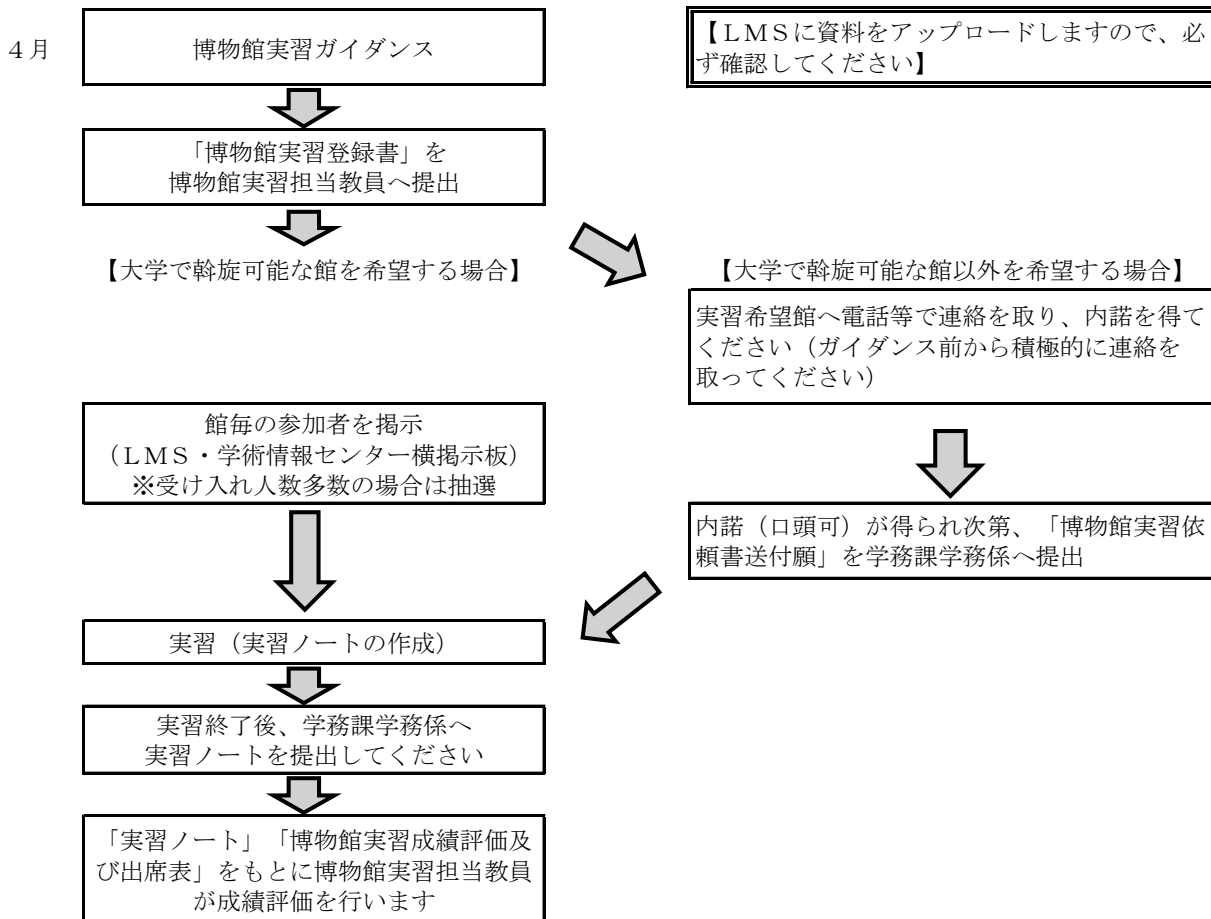
図書館法施行規則・博物館法施行規則の施行に関する資料



平成23年度以前入学者や、他大学で修得した単位のある編入学生・大学院生は、必要な科目について学務課学務係で必ず確認してください。

博物館実習Ⅲの流れ

4年次以上 必ず前期に履修登録し、1年間で実習に行ってください。（後期には履修登録できません。）



注) 博物館によっては、正式な依頼書を送付する前に「内諾伺」を求めるところもあるため、
手続については十分事前に確認してください。

連絡事項は、学術情報センター横の学務課掲示板で行いますので、注意してください。

不明な点がある場合は、学務課学務係（e-mail:gakumukakari@jimu.nara-wu.ac.jp）まで
連絡してください。

(2) 学校図書館司書教諭の資格取得について

- 学校図書館司書教諭とは「学校図書館で専門的職務に従事する教諭」を指し、幼稚園教諭・養護教諭・栄養教諭を除く一般の教育職員免許状を有し、かつ学校図書館司書教諭資格を得た者になることができます。公立図書館等の図書館司書や学校司書とは異なる資格です。
- 教員採用試験の際に、学校図書館司書教諭の資格を有している者に加点や考慮を行う自治体・法人等もありますので、受験案内等に注意してください。
- 資格ですので免許状ではなく、修了証書が発行されます。
- 学校図書館司書教諭の資格を得るためには、講習実施機関（文部科学省の指定を受けた大学）で実施される「学校図書館司書教諭講習」を必ず受講しなければなりません。
この講習は、大学に2年以上在学し62単位以上取得した者が受講できます。
- 資格取得に必要な5科目全てを本学で単位修得した場合であっても、必ず講習に申し込む必要があります。ただし、受講は事実上免除されます。講習に申し込む際に、5科目全てを修得したことを証明する書類（単位修得証明書）を講習実施機関に提出してください（書類参加）。
- 「学校図書館司書教諭講習」の受講希望者（書類参加を含みます）は、講習実施機関に各自で講習の申し込みを行ってください（下記参照）。この申し込みを行い、文部科学省から発行される修了証書を得なければ、資格が認められないので注意してください。
〈文部科学省Webサイト「学校図書館 司書教諭について」〉
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/dokusho/sisyo/index.htm
 - ・上記のURLにアクセスし、「学校図書館司書教諭講習実施要項」のページ下部に掲載されている「別表1 講習実施機関」（PDFファイル）を参照してください。
 - ・開講科目および申込期間、講習実施期間は、各講習実施機関により異なります。申込期間は例年5月～6月頃、講習実施期間は夏頃になります。申込期間が短期間で締め切られる講習実施機関もあるため、受講（または書類参加）を希望する年度の4月下旬ごろから文部科学省及び各講習実施機関のWebサイトを確認し、手続きに漏れないようにしてください。

表VI-F-1 修了証書を得る方法

	①全て本学で修得	②全て講習実施機関の講習で修得	③本学と講習実施機関の講習で併せて修得
修了証書取得方法	本学で修得した単位を証明する書類を添えて、講習実施機関に講習を申し込む。 <u>講習の申込みは必須だが、受講は免除される（書類参加）。</u>	講習実施機関に講習を申し込み、受講する（※1）。	本学で修得した単位を証明する書類を添えて、講習実施機関に講習を申し込む。本学で修得していない科目のみ受講する（※1）。
卒業と同時に修了証書を得るには	1回生後期から3回生後期までに計画的に5科目全てを修得し、4回生で講習に申し込む。	4回生で講習に申し込む。（講習は、3回生以上であれば受講可能）（※2）（※3）	本学の単位は3回生後期に修得したものまで認められる。4回生で講習に申し込む。（講習は、3回生以上であれば受講可能）（※3）

- （※1）開講される科目は講習実施機関によって異なる。同一年度に5科目全てを開講しない講習実施機関（隔年開講等）もあるため、各講習実施機関の案内をよく確認すること。
- （※2）同一年度に5科目全てを開講している講習実施機関であれば、スケジュールさえ合えば一度に5科目全ての単位を修得することが可能。
- （※3）一部の科目しか開講していない講習実施機関で受講する場合は、本学での単位修得も含めて、

数年かけて計画的に受講する必要があるため留意すること。講習の申込みの際に申請できるのは、すでに単位修得済みの科目のみ。修得見込みの科目をあわせて申請することはできない。（同一年度に複数の講習実施機関で講習を受ける場合は、5科目全ての単位を修得したとしても、その年度中に修了証書を得ることはできない。）

- 教員免許取得のための「教科又は教職に関する科目／大学が独自に設定する科目」として選択する場合は、本学で修得した単位のみ選択することができます。講習実施機関（他大学）の講習で修得した単位は選択することができません。
- 卒業と同時に学校図書館司書教諭の修了証書を得なくても良い場合は、4回生前期・後期に本学で学校図書館司書教諭の科目を履修しても構いません。この場合は、教員免許取得のための「教科又は教職に関する科目／大学が独自に設定する科目」として選択することが可能です。学校図書館司書教諭については、卒業後に講習に申込みことで、1年遅れて修了証書を得ることができます。
- 本学で開設されている科目は、講習規程上の科目と表VI-F-2のとおり対応しています。科目により開講年度、履修年次が異なりますので注意してください。

表VI-F-2 学校図書館司書教諭資格取得のための科目

学校図書館司書教諭講習規程に定める科目と単位数		本学開講科目				備考
科目名	単位	科目ナンバリングコード	科目名	単位	必修	
学校経営と学校図書館	2	0230101A1	学校経営と学校図書館	2	10	資格関連科目群
学校図書館メディアの構成	2	0230102A1	学校図書館メディアの構成	2		
学習指導と学校図書館	2	0230103A1	学習指導と学校図書館	2		
読書と豊かな人間性	2	0230104A1	読書と豊かな人間性	2		
情報メディアの活用	2	0230105A1	情報メディアの活用	2		
合 計	10				10	

開講スケジュール ※令和8年3月現在

	履修年次	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
学校経営と学校図書館	1年次以上	○		○		○
学校図書館メディアの構成	1年次以上		○		○	
学習指導と学校図書館	1年次以上	○		○		○
読書と豊かな人間性	1年次以上		○		○	
情報メディアの活用	1年次以上		○		○	

3 その他の資格について

学芸員、学校図書館司書教諭資格以外にも、次のように各学部の専門科目の履修によって取得できる資格（受験資格）があります。詳細は『専門教育ガイド』を参照してください。

学部名	資 格 名	取得できる学科
文学部	社会福祉主事	全学科
	公認心理師（大学院進学後定められた科目10単位を履修、もしくは定められた施設での2年以上の実務経験が必要）	人間科学科
生活環境学部	社会福祉主事	全学科（情報環境学科生活情報通信科学コースを除く）
	管理栄養士	食物栄養学科
	栄養士	食物栄養学科
	食品衛生管理者	食物栄養学科
	食品衛生監視員	食物栄養学科
	公認心理師（大学院進学後定められた科目10単位を履修、もしくは定められた施設での2年以上の実務経験が必要）	心身健康学科
	一級建築士	住環境学科
	二級建築士	住環境学科
	木造建築士	住環境学科
	インテリアプランナー	住環境学科
工学部	二級建築士	工学科
	木造建築士	工学科

VIII 科目一覧・科目改正一覧

1	科目番号制（ナンバリング）について-----	162
2	教養教育科目一覧 -----	164
3	キャリア教育科目一覧 -----	167
4	科目改正一覧 -----	170

VIII 科目一覧・科目改正一覧

1 科目番号制（ナンバリング）について

科目番号制（ナンバリング）は、カリキュラムを体系的に理解できるように、授業科目間のつながりや科目内容の水準を表す記号・番号をつけ、カリキュラムの構造を示す仕組みです。科目番号により授業の水準（難易度）や性格、位置づけ等を明確にすることで、学士課程・大学院課程全体の中でその授業がいかなる位置にあり、どのような目的・順序で履修していけばよいのかを判断する指針となります。

科目ナンバリングコード（9桁）の凡例は下記の通りです。

0 1 2 1 0 0 1 A 1 （「奈良」女子大学入門の例）
 ① ② ③ ④ ⑤

①開設区分、②科目分類（計4桁；下1桁は各学部・専攻・講座等で独自に設定される場合があります）

0***：全学

01**：教養教育科目

011*：基礎科目群—0111：外国語 0112：日本語 0113：保健体育
0114：情報処理

012*：教養科目群—0121：入門・パサージュ群 0122：人間と文化
0123：生活と社会 0124：人間と自然
0125：グローバル教育科目
0126：連携開設科目（奈良教育大学開講科目）

02**：キャリア教育科目—021*：キャリアプラン科目群 022*：教職科目群
023*：資格関連科目群

03**：放送大学教育協力型単位互換科目

04**：奈良県内大学間単位互換科目

1***：文学部

1100：学部共通 12X*：学科共通

X=1：人文社会学科 2：言語文化学科 3：人間科学科

2***：理学部

2100：学部共通 22X0：学科共通 22XY：コース共通 ※Y=コース識別番号

X=1：数物科学科 2：化学生物環境学科

3***：生活環境学部

3100：学部共通 32X0：学科共通 32XY：コース共通※Y=コース識別番号

X=1：食物栄養学科 2：心身健康学科 3：情報衣環境学科 4：住環境学科
5：生活文化学科 6：文化情報学科

5XXY：博士前期課程、修士課程 ※Y=コース等識別番号（専攻共通は0）

XX=00：博士前期課程、修士課程共通

10：文学系共通 11：人文社会学専攻 12：言語文化学専攻 13：人間科学専攻

20：生活環境学系共通 21：食物栄養学専攻 22：心身健康学専攻

23：情報環境学専攻 24：生活工学共同専攻 25：住環境学専攻

26：生活文化学専攻 30：理学系共通 31：数物科学専攻

32：化学生物環境学専攻 33：工学専攻

6XY* : 博士後期課程 (旧課程) ※Y=講座識別番号 (専攻共通は0)

X=0 : 博士後期課程共通 1 : 比較文化学専攻 2 : 社会生活環境学専攻

3 : 共生自然科学専攻 4 : 生活工学共同専攻

7XY* : 博士後期課程 (新課程) ※Y=講座識別番号 (専攻共通は0)

X=0 : 博士後期課程共通 1 : 人文科学専攻 2 : 生活環境科学専攻

3 : 自然科学専攻 4 : 生活工学共同専攻 8*** : 工学部

8100 : 学部共通 82X* : 学科共通

X=1 : 工学科

③個別番号 (3桁)

④開講形態 (1桁)

A : 講義 B : 演習 C : 実験 D : 実習・実技 E : 複合、その他

F : 卒業論文・研究、大学院の論文指導

⑤グレード (対象学年 ; 1桁)

1 : 1回生から履修可 2 : 2回生から履修可 3 : 3回生から履修可

4 : 4回生から履修可 5 : 博士前期課程・修士課程 6 : 博士後期課程

2 教養教育科目（基礎科目群・教養科目群）一覧

区分	科目ナンバ リングコード	授 業 科 目	単位	学期	曜日	時限	備 考
基礎科目群	外国語科目	クラスー覧参照 コンプリヘンシブ・イングリッシュ	1	前・後	—	—	
		クラスー覧参照 ブラクティカル・イングリッシュ	1	前・後	—	—	
		クラスー覧参照 アカデミック・イングリッシュ	1	前・後	—	—	
		クラスー覧参照 プレゼンテーション・イングリッシュ	1	前・後	—	—	
		クラスー覧参照 ドイツ語ⅠA	1	前・後	—	—	
		クラスー覧参照 ドイツ語ⅠB	1	前・後	—	—	
		クラスー覧参照 ドイツ語ⅡA	1	前・後	—	—	
		クラスー覧参照 ドイツ語ⅡB	1	前・後	—	—	
		0111245D2 ドイツ語Ⅲ	1	前期	月	3・4	
		0111246D2 ドイツ語Ⅳ	1	後期	月	3・4	
		クラスー覧参照 フランス語ⅠA	1	前・後	—	—	
		クラスー覧参照 フランス語ⅠB	1	前・後	—	—	
		クラスー覧参照 フランス語ⅡA	1	前・後	—	—	
		クラスー覧参照 フランス語ⅡB	1	前・後	—	—	
		0111333D2 フランス語Ⅲ	1	前期	月	3・4	
		0111334D2 フランス語Ⅳ	1	後期	月	3・4	
		0111401D1 スペイン語初級Ⅰ	1	前期	水	3・4	
		0111402D1 スペイン語初級Ⅱ	1	後期	水	3・4	
		0111403D2 スペイン語中級Ⅰ	1	前期	水	1・2	
		0111404D2 スペイン語中級Ⅱ	1	後期	水	1・2	
		クラスー覧参照 中国語Ⅰ	1	前・後	—	—	
		クラスー覧参照 中国語Ⅱ	1	前・後	—	—	
		0111531D2 中国語Ⅲ	1	前期	月	7・8	
		0111532D2 中国語Ⅳ	1	後期	月	7・8	
		0111533D1 中国語検定初級Ⅰ	1	前期	水	7・8	
		0111534D1 中国語検定初級Ⅱ	1	後期	水	7・8	
		0111535D2 中国語検定中級Ⅰ	1	前期	水	9・10	
		0111536D2 中国語検定中級Ⅱ	1	後期	水	9・10	
		0111601D2 ロシア語初級Ⅰ	1	前期	水	5・6	
		0111602D2 ロシア語初級Ⅱ	1	後期	水	5・6	
		0111603D2 ロシア語中級Ⅰ	1	前期	水	7・8	
		0111604D2 ロシア語中級Ⅱ	1	後期	水	7・8	
		0111701D1 韓国語初級Ⅰ(A)	1	前期	水	5・6	
		0111702D1 韓国語初級Ⅰ(B)	1	前期	水	7・8	
		0111703D1 韓国語初級Ⅱ(A)	1	後期	水	5・6	
		0111704D1 韓国語初級Ⅱ(B)	1	後期	水	7・8	
		0111705D1 韓国語中級Ⅰ	1	前期	水	9・10	
		0111706D1 韓国語中級Ⅱ	1	後期	水	9・10	
	日本語科目	0112001E1 日本語ⅠA	1	前期	火	5・6	
		0112002E1 日本語ⅠB	1	後期	火	5・6	
		0112003E1 日本語ⅠC	1	前期	金	3・4	
		0112004E1 日本語ⅠD	1	後期	金	3・4	
		0112005E1 日本語ⅡA	1	前期	木	3・4	
		0112006E1 日本語ⅡB	1	後期	木	3・4	
		0112007E1 日本語ⅡC	1	前期	月	3・4	
		0112008E1 日本語ⅡD	1	後期	月	3・4	
		0112009E1 日本事情A	1	前期	水	7・8	
		0112010E1 日本事情B	1	後期	水	7・8	
		0112011E1 日本語FⅠ(1)	1	前期	火	7・8	
		0112012E1 日本語FⅠ(2)	1	後期	火	7・8	
		0112013E1 日本語FⅡ(1)	1	前期	火	9・10	
		0112014E1 日本語FⅡ(2)	1	後期	火	9・10	
		0112015E1 日本語FⅢ	1	前期	水	7・8	
		0112016E1 日本語FⅣ	1	後期	水	7・8	
		0112017E1 日本語 JⅠ	1	前期	木	3・4	
		0112018E1 日本語 JⅡ	1	後期	木	3・4	
	保健体育	クラスー覧参照 健康運動実習Ⅰ	1	前・後	—	—	
		クラスー覧参照 健康運動実習Ⅱ	1	前・後	—	—	
		クラスー覧参照 スポーツ実習A1～12	1	前・後	—	—	1～8、10は非開講
		クラスー覧参照 スポーツ実習B1～5	1	前・後	—	—	3～5は非開講
	処遇情報	クラスー覧参照 情報処理入門	2	前期	—	—	
		クラスー覧参照 情報処理基礎演習	1	後期	—	—	
		クラスー覧参照 スポーツ実習C1～6	1	前・後	—	—	2は非開講

教養科目群	大学生活入門・ 諸学への誘い・ パスージュ	0121001A1	「奈良」女子大学入門	2	前期	水	5・6	高年次教養科目※1
		0121002A1	考える力をみがく	2	前期	火	3・4	
		0121003A3	これからの社会で生きるために	1	後期集中	—	—	
		0121004A1	諸学への誘い	1	前期集中	—	—	
		クラス一覧参照	パスージュ	1	前期	—	—	
	人間と文化	0122001A1	アジア学入門	2	前期	火	5・6	連携開設科目※2
		0122002A1	アラビアの言語と文化	2	後期	火	5・6	
		0122003A1	ベトナムの言語と文化	2				
		0122004A1	哲学の歴史	2	後期	火	9・10	
		0122005A1	現代の倫理	2	前期	月	3・4	
		0122006A1	現代宗教学への招待	2	前期	木	7・8	
		0122007A1	心の科学への招待	2	前期	水	7・8	
		0122008A1	社会と文化の心理学	2	後期	金	3・4	
		0122009A1	歴史学	2	前期	火	5・6	
		0122010A1	日本の言語と文学	2	前期	木	7・8	
		0122011A1	ことばのしくみ	2		火	7・8	
		0122012A1	ことばと文化	2				
		0122013A1	西洋の言語と文化	2	後期	金	7・8	
		0122014A1	日本の美と芸術	2	前期	月	5・6	
		0122015A1	西洋の美と芸術	2	後期	月	5・6	
	人間と文化	0122016A1	音楽概説	2	後期	月	1・2	連携開設科目※2
		0122017A1	地域の人と暮らし	2		木	5・6	
		0122018A1	人類史	2				
		0122019A1	考古科学ゼミ	2				
		0122020A3	古典を読むA	2	後期	木	7・8	
	生活と社会	0122022A1	環太平洋くろしお文化論	2	後期	木	1・2	高年次教養科目※1令和6年度以前入学生用
		0122023A1	自然環境の地理学	2	後期	木	7・8	
		0123001A1	日本国憲法(A)	2	前期	水	3・4	
		0123002A1	日本国憲法(B)	2	後期	木	3・4	
		0123003A1	人権と差別	2	後期	水	3・4	
	人間と自然	0123004A1	ジェンダー論入門	2	前期	金	9・10	高年次教養科目※1 令和6年度以前入学生用
		0123006A1	社会学	2	後期	木	7・8	
		0123007A1	法律学	2	前期	金	7・8	
		0123008A1	政治学	2	前期			
		0123009A1	国際関係論	2	後期	月	5・6	
		0123010A1	経済学	2	前期	火	3・4	
		0123011A1	統計学	2	前期			
		0123012A1	女性リーダー論	2	前期			
		0123013A1	奈良を知る	1	後期集中	—	—	
		0123014A1	インクルーシブってなに？	2	後期	水	5・6	
		0123015A1	ヨーロッパ学入門	2	前期	水	5・6	
		0123016A1	国際機構論入門	2	後期	水	5・6	
		0124001A1	いのちと健康	2	前期	月	3・4	高年次教養科目※1 令和6年度以前入学生用
		0124002A1	生活と健康	2	後期	月	3・4	
		0124003A1	共生科学	2	後期	月	1・2	
		0124007A1	数学入門	2	前期	月	7・8	
		0124008A1	生活の中の物理学	2	後期	月	3・4	
		0124009A1	化学の常識	2	後期	火	5・6	
		0124010A1	環境と生物	2	後期	水	3・4	
		0124011A3	教養としての化学数学	1	前期(前)	月	5・6	
		0124012A1	ジェンダー生理学	2	前期	火	7・8	
		0124013A1	固体地球環境学入門	2	後期	水	9・10	
		0124014A1	科学史	2	後期	金	3・4	
		0124015A1	生活と色彩	2	前期	水	3・4	
		0124016A1	健康・スポーツ科学	2	後期	木	7・8	
		0124017A1	人体科学	2	後期	月	3・4	
	グローバル教育科目	0124018A1	ベーシックサイエンスⅠ	2		月	3・4	留学生用
		0124019A1	ベーシックサイエンスⅡ	2	前期	月	3・4	
		0125001A1	日本文化と地域社会A	3	前期集中	—	—	
		0125002A1	日本文化と地域社会B	3	前期集中	—	—	
		0125003E1	日本文化と地域社会C(1)	1	前期不定期	—	—	
		0125004E1	日本文化と地域社会C(2)	1	後期不定期	—	—	
		0125005E1	日本文化と地域社会D(1)	2	前期不定期	—	—	
		0125006E1	日本文化と地域社会D(2)	2	後期不定期	—	—	
		0125007E1	Modern Japanese Literature and Media A	2	前期	火	3・4	
		0125008E1	Modern Japanese Literature and Media B	2	後期	火	3・4	
		0125009E1	Japanese Culture and History A	2	前期	水	3・4	
		0125010E1	Japanese Culture and History B	2	後期	水	3・4	
		0125011E1	Contemporary Japanese Society A	2	前期	金	7・8	
		0125012E1	Contemporary Japanese Society B	2	後期	金	7・8	
		0125013E1	Japanese Culture and Society from a global pe	2	前期	月	7・8	
		0125014E1	Japanese Culture and Society from a global pe	2	後期	月	7・8	
		0125017E1	Global Studies and Communication A	2	前期	火	5・6	留学生用
		0125018E1	Global Studies and Communication B	2	後期	火	5・6	
		0125019E1	国際キャンパス奈良への招待A	2	前期	水	5・6	
		0125020E1	国際キャンパス奈良への招待B	2	後期	水	5・6	

連 携 開 設 科 目 ※ 3	0126001A1	フィールドワークで地域に学ぶ	2	前期	火	1・2	
	0126002A1	国際・異文化間理解（海外体験プログラムへの誘い）	2	後期	金	9・10	
	0126003A1	多文化・人権フィールドワーク	2	前期	木	9・10	
	0126004A1	外国人児童生徒等のための日本語教育の基礎	2	前期	金	1・2	
	0126005A1	運動と健康	2	後期	水	3・4	
	0126006A1	E S D と気候変動	2	後期	木	5・6	
	0126007A1	E S D と世界遺産	2	後期	木	9・10	
	0126008A1	仮名書道と実用書	2	前期	火	5・6	
	0126009A1	キャリアとアントレプレナーシップ	2	前期	月	1・2	
	0126010A1	国際文化交流史	2	前期	火	7・8	
	0126011A1	グローバル・シティズンシップ学習論Ⅰ	2	前期集中	—	—	
	0126012A1	海外体験プログラム（東南アジア）	2	前期集中	—	—	
	0126013A1	教職へのキャリアデザイン	2	後期	月	3・4	
	0126014A1	教職へのキャリアデザイン	2	後期	月	3・4	
	0126015A1	教師力ケースメソッド	2	後期	火	3・4	
	0126016A1	山間地教育入門	2	後期集中	—	—	
	0126017A1	国際協力のセカイをめぐる	2	後期集中	—	—	
	0126018A1	グローバル・シティズンシップ学習論Ⅱ	2	後期集中	—	—	
	0126019A1	科学技術の歴史と身の回りの物質	2	前期	火	1・2	
	0126020A1	E S D と防災	2	前期	木	3・4	
	0126021A1	考古学と自然科学	2	前期	木	9・10	
	0126022A1	サバイバルロジカルシンキング	2	前期	金	3・4	
	0126023A1	Excel VBAのプログラミング：教育用ゲームを作る	2	後期	火	3・4	
	0126024A1	足元の多文化化・国際化	2	後期	木	9・10	

※1…高年次（3・4年生）で履修する教養科目（p78参照）

※2…本学開講科目のうち奈良教育大学の学生も履修可能である科目（奈良教育大学の学生はオンラインで受講）

※3…奈良教育大学開講科目のうち本学学生も履修可能である科目（p89参照）

3 キャリア教育科目(キャリアプラン科目群・教職科目群・資格関連科目群)一覧

区分	科目ナンバリングコード	授 業 科 目	単位	免許	学期	曜日	時限	備 考
キャリア 科目 群 プ ラ ン	0210001A1	現代社会と職業―大学での学びと私の仕事A	1	—	前期	火	9・10	
	0210002A1	現代社会と職業―大学での学びと私の仕事B	1	—	後期	月	9・10	
	0210003B1	異文化理解と平和構築(ニュージーランド [※] 研修)	1	—	後期集中	—	—	
	クラス一覧参照	キャリアデザイン・ゼミナールA	1	—	前・後			
	クラス一覧参照	キャリアデザイン・ゼミナールB	1	—	前・後			
	クラス一覧参照	キャリアデザイン・ゼミナールC	1	—	前・後			
	0210039D2	実践型キャリア教育プログラムⅠ	1	—	不定期	—	—	非開講
教 職 科 目 群	0210040D3	実践型キャリア教育プログラムⅡ	1	—	不定期			
	0220001E1	教職論(A)	2	全	前期	月	9・10	
	0220002E1	教職論(B)	2	全	後期	水	3・4	
	0220003E2	教育原理(A)	2	全	後期集中	—	—	
	0220004E2	教育原理(B)	2	全	後期	火	1・2	
	0220005A2	教育社会学(A)	2	全	前期	木	1・2	
	0220006A2	教育社会学(B)	2	全	前期	金	3・4	
	0220007A2	教育心理学(A)	2	全	前期	火	9・10	
	0220008A2	教育心理学(B)	2	全	前期集中	その他	その他	
	0220009A2	特別支援論	1	全	前期集中	—	—	
	0220010A2	教育課程論(A)	1	全	前期前半	金	7・8	
	0220011A2	教育課程論(B)	1	全	前期集中	—	—	
	0220012A2	特別活動論(道徳、総合的な学習の時間に関する内容を含む。)(A)	1	高中小栄教	前期後半	金	7・8	
	0220013A2	特別活動論(道徳、総合的な学習の時間に関する内容を含む。)(B)	1	高中小栄教	後期集中	—	—	
	0220014A2	教育方法の理論と実践(情報通信技術の活用を含む。)	2	全	前期	木	9・10	
	0220015A2	視聴覚教育法	2	(高)中	後期集中	—	—	令和4年度以前入学生用
	0220016A2	道徳教育の理論と実践(A)	2	(高)中小	前期集中	—	—	
	0220017A2	道徳教育の理論と実践(B)	2	(高)中小	前期集中	—	—	
	0220018A2	総合的な学習の時間の理論と実践	1	高中小	前期集中	—	—	
	0220019A2	中等教科教育法国語Ⅰ	2	高中	前期	木	5・6	
	0220020A2	中等教科教育法国語Ⅱ	2	中	前期	木	7・8	
	0220021A2	中等教科教育法国語Ⅲ	2	高中	後期	水	9・10	
	0220022A2	中等教科教育法国語Ⅳ	2	中	前期	水	9・10	
	0220023A2	中等教科教育法英語Ⅰ	2	高中	前期	金	3・4	
	0220024A2	中等教科教育法英語Ⅱ	2	高中	後期	金	3・4	
	0220025A2	中等教科教育法英語Ⅲ	2	高中	前期	月	9・10	
	0220026A2	中等教科教育法英語Ⅳ	2	高中	後期	月	9・10	
	0220027A2	中等教科教育法社会Ⅰ(地歴分野)	2	高中	前期集中	—	—	
	0220028A2	中等教科教育法社会Ⅱ(公民分野)	2	高中	前期	月	7・8	
	0220029A2	中等教科教育法社会Ⅲ(地歴分野)	2	高中	前期	金	9・10	
	0220030A2	中等教科教育法社会Ⅳ(公民分野)	2	高中	前期	月	9・10	
	0220031A2	書道科教育法Ⅰ	2	高	前期	火	5・6	
	0220032A2	書道科教育法Ⅱ	2	高	後期	火	5・6	
	0220033A2	中等教科教育法数学Ⅰ	2	高中	前期集中	—	—	
	0220034A2	中等教科教育法数学Ⅱ	2	中	後期集中	—	—	
	0220035A2	中等教科教育法数学Ⅲ	2	高中	前期	月	9・10	
	0220036A2	中等教科教育法数学Ⅳ	2	中	後期	月	9・10	
	0220037A2	中等教科教育法理科Ⅰ	2	高中	前期	金	9・10	
	0220038A2	中等教科教育法理科Ⅱ	2	中	後期集中	—	—	
	0220039A2	中等教科教育法理科Ⅲ	2	高中	前期集中	—	—	
	0220040A2	中等教科教育法理科Ⅳ	2	中	後期	火	9・10	
	0220041A2	情報科教育法Ⅰ	2	高	前期	木	3・4	
	0220042A2	情報科教育法Ⅱ	2	高	後期	木	3・4	
	0220043A2	中等教科教育法家庭Ⅰ	2	高中	前期集中	—	—	
	0220044A2	中等教科教育法家庭Ⅱ	2	中	前期集中	—	—	
	0220045A2	中等教科教育法家庭Ⅲ	2	高中	前期集中	—	—	
	0220046A2	中等教科教育法家庭Ⅳ	2	中	後期集中	—	—	
	0220047A2	中等教科教育法保健Ⅰ	2	高中	前期集中	—	—	
	0220048A2	中等教科教育法保健Ⅱ	2	中	後期集中	—	—	
	0220049A2	中等教科教育法体育Ⅰ	2	高中	前期	水	1・2	
	0220050A2	中等教科教育法体育Ⅱ	2	中	後期	火	5・6	

「各教科の指導法」に関する科目(高等学校・中学校)については、必ず教職科目群に関するページを確認してください。

教 職 科 目 群			0220051A2	初等教科教育法 国語	2	小	前期	水	7・8			
			0220052A2	初等教科教育法 社会	2	小	後期集中	—	—			
			0220053A2	初等教科教育法 算数	2	小	前期集中	—	—			
			0220054A2	初等教科教育法 理科	2	小	前期	水	9・10			
			0220055A2	初等教科教育法 生活	2	小	前期	月	9・10			
			0220056A2	初等教科教育法 音楽	2	小	後期	木	7・8			
			0220057A2	初等教科教育法 図画工作	2	小	前期集中	—	—			
			0220058A2	初等教科教育法 家庭	2	小	前期	火	7・8			
			0220059A2	初等教科教育法 体育	2	小	前期集中	—	—			
			0220060A2	初等教科教育法 英語	2	小	前期	木	7・8			
			0220061A2	保育内容指導法(総論)	2	幼	後期	金	5・6			
			0220062A2	保育内容指導法(健康)	2	幼	後期集中	—	—			
			0220063A2	保育内容指導法(人間関係)	2	幼	前期	水	5・6			
			0220064E2	保育内容指導法(環境)	2	幼	前期	月	5・6			
			0220065A2	保育内容指導法(言葉)	2	幼	後期	水	5・6			
			0220066A2	保育内容指導法(表現・音楽分野)	1	幼	前期	火	5・6			
			0220067A2	保育内容指導法(表現・造形分野)	1	幼	前期集中	—	—			
			0220068A2	生徒指導・進路指導論(A)	2	高中小栄教	前期	火	9・10			
			0220069A2	生徒指導・進路指導論(B)	2	高中小栄教	後期	木	7・8			
			0220070A2	教育相談(A)	2	全	前期	月	1・2			
			0220071A2	教育相談(B)	2	全	後期	木	1・2			
			0220072A2	幼児理解の理論と方法	1	幼	前期集中	—	—			
			0220073D4	教育実習Ⅰ(中・高)	2	高中	不定期	—	—			
			0220074D3	教育実習Ⅱ(中・高)	2	中	不定期	—	—			
			0220075D4	事前・事後指導(中・高)	1	高中	不定期	—	—			
			0220076D4	教育実習Ⅰ(小・中)	2	小中	不定期	—	—			
			0220077D3	教育実習Ⅱ(小・中)	2	小中	不定期	—	—			
			0220078D4	事前・事後指導(小・中)	1	小中	不定期	—	—			
			0220079D4	栄養教育実習	1	栄教	不定期	—	—			
			0220080D3	事前・事後指導(栄養教育実習)	1	栄教	不定期	—	—			
			0220081B4	教職実践演習(中・高)	2	高中	後期集中	—	—			
			0220082B4	教職実践演習(栄養)	2	栄教	後期集中	—	—			
資格 関連科目群	資格取得のための科目	学芸員 資格取得のための科目	必修科目	0230001E1	博物館概論	2	—	前期集中	—	1回生以上対象科目		
				0230002E1	博物館教育論	2	—	前期集中	—	1回生以上対象科目		
				0230003E2	博物館資料論	2	—	前期	火	7・8		
				0230004E2	博物館資料保存論	2	—	後期	水	3・4		
				0230005E2	博物館展示論	2	—	後期集中	—	2回生以上対象科目		
				0230006E2	博物館経営論	2	—	後期集中	—	2回生以上対象科目		
				0230007E2	博物館情報・メディア論	2	—	後期集中	—	2回生以上対象科目		
				1237560A1	社会教育論	2	—	前期	月	1・2		
				0230008D3	博物館実習Ⅰ	1	—	不定期	—	文学部専門科目		
				0230009D3	博物館実習Ⅱ	1	—	前期集中	—	3回生以上対象科目		
				0230010D4	博物館実習Ⅲ	1	—	不定期	—	3回生以上対象科目		
		関連科目		文化史・美術史・考古学・民俗学・自然科学史・物理・化学・生物学・地学の分野から 2科目以上(各1単位以上)								
		学校図書 館司書教諭 資格取得のための科目		0230101A1	学校経営と学校図書館	2	司書教諭	前期	木	9・10	1回生以上対象科目 偶数年開講	
				0230102A1	学校図書館メディアの構成						1回生以上対象科目 奇数年開講	
				0230103A1	学習指導と学校図書館	2	司書教諭	前期集中	—	—	1回生以上対象科目 偶数年開講	
				0230104A1	読書と豊かな人間性						1回生以上対象科目 奇数年開講	
				0230105A1	情報メディアの活用						1回生以上対象科目 奇数年開講	

■高年次教養科目一覧

分類	科目 ナンバ・リンク・コード	授 業 科 目	単位	学期	曜日	時限	備 考
高年次教養科目	0121003A3	これからの社会で生きるために	1	後期集中	—	—	
	0122020A3	古典を読むA	2	後期	木	7・8	
		古典を読むB	2				非開講
		数理・データサイエンス・AI	1				非開講 令和5年度まで
		社会に出るまでに知っておきたい科学Ⅰ	1				非開講 令和4年度まで
		社会に出るまでに知っておきたい科学Ⅱ	1				非開講 令和3年度まで
	0124004A3	社会に出るまでに知っておきたい科学Ⅰ (A)	1	前期前半	木	7・8	
	0124005A3	社会に出るまでに知っておきたい科学Ⅰ (B)	1	前期後半	木	7・8	
		科学の言語としての数学	2				非開講 令和4年度まで
		教養としての自然科学A	1				非開講 令和6年度まで
		教養としての自然科学B	1				非開講 令和6年度まで
	0124011A3	教養としての化学数学	1	前期前半	月	5・6	

※高年次(3、4 年)に履修することを指定する教養教育科目(令和6年度以前入学生は1単位以上必修)

■放送大学単位互換科目一覧

区分	科目 ナンバ・リンク・コード	授 業 科 目	単位	学期	曜日	時限	備 考
放送大学単位互換科目	0300001A1	社会調査の基礎	2	前期集中	—	—	
	0300002A1	舞台芸術の世界	2	前期集中	—	—	
	0300003A1	市民生活と裁判	2	前期集中	—	—	
	0300005A1	環境を可視化する技術と応用	2	後期集中	—	—	
	0300006A1	情報社会のユニバーサルデザイン	2	後期集中	—	—	
	0300007A1	金融と社会	2	後期集中	—	—	
	0300008A1	情報社会と国際ボランティア活動	2	前期集中	—	—	
	0300009A1	レジリエンスの科学	2	前期集中	—	—	
	0300010A1	太陽と太陽系の科学	2	後期集中	—	—	
	0300011A1	人間・環境情報とDX	2	前期集中	—	—	

※放送大学単位互換科目の履修方法は「単位互換制度(1)放送大学教育協力型単位互換科目について」参照

■パサージュテーマ一覧

クラス	科目 ナンバ・リンク・コード	テーマ	単位	学期	曜日	時限	担当教員
(39A)	0121005A1	十津川村に行こう！― 山間地域の暮らしを知る	1	前期前半	火	9・10	西村雄一郎・浅田晴久
(68A)	0121006A1	漢文を読もう―中国古典入門	1	前期前半	水	3・4	大平幸代
(76A)	0121007A1	万葉歌碑・史跡を歩く	1	前期前半	木	3・4	宮路淳子
(76B)	0121008A1	万葉歌碑・史跡を歩く	1	前期後半	木	3・4	宮路淳子
(17B)	0121009A1	電子の振る舞いから考える分子の形	1	前期後半	木	1・2	中島隆行・高島弘
(23B)	0121010A1	微生物と野菜と私たちの暮らし	1	前期後半	金	7・8	酒井敦
(65A)	0121011A1	あなたを知る比較生物学～生物を比べてわかること～	1	前期前半	水	1・2	堀沙耶香
(51B)	0121012A1	食べる栄養生理学	1	前期後半	水	7・8	吉本光佐
(72B)	0121013A1	建築をデザインする	1	前期後半	木	1・2	加藤亜矢子
(74B)	0121014A1	開発経済学入門	1	前期後半	木	5・6	安橋正人
(75A)	0121015A1	コンピュータで「視る」	1	前期前半	火	3・4	Meng-Yu Jennifer Kuo
(75B)	0121016A1	コンピュータで「視る」	1	前期後半	火	3・4	Meng-Yu Jennifer Kuo
(27A)	0121017A1	「触り心地」で広がる世界	1	前期前半	金	3・4	佐藤克成
(27B)	0121018A1	「触り心地」で広がる世界	1	前期後半	金	3・4	佐藤克成
(77A)	0121019A1	コスメの工学：つながりでわかる化粧品・コスメの機能	1	前期前半	木	9・10	大背戸豊

4 科目改正一覧

【全学共通科目 令和3年度改正】

区分			改 正 前			改 正 後			改正の要点	令和2年度以前 入学者に対する 経過措置
			授業科目	週時数 開講期	単位 数	授業科目	週時数 開講期	単位 数		
教養教育科目	基礎 科目群	外国語科目 英語	アドバンスト・イングリッシュAⅠ	2・半期	2	—	—	—	廃止	
			アドバンスト・イングリッシュBⅠ	2・半期	2	—	—	—	廃止	
			アドバンスト・イングリッシュAⅡ	2・半期	2	—	—	—	廃止	
			アドバンスト・イングリッシュBⅡ	2・半期	2	—	—	—	廃止	
	教養 科目群	人間と文化	古典を読むⅠ	2・半期	2	古典を読むA	2・半期	2	科目名変更	履修不可
			古典を読むⅡ	2・半期	2	古典を読むB	2・半期	2	科目名変更	履修不可
		生活と社会	—	—	—	奈良を知る	集中・半期	1	新設	令和3年度開講・履修可
			—	—	—	—	—	—	—	—
		人間と自然	社会に出るまでに知っておきたい科学 — 物語としての科学 —	2・半期	2	—	—	—	廃止	
			—	—	—	社会に出るまでに知っておきたい科学Ⅰ	1・半期	1	新設	令和3年度開講・履修可
			—	—	—	社会に出るまでに知っておきたい科学Ⅱ	不定期	1	新設	令和3年度開講・履修可
			—	—	—	教養としての化学数学	1・半期	1	新設	令和3年度開講・履修可
		グローバル 教育科目	地球環境	2・半期	2	固体地球環境学入門	2・半期	2	科目名変更	履修不可
			—	—	—	日本文化と地域社会C	不定期	2	新設	令和3年度開講・履修可
			—	—	—	日本文化と地域社会D	不定期	2	新設	令和3年度開講・履修可
キャリア 教育科目	キャリアアブラ ン科目群	インターンシップ3	不定期	1	—	—	—	廃止		

【全学共通科目 令和4年度改正】

区分			改 正 前			改 正 後			改正の要点	令和3年度以前 入学者に対する 経過措置
			授業科目	週時数 開講期	単位 数	授業科目	週時数 開講期	単位 数		
教養教育科目	基礎 科目群	日本語科目	—	—	—	日本語FⅢ	集中・半期	1	新設	令和4年度開講・履修可
			—	—	—	日本語FⅣ	集中・半期	1	新設	令和4年度開講・履修可
		大学生生活入門 ・バサージュ	—	—	—	諸学への誘い	集中・半期	1	新設	令和4年度開講・履修可
			—	—	—	—	—	—	—	—
	教養 科目群	人間と文化	心の進化と発達	2・半期	2	—	—	—	廃止	
			—	—	—	社会と文化の心理学	2・半期	2	新設	令和4年度開講・履修可
			シルクロードと古代日本	2・半期	2	—	—	—	廃止	
			放射線の科学と思想	2・半期	2	—	—	—	廃止	
		生活と社会	日本とヨーロッパ	2・半期	2	—	—	—	廃止	
			ジェンダーから見た人間と社会	2・半期	2	—	—	—	廃止	
		人間と自然	—	—	—	数理・データサイエンス・AI	集中・半期	1	新設	令和4年度開講・履修可
			社会に出るまでに知って おきたい科学Ⅱ	2・半期	2	教養としての自然科学A/B	不定期・ 前期/後期	1	科目名変更	新科目名・番号で履修 登録
		グローバル 教育科目	—	—	—	人体科学	2・半期	2	新設	令和4年度開講・履修可
			日本文化と地域社会C	不定期	2	日本文化と地域社会C(1)	不定期	2	科目名変更	新科目名・番号で履修登録
			日本文化と地域社会D	不定期	2	日本文化と地域社会D(1)	不定期	2	科目名変更	新科目名・番号で履修登録
			—	—	—	日本文化と地域社会C(2)	不定期	2	新設	令和4年度開講・履修可
キャリア 教育科目	キャリアア ブランチ 科目群	教職 科目群	インターンシップ1	不定期	1	—	—	—	廃止	
			インターンシップ2	不定期	1	インターンシップⅠ	不定期	1	科目名変更	新科目名・番号で履修登録
	教職 科目群	教職 科目群	教育方法の理論と実践	2・半期	2	教育方法の理論と実践(情報通信技術 の活用を含む。)	2・半期	2	科目名変更	新科目名・番号で履修登録
			初等教育方法論	2・半期	2	初等教育方法論(情報通信技術の活用 を含む。)	2・半期	2	科目名変更	新科目名・番号で履修登録

【全学共通科目 令和5年度改正】

区分			改 正 前			改 正 後			改正の要点	令和4年度以前 入学者に対する 経過措置
			授業科目	週時数 開講期	単位 数	授業科目	週時数 開講期	単位 数		
教養教育 科目	教養 科目群	人間と文化	部落史と部落問題	2・半期	2	—	—	—	廃止	
		生活と社会	文化と民族	2・半期	2	—	—	—	廃止	
		人間と自然	女性リーダーシップ演習	2・半期	2	—	—	—	廃止	
			科学の言語としての数学	2・半期	2	—	—	—	廃止	
キャリア 教育科目	教職 科目群	教職 科目群	生命・運動・健康	2・半期	2	—	—	—	廃止	
			教職論(幼小)	2・半期	2	教職論	2・半期	2	科目統合	改正後の科目で履修登録
			教育原理(幼小)	2・半期	2	教育原理	2・半期	2	科目統合	改正後の科目で履修登録
			教育社会学(幼小)	2・半期	2	教育社会学	2・半期	2	科目統合	改正後の科目で履修登録
			教育心理学(幼小)	2・半期	2	教育心理学	2・半期	2	科目統合	改正後の科目で履修登録
			教育課程論(幼小)	2・4半期	1	教育課程論	2・4半期	1	科目統合	改正後の科目で履修登録
			特別活動論(幼小)	2・4半期	1	特別活動論	2・4半期	1	科目統合	改正後の科目で履修登録
			道徳教育の研究(A)	2・半期	2	—	—	—	廃止	
			道徳教育の研究(B)	2・半期	2	—	—	—	廃止	
			道徳教育の研究(幼小)	2・半期	2	道徳教育の研究	2・半期	2	科目統合	改正後の科目で履修登録
			道徳教育の理論と実践(幼小)	2・半期	2	道徳教育の理論と実践	2・半期	2	科目統合	改正後の科目で履修登録
			地理歴史科教育法	2・半期	2	—	—	—	廃止	
			公民科教育法	2・半期	2	—	—	—	廃止	
			中等教科教育法社会(地歴分野)	2・半期	2	—	—	—	廃止	
			中等教科教育法社会(公民分野)	2・半期	2	—	—	—	廃止	
			中等社会科教材内容論(地歴分野)	2・半期	2	—	—	—	廃止	
			中等社会科教材内容論(公民分野)	2・半期	2	—	—	—	廃止	
			中等教科教育法数学 A	2・半期	2	—	—	—	廃止	
			中等教科教育法数学 B	2・半期	2	—	—	—	廃止	
			中等数学科教材内容論 A	2・半期	2	—	—	—	廃止	
			中等数学科教材内容論 B	2・半期	2	—	—	—	廃止	
			中等教科教育法理科 A	2・半期	2	—	—	—	廃止	
			中等教科教育法理科 B	2・半期	2	—	—	—	廃止	
			中等理科教材内容論 A	2・半期	2	—	—	—	廃止	
			中等理科教材内容論 B	2・半期	2	—	—	—	廃止	
			情報科教育法 A	2・半期	2	—	—	—	廃止	
			情報科教育法 B	2・半期	2	—	—	—	廃止	
			中等教科教育法家庭A	2・半期	1	—	—	—	廃止	
			中等教科教育法家庭B	2・半期	1	—	—	—	廃止	
			中等家庭科教材内容論A	2・半期	1	—	—	—	廃止	
			中等家庭科教材内容論B	2・半期	1	—	—	—	廃止	
			中等教科教育法保健体育A	2・半期	2	—	—	—	廃止	
			中等教科教育法保健体育B	2・半期	2	—	—	—	廃止	
			生徒指導・進路指導論(小)	2・半期	2	生徒指導・進路指導論	2・半期	2	科目統合	改正後の科目で履修登録
			教育相談(幼小)	2・半期	2	教育相談	2・半期	2	科目統合	改正後の科目で履修登録

【全学共通科目 令和6年度改正】

区分			改 正 前			改 正 後			改正の要点	令和5年度以前 入学者に対する 経過措置
			授業科目	週時数 開講期	単位 数	授業科目	週時数 開講期	単位 数		
教養教育 科目	教養 科目群	生活と社会	—	—	—	インクルーシブってなに？	2・半期	—	新設	令和6年度開講・履修可
			数理・データサイエンス・AI	集中・半期	1	—	—	—	廃止	—
キャリア 教育科目	キャリアプラン 科目群	—	—	—	—	専門職論	2・半期	1	新設	令和6年度開講・履修可
			インターンシップⅠ	不定期	1	—	—	—	—	—
キャリア 教育科目	教職科目群	—	—	—	—	実践型キャリア教育プログラムⅠ	不定期	1	新設	令和6年度開講・履修可
			—	—	—	実践型キャリア教育プログラムⅡ	不定期	1	新設	令和6年度開講・履修可
			—	—	—	初等教科教育法 国語	2・半期	2	新設	令和6年度開講・履修可
			—	—	—	初等教科教育法 社会	集中・半期	2	新設	令和6年度開講・履修可
			—	—	—	初等教科教育法 算数	集中・半期	2	新設	令和6年度開講・履修可
			—	—	—	初等教科教育法 理科	2・半期	2	新設	令和6年度開講・履修可
			—	—	—	初等教科教育法 生活	2・半期	2	新設	令和6年度開講・履修可
			—	—	—	初等教科教育法 音楽	2・半期	2	新設	令和6年度開講・履修可
			—	—	—	初等教科教育法 図画工作	集中・半期	2	新設	令和6年度開講・履修可
			—	—	—	初等教科教育法 家庭	2・半期	2	新設	令和6年度開講・履修可
			—	—	—	初等教科教育法 体育	集中・半期	2	新設	令和6年度開講・履修可
			—	—	—	初等教科教育法 英語	2・半期	2	新設	令和6年度開講・履修可
			—	—	—	保育内容指導法(総論)	2・半期	2	新設	令和6年度開講・履修可
			—	—	—	保育内容指導法(健康)	2・半期	2	新設	令和6年度開講・履修可
			—	—	—	保育内容指導法(人間関係)	2・半期	2	新設	令和6年度開講・履修可
			—	—	—	保育内容指導法(環境)	2・半期	2	新設	令和6年度開講・履修可
			—	—	—	保育内容指導法(言葉)	2・半期	2	新設	令和6年度開講・履修可
			—	—	—	保育内容指導法(表現・音楽分野)	2・半期	1	新設	令和6年度開講・履修可
			—	—	—	保育内容指導法(表現・造形分野)	2・半期	1	新設	令和6年度開講・履修可
			—	—	—	幼児理解の理論と方法	集中・半期	1	新設	令和6年度開講・履修可
			—	—	—	教育実習Ⅰ(小・中)	不定期	2	新設	令和6年度開講・履修可
			—	—	—	教育実習Ⅱ(小・中)	不定期	2	新設	令和6年度開講・履修可
			—	—	—	事前・事後指導(小・中)	不定期	1	新設	令和6年度開講・履修可

【全学共通科目 令和7年度改正】

区分			改 正 前			改 正 後			改正の要点	令和6年度以前 入学者に対する 経過措置
			授業科目	週時数 開講期	単位 数	授業科目	週時数 開講期	単位 数		
教養教育 科目	教養 科目群	情報処理 科目	情報処理入門Ⅰ	2・半期	2	情報処理入門	2・半期	2	科目名変更	新科目名・番号で履修登録
			情報処理入門Ⅱ	2・半期	2	—	—	—	廃止	—
			情報基礎	2・半期	2	—	—	—	廃止	—
		人間と文化	古典を読むB	2・半期	2	—	—	—	廃止	—
			奈良と教育—ここはどこ？私は誰？—	2・半期	2	—	—	—	廃止	—
		生活と社会	なら学+(プラス)	2・半期	2	—	—	—	廃止	—
			—	—	—	ヨーロッパ学入門	2・半期	2	新設	令和7年度開講・履修可
		人間と自然	—	—	—	国際機構入門	2・半期	2	新設	令和7年度開講・履修可
			社会に出るまでに知っておきたい科学Ⅰ	2・半期	1	—	—	—	廃止	—
			教養としての自然科学A	2・半期	1	—	—	—	廃止	—
			教養としての自然科学B	2・半期	1	—	—	—	廃止	—
		グローバル 教育科目	—	—	—	国際キャンパス奈良への招待A	2・半期	2	新設	令和7年度開講・履修可
			—	—	—	国際キャンパス奈良への招待B	2・半期	2	新設	令和7年度開講・履修可
キャリア 教育科目	キャリアプラン 科目群	—	専門職論(文学部)	2・半期	1	—	—	—	廃止	—
			専門職論(理学部)	2・半期	1	—	—	—	廃止	—
			専門職論(生活環境学部)	2・半期	1	—	—	—	廃止	—
			専門職論	2・半期	1	大学での学びと私の仕事	2・半期	1	科目名変更	新科目名・番号で履修登録
教養教育 科目	教養 科目群	—	異文化理解と平和構築(ニュージーランド研修)	2・半期	2	異文化理解と平和構築(ニュージーランド研修)	2・半期	1	単位数変更	再度履修不可
			特別活動論	2・半期	1	—	—	—	廃止	—
			※平成30年度以前入学者用	—	—	—	—	—	—	—
			中等教科教育法 国語 A	2・半期	2	—	—	—	廃止	—
			※平成30年度以前入学者用	—	—	—	—	—	—	—
			中等教科教育法 国語 B	2・半期	2	—	—	—	廃止	—
			※平成30年度以前入学者用	—	—	—	—	—	—	—
			中等国語科教材内容論 A	2・半期	2	—	—	—	廃止	—
			※平成30年度以前入学者用	—	—	—	—	—	—	—
			中等国語科教材内容論 B	2・半期	2	—	—	—	廃止	—
			※平成30年度以前入学者用	—	—	—	—	—	—	—
			中等教科教育法英語 A	2・半期	2	—	—	—	廃止	—
			※平成30年度以前入学者用	—	—	—	—	—	—	—
			中等教科教育法英語 B	2・半期	2	—	—	—	廃止	—
			※平成30年度以前入学者用	—	—	—	—	—	—	—
			中等英語科教材内容論 A	2・半期	2	—	—	—	廃止	—
			※平成30年度以前入学者用	—	—	—	—	—	—	—
			中等英語科教材内容論 B	2・半期	2	—	—	—	廃止	—
			※平成30年度以前入学者用	—	—	—	—	—	—	—
			書道科教育法 A	2・半期	2	—	—	—	廃止	—
			※平成30年度以前入学者用	—	—	—	—	—	—	—
			書道科教育法 B	2・半期	2	—	—	—	廃止	—
			※平成30年度以前入学者用	—	—	—	—	—	—	—
			初等教科教育法 国語	2・半期	1	—	—	—	廃止	—
			※平成30年度以前入学者用	—	—	—	—	—	—	—
			初等教科教育法 社会	2・半期	1	—	—	—	廃止	—
			※平成30年度以前入学者用	—	—	—	—	—	—	—
			初等教科教育法 算数	集中・半期	1	—	—	—	廃止	—
			※平成30年度以前入学者用	—	—	—	—	—	—	—
			初等教科教育法 理科	2・半期	1	—	—	—	廃止	—
			※平成30年度以前入学者用	—	—	—	—	—	—	—
			初等教科教育法 生活	2・半期	1	—	—	—	廃止	—
			※平成30年度以前入学者用	—	—	—	—	—	—	—
			初等教科教育法 音楽	2・半期	1	—	—	—	廃止	—
			※平成30年度以前入学者用	—	—	—	—	—	—	—
			初等教科教育法 図画工作	集中・半期	1	—	—	—	廃止	—
			※平成30年度以前入学者用	—	—	—	—	—	—	—
			初等教科教育法 体育	集中・半期	1	—	—	—	廃止	—
			※平成30年度以前入学者用	—	—	—	—	—	—	—
			初等教科教育法 家庭	2・半期	1	—	—	—	廃止	—
			※平成30年度以前入学者用	—	—	—	—	—	—	—
			保育内容指導法(総論)	2・半期	1	—	—	—	廃止	—
			※平成30年度以前入学者用	—	—	—	—	—	—	—
			保育内容指導法(人間関係)	2・半期	1	—	—	—	廃止	—
			※平成30年度以前入学者用	—	—	—	—	—	—	—
			保育内容指導法(環境)	2・半期	1	—	—	—	廃止	—
			※平成30年度以前入学者用	—	—	—	—	—	—	—
			保育内容指導法(言葉)	2・半期	1	—	—	—	廃止	—
			※平成30年度以前入学者用	—	—	—	—	—	—	—

教養教育科目	教養教育科目	保育内容指導法（健康） ※平成30年度以前入学者用	2・半期	1	—	—	—	廃止	
		保育内容指導法（表現・造形分野） ※平成30年度以前入学者用	集中・半期	1	—	—	—	廃止	
		保育内容指導法（表現・音楽分野） ※平成30年度以前入学者用	2・半期	1	—	—	—	廃止	
		保育内容指導法（生活） ※平成30年度以前入学者用	2・半期	1	—	—	—	廃止	
		初等教育方法論（情報通信技術の活用を含む。） ※平成30年度以前入学者用	2・半期	1	—	—	—	廃止	
		幼児理解と教育相談 ※平成30年度以前入学者用	集中・半期	1	—	—	—	廃止	
		教育実習Ⅰ（小学校） ※平成30年度以前入学者用	不定期	1	—	—	—	廃止	
		教育実習Ⅱ（小学校） ※平成30年度以前入学者用	不定期	1	—	—	—	廃止	
		事前・事後指導（小学校） ※平成30年度以前入学者用	不定期	1	—	—	—	廃止	
		教育実習Ⅰ（幼稚園） ※平成30年度以前入学者用	不定期	1	—	—	—	廃止	
		教育実習Ⅱ（幼稚園） ※平成30年度以前入学者用	不定期	1	—	—	—	廃止	
		事前・事後指導（幼稚園） ※平成30年度以前入学者用	不定期	1	—	—	—	廃止	
		事前・事後指導（栄養） ※平成30年度以前入学者用	不定期	1	—	—	—	廃止	
		教職実践演習（幼・小） ※平成30年度以前入学者用	集中・半期	1	—	—	—	廃止	

【全学共通科目 令和8年度改正】

区分			改 正 前			改 正 後			改正の要点	令和7年度以前 入学者に対する 経過措置
			授業科目	週時数 開講期	単位 数	授業科目	週時数 開講期	単位 数		
教養教育科目	教養科目群	情報処理 科目	—	—	—	情報処理基礎演習	集中・半期	1	新設	令和8年度開講・履修可
		人間と文化	—	—	—	イタリアの言語と文化	2・半期	2	新設	令和8年度開講・履修可
		生活と社会 グローバル 教育科目	なら学	2・半期	2	—	—	—	廃止	
			異文化理解と国際協力	—	2	—	—	—	廃止	
			異文化理解と平和構築	—	2	—	—	—	廃止	
			日本文化と地域社会C（1）	—	2	日本文化と地域社会C（1）	—	1	単位数変更	再度履修不可
			日本文化と地域社会C（2）	—	2	日本文化と地域社会C（2）	—	1	単位数変更	再度履修不可
			Traditional Japanese Culture A	2・半期	2	—	—	—	廃止	
			Traditional Japanese Culture B	2・半期	2	—	—	—	廃止	
			—	—	—	Japanese Culture and Society from a global perspective A	2・半期	2	新設	令和8年度開講・履修可
		—	—	—	Japanese Culture and Society from a global perspective B	2・半期	2	新設	令和8年度開講・履修可	
キャリア 教育科目	キャリアプラン 科目群	現代社会と職業	2・半期	2	—	—	—	廃止		
		大学での学びと私の仕事	2・半期	1	—	—	—	廃止		
		—	—	—	現代社会と職業－大学での学びと私の 仕事A	2・半期	1	新設	令和8年度開講・履修可	
		—	—	—	現代社会と職業－大学での学びと私の 仕事B	2・半期	1	新設	令和8年度開講・履修可	

Ⅸ 時間割表

前期	-----	174
後期	-----	178

IX 時間割

【前期 月曜日】

*は非常勤講師

時限	区分	科目名	備考・対象者	ナンバリング	教室	担当教員
1・2	外国語	中国語Ⅰ（A）	文ABCD	0111501D1	N302	前田真砂美
		中国語Ⅰ（E）	文EFGH	0111505D1	N301	大平幸代
	教職	教育相談（A）		0220070A2	N202	牧郁子*
	連携開設	キャリアとアントレプレナーシップ		0126009A1	奈良教育大学	石井僚、世良啓太
3・4	外国語	フランス語Ⅲ	全学（2回生以上）	0111333D2	S126	森田俊吾
		ドイツ語ⅠB（1）	文ABCD	0111217D1	E109	ロジェー・ティボール・ワルツヒ*
		ドイツ語Ⅲ	全学（2回生以上）	0111245D2	S230（LL3）	児玉麻美
		フランス語ⅠA（1）	文ABCD	0111301D1	S228	高岡尚子
		フランス語ⅠB（4）	文EFGH	0111314D1	S231（LL1）	イザベル・トノムラ
		フランス語ⅡA（5）	理生工2	0111325D2	S125	各務奈緒子*
		中国語Ⅰ（B）	文ABCD	0111502D1	N302	大平幸代
		中国語Ⅰ（F）	文EFGH	0111506D1	N301	前田真砂美
	日本語	日本語ⅡC		0112007E1	S124	今枝杏子*
	教養	現代の倫理	副専攻（カーボンニュートラル）	0122005A1	G101	濱崎雅孝*
		いのちと健康		0124001A1	S235	白水倫生
5・6	外国語	ドイツ語ⅠA（15）	生3・工	0111214D1	E107	藤田隼風*
		ドイツ語ⅠB（3）	文EFGH	0111219D1	E109	ロジェー・ティボール・ワルツヒ*
		ドイツ語ⅡB（5）	理・生・工（2回生以上）	0111243D2	S230（LL3）	トーマス・ハックナー
		ドイツ語ⅠA（11）	生1	0111210D1	D012	池田晋也*
		ドイツ語ⅠA（13）	生2	0111212D1	E102	小松紀子*
		フランス語ⅠB（2）	文ABCD	0111312D1	S231（LL1）	イザベル・トノムラ
		フランス語ⅠB（5）	理生工1	0111315D1	G101	各務奈緒子*
		フランス語ⅠB（9）	理生工1	0111319D1	N302	柿本佳美*
		中国語Ⅰ（J）	生	0111509D1	N301	何穎*
		中国語Ⅰ（K）	生	0111510D1	N201	西尾和子*
		ドイツ語ⅠA（1）	文ABCD	0111201D1	S233（LL2）	吉田孝夫
	保健体育	スポーツ実習A9		0113041D2	—	河西正博*
		スポーツ実習C4		0113053D2	—	星野聡子
	教養	日本の美と芸術		0122014A1	G101	佐藤有希子
		教養としての化学数学	高年次教養科目 令和6年度以前入学生用	0124011A3	E108	吉村倫一
	教職	保育内容指導法（環境）		0220064E2	附属幼稚園	穴戸佳央理
7・8	外国語	ドイツ語ⅠA（5）	理1	0111205D1	D012	池田晋也*
		中国語Ⅲ		0111531D2	N301	何穎*
		中国語Ⅰ（R）	生・工	0111517D1	N201	西尾和子*
		ドイツ語ⅠA（7）	理2	0111207D1	E102	小松紀子*
		ドイツ語ⅠA（9）	理3	0111209D1	E107	藤田隼風*
		フランス語ⅠA（3）	文EFGH	0111303D1	S126	森田俊吾
		フランス語ⅠB（6）	理生工1	0111316D1	G101	各務奈緒子*
		ドイツ語ⅠA（3）	文EFGH	0111203D1	E109	児玉麻美
	保健体育	健康運動実習Ⅰ（A）	文	0113001D1	—	平塚卓也
		健康運動実習Ⅰ（B）	文	0113003D1	—	河西正博*
	教養	数学入門	数物科学科履修不可 連携開設科目	0124007A1	S235	小林毅*
		日本文化と地域社会C（1）		0125005E1	S124	橋田力
		Japanese Culture and Society from a global perspective A		0125015E1	S124	橋田力
	教職	中等教科教育法社会Ⅱ（公民分野）		0220028A2	S125	渡辺雅幸*
9・10	教職	教職論（A）	1回生履修可	0220001E1	G101	二井仁美・臼井智美*
		中等教科教育法数学Ⅲ		0220035A2	E107	高森智子
		中等教科教育法英語Ⅲ		0220025A2	S124	塩川史*
		中等教科教育法社会Ⅳ（公民分野）		0220030A2	S125	中村博之
		初等教科教育法 生活		0220055A2	附属小学校	樫原貴博

【前期 火曜日】

*は非常勤講師

時限	区分	科目名	備考・対象者	ナンバリング	教室	担当教員
1・2	外国語	コンプリヘンシブ・イングリッシュ (4)		0111004D1	S233(LL2)	齊藤美和
		コンプリヘンシブ・イングリッシュ (5)		0111005D1	N302	井上瞬*
		コンプリヘンシブ・イングリッシュ (6)		0111006D1	N301	竹本憲昭
		コンプリヘンシブ・イングリッシュ (7)		0111007D1	E108	石谷祐子*
		コンプリヘンシブ・イングリッシュ (8)		0111008D1	N202	太田純*
		プラクティカル・イングリッシュ (1)		0111025D1	S128	To Calum Philip Minh
		プラクティカル・イングリッシュ (2)		0111026D1	D012	Gary O. Haase*
		プラクティカル・イングリッシュ (3)		0111027D1	E102	Leigh McDowell*
		プラクティカル・イングリッシュ (4)		0111028D1	A210	Andrew Sowter*
		プラクティカル・イングリッシュ (5)		0111029D1	E109	William Ives*
		プラクティカル・イングリッシュ (6)		0111030D1	G204	中川千帆
		プラクティカル・イングリッシュ (7)		0111031D1	S230(LL3)	笹本涼子
		プラクティカル・イングリッシュ (20)		0111044D1	S231(LL1)	小林佳寿*
		プラクティカル・イングリッシュ (21)		0111045D1	E218-2	福地浩子*
		プラクティカル・イングリッシュ (22)		0111046D1	ITコンズ 1	進藤三佳*
		プラクティカル・イングリッシュ (23)		0111047D1	A211	徳田真央*
		プラクティカル・イングリッシュ (24)		0111048D1	N201	中川朗子*
		プラクティカル・イングリッシュ (25)		0111049D1	H402	伊達桃子
		プラクティカル・イングリッシュ (26)		0111050D1	E107	北口未来*
		プラクティカル・イングリッシュ (27)		0111051D1	G203	西岡幸恵*
		プラクティカル・イングリッシュ (28)		0111052D1	S124	雲島知恵
	連携開設	フィールドワークで地域に学ぶ		0126001A1	奈良教育大学	河本大地
		科学技術の歴史と身の回りの物質		0126019A1	奈良教育大学	梶原篤
3・4	外国語	アカデミック・イングリッシュ (3)		0111083D2	S124	雲島知恵
		アカデミック・イングリッシュ (4)		0111084D2	N202	太田純*
		アカデミック・イングリッシュ (5)		0111085D2	G204	山本尚子*
		アカデミック・イングリッシュ (6)		0111086D2	E108	石谷祐子*
		アカデミック・イングリッシュ (7)		0111087D2	ITコンズ 1	進藤三佳*
		プレゼンテーション・イングリッシュ (1)		0111101D2	A210	Andrew Sowter*
		プレゼンテーション・イングリッシュ (2)		0111102D2	E109	William Ives*
		プレゼンテーション・イングリッシュ (3)		0111103D2	D012	Gary O. Haase*
		プレゼンテーション・イングリッシュ (4)		0111104D2	E102	Leigh McDowell*
		プレゼンテーション・イングリッシュ (5)		0111105D2	G203	西岡幸恵*
		プレゼンテーション・イングリッシュ (15)		0111115D2	S231(LL1)	小林佳寿*
		プレゼンテーション・イングリッシュ (16)		0111116D2	N201	中川朗子*
		プレゼンテーション・イングリッシュ (17)		0111117D2	A211	徳田真央*
		プレゼンテーション・イングリッシュ (18)		0111118D2	E107	北口未来*
	保健体育	健康運動実習Ⅰ (N)	工学部A	0113027D1	—	浅野友之
		健康運動実習Ⅰ (O)	工学部B	0113029D1	—	小西暢子*
	教養	Modern Japanese Literature and Media A	副専攻 (グローバル)	0125009E1	S230(LL3)	トーマス・ハックナー
		考える力をみがく		0121002A1	N101	山咲博昭
		パサーージュ (75A/B)		0121015A1	E251	Meng-Yu Jennifer Kuo
		経済学		0123010A1	S235	浦出俊和*
5・6	日本語	日本語ⅠA		0112001E1	A210	中川明日佳*
	情報処理	情報処理入門 (E)	生 副専攻 (情報科学)	0114005A1	G101	瀧本栄二
		Global Studies and Communication A	副専攻 (グローバル)	0125017E1	A209	Andrew Sowter*
	教養	アジア学入門	副専攻 (グローバル)	0122001A1	S235	鍵和田聡・西村雄一郎・浅田晴久・矢島洋一・青木美紗・平野綾香*・樺島彩波*・松永光代
		歴史学		0122009A1	N201	田中希生
	キャリア	キャリアデザイン・ゼミナールA (34)		0210008B1	S124	山咲博昭
	教職	書道科教育法Ⅰ		0220031A2	S123	福光由布*
		保育内容指導法(表現・音楽分野)		0220066A2	音楽棟	藤井康之
	連携開設	仮名書道と実用書		0126008A1	奈良教育大学	北山聡佳
	資格	博物館資料論	2回生以上対象科目	0230003E2	N101	宮路淳子・佐藤有希子
7・8	日本語	日本語FⅠ (1)		0112011E1	N203	松永光代
	保健体育	健康運動実習Ⅰ (J)	食物栄養学科	0113019D1	—	小山宏之*
		健康運動実習Ⅰ (K)	心身健康学科	0113021D1	—	星野聡子
	情報処理	情報処理入門 (A)	理 副専攻 (情報科学)	0114001A1	G101	瀧本栄二
		ジェンダー生理学	副専攻(ジェンダー)連携開設	0124012A1	G201	島本太香子*
	教養	ことばのしくみ	偶数年開講	0122011A1	S235	笹本涼子
		初等教科教育法 家庭		0220058A2	S124	堀本三和子
	連携開設	国際文化交流史		0126010A1	奈良教育大学	ヤナセ・ペーテル
	資格	博物館資料論		0230003E2	N101	宮路淳子・佐藤有希子
	日本語	日本語FⅡ (1)		0112013E1	N203	松永光代
9・10	教養	パサーージュ (39A)		0121005A1	S124	西村雄一郎・浅田晴久
	キャリア	現代社会と職業—大学での学びと私の仕事A		0210001B1	N101	キャリア教育部門長
		生徒指導・進路指導論 (A)		0220068A2	N202	山本桂子*
	教職	教育心理学 (A)		0220007A2	N302	竹橋洋毅

【前期 水曜日】

*は非常勤講師

時限	区分	科目名	備考・対象者	ナンバリング	教室	担当教員
1・2	外国語	スペイン語中級Ⅰ		0111403D2	E102	松田侑子*
	情報処理	情報処理入門（C）	文・工 副専攻（情報科学）	0114003A1	G101	瀧本栄二
	教養	パサージュ（6 5 A）		0121011A1	G204	堀沙耶香
	教職	中等教科教育法体育Ⅰ		0220049A2	E218-2	石坂友司
3・4	外国語	スペイン語初級Ⅰ		0111401D1	E102	松田侑子*
	保健体育	健康運動実習Ⅰ（E）	環境科学コース	0113009D1	—	石坂友司
		健康運動実習Ⅰ（P）	生活情報通信科学コース	0113031D1	—	井上理佐*
	教養	日本国憲法（A）		0123001A1	S235	大塚浩
		Japanese Culture and History A	副専攻（グローバル）	0125011E1	S124	サボー・ジュジャンナ*
		生活と色彩	連携開設科目	0124015A1	G101	北口紗織*
5・6	外国語	ロシア語初級Ⅰ	2 回生以上	0111601D2	N201	大平美智代*
		韓国語初級Ⅰ（A）		0111701D1	N202	林志煥*
	保健体育	スポーツ実習 A 1 1		0113043D2	—	竹村匡弥*
	教養	「奈良」女子大学入門	副専攻（地域志向）	0121001A1	オンデマンド	山内茂雄
		ヨーロッパ学入門	副専攻（グローバル） 連携開設科目	0123015A1	S235	橋田力
		国際キャンパス奈良への招待 A	副専攻（グローバル）	0125019E1	国際セミナー室	松原千恵・松永光代・水垣源太郎・佐藤克成
	教職	保育内容指導法(人間関係)		0220063A2	附属幼稚園	松田登紀
7・8	外国語	中国語検定初級Ⅰ		0111533D1	N302	曾環蕙*
		ロシア語中級Ⅰ	2 回生以上	0111603D2	N201	大平美智代*
		韓国語初級Ⅰ（B）		0111702D1	N202	林志煥*
	日本語	日本事情A		0112009E1	国際セミナー室	久岡明徳*
		日本語 FⅢ		0112015E1	N203	松永光代
	情報処理	情報処理入門（B）	理・工 副専攻（情報科学）	0114002A1	G101	瀧本栄二
	保健体育	スポーツ実習 B 1		0113045D2	—	竹村匡弥*
	教養	心の科学への招待		0122007A1	S235	高岡昌子*
		パサージュ（5 1 B）		0121012A1	D322	吉本光佐
	キャリア	キャリアデザイン・ゼミナール C（3）		0210031B1	E109	近畿財務局奈良財務事務所*
9・10	外国語	中国語検定中級Ⅰ		0111535D2	N302	曾環蕙*
		韓国語中級Ⅰ		0111705D1	N202	林志煥*
	教職	初等教科教育法 理科		0220054A2	附属小学校	中野直人
		中等教科教育法 国語Ⅳ		0220022A2	E107	金沢節子

【前期 木曜日】

*は非常勤講師

時限	区分	科目名	備考・対象者	ナンバリング	教室	担当教員
1・2	外国語	中国語Ⅰ（C）	文ABCD	0111503D1	N202	曾璟蕙*
		中国語Ⅰ（G）	文EFGH	0111507D1	N201	何穎*
		ドイツ語ⅡA（5）	理生工（2回生以上）	0111237D2	S233（LL2）	西井美幸*
	教養	パサージュ（7 2 B）		0121013A1	E251	加藤亜矢子
		パサージュ（1 7 B）		0121009A1	A211	中島隆行・高島弘
3・4	教職	教育社会学（A）		0220005A2	N302	富江英俊*
	外国語	ドイツ語ⅠB（5）	理1	0111221D1	E102	土谷真理子*
		ドイツ語ⅠB（7）	理2	0111223D1	E109	廣川香織*
		ドイツ語ⅠB（9）	理3	0111225D1	S233（LL2）	西井美幸*
		フランス語ⅠA（2）	文ABCD	0111302D1	S125	高岡尚子
		フランス語ⅠA（9）	理生工1	0111309D1	G201	藤田あゆみ*
		中国語Ⅰ（D）	文ABCD	0111504D1	N202	曾璟蕙*
		中国語Ⅰ（H）	文EFGH	0111508D1	N201	何穎*
		ドイツ語ⅠA（4）	文EFGH	0111204D1	S124	児玉麻美
		ドイツ語ⅠB（2）	文ABCD	0111218D1	N301	トーマス・ハックナー
	日本語	日本語ⅠⅠ		0112017E1	IT Commons 2	吉川仁子
		日本語ⅡA		0112005E1	国際セミナー室	松永光代
	教養	パサージュ（7 6 A/B）		0121007A1	G204	宮路淳子
	教職	情報科教育法Ⅰ		0220041A2	G301	伊藤剛和
		教育経営行政論（A）	連携開設科目	0220085A2	奈良教育大学	小林昇光
	連携開設	E S Dと防災		0126020A1	奈良教育大学	及川幸彦
5・6	外国語	ドイツ語ⅠB（15）	生3・工	0111232D1	S124	小松紀子*
		ドイツ語ⅠB（11）	生1	0111228D1	E102	土谷真理子*
		ドイツ語ⅠB（13）	生2	0111230D1	E109	廣川香織*
		フランス語ⅠA（4）	文EFGH	0111304D1	S231（LL1）	森田俊吾
		フランス語ⅠA（5）	理生工1	0111305D1	G201	藤田あゆみ*
		フランス語ⅠA（6）	理生工1	0111306D1	N302	川上紘史*
		フランス語ⅠB（1）	文ABCD	0111311D1	E108	各務奈緒子*
		中国語Ⅰ（L）	生	0111511D1	N201	西尾和子*
		中国語Ⅰ（M）	生	0111512D1	N202	何穎*
		ドイツ語ⅠA（2）	文ABCD	0111202D1	S233（LL2）	吉田孝夫
		ドイツ語ⅠB（4）	文EFGH	0111220D1	N301	トーマス・ハックナー
	保健体育	健康運動実習Ⅰ（F）	数物科学科A	0113011D1	—	井上裕美子*
		健康運動実習Ⅰ（G）	数物科学科B	0113013D1	—	成瀬九美
	教養	パサージュ（7 4 B）		0121014A1	E218-2	安橋正人
		地域の人と暮らし	副専攻（カーボンニュートラル）	0122017A1	S235	西村雄一郎
	教職	中等教科教育法 国語Ⅰ		0220019A2	G204	村山太郎*
7・8	外国語	中国語Ⅰ（S）	生・工	0111518D1	N301	曾璟蕙*
		フランス語ⅠB（3）	文EFGH	0111313D1	E108	各務奈緒子*
		中国語Ⅱ（J）	生・工（2回生以上）	0111529D2	N201	西尾和子*
	情報処理	情報処理入門（D）	文・工 副専攻（情報科学）	0114004A1	G101	藤本花音
	保健体育	スポーツ実習C 1		0113050D2		井上裕美子*
	教養	社会に出るまでに知っておきたい科学Ⅰ（A）	高年次教養科目	0124005A3	E102	長谷圭城
		社会に出るまでに知っておきたい科学Ⅰ（B）	高年次教養科目	0124004A3	E102	長谷圭城
		現代宗教学への招待		0122006A1	S235	濱崎雅孝*
		日本の言語と文学	連携開設科目	0122010A1	N202	鈴木広光
	教職	中等教科教育法 国語Ⅱ		0220020A2	G204	村山太郎*
		初等教科教育法 英語		0220060A2	S124	箱崎雄子*
9・10	教養	パサージュ（77A）		0121019A1	G204	大背戸豊
	キャリア	キャリアデザイン・ゼミナールA（1 9）	ビジネス日本語A	0210005B1	S124	松永光代
	教職	教育方法の理論と実践（情報通信技術の活用を含む。）		0220014A2	G101	赤沢早人
	資格	学校経営と学校図書館	1回生以上対象科目 偶数年開講	0230101A1	N101	渡邊良枝*
	連携開設	多文化・人権フィールドワーク		0126003A1	奈良教育大学	南雲勇多
		考古学と自然科学		0126021A1	奈良教育大学	青木智史、金原正明

【前期 金曜日】

*は非常勤講師

時限	区分	科目名	備考・対象者	ナンバリング	教室	担当教員
1・2	外国語	コンプリヘンシブ・イングリッシュ (1)		0111001D1	E108	市川千恵子
		コンプリヘンシブ・イングリッシュ (2)		0111002D1	G201	中川千帆
		コンプリヘンシブ・イングリッシュ (9)		0111009D1	S233(LL2)	奥西豊子
		コンプリヘンシブ・イングリッシュ (10)		0111010D1	N201	前田悦子*
		コンプリヘンシブ・イングリッシュ (11)		0111011D1	E107	井上瞬*
		コンプリヘンシブ・イングリッシュ (12)		0111012D1	N101	北島美咲*
		プラクティカル・イングリッシュ (8)		0111032D1	E109	William Ives*
		プラクティカル・イングリッシュ (9)		0111033D1	N301	竹本憲昭
		プラクティカル・イングリッシュ (10)		0111034D1	H402	伊達桃子
		プラクティカル・イングリッシュ (11)		0111035D1	G203	西岡幸恵*
		プラクティカル・イングリッシュ (12)		0111036D1	S124	雲島知恵
		プラクティカル・イングリッシュ (13)		0111037D1	G202	正田久美*
		プラクティカル・イングリッシュ (14)		0111038D1	E218-1	福地浩子*
		プラクティカル・イングリッシュ (15)		0111039D1	D012	中尾朋子*
		プラクティカル・イングリッシュ (16)		0111040D1	E102	松林和佳子*
		プラクティカル・イングリッシュ (17)		0111041D1	S231(LL1)	前田哲宏*
		プラクティカル・イングリッシュ (18)		0111042D1	S128	柑本幸子*
		プラクティカル・イングリッシュ (19)		0111043D1	ITモンス2	松井ゆう子*
		コンプリヘンシブ・イングリッシュ (3)		0111003D1	S228	須賀あゆみ
	連携開設	外国人児童生徒等のための日本語教育の基礎		0126004A1	奈良教育大学	和泉元千春
3・4	外国語	アカデミック・イングリッシュ (10)		0111090D2	E218-1	福地浩子*
		アカデミック・イングリッシュ (1)		0111081D2	N101	北島美咲*
		アカデミック・イングリッシュ (2)		0111082D2	N201	前田悦子*
		アカデミック・イングリッシュ (8)		0111088D2	E107	井上瞬*
		アカデミック・イングリッシュ (9)		0111089D2	A210	岡田律子*
		プレゼンテーション・イングリッシュ (6)		0111106D2	A211	To Calum Philip Minh
		プレゼンテーション・イングリッシュ (7)		0111107D2	E109	William Ives*
		プレゼンテーション・イングリッシュ (8)		0111108D2	E102	松林和佳子*
		プレゼンテーション・イングリッシュ (9)		0111109D2	S124	雲島知恵
		プレゼンテーション・イングリッシュ (10)		0111110D2	S231(LL1)	齊藤美和
		プレゼンテーション・イングリッシュ (11)		0111111D2	G202	正田久美*
		プレゼンテーション・イングリッシュ (12)		0111112D2	ITモンス2	松井ゆう子*
		プレゼンテーション・イングリッシュ (13)		0111113D2	D012	中尾朋子*
		プレゼンテーション・イングリッシュ (14)		0111114D2	S128	柑本幸子*
	フランス語ⅡB (5)	理生工2		0111331D2	S230(LL3)	イザベル・トノムラ
	日本語	日本語ⅠC		0112003E1	S227	吉川仁子
	保健体育	健康運動実習Ⅰ(H)	化学コース	0113015D1	—	奥田直希*
		健康運動実習Ⅰ(I)	生物科学コース	0113017D1	—	浅野友之
	教養	パサージュ(27A/B)		0121017A1	H202	佐藤克成
	教職	教育社会学(B)		0220006A2	N302	保田卓
		中等教科教育法英語Ⅰ		0220023A2	S125	前田哲宏*
	連携開設	サバイバルロジカルシンキング		0126022A1	奈良教育大学	中村元彦
5・6	保健体育	健康運動実習Ⅰ(C)	文	0113005D1	—	智原江美*
		健康運動実習Ⅰ(D)	文	0113007D1	—	辻野和美*
	情報処理	情報処理入門(F)	生 副専攻(情報科学)	0114006A1	G101	Meng-Yu Jennifer Kuo
7・8	保健体育	健康運動実習Ⅰ(L)	住環境学科	0113023D1	—	智原江美*
		健康運動実習Ⅰ(M)	生活文化学科コース	0113025D1	—	辻野和美*
	教養	Contemporary Japanese Society A		0125013E1	ITモンス2	樽井由紀*
		法律学	連携開設科目	0123007A1	E108	松尾善紀*
		パサージュ(23B)		0121010A1	G204	酒井敦
	教職	特別活動論(道徳、総合的な学習の時間に関する内容を含む。)(A)		0220012A2	G101	小野寺香
		教育課程論(A)		0220010A2	G101	小野寺香
9・10	教養	ジェンダー論入門	副専攻(ジェンダー)	0123004A1	S235	林田敏子・高岡尚子・松岡由貴・三部倫子・山崎明子・岡田玖美子・佐藤
	教職	中等教科教育法理科Ⅰ		0220037A2	E108	鶴飼哲真・田中海・松原俊二・牧野百
		中等教科教育法社会Ⅲ(地歴分野)		0220029A2	S124	北尾悟

【後期 月曜日】

*は非常勤講師

時限	区分	科目名	備 考	ナンバリング	教室	担当教員
1・2	外国語	中国語Ⅱ（A）	文ABCD	0111521D1	N301	前田真砂美
		中国語Ⅱ（E）	文EFGH	0111525D1	N302	大平幸代
	教養	音楽概説		0122016A1	S235	中川統雄*
		共生科学	【コア科目】共生科学研究センター担当 副専攻（カーボンニュートラル） 連携開設科目	0124003A1	N101	酒井ほか共生科学センター教員
3・4	外国語	フランス語ⅡA（1）	文ABCD	0111321D1	S228	高岡尚子
		フランス語ⅡA（6）	理生工 2	0111326D2	E218-2	各務奈緒子*
		フランス語ⅡB（4）	文EFGH	0111330D1	S233(LL2)	イザベル・トノムラ
		フランス語Ⅳ	全学(2回生以上)	0111334D2	E102	森田俊吾
		中国語Ⅱ（B）	文ABCD	0111522D1	N301	大平幸代
		中国語Ⅱ（F）	文EFGH	0111526D1	N302	前田真砂美
		ドイツ語ⅡB（1）	文ABCD	0111239D1	S128	ロジェー・ティボール・ワルツヒ*
		ドイツ語Ⅳ	全学（2回生以上）	0111246D2	S230(LL3)	児玉麻美
	日本語	日本語ⅡD		0112008E1	S124	今枝杏子*
	教養	生活の中の物理学	連携開設科目	0124008A1	E107	比連崎悟
		人体科学		0124017A1	G101	芝崎学・中田大貴・大高千明・伊藤佳乃子
		生活と健康		0124002A1	S235	白水倫生
	連携開設	教職へのキャリアデザイン		0126013A1	奈良教育大学	奥村浩一
5・6	外国語	ドイツ語ⅠA（12）	生 1	0111211D1	E108	池田晋也*
		ドイツ語ⅠA（14）	生 2	0111213D1	E102	小松紀子*
		ドイツ語ⅡA（1）	文ABCD	0111233D1	S231(LL1)	吉田孝夫
		フランス語ⅠB（7）	理生工 1	0111317D1	D012	各務奈緒子*
		フランス語ⅠB（10）	理生工 1	0111320D1	D120	柿本佳美*
		フランス語ⅡB（2）	文ABCD	0111328D1	S233(LL2)	イザベル・トノムラ
		中国語Ⅰ（N）	生	0111513D1	N301	何穎*
		中国語Ⅰ（0）	生	0111514D1	N201	西尾和子*
		ドイツ語ⅡB（3）	文EFGH	0111241D1	S228	ロジェー・ティボール・ワルツヒ*
		ドイツ語ⅡB（6）	理・生・工（2回生以上）	0111244D2	S230(LL3)	トーマス・ハックナー
		ドイツ語ⅠA（16）	生 3・工	0111215D1	E107	藤田隼風*
	教養	国際関係論	副専攻（グローバル、カーボンニュートラル）	0123009A1	G101	戸田真紀子*
		西洋の美と芸術	連携開設科目	0122015A1	S235	宇埜直子*
	連携開設	教職へのキャリアデザイン		0126014A1	奈良教育大学	奥村浩一
7・8	外国語	ドイツ語ⅠA（8）	理 2	0111208D1	E102	小松紀子*
		ドイツ語ⅠA（10）	理 3	0111210D1	E107	藤田隼風*
		ドイツ語ⅡA（3）	文EFGH	0111235D1	E109	児玉麻美
		フランス語ⅠB（8）	理生工 1	0111318D1	D012	各務奈緒子*
		フランス語ⅡA（3）	文EFGH	0111323D1	S126	森田俊吾
		ドイツ語ⅠA（6）	理 1	0111206D1	E108	池田晋也*
		中国語Ⅰ（T）	生・工	0111519D1	N201	西尾和子*
		中国語Ⅳ		0111532D2	N301	何穎*
	保健体育	健康運動実習Ⅱ（A）	文	0113002D1	—	平塚卓也
		健康運動実習Ⅱ（B）	文	0113004D1	—	魚田尚吾*
	教養	Japanese Culture and Society from a global perspective B		0125016E1	S124	橋田力
		日本文化と地域社会C（2）		0125006E1	S124	橋田力
9・10	キャリア	現代社会と職業—大学での学びと私の仕事B		0210002B1	N101	キャリア教育部門長
	教職	中等教科教育法英語Ⅳ		0220026A2	S124	平田健治・金折典子・井上真唯也・大菅暢子
		中等教科教育法数学Ⅳ		0220036A2	E107	佐藤大典

【後期 火曜日】

*は非常勤講師

時限	区分	科目名	備 考	ナンバリング	教室	担当教員
1・2	外国語	コンプリヘンシブ・イングリッシュ (16)		0111016D1	G204	市川千恵子
		コンプリヘンシブ・イングリッシュ (17)		0111017D1	N101	須賀あゆみ
		コンプリヘンシブ・イングリッシュ (18)		0111018D1	E108	石谷祐子*
		コンプリヘンシブ・イングリッシュ (19)		0111019D1	N202	太田純*
		コンプリヘンシブ・イングリッシュ (20)		0111020D1	N301	井上瞬*
		ブラクティカル・イングリッシュ (29)		0111053D1	E102	Leigh McDowell*
		ブラクティカル・イングリッシュ (30)		0111054D1	A209	To Calum Philip Minh
		ブラクティカル・イングリッシュ (31)		0111055D1	D012	Gary O. Haase*
		ブラクティカル・イングリッシュ (32)		0111056D1	E109	William Ives*
		ブラクティカル・イングリッシュ (33)		0111057D1	S125	Andrew Sowter*
		ブラクティカル・イングリッシュ (34)		0111058D1	G202	笹本涼子
		ブラクティカル・イングリッシュ (35)		0111059D1	N302	中川千帆
		ブラクティカル・イングリッシュ (48)		0111072D1	ITモンス ¹	進藤三佳*
		ブラクティカル・イングリッシュ (49)		0111073D1	S126	小林佳寿*
		ブラクティカル・イングリッシュ (50)		0111074D1	E218-1	福地浩子*
		ブラクティカル・イングリッシュ (51)		0111075D1	H402	伊達桃子
		ブラクティカル・イングリッシュ (52)		0111076D1	E107	北口未来*
		ブラクティカル・イングリッシュ (53)		0111077D1	S124	雲島知恵
		ブラクティカル・イングリッシュ (54)		0111078D1	A211	徳田真央*
		ブラクティカル・イングリッシュ (55)		0111079D1	N201	中川朗子*
		ブラクティカル・イングリッシュ (56)		0111080D1	G203	西岡幸恵*
	教職	教育原理 (B)		0220004E2	S235	盧珠妍*
3・4	外国語	アカデミック・イングリッシュ (13)		0111093D2	N202	太田純*
		アカデミック・イングリッシュ (14)		0111094D2	G204	山本尚子*
		アカデミック・イングリッシュ (15)		0111095D2	S124	雲島知恵
		アカデミック・イングリッシュ (16)		0111096D2	ITモンス ¹	進藤三佳*
		アカデミック・イングリッシュ (17)		0111097D2	E108	石谷祐子*
		プレゼンテーション・イングリッシュ (19)		0111119D2	E109	William Ives*
		プレゼンテーション・イングリッシュ (20)		0111120D2	S125	Andrew Sowter*
		プレゼンテーション・イングリッシュ (21)		0111121D2	E102	Leigh McDowell*
		プレゼンテーション・イングリッシュ (22)		0111122D2	G203	西岡幸恵*
		プレゼンテーション・イングリッシュ (23)		0111123D2	D012	Gary O. Haase*
		プレゼンテーション・イングリッシュ (33)		0111133D2	A211	徳田真央*
		プレゼンテーション・イングリッシュ (34)		0111134D2	E107	北口未来*
		プレゼンテーション・イングリッシュ (35)		0111135D2	N201	中川朗子*
		プレゼンテーション・イングリッシュ (36)		0111136D2	S126	小林佳寿*
	保健体育	健康運動実習Ⅱ (N)	工学部A	0113028D1	—	浅野友之
		健康運動実習Ⅱ (O)	工学部B	0113030D1	—	小西暢子*
	教養	Modern Japanese Literature and Media B	副専攻 (グローバル)	0125010E1	S230 (LL3)	トーマス・ハックナー
	連携開設	教師力ケースメソッド		0126015A1	奈良教育大学	奥村浩一
		Excel VBAのプログラミング : 教育用ゲームを作る		0126023A1	奈良教育大学	出口拓彦
5・6	日本語	日本語ⅠB		0112002E1	A210	中川明日佳*
	教養	アラビアの言語と文化	副専攻 (グローバル)	0122002A1	N301	矢島洋一
		化学の常識		0124009A1	N202	三方裕司
		Global Studies and Communication B	副専攻 (グローバル)	0125018E1	A208	Andrew Sowter*
	キャリア	キャリアデザイン・ゼミナールA (35)	人間関係とコミュニケーション	0210009B1	S124	山咲博昭
	教職	書道科教育法Ⅱ		0220032A2	S123	福光由布*
		中等教科教育法体育Ⅱ		0220050A2	G202	小坂美保*
7・8	日本語	日本語FⅠ (2)		0112012E1	N203	松永光代
	保健体育	健康運動実習Ⅱ (J)	食物栄養学科	0113020D1	—	筒井香*
		健康運動実習Ⅱ (K)	心身健康学科	0113022D1	—	星野聡子
9・10	日本語	日本語FⅡ (2)		0112014E1	N203	松永光代
	教養	イタリアの言語と文化	副専攻 (グローバル)	0122003A1	N201	橋田力
		哲学の歴史		0122004A1	N202	柿本佳美*
	教職	中等教科教育法理科Ⅳ		0220040A2	N101	石井俊行*

【後期 水曜日】

*は非常勤講師

時限	区分	科目名	備 考	ナンバリング	教室	担当教員
1・2	外国語	スペイン語中級Ⅱ		0111404D2	E102	松田侑子*
3・4	外国語	スペイン語初級Ⅱ		0111402D1	E102	松田侑子*
	保健体育	健康運動実習Ⅱ（E）	環境科学コース	0113010D1	—	石坂友司
		健康運動実習Ⅱ（P）	生活情報通信科学コース	0113032D1	—	井上理佐*
	教養	人権と差別	副専攻（カーボンニュートラル）	0123003A1	S235	小川伸彦・藤本花音・吉村智博*・吉田容子*・田中雅子*・竹内孝江*・藤田盟児*
		環境と生物		0124010A1	G203	片野泉
		Japanese Culture and History B	副専攻（グローバル）	0125012E1	S124	サボー・ジュジャンナ*
	教職	教職論（B）	1 回生履修可	0220002E1	N101	二井仁美・未定*
	資格	博物館資料保存論	2 回生以上対象科目	0230004E2	N302	佐藤有希子・宮路淳子
	連携開設	運動と健康		0126005A1	奈良教育大学	前川真姫
5・6	外国語	ロシア語初級Ⅱ	2 回生以上	0111602D2	N201	大平美智代*
		韓国語初級Ⅱ（A）		0111703D1	N202	林志煥*
	保健体育	スポーツ実習A 1 2		0113044D2	—	竹村匡弥*
	教養	インクルーシブってなに？		0123014A1	H101	ライラ・フランセス・カシム
		国際機構論入門	副専攻（グローバル） 連携開設科目	0123016A1	S235	橋田力
		国際キャンパス奈良への招待B	副専攻（グローバル）	0125020E1	国際セミナー室	松原千恵・松永光代・水垣源太郎
	教職	保育内容指導法(言葉)		0220065A2	附属幼稚園	角田三友紀
7・8	外国語	中国語検定初級Ⅱ		0111534D1	N302	曾環蕙*
		ロシア語中級Ⅱ	2 回生以上	0111604D2	N201	大平美智代*
		韓国語初級Ⅱ（B）		0111704D1	N202	林志煥*
	日本語	日本事情B		0112010E1	国際セミナー室	久岡明穂*
		日本語FⅣ		0112016E1	N203	松永光代
	保健体育	スポーツ実習B 2		0113046D2	—	竹村匡弥*
9・10	外国語	中国語検定中級Ⅱ		0111536D2	N302	曾環蕙*
		韓国語中級Ⅱ		0111706D1	N202	林志煥*
	教養	固体地球環境学入門		0124013A1	G101	金幸隆*
	教職	中等教科教育法国語Ⅲ		0220021A2	E107	荒木由弥

【後期 木曜日】

*は非常勤講師

時限	区分	科目名	備 考	ナンバリング	教室	担当教員	
1・2	外国語	ドイツ語ⅡA（6）	理生工（2回生以上）	0111238D2	S233（LL2）	西井美幸*	
		中国語Ⅱ（C）	文ABCD	0111523D1	N202	曾璟蕙*	
		中国語Ⅱ（G）	文EFGH	0111527D1	N201	何穎*	
	教養	環太平洋くろしお文化論	副専攻（地域志向）	0122022A1	S235	田中希生・西村さとみ・矢島洋一・前田英之・村上麻祐子	
	教職	教育相談（B）		0220071A2	N101	上田裕美*	
3・4	外国語	ドイツ語ⅡB（2）	文ABCD	0111240D1	G204	トーマス・ハックナー	
		ドイツ語ⅠB（8）	理2	0111224D1	E109	廣川香織*	
		ドイツ語ⅠB（10）	理3	0111226D1	S233（LL2）	西井美幸*	
		ドイツ語ⅡA（4）	文EFGH	0111236D1	S124	児玉麻美	
		フランス語ⅠA（10）	理生工1	0111310D1	G101	藤田あゆみ*	
		フランス語ⅡA（2）	文ABCD	0111322D1	S125	高岡尚子	
		中国語Ⅱ（D）	文ABCD	0111524D1	N202	曾璟蕙*	
		中国語Ⅱ（H）	文EFGH	0111528D1	N201	何穎*	
	日本語	ドイツ語ⅠB（6）	理1	0111222D1	E102	土谷真理子*	
		日本語ⅡB		0112006E1	国際セミナー室	松永光代	
		日本語ⅡJ		0112018E1	N203	吉川仁子	
教養		日本国憲法（B）	0123002A1	S235	濱口晶子*		
	教職	情報科教育法Ⅱ		0220042A2	G401	伊藤剛和	
5・6	外国語	ドイツ語ⅡB（4）	文EFGH	0111242D1	G204	トーマス・ハックナー	
		ドイツ語ⅠB（12）	生1	0111229D1	E102	土谷真理子*	
		ドイツ語ⅠB（14）	生2	0111231D1	E109	廣川香織*	
		ドイツ語ⅡA（2）	文ABCD	0111234D1	S233（LL2）	吉田孝夫	
		フランス語ⅠA（7）	理生工1	0111307D1	G101	藤田あゆみ*	
		フランス語ⅠA（8）	理生工1	0111308D1	N302	川上紘史*	
		フランス語ⅡA（4）	文EFGH	0111324D1	S231（LL1）	森田俊吾	
		フランス語ⅡB（1）	文ABCD	0111327D1	E107	各務奈緒子*	
		中国語Ⅰ（P）	生	0111515D1	N201	西尾和子*	
		中国語Ⅰ（Q）	生	0111516D1	N202	何穎*	
	保健体育	ドイツ語ⅠB（16）	生3・工	0111233D1	S124	小松紀子*	
		健康運動実習Ⅱ（F）	数物科学科A	0113012D1	—	永井夕起子*	
		健康運動実習Ⅱ（G）	数物科学科B	0113014D1	—	成瀬九美	
		連携開設	E S Dと気候変動		0126006A1	奈良教育大学	及川幸彦
7・8	外国語	フランス語ⅡB（3）	文EFGH	0111329D1	E107	各務奈緒子*	
		中国語Ⅱ（K）	生・工(2回生以上)	0111530D2	E108	西尾和子*	
		中国語Ⅰ（U）	生・工	0111520D1	N301	曾璟蕙*	
	保健体育	スポーツ実習C3	生環専門科目「ボディーワーク実習」と同時開講	0113052D2	—	永井夕起子*	
		教養	健康・スポーツ科学		0124016A1	S235	成瀬九美・星野聡子・石坂友司・浅野友之・平塚卓也
	古典を読むA		【コア科目】高年次教養科目 偶数年開講 令和6年度以前入学生用	0122020A3	N302	鈴木広光・大平幸代・児島啓祐	
	社会学		連携開設科目	0123006A1	N101	陳怡禎	
	自然環境の地理学		副専攻（カーボンニュートラル） 連携開設科目	0122023A1	G101	宇津川喬子	
	教職	初等教科教育法 音楽		0220056A2	音楽棟	藤井康之	
		生徒指導・進路指導論（B）		0220069A2	N202	山本桂子*	
		教育経営行政論（B）	連携開設科目	0220086A2	奈良教育大学	小林昇光	
	9・10	キャリア	キャリアデザイン・ゼミナールA（20）	ビジネス日本語B	0210006B1	S124	松永光代
		連携開設	E S Dと世界遺産		0126007A1	奈良教育大学	中澤静男・大西浩明
足元の多文化化・国際化				0126024A1	奈良教育大学	南雲勇多	

【後期 金曜日】

*は非常勤講師

時限	区分	科目名	備 考	ナンバリング	教室	担当教員
1・2	外国語	コンプリヘンシブ・イングリッシュ (1 5)		0111015D1	N202	竹本憲昭
		コンプリヘンシブ・イングリッシュ (1 3)		0111013D1	S233 (LL2)	齊藤美和
		コンプリヘンシブ・イングリッシュ (1 4)		0111014D1	G101	笹本涼子
		コンプリヘンシブ・イングリッシュ (2 1)		0111021D1	E108	石谷祐子*
		コンプリヘンシブ・イングリッシュ (2 2)		0111022D1	N101	北島美咲 *
		コンプリヘンシブ・イングリッシュ (2 3)		0111023D1	N201	前田悦子*
		コンプリヘンシブ・イングリッシュ (2 4)		0111024D1	E107	井上瞬*
		ブラクティカル・イングリッシュ (36)		0111060D1	G203	西岡幸恵*
		ブラクティカル・イングリッシュ (37)		0111061D1	E109	William Ives*
		ブラクティカル・イングリッシュ (38)		0111062D1	G202	正田久美*
		ブラクティカル・イングリッシュ (39)		0111063D1	H402	伊達桃子
		ブラクティカル・イングリッシュ (40)		0111064D1	G204	市川千恵子
		ブラクティカル・イングリッシュ (41)		0111065D1	S124	雲島知恵
		ブラクティカル・イングリッシュ (42)		0111066D1	S228	須賀あゆみ
		ブラクティカル・イングリッシュ (43)		0111067D1	ITモンス ²	松井ゆう子*
		ブラクティカル・イングリッシュ (44)		0111068D1	S231 (LL1)	前田哲宏*
		ブラクティカル・イングリッシュ (45)		0111069D1	D012	中尾朋子*
		ブラクティカル・イングリッシュ (46)		0111070D1	E102	松林和佳子*
		ブラクティカル・イングリッシュ (47)		0111071D1	ITモンス ¹	柑本幸子*
3・4	外国語	フランス語Ⅱ B (6)	理生工 2	0111332D2	S230 (LL3)	イザベル・トノムラ
		アカデミック・イングリッシュ (11)		0111091D2	N201	前田悦子*
		アカデミック・イングリッシュ (12)		0111092D2	N101	北島美咲*
		アカデミック・イングリッシュ (18)		0111098D2	A210	岡田律子*
		アカデミック・イングリッシュ (19)		0111099D2	E218-1	福地浩子*
		アカデミック・イングリッシュ (20)		0111100D2	E108	石谷祐子*
		プレゼンテーション・イングリッシュ (24)		0111124D2	E109	William Ives*
		プレゼンテーション・イングリッシュ (25)		0111125D2	A211	To Calum Philip Minh
		プレゼンテーション・イングリッシュ (26)		0111126D2	G202	正田久美*
		プレゼンテーション・イングリッシュ (27)		0111127D2	E102	松林和佳子*
		プレゼンテーション・イングリッシュ (28)		0111128D2	S124	雲島知恵
		プレゼンテーション・イングリッシュ (29)		0111129D2	D012	中尾朋子*
		プレゼンテーション・イングリッシュ (30)		0111130D2	ITモンス ¹	柑本幸子*
		プレゼンテーション・イングリッシュ (31)		0111131D2	E107	井上瞬*
		プレゼンテーション・イングリッシュ (32)		0111132D2	ITモンス ²	松井ゆう子*
	日本語	日本語Ⅰ D		0112004E1	S227	吉川仁子
	保健体育	健康運動実習Ⅱ (H)	化学コース	0113016D1	—	奥田直希*
		健康運動実習Ⅱ (I)	生物科学コース	0113018D1	—	横山瑞紀*
	教養	社会と文化の心理学	連携開設科目	0122008A1	S235	村上史朗*
		科学史		0124014A1	G101	杉本舞*
	教職	中等教科教育法英語Ⅱ		0220024A2	S125	前田哲宏*
5・6	保健体育	健康運動実習Ⅱ (C)	文	0113006D1	—	智原江美*
		健康運動実習Ⅱ (D)	文	0113008D1	—	辻野和美*
	教職	保育内容指導法(総論)		0220061A2	S124	松山由美子*
7・8	保健体育	健康運動実習Ⅱ (L)	住環境学科	0113024D1	—	智原江美*
		健康運動実習Ⅱ (M)	生活文化学科コース	0113026D1	—	辻野和美*
	教養	西洋の言語と文化		0122013A1	S235	吉田孝夫
		Contemporary Japanese Society B		0125014E1	ITモンス ²	樽井由紀*
9・10	連携開設	国際・異文化間理解 (海外体験プログラムへの誘い)		0126002A1	奈良教育大学	南雲勇多、前田康二、佐藤臨太郎